

BIENNIAL  
ANNUAL  
REPORT

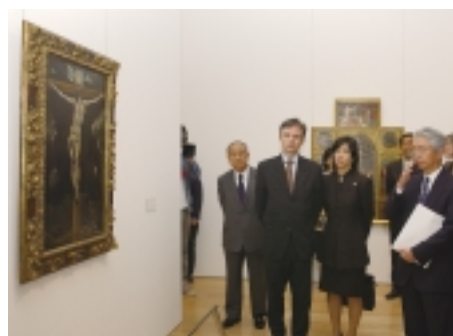
平成17・18年度

# 長崎県美術館年報

Nagasaki Prefectural Art Museum BIENNIAL REPORT 2005・2006

No.1

2005.4.23 OPEN >>>



## 目次

---

1．沿革・主な出来事	4
2．利用者数一覧	5
3．展覧会事業	6
平成17年度	6
平成18年度	46
4．教育普及・生涯学習事業	86
平成17年度	86
平成18年度	105
5．収集事業	125
6．保存・修復事業	131
7．作品貸出記録	140
8．調査・研究事業	141
9．アートボランティア事業	152
10．広報マーケティング事業	154
11．イベント等	164
12．貸施設事業	167
13．ショップ、カフェ、駐車場	172

# 1. 沿革・主な出来事

- 平成12年11月 「諏訪の森再整備に関する基本方針」を長崎県・長崎市で公表
- 平成13年1月 長崎県新美術館基本構想専門家会議設置
- 平成13年4月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想（案）公表  
（4～6月、構想（案）に対するパブリックコメント募集）
- 平成13年7月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想策定
- 平成13年10月 公募型プロポーザルの結果、「株式会社日本設計/協力：隈研吾」を設計者に決定
- 平成14年1月 環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議との協議（同年4、7、10月）
- 平成14年3月 長崎県新美術館（仮称）美術館機能検討会議設置
- 平成14年10月 建築設計完了
- 平成15年3月 着工
- 平成15年9月 第1回長崎県美術館事業検討会
- 平成15年11月 第2回長崎県美術館事業検討会
- 平成15年12月 美術館条例制定
- 平成16年1月 財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
- 平成16年3月 第3回長崎県美術館事業検討会
- 平成16年4月 財団法人長崎ミュージアム振興財団を指定管理者に指定
- 平成16年6月 第4回長崎県美術館事業検討会
- 平成16年9月 長崎県美術館竣工
- 平成17年3月 第5回長崎県美術館事業検討会
- 平成17年4月 開館
- 平成16年度
- 4月1日 財団法人長崎ミュージアム振興財団が管理運営を開始  
伊東順二館長就任
- 5月31日 長崎県民アートボランティア募集開始
- 10月14日 開館年度事業発表会
- 11月3日 スペイン国立プラド美術館を訪問、プラド美術館との交流に関する覚書を締結
- 11月17日 ヘスス・グティエレス・ブロン教授（コンプルテンセ大学、マドリード）による須磨コレクション調査（～18日）
- 3月29日 開館イベント（長崎県美術館イメージ曲発表会）
- 平成17年度
- 4月22日 長崎県美術館開館記念シンポジウム「西洋と長崎～長崎県美術館開館に寄せて～」
- 4月23日 長崎県美術館開館  
企画展「よみがえる須磨コレクション - スペイン美術の500年」（～6月5日）
- 4月24日 長崎県美術館開館記念シンポジウム「ネットワーキングアートの未来」
- 5月8日 平成17年度イブニングライブ開始
- 5月22日 入館者10万人達成
- 6月3日 『マープルアーキテクチャーアワード2005 イーストアジア1等賞』受賞
- 7月11日 ホイットニー美術館館長来館（～13日）
- 7月12日 企画展「アメリカ - ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔」（～8月21日）
- 10月1日 企画展「リアル - スペイン美術の現在」（～11月13日）  
『グッドデザイン賞 建築・環境デザイン部門』受賞
- 11月8日 中国歴代総領事、外交部来館
- 11月17日 企画展「ベルギー象徴派展」（～1月5日）
- 12月3日 九州藝術学会開催
- 12月8日 『ランドスケープライティングアワード2005建築外構照明部門 部門別最優秀賞』受賞
- 1月6日 入館者50万人達成
- 1月11日 企画展「南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵 魅惑の17 - 19世紀フランス絵画展」（～2月12日）
- 2月10日 『2005長崎市都市景観賞：大きな建物部門』受賞
- 2月20日 コスメ・デ・パラニャーノ（美術評論家、前IVAM館長）並びにルイス・チリーダ（エドゥアルド・チリーダ子息）の両氏来館（～21日）

2月21日 企画展「エドゥアルド・チリーダ展」(～4月2日)

## 平成18年度

4月9日 平成18年度イブニングライブ開始  
 4月14日 講演会「隈研吾が語る長崎県美術館の建築」  
 4月22日 開館1周年記念イベント「フラメンコ公演」(～23日)  
 企画展「めぐる、ながむる長崎コレクション」(～5月14日)  
 5月4日 「開館1周年記念映像」の発表 DVJパフォーマンス「高城剛のNagasaki Night」開催  
 5月20日 企画展「没後20年 鴨居玲展 私の話を聞いてくれ」(～7月17日)  
 5月22日 『平成17年度プレストレストコンクリート技術協会賞(作品部門)』受賞  
 5月26日 『平成17年度照明普及賞(優秀施設賞)』受賞  
 6月 『2006 ILDA 賞(国際部門)』入賞  
 6月10日 ボランティアによる常設展示室ギャラリートークを開始  
 7月29日 企画展「デジタル遊園地 - ネットワーキングアートの未来」(～9月3日)  
 7月30日 ながさきみなとまつり関連イベント『サマーアートミュージアム～チャンネルライブ&花火～』  
 8月4日 企画展「わたしが選んだちひろ展」(～9月3日)  
 10月3日 『第14回 CS デザイン賞(サイン部門)』受賞  
 10月9日 『カサ・アジア賞』受賞  
 10月7日 企画展「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ」(～11月19日)  
 10月21日 『日本建築士連合会賞』受賞  
 11月21日 『第47回建築業協会(BCS)賞』受賞  
 11月28日 企画展「名取洋之助と日本工房〔1931-45〕」(～12月29日)  
 12月5日 『第40回 SDA 賞 公共サイン・システムサイン部門(奨励賞)』受賞  
 1月6日 企画展「ベルギー王立美術館展」(～3月25日)  
 2月9日 駐日ベルギー大使来館 レセプション開催  
 3月6日 美術館防火訓練実施  
 3月18日 入館者100万人達成  
 3月22日 国際交流基金の招聘事業の一環として、スペインよりフェラン・バレンブリット(サンタモニカアートセンター館長) イニャキ・マルティネス＝アンテロ(ヴィーゴ現代美術館館長) アンジェラ・モリナ＝クリメント(美術評論家) パロマ・アギロ(国際現代アート見本市営業責任者) マリア・ガルシア＝イエロ(国立ソフィア王妃芸術センター副館長) リディア・スィルセル(Circulo de Bellas Artes コーディネーター) グロリア・モウレ(美術評論家)の諸氏が来館  
 3月31日 伊東順二館長退任

## 2. 利用者数一覧

### 平成17年度入館者実績

単位：人

	総入館者			有料入館者			無料入館者		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
企画展	177,000	129,471	73%	118,240	109,184	92%	58,760	20,287	34%
常設展	70,000	107,703	154%	65,000	88,911	137%	5,000	18,792	376%
教育普及	4,000	111,242	2781%	-	-	-	4,000	111,242	2781%
県民ギャラリー等	139,000	325,211	234%	-	-	-	139,000	325,211	234%
*重複調整	-	59,541	-	-	-	-	-	59,541	-
合計	390,000	614,086	157%	183,240	198,095	108%	206,760	415,991	201%

### 平成18年度入館者実績

単位：人

	総入館者			有料入館者			無料入館者		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
企画展	115,000	107,549	93.5%	103,500	77,809	75.2%	11,500	29,740	258.6%
常設展	55,200	53,926	97.7%	44,200	41,132	93.1%	11,000	12,794	116.3%
教育普及	57,800	37,197	64.4%	-	5,756	皆増	57,800	31,441	54.4%
県民ギャラリー等	172,000	230,819	134.2%	-	-	-	172,000	230,819	134.2%
*重複調整	-	28,610	-	-	-	-	-	28,610	-
合計	400,000	400,881	100.2%	147,700	124,697	84.4%	252,300	276,184	109.5%

## 3. 展覧会事業

平成17年度

### 1) 企画展

#### 「長崎県美術館開館記念展 よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年」

平成17年4月23日(土)～6月5日(日) \*42日間 会場：企画展示室

#### 概要：

当館のコレクションの核をなす「須磨コレクション」を中心に、500年に渡るスペイン美術の流れをたどった展覧会。6セクションで構成。第1セクションでは、主に日本で制作された作品や資料により長崎とスペインとの歴史的な関係を確認。第2セクション以降では、須磨コレクションを中心とする当館の所蔵品と国内の美術館から借用した作品により、15世紀から20世紀前半までのスペイン美術の流れを概観した。また、近年の調査の成果を集約した図録とともに、別冊として当館所蔵の須磨コレクションの全作品目録を作成した。

#### 開催形態：自主企画

主催：長崎県、長崎県美術館

協力：スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会

後援：外務省、文化庁、スペイン大使館、長崎県教育委員会、朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、KTN テレビ長崎、NIB 長崎国際テレビ、NCC 長崎文化放送、NBC 長崎放送、NHK 長崎放送局、FM 長崎

助成：財団法人地域創造、芸術文化振興基金

#### 観覧料：

一般400(320)円、大学生・70歳以上300(240)円、小中高生200(160)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
長崎県内在住の小中学生は無料

観覧者数：50,371人(一日あたり1,199人)

出品点数：136点(うち当館所蔵作品128点)

解説ツール：音声ガイド

#### 関連事業：

(1) シンポジウム「よみがえる須磨コレクション 作品調査報告シンポジウム」

日時：4月30日(土) 13:00～17:00

1. 新調査報告の経緯と概要 大高保二郎(早稲田大学教授)

2. 新調査報告

I. 15、16世紀の宗教絵画



【パネリスト】 安發和彰(東北芸術工科大学教授)  
小倉康之(横浜美術短期大学講師)  
松原典子(上智大学講師)

#### II. バロック時代の絵画

【パネリスト】 大高保二郎  
楠根圭子(武蔵野美術大学講師)  
貫井一美(清泉女子大学講師)  
松井美智子(東北学院大学教授)  
諸星 妙(慶應義塾大学大学院)

#### III. 近・現代の美術

【パネリスト】 木下亮(昭和女子大学教授)  
久々湊直子(学習院大学講師)  
松田健児(上野学園大学講師)

参加者数：約100人

(2) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週水曜日 14:00～14:45

#### 主要記事等：

・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK 長崎放送局)平成17年4月21日放送

・稲田博「美術 長崎県美術館『よみがえる須磨コレクション』 500年間のスペイン絵画、圧巻」『朝日新聞』平成17年5月7日

・「アートシーン」『新日曜美術館』(NHK 教育)平成17年5月8日放送

## 出品リスト:

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
1	アブラハム・オルテリウス	世界図	1570年	銅版、手彩色 / 紙	41.5 × 53.5	長崎県
2	アブラハム・オルテリウス	東インド図	1570年	銅版、手彩色 / 紙	44 × 58	長崎県
3	ルイス・テセイラ	日本図	1595年	銅版、手彩色 / 紙	47.1 × 57.3	長崎県
4	作者不詳	万国人物図	天保2年 (1645年)	木版、手彩色 / 紙	131.5 × 56	長崎県
5	作者不詳	弹琴図	慶長年間 (1596 - 1614)	紙本着彩	80 × 38.5	長崎県
6	作者不詳	螺鈿時絵四季彩洋櫃	桃山時代	木地	36.5 × 55.4 × 30	長崎県
7	作者不詳(スペイン)	聖ユダ	15世紀中頃	テンペラ、油彩 / 板	64.7 × 39.8	
8	作者不詳(スペイン)	聖アンデレ	15世紀中頃	テンペラ、油彩 / 板	66.5 × 38.7	
9	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ	1430年頃	テンペラ / 板	121.5 × 61.5	
10	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ	1500年頃	テンペラ / 板	158 × 102	
11	作者不詳(アラゴンあるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ	15世紀末	テンペラ(あるいは油彩) / 板	123 × 91.4	
12	作者不詳(カスティーリャ派)	洗礼者聖ヨハネと二つの受難具	15世紀末	油彩 / 板	27.4 × 15.9	
13	作者不詳(スペイン)	聖パウロ	16世紀初頭	油彩 / 板	64 × 41.2	
14	作者不詳(アラゴン派)	聖母の戴冠	15世紀末	テンペラ、油彩 / 板	136.5 × 108	
15	作者不詳(カスティーリャ派)	キリストの磔刑	15世紀後半 - 16世紀初頭	油彩 / 板	62.2 × 79.3	
16	作者不詳(カスティーリャ派)	聖人修道士の埋葬	16世紀前半	油彩 / 板	101.5 × 60.5	
17	作者不詳(アラゴン派あるいはナバーラ派)	博士たちと議論するキリスト(祭壇衝立)	1550 - 60年頃	油彩 / カンヴァス	150 × 116	
18	作者不詳(カタルーニャ派)	キリストの磔刑	16世紀初頭	油彩 / 板	114.5 × 80.5	
19	作者不詳(カスティーリャ派)	聖母の嘆き(ピエタ)	16世紀中頃	油彩 / 板	54 × 44	
20	作者不詳(カスティーリャ派)	聖バルトロマイ	16世紀前半	油彩 / 板	103 × 72	
21	作者不詳(カスティーリャ派)	巡礼者聖ヤコブ	16世紀前半	油彩 / 板	101 × 72	
22	作者不詳(カスティーリャ派)	聖セバスティアヌス	16世紀前半	油彩 / 板	99 × 57	
23	作者不詳(カスティーリャ派)	ゲッセマネの祈り	16世紀中頃	油彩 / 板	91.5 × 58	
24	作者不詳(カスティーリャ派あるいはアラゴン派)	ゲッセマネの祈り	16世紀第 3 三半期	油彩 / 板	37.5 × 34	
25	作者不詳(ホルヘ・イングレス?)	聖グレゴリウスのミサ	16世紀後半	油彩 / 板	62 × 48	
26	作者不詳(フランドル?)	カール五世に謁見するエルナンド・デ・アラルコン	16世紀後半	油彩 / カンヴァス	166.4 × 246.7	
27	作者不詳(フランドル?)	カール五世のチュニス攻略を援けるエルナンド・デ・アラルコン	16世紀後半	油彩 / カンヴァス	166.5 × 247	
28	作者不詳(スペイン)	磔刑		油彩 / カンヴァス	32.2 × 103	
29	作者不詳(スペイン)	キリストの鞭打ち	16世紀第 4 四半期	油彩 / 板	77 × 100	
30	作者不詳(スペイン)	この人を見よ	16世紀第 4 四半期	油彩 / 板	77 × 100.5	
31	作者不詳(スペイン)	聖ペテロと聖フランチェスコを伴ったキリストの磔刑	16世紀第 4 四半期	油彩 / 板	78.5 × 53.5	
32	エル・グレコ	十字架のキリスト		油彩 / カンヴァス	95.5 × 61	国立西洋美術館
33	作者不詳(スペイン)	悲しみの聖母	1590 - 1600年	木彫・着彩	高さ96	
34	作者不詳(スペイン、ファン・パントーハ・デ・ラ・クルスの周辺)	フェリペ二世	1600年頃	油彩 / カンヴァス	204 × 106	
35	アロンソ・サンチェス・コエリョ?	アントニオ・ベレス(?)	16世紀後半	油彩 / カンヴァス	72.5 × 57.4	
36	ファン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵の肖像	1600年頃	油彩 / カンヴァス	213 × 99	
37	作者不詳(カスティーリャ派)	サンティアゴ騎士団員の肖像	1580年頃	油彩 / カンヴァス	198.5 × 106	
38	作者不詳(フランドル)	ダンピ伯爵	おそらく 1623年	油彩 / カンヴァス	104.5 × 81	
39	作者不詳(セビーリャ派)	神学博士の肖像	1650 - 60年頃	油彩 / カンヴァス	168 × 106	
40	作者不詳(マドリッド派)	サンルーカル・ラ・マヨール公爵ドン・ガスパール・フェリペ・デ・グスマンの肖像	17世紀後半	油彩 / カンヴァス	209 × 129	

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
41	作者不詳(マドリード派)	祈る姿の王妃イサベル・デ・ポルボンと王女マリア・テレサ(?)	1641年頃	油彩/カンヴァス	144.5×100.5	
42	作者不詳(スペイン)	若い貴族の肖像	17世紀	油彩/カンヴァス	49×33.8	
43	作者不詳(カスティーリャ派)	キリストの鞭打ち	17世紀	油彩/カンヴァス	188×141	
44	作者不詳(カスティーリャ派)	カルメル会の聖母	17世紀初頭	油彩/カンヴァス	120×100.5	
45	作者不詳(セビーリャ派)	エリアとバアルの預言者たち	17世紀後半	油彩/カンヴァス	143×107	
46	作者不詳(セビーリャ派)	パオラの聖フランチェスコ		油彩/カンヴァス	196×131	
47	バルトロメ・エステバン・ムリーリョ	アレクサンドリアの聖カタリナ	1645 - 50年頃	油彩/カンヴァス	165×110.4	三重県立美術館
48	作者不詳(アンダルシア派?)	眠る幼児キリスト	17世紀中頃 あるいは後半	油彩/板	58×41	
49	作者不詳(セビーリャ派)	十字架を担う幼児キリスト	17世紀第3 三半期	油彩/カンヴァス	27.8×21.1	
50	作者不詳(アンダルシア派)	悲しみの聖母	17世紀末	油彩/カンヴァス	48.4×32.5	
51	作者不詳(カスティーリャ派 あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト	1600年頃	油彩/板	84.5×67	
52 1	ペドロ・オレンテ	マナの収集(?)	17世紀前半	ペン、セピアインク/黄色がかった 賽の目紙	21.1×31.4	
52 2	作者不詳(マドリード派)	聖アントニウスに現われる幼児キリスト	17世紀中頃	ペン、セピアインク/黄色がかった 賽の目紙	31.4×21.1	
53	作者不詳(スペイン)	女と少年のいるボデゴン	17世紀	油彩/カンヴァス	113×174.5	
54	作者不詳(フランドル)	風景の中の静物	17世紀	油彩/カンヴァス	108×162	
55	ミゲル・ハシント・メレンデス(?)	フェリペ五世	1708 - 15年頃	油彩/カンヴァス	104.3×82.9	
56	アントン・ラファエル・メングス(?)	フェルナンド六世	18世紀後半	油彩/カンヴァス	102.9×83.8	
57	アントン・ラファエル・メングス(?)	王妃バルバラ	18世紀後半	油彩/カンヴァス	102.9×83.8	
58	作者不詳(スペイン)	聖セグンドゥス	1769年頃	油彩/カンヴァス	196.5×133	
59	作者不詳(バレンシア派?)	ガブリエル・フェランディス師の肖像	18世紀後半	油彩/カンヴァス	85.6×66.4	
60	作者不詳(スペイン)	ミゲル・クレメンテ・チェリフ・デ・メンドーサ	1778年	油彩/カンヴァス	82.3×62	
61	作者不詳(スペイン)	貴婦人の肖像	18世紀後半	油彩/カンヴァス	95.9×71.3	
62	作者不詳(スペイン)	ドン・フランシスコ・デ・エスカセナ	1780年代	油彩/カンヴァス	97.7×74.9	
63	作者不詳(スペイン)	男の肖像	19世紀初頭	油彩/カンヴァス	104.9×83.7	
64	作者不詳(マドリード派)	少年の肖像	19世紀初頭	油彩/カンヴァス	95.8×75	
65	ルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオス	フェルナンド七世の肖像	1828年	油彩/カンヴァス	250×166.5	
66	ファン・ラミレス・デ・アレジャーノ	聖ヨセフの死		ペン、黒インク/紙	21×23.2	
67	作者不詳(スペイン)	聖人修道士の殉教	18世紀後半	ペン、黒インク/紙	23.8×33.5	
68	作者不詳(スペイン)	洗礼者聖ヨハネの牢獄	18世紀	ペン、黒インク/紙	29.7×21.2	
69	作者不詳(スペイン)	聖アエギディウス	18世紀	ペン、黒インク/紙	21×16.3	
70	作者不詳(スペイン)	聖アントニウスによる幼児キリストの幻視	18世紀後半	ペン、黒インク/紙	26×20.7	
71	フランシスコ・バイェウ・イ・スピマス	聖ヤコブへのピラールの聖母の出現	18世紀後半	ペン、インク/紙	30.3×21.2	
72	作者不詳(スペイン)	十字架の下の悲しみの聖母マリアと聖ヨハネ	18世紀後半	ペン、黒インク/紙	26×19.3	
73 1	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	彼女たちはもう席を得た(『ロス・カプリチオス』26番)	1799年	エッチング、アクアティント/紙	31.4×20.6; 19.3×14.0	
73 2	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	理性の眠りは怪物を生む(『ロス・カプリチオス』43番)	1799年	エッチング、アクアティント/紙	31.4×20.6; 18.1×12.2	
74 1	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	同じことだ(『戦争の惨禍』3番)	1810 - 15年	エッチング、ラヴィ、ドライポイント、エングレーヴィング、パーニッシャー/紙	24.8×34.6; 14.6×19.9	
74 2	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	慈愛(『戦争の惨禍』27番)	1810年	エッチング、ラヴィ、ドライポイント、エングレーヴィング、パーニッシャー/紙	25×34.5; 13.1×19.3	



番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
74 3	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	可哀そうなお母さん! (『戦争の惨禍』50番)	1812 - 15年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント/紙	24.8×34.8; 13×17.7	
74 4	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	真理は死んだ(『戦争の惨禍』79番)	1815 - 20年	エッチング、バーニッシュャー/紙	25×34.6; 14.5×18.2	
75 1	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	カルロス五世、バリャドリッド闘牛場で、槍で牡牛を突く(『闘牛技』10番)	1816年	エッチング、アクアティント、ドライポイント、エングレーヴィング/紙	31.4×43.7; 20.9×30.8	
75 2	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	マドリッド闘牛場でファニート・アピニャーニが見せた敏捷さと大胆さ(『闘牛技』20番)	1816年	エッチング、アクアティント/紙	31.3×43.5; 20.2×30.9	
76 1	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	恐怖の妄(『妄』2番)	1815 - 24年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント(?)/紙	33.3×49.2; 21.9×31.9	
76-2	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	滑稽の妄(『妄』3番)	1815 - 24年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント/紙	33.3×49.4; 21.2×32.3	
76 3	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	女を誘拐する馬(『妄』10番)	1815 - 24年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント/紙	33.2×49.1; 21.2×31.6	
76 4	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	飛翔法(『妄』13番)	1815 - 20年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント(?)/紙	33.3×49.2; 21.7×32.4	
76 5	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	牡牛の妄(『妄』より)	1815 - 24年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント/紙	27.8×38.3; 21.1×32.1	
76 6	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	畜生の妄(『妄』より)	1815 - 24年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント/紙	28.2×38.4; 21.6×32.6	
76 7	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	周知の妄(『妄』より)	1815 - 24年頃	エッチング、アクアティント/紙	28×38.9; 21.8×32.9	
76 8	フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス	几帳面の妄(『妄』より)	1815 - 24年頃	エッチング、アクアティント、ドライポイント/紙	28.1×38.5; 21.9×32.8	
77	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	貧者の聖体拝領		油彩/カンヴァス	56.5×70.3	
78	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	川の流れる風景	19世紀中頃	油彩/カンヴァス	80×99	
79	フランシスコ・ハビエル・デ・ウルティア	ドン・ミゲル・イラリオン・エストラバ	1841年	油彩/カンヴァス	93.8×83.3	
80	ヘナロ・ベレス・ピリャアミル	ロンダ(マラガ)	1850年	油彩/カンヴァス	40×32.5	
81	パブロ・ゴンサルボ・イ・ベレス	トレド、アルカンタラ橋	1854 (1848)年	油彩/カンヴァス	30.5×59.8	
82	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム	1859年	油彩/カンヴァス	47.3×79.8	
83	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋	1859年	油彩/カンヴァス	47.2×80.1	
84	マリアノ・フォルトゥーニ・イ・マルサル	風景		油彩/カンヴァス	13.9×5.5	
85	マリアノ・フォルトゥーニ・イ・マルサル	東洋の幻想		油彩/カンヴァス	68×96	
86	マリアノ・フォルトゥーニ・イ・マルサル	人物習作		水彩/紙	35.5×25.5	
87	マリアノ・フォルトゥーニ・イ・マルサル	絵を描く女		水彩/紙	50×35.7	
88	エミリオ・サラ・イ・フランセス	マドリッドのカジノの装飾画のための習作		油彩/カンヴァス	141.7×101.1	
89	エミリオ・サラ・イ・フランセス	裸婦		油彩/カンヴァス	150.5×86	
90	エミリオ・サラ・イ・フランセス	パルド・バサン女伯爵		油彩/カンヴァス	72×63	
91	アンヘル・リスカーノ	親睦のつどい		油彩/カンヴァス	34×44.5	
92	アンヘル・リスカーノ	自由(『ドン・キホーテ』より)		油彩/カンヴァス	32×52.5	
93	アンヘル・リスカーノ	エル・トボソのドゥルシニア(『ドン・キホーテ』より)		油彩/カンヴァス	33.2×52.5	
94	アンヘル・リスカーノ	ドン・キホーテとライオン(『ドン・キホーテ』より)		油彩/カンヴァス	32.5×53	
95	アンヘル・リスカーノ	自分の島を治めるサンチョ・パンサ(『ドン・キホーテ』より)		油彩/カンヴァス	33×52.7	
96	ライムンド・デ・マドラーソ	リュサンジュ公	1881年	油彩/カンヴァス	92.5×65.9	

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
97	ライムンド・デ・マドラーソ	自画像	1881年	油彩 / カンヴァス	34.4 × 25.5	
98	リカルド・デ・ピリョーダス	自画像	1875年	油彩 / カンヴァス	70.3 × 52.3	
99	リカルド・デ・ピリョーダス	画家の妻、アントニア・レビーリャ		油彩 / カンヴァス	128.8 × 98.5	
100	ホセ・ピリエガス・イ・コ ルデロ	書斎の男		油彩 / 厚紙	105 × 68	
101	ホセ・ピリエガス・イ・コ ルデロ	アトリエ		油彩 / カンヴァス	84.4 × 69.9	
102	ファン・ヒメネス・マル ティン	裸婦		油彩 / カンヴァス	26.8 × 38	
103	エドゥアルド・ロサーレス	大聖堂の内部		油彩 / カンヴァス	22.4 × 32.5	
104	モデスト・ウルジェイ・ イ・イングラダ	共同墓地のある風景		油彩 / カンヴァス	95.8 × 186.4	
105	イグナシオ・ピナソ・カマ ルレンク	イカロス遊び	1877年頃	油彩 / カンヴァス	100.2 × 71	
106	イグナシオ・ピナソ・カマ ルレンク	裸の子供	1890年	油彩 / カンヴァス	100 × 72	
107	ホアキン・ソローリャ・ イ・バスティーダ	画家ブラディーリャの肖像	1885年	油彩 / カンヴァス	97 × 79	
108	ホアキン・ソローリャ・ イ・バスティーダ	A・サント=アウピンの肖像	1912年	油彩 / カンヴァス	74.2 × 47.2	
109	ホアキン・ソローリャ・ イ・バスティーダ	浜辺の修道女たち	1910年頃	油彩 / 板	17 × 26	
110	ホアキン・ソローリャ・ イ・バスティーダ	すわる老女		鉛筆 / 紙	32 × 22	
111	ホアキン・ソローリャ・ イ・バスティーダ	バレンシア海岸の船	1903年	鉛筆 / 紙	23 × 31	
112	アントニオ・ムニョス・デ グライン	聖地 (エルサレム)	1920年頃	油彩 / カンヴァス	43.5 × 68.5	
113	リカルド・バローハ・イ・ ネッシ	メモリア門	1912年	油彩 / カンヴァス	81.6 × 100.3	
114	リカルド・バローハ・イ・ ネッシ	シウダー・レアル	1928年	油彩 / カンヴァス	83 × 74	
115	リカルド・バローハ・イ・ ネッシ	レコレートス通り	1926 - 30 年頃	油彩 / カンヴァス	83.7 × 93.5	
116	リカルド・バローハ・イ・ ネッシ	勇敢なる13人	1942年	油彩 / 合板	50.1 × 99.9	
117	リカルド・バローハ・イ・ ネッシ	郊外の二人(連作『スペインの情景』 より)	1907年	エッチング、アクアティ ント / 紙	24.8 × 35.3; 13.4 × 21.2	
118	リカルド・バローハ・イ・ ネッシ	教理問答(連作『スペインの情景』 より)	1908年頃	エッチング / 紙	24.3 × 35.1; 13.7 × 21.8	
119	リカルド・バローハ・イ・ ネッシ	仮装行列		リトグラフ / 紙	15.3 × 38.1	
120	フランシスコ・イトゥリーノ	女		油彩 / カンヴァス	82.4 × 62	
121	ダニエル・バスケス・ディ アス	人気闘牛士たち	1914年	油彩 / カンヴァス	229 × 249	
122	ダニエル・バスケス・ディ アス	きこりのホルヘ	1930年	油彩 / カンヴァス	181 × 137	
123	ダニエル・バスケス・ディ アス	イスバニダー記念聖堂	1930年頃	油彩 / カンヴァス	99.5 × 136	
124	ダニエル・バスケス・ディ アス	須磨彌吉郎の肖像	1941年	油彩 / カンヴァス	156 × 121	
125	ダニエル・バスケス・ディ アス	吉彌枝の肖像	1943年頃	油彩 / カンヴァス	191 × 111	
126	ダニエル・バスケス・ディ アス	マドリードの場末の人々	1921年	水彩 / 紙	18.9 × 23.8	
127	ダニエル・バスケス・ディ アス	パロス・デ・モゲールのクレオール	1929年	鉛筆 / 紙	35.5 × 17.6	
128	ホセ・グティエレス・ソ ラーナ	アスファルト舗装をする男たち	1930年	油彩 / カンヴァス	100 × 73	
129	ホセ・グティエレス・ソ ラーナ	軽業師たち	1930年	油彩 / カンヴァス	143 × 112.7	

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
130	ホセ・グティエレス・ソラーナ	仮面たち	1940年頃	油彩 / カンヴァス	78.8 × 65	
131	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面	1940年頃	油彩 / カンヴァス	70.8 × 51.5	
132	ティモテオ・ベレス・ルピオ	冬の庭	1930年頃	油彩 / カンヴァス	106.5 × 129.7	
133	ホセ・フラウ・ルイス	雨のカスティージャ	1924年	油彩 / カンヴァス	100 × 85.7	
134	アントニオ・ゴメス・カーノ	眠る女	1943年	油彩 / カンヴァス	90.2 × 80	
135	エドゥアルド・ピセンテ・ベレス	「サロン・デ・ロス・オンセ」第2回展 (1944年)	1944年	油彩 / カンヴァス	144 × 96.4	
136	フアン・グリス (?)	サーカス	1918年以前	水彩 / 紙	26.8 × 36.9; 25.5 × 35.8	

\* 所蔵表記のない作品は、すべて長崎県美術館蔵。

## 「アメリカ ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔」

平成17年7月12日(火)～8月21日(日) \*39日間 会場：企画展示室

### 概要：

20世紀アメリカ美術のコレクションで知られるホイットニー美術館のコレクション展。絵画と彫刻46点を「移民」「都市」「消費」「記憶」というキーワードに沿って紹介し、20世紀アメリカ美術を概観した。

**開催形態：**巡回展、実行委員会形式

**主催：**長崎県美術館、西日本新聞社、KTN テレビ長崎  
**後援：**アメリカ合衆国大使館、長崎県、長崎県教育委員会、長崎米協会、TNC テレビ西日本、STS サガテレビ、FM長崎

**特別協賛：**長崎物語本舗(株)唐草

**協力：**日本航空

**企画協力：**ホワイトインターナショナル

### 観覧料：

一般1,000(800)円、高大生・70歳以上700(500)円、小中生500(300)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金

**観覧者数：**19,482人(一日あたり500人)

**出品点数：**46点

**解説ツール：**会場配布用解説シート

### 関連事業：

(1) 講演会「アメリカ社会と美術」

講師：伊東順二(長崎県美術館館長)

日時：8月7日(日) 14:00～16:00

参加者数：約40人

(2) ホイットニー美術館学芸員によるギャラリートーク

講師：ダナ・ミラー(ホイットニー美術館学芸員)

日時：7月12日(火) 18:00～19:00

(3) 伊東順二館長によるギャラリートーク

日時：7月13日(水)、24日(日) 各日14:00～、18:00～他、計12回開催

(4) 学芸員によるギャラリートーク

日時：7月15日(金)以降、毎週水曜日14:00～15:00、金曜日18:00～19:00

(5) サマーアートクラブ「技法であそぼう！」

日時：7月28日(木)～31日(日) 午前の部10:00～12:00、午後の部14:00～16:30

講師：当館エデュケーター、長崎大学教育学部教科教育コース中川研究室

参加者数：各35人



### (6) 映画上映会

・「DOWNTOWN81」

日時：8月6日(土) 14:00～、18:00～

参加者数：各30～40人

・「ポロック 二人だけのアトリエ」

日時：8月20日(土) 14:00～、18:00～

参加者数：各50人

### 主要記事等：

・遠山景子「素顔のアメリカ ホイットニー美術館コレクションから エドワード・ホッパー『踏切』」『西日本新聞』平成17年7月20日

・遠山景子「素顔のアメリカ ホイットニー美術館コレクションから ジョージア・オキーフ『白いキャラコの花』」『西日本新聞』平成17年7月22日

・伊東順二「よかナビ九州 感動 MUSEUM もうひとつのアメリカ 大衆と歩むアート」『西日本新聞』(九州版)平成17年7月23日

・遠山景子「素顔のアメリカ ホイットニー美術館コレクションから マーク・ロスコ『ナンバー4(無題)』」『西日本新聞』平成17年7月23日

・遠山景子「素顔のアメリカ ホイットニー美術館コレクションから ロイ・リキテンスタイン『窓辺の少女(ワールド・フェアの壁画のための習作)』」『西日本新聞』平成17年7月26日

・遠山景子「素顔のアメリカ ホイットニー美術館コレクションから ジャン＝ミシェル・バスキア『LNAPRK』」『西日本新聞』平成17年7月27日

・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK長崎放送局)平成17年7月28日放送

・「アートシーン」『新日曜美術館』(NHK教育)平成17年7月30日放送

- ・伊東順二「アメリカの素顔を ホワイトニー美術館展から移民」『西日本新聞』（長崎版）平成17年8月12日
- ・伊東順二「アメリカの素顔を ホワイトニー美術館展から都市」『西日本新聞』（長崎版）平成17年8月13日
- ・山口洋三「ホワイトニー美術館展に寄せて アメリカを愛し、同時に憎め」『西日本新聞』平成17年8月13日
- ・伊東順二「アメリカの素顔を ホワイトニー美術館展から消費」『西日本新聞』（長崎版）平成17年8月14日
- ・伊東順二「アメリカの素顔を ホワイトニー美術館展から記憶」『西日本新聞』（長崎版）平成17年8月15日
- ・伊東順二「アメリカという林檎」『SIGNATURE』（シテイカードジャパン）平成17年8・9月号

## 出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	アドルフ・ゴットリーブ	凍てついた音、ナンバー 1	1951年	油彩 / カンヴァス	91.4 × 121.9
2	マーク・ロスコ	ナンバー 4 (無題)	1953年	ミクストメディア / カンヴァス	269.2 × 129.2
3	ジョセフ・アルパース	正方形礼賛：上昇	1953年	油彩 / コンポジションボード	110.5 × 110.5
4	ハンス・ホフマン	黄色いオーケストラ	1954年	油彩 / カンヴァス	122.9 × 152.7
5	ウィリアム・バジオテス	海岸	1955年	油彩 / カンヴァス	91.4 × 121.9
6	フィリップ・ガストン	ダイヤル	1956年	油彩 / カンヴァス	182.9 × 193.0
7	パーネット・ニューマン	ヒアⅢ	1965 - 66年	ステンレス鋼、コールドテン鋼	319.4 × 60.0 × 47.0
8	エドワード・ホッパー	クイーンズボロ・ブリッジ	1913年	油彩 / カンヴァス	65.7 × 96.8
9	エドワード・ホッパー	ニューヨークの室内	1921年頃	油彩 / カンヴァス	61.6 × 74.3
10	エルシー・ドリッグス	ピッツバーグ	1927年	油彩 / カンヴァス	87.0 × 101.6
11	ジャスパー・ジョーンズ	0 から 9 の重複	1961年	油彩 / カンヴァス	137.2 × 114.3
12	フランク・ステラ	グラン・カイロ	1962年	合成ポリマー / カンヴァス	217.2 × 217.2
13	ロイ・リキテンスタイン	窓辺の少女 (ワールド・フェアの壁画のための習作)	1963年	油彩 / カンヴァス	173.2 × 142.6
14	マーク・ディ＝スヴェロ	アキレスの踵	1968 - 69年	溶接された鉄、ステンレス鋼ワイヤー、アルミニウムの台	87.3 × 92.1 × 91.4
15	ブルース・ナウマン	第二詩篇	1969 (1992) 年	スチール	1.3 × 152.7 × 152.7
16	ロバート・コッティンガム	ラジオ	1977年	油彩 / カンヴァス	198.1 × 198.1
17	デヴィッド・サーレ	田舎町のセクスタント (六分儀)	1987年	油彩、合成ポリマー / カンヴァス	244.3 × 320.7
18	ピーター・ハリー	アシッド・テスト	1991 - 92年	合成ポリマー、ポリマー乳剤、蛍光塗料 / カンヴァス (4枚組)	228.9 × 463.1
19	ジャック・ピアソン	欲望、絶望	1996年	金属、プラスチック、プレキシグラス / 木	298.5 × 142.9
20	ロバート・ラウシェンバーグ	スフィンクスのアトリエ	1998年	植物染料、紙 / ポリラミネート (2枚組)	313.9 × 306.2
21	ジョン・カリン	痩せた女性	1992年	油彩 / カンヴァス	127.3 × 96.7
22	ウェイン・ティーパー	パイ・カウンター	1963年	油彩 / カンヴァス	76.2 × 91.4
23	アンディ・ウォーホル	二重のエルヴィス	1963年	シルクスクリーンインク、シルバーペイント / リネン	210.2 × 205.1
24	クレス・オルデンバーグ	ソフト・トイレット	1966年	金属性スタンドと着色された木製土台に木、ビニール、パンヤ製糸、プレキシグラス	141.0 × 71.8 × 76.2
25	ロバート・インディアナ	LOVE	1968年	アルミニウム	30.2 × 30.2 × 14.9
26	アンディ・ウォーホル	毛沢東	1975年	油彩 / カンヴァス	66.0 × 55.9
27	ロイ・リキテンスタイン	金魚鉢	1977年	ブロンズに着色	196.9 × 64.8 × 46.4
28	キース・ヘリング	無題、1981年10月19日	1981年	ビニールペイント / 防水シート	185.9 × 182.6
29	エドワード・ホッパー	踏切	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	74.9 × 101.8
30	トーマス・ハート・ベントン	主は我が牧人	1926年	テンペラ / カンヴァス	84.5 × 69.5
31	ジョン・ステュアート・カリー	カンザスの洗礼	1928年	油彩 / カンヴァス	101.6 × 127.0
32	ジョージア・オキーフ	白いキャラコの花	1931年	油彩 / カンヴァス	76.2 × 91.4
33	ジャクソン・ポロック	ナンバー17、1950 (花火)	1950年	エナメル、アルミニウムペイント / コンポジションボード	56.5 × 56.5
34	ロバート・マザーウェル	バルセロナの午後	1958年	油彩 / カンヴァス	137.2 × 182.9
35	フランツ・クライン	ダリア	1959年	油彩 / カンヴァス	208.3 × 170.2
36	ミルトン・エイヴリー	砂丘と海Ⅱ	1960年	油彩 / カンヴァス	131.8 × 182.9
37	ヘレン・フランケンサラー	アーデン	1961年	油彩 / カンヴァス	222.3 × 325.1
38	アレックス・カツ	エリ	1963年	油彩 / カンヴァス	186.7 × 242.6
39	ジム・ダイン	等身大の二重自画像 (セラーベ)	1964年	油彩、金属輪と鎖 / カンヴァス	147.0 × 216.9 × 8.9
40	ジョエル・シャピロ	無題 (平原の家)	1975 - 76年	ブロンズ、木製台座	53.0 × 73.3 × 54.8

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
41	ジャン＝ミシェル・バスキア	LNAPRK	1982年	合成ポリマー、油性ペン / カンヴァス	186.7 × 183.5
42	ジャン＝ミシェル・バスキア	ハリウッドのアフリカ人	1983年	合成ポリマー、ミクストメディア / カンヴァス	213.4 × 213.4
43	エリック・フィッシュル	島・への / からの・旅	1983年	油彩 / カンヴァス	213.4 × 426.7
44	ロス・ブレックナー	カウント・ノー・カウント	1989年	油彩、蜜蝋 / カンヴァス	274.3 × 183.2
45	キース・ヘリング	祭壇衝立	1990 / 96年	ブロンズ、金箔	151.1 × 180.0 × 42.6
46	ジュリアン・シュナーベル	無題	1991年	油彩、樹脂 / 防水シート	247.5 × 201.3

# 「リアル スペイン美術の現在」

平成17年10月1日(土)～11月13日(日) \*42日間 会場：企画展示室

## 概要：

スペイン美術の特質のひとつである「リアル(Real)」をキーワードに、スペイン近現代美術を紹介した展覧会。国内所蔵作品による第1部と、スペインの個人所蔵家からの借用作品による第2部の二つのセクションで構成。第1部「ピカソから21世紀へ 国内所蔵作品に見るスペイン美術の冒険」では、ピカソからムラドといった現代作家たちまでの作品を、第2部「抽象と写実 スペインからのメッセージ」では、カノガールらの主に2000年以降に制作された作品を展示した。

## 開催形態：自主企画

主催：長崎県美術館、日本通運株式会社

企画協力：ライラ・イシカワ（現代美術キュレーター・評論家）

後援：外務省、文化庁、スペイン大使館、長崎県、長崎県教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、NCM長崎ケーブルメディア

## 観覧料：

一般900(700)円、大学生・70歳以上700(500)円、中高生500(300)円  
( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
小学生以下は無料

観覧者数：22,365人(一日あたり533人)

出品点数：55点(うち当館所蔵作品10点)

解説ツール：音声ガイド

## 関連事業：

(1) 講演会「スペインの現代アートシーン1」

講師：伊東順二(長崎県美術館館長)

日時：10月2日(日) 14:00～16:00

参加者数：約80人

(2) 講演会「スペインの現代アートシーン2」

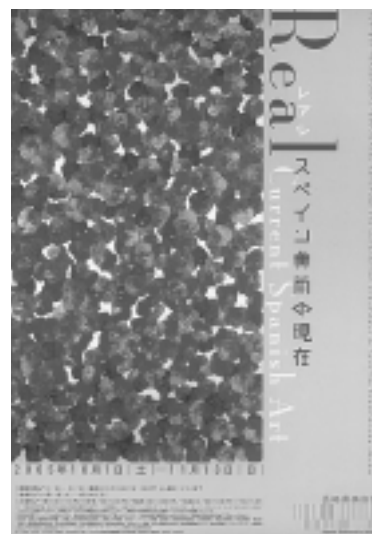
講師：伊東順二

日時：10月9日(日) 14:00～16:00

参加者数：約80人

## 出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
1	パブロ・ピカソ	女の顔	1901年	油彩/厚紙	46.7×31.5	笠間日動美術館
2	パブロ・ピカソ	うずくまる女	1902年	油彩/カンヴァス	65×50	アサヒビール株式会社



(3) 講演会「亡命者とスペイン美術」

講師：松田健児(上智大学講師)

日時：10月16日(日) 14:00～16:00

参加者数：45人

(4) 講演会「ピカソ入門」

講師：福満葉子(長崎県美術館学芸員)

日時：10月23日(日) 14:00～16:00

参加者数：約80人

(5) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週水曜日14:00～14:30、毎週金曜日18:00～18:30

(6) 親子鑑賞会

日時：10月16日(日)、10月29日(土) 10:30～12:00

参加者数：28組(76人)、14組(38人)

(7) 映画上映会

・「アンダルシアの犬」「サバイビング・ピカソ」

日時：10月10日(月・祝)、10月22日(土) 16:00～18:35

参加者数：160人、60人

・「アンダルシアの犬」「オール・アバウト・マイ・マザー」

日時：10月15日(土)、10月29日(土) 16:00～18:10

参加者数：60人、61人

## 主要記事等：

・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK長崎放送局)平成17年10月6日放送

・吉岡和佳子「『リアル スペイン美術の現在』3大巨匠から現代まで 2部構成で幅広く紹介」『長崎新聞』(文化面)平成17年10月23日

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
3	パブロ・ピカソ	肘かけ椅子のベルベット帽の女と鳩	1915 - 16年	油彩 / カンヴァス	81.7 × 66	宮崎県立美術館
4	パブロ・ピカソ	ひじ掛け椅子で眠る女	1927年	油彩 / カンヴァス	92 × 73	横浜美術館
5	パブロ・ピカソ	静物 パレット、燭台、ミノタウロ スの頭部	1938年	油彩 / カンヴァス	73.7 × 90.2	京都国立近代美術館
6	パブロ・ピカソ	鳩のある静物	1941年	油彩 / カンヴァス	60 × 73	長崎県美術館
7	ファン・グリス	コップと瓶	1917年	油彩 / 板	54.3 × 32.1	大原美術館
8	ファン・グリス	果物皿と新聞	1918年頃	油彩 / カンヴァス	92 × 65	静岡県立美術館
9	ジュリオ・ゴンサレス	仮面「影と光」	1930年頃	鉄	24.8 × 10.5 × 5.5	横浜美術館
10	ジョアン・ミロ	赤い扇	1916年	油彩 / 厚紙	103 × 73	彫刻の森美術館
11	ジョアン・ミロ	恋人たち	1928年	グアッシュ、木炭 / 紙	72.7 × 109.2	フジテレビジョン
12	ジョアン・ミロ	作品	1930年	鉛筆 / 紙	61 × 44.5	大原美術館
13	ジョアン・ミロ	カーベットののための下絵	1936年	グアッシュ / 紙	38.2 × 25.5	笠間日動美術館
14	ジョアン・ミロ	絵画	1936年	油彩、カゼイン塗料、ター ル、砂 / メゾナイト	88 × 118	長崎県美術館
15	ジョアン・ミロ	マキモノ	1956年	捺染 / 絹地	41 × 990	大原美術館
16	サルバドール・ダリ	姿の見えない眠る人、馬、獅子	1930年	油彩 / カンヴァス	60.6 × 70.4	ポーラ美術館 (ポーラコレクション)
17	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスが クビドをめざめさせようとする ヴィーナスにもう少し待って欲しい と頼む	1963年	油彩 / カンヴァス	43 × 55	長崎県美術館
18	オスカル・ドミンゲス	地獄の機械	1937年	油彩 / カンヴァス	92 × 73	宮崎県立美術館
19	オスカル・ドミンゲス	日曜日	1938年	油彩 / カンヴァス	61 × 50	横浜美術館
20	アントニ・タビエス	絵画 No. X X VIII	1955年	油彩他 / 板に貼ったカン ヴァス	194.5 × 129.7	福岡市美術館
21	アントニ・タビエス	茶の上の黄土	1964年	ミクストメディア / カン ヴァス	68 × 50	長崎県美術館
22	アントニ・タビエス	ひび割れた黒と白い十字	1976年	ミクストメディア / 木	162 × 131	三重県立美術館
23	アントニ・タビエス	身体のコンプозиション	2003年	ミクストメディア・アサ ンブラージュ / 板	210 × 448	長崎県美術館
24	アントニオ・ロペス・ガル シア	フランシスコ・カレテロ	1961 - 87年	油彩 / 板	91.4 × 78.2	長崎県美術館
25	エドゥアルド・ナランホ	自画像「私は七月に犬の頭蓋骨を描 いている」	1985 - 91年	油彩・テンペラ / 板	122 × 92	長崎県美術館
26	ギジェルモ・ベレス・ピ ジャルタ	奉献	1992年	油彩 / カンヴァス	223 × 180	丸亀平井美術館
27	ギジェルモ・ベレス・ピ ジャルタ	岸辺の壁	1992年	油彩 / 厚紙	100 × 70	丸亀平井美術館
28	ギジェルモ・ベレス・ピ ジャルタ	貯水槽とサイロ	1992年	油彩 / 厚紙	100 × 70	丸亀平井美術館
29 1	アルナウ・アレマニ	孤独の家 I	1992 - 93年	アクリル絵の具、油彩、 ミクストメディア / 厚紙	65 × 50	丸亀平井美術館
29 2	アルナウ・アレマニ	孤独の家 II	1992 - 93年	アクリル絵の具、油彩、 ミクストメディア / 厚紙	65 × 50	丸亀平井美術館
29 3	アルナウ・アレマニ	孤独の家 III	1992 - 93年	アクリル絵の具、油彩、 ミクストメディア / 厚紙	65 × 50	丸亀平井美術館
29 4	アルナウ・アレマニ	孤独の家 IV	1992 - 93年	アクリル絵の具、油彩、 ミクストメディア / 厚紙	65 × 50	丸亀平井美術館
30	ラモン・デ・ソト	連絡階段	1997年	鋼	35.3 × 17	三重県立美術館
31	ラモン・デ・ソト	沈黙の建築Ⅳ (3点組)	1997年	鋼	20.5 × 39.9 × 4	三重県立美術館
32	カルメン・カルボ	厨房	1994年	ミクストメディア、セメ ント、ガラス、木	76 × 79.5 (テーブル)	三重県立美術館
33	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園あるいはヴァルター・ベン ヤミンのボル・ボウでの最期	1999年	油彩 / 布・木・鉄	352 × 412	長崎県美術館
34	ホセ・マリア・シシリア	衝立 小さな花々 IV	1998年	油彩、蠟、紙 / 板	212 × 124	三重県立美術館
35	ホセ・マリア・シシリア	衝立 小さな花々 V	1998年	油彩、蠟、紙 / 板	210 × 122	三重県立美術館
36	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光	2002年	油彩、蠟 / 板	185 × 157	アート・オフィス・シオ バラ



番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
37	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光	2004年	油彩、蝋 / 板	185 × 157	アート・オフィス・シオ バラ
38	アントニオ・ムラド	無題	1993年	油彩 / カンヴァス	150 × 200	丸亀平井美術館
39	アントニオ・ムラド	ディプティック (赤と灰色)	2002年	ワックス、ニス、油彩 / カンヴァス	269 × 411	長崎県美術館
40	ラファエル・カノガール	プロナオス	2004年	ミクストメディア / 板	244 × 366	メタ画廊、マドリード
41	マヌエル・サリナス	無題	1995年	油彩 / カンヴァス	210 × 200	個人蔵、マドリード
42	アントン・ラマサレス	憂愁のオレンジ XII	2004年	ミクストメディア / 厚紙	108 × 222	メタ画廊、マドリード
43	アドルフォ・バルナタン	無題	2005年	銅	164 × 148 × 2	メタ画廊、マドリード
44	ナチョ・クリアド	私を見て...目は使わずに	2005年	銅	320 × 320 × 12	メタ画廊、マドリード
45	アンドレウ・アルファロ	非対称の塔 II	2001年	銅	170 × 20 × 20	メタ画廊、マドリード
46	エドゥアルド・ウルクロ	ピアノ	2002年	アクリル / カンヴァス (二幅対)	200 × 440	メタ画廊、マドリード
47	カルメン・ラフォン	即席のテーブルII	2004年	木炭 / 紙	118 × 178	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
48	エドゥアルド・ナランホ	パネサ	2001 - 02 年	油彩 / カンヴァス	210 × 250	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
49	ロベルト・ゴンサレス	バベルの混乱	2000 - 02 年	油彩 / カンヴァス	114 × 146	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
50	ヘラルド・ビータ	中国漆器のある静物	2004年	油彩 / カンヴァス	114 × 146	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
51	クララ・ガングティア	3月	2002年	油彩 / カンヴァス	73 × 100	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
52	セサル・ルエンゴ	緑の上の波動	1992年	油彩 / 板	65 × 96	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
53	フェルナンド・ロドリゴ	夕ボール	2003年	油彩 / 板	163 × 81	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
54	フリオ・ロベス・エルナン デス	記念日のためのテーブルクロス	1989年	ブロンズ	83.5 × 42 × 28.5	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード
55	ラファエル・ムジョル	果物皿	2000年	ブロンズ	47 × 45 × 11	レアンドロ・ナバロ画廊、 マドリード

## 「ベルギー象徴派展」

平成17年11月17日(木)～1月5日(木) \*44日間 会場：企画展示室

### 概要：

19世紀末のベルギーにおいて、夢や不安、生(性)と死といった人間の存在にかかわる本質的な主題を、謎めいた神秘的な造形に昇華させた象徴派。この展覧会では、見る者をとらえて離さないその魅力をクノッッフやアンソールらの代表作95点によって紹介した。

### 開催形態：巡回展

主催：長崎県美術館、NBC 長崎放送、長崎新聞社  
後援：ベルギー王国大使館、長崎県、長崎県教育委員会  
協力：日本航空、ヤマトロジスティクス  
企画協力：ホワイトインターナショナル



### 観覧料：

一般900(700)円、大学生・70歳以上700(500)円、  
中高生500(300)円  
( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
小学生以下は無料

観覧者数：7,744人(一日あたり176人)

出品点数：95点

### 関連事業：

- (1) 講演会「反復と差異 ベルギー象徴派について」  
講師：本江邦夫(多摩美術大学教授・府中市美術館館長)  
日時：11月20日(日) 14:00～16:00  
参加者数：55人
- (2) 講演会「アンソールとクノッッフ」  
講師：福満葉子(長崎県美術館学芸員)  
日時：12月11日(日) 14:00～16:00  
参加者数：約50人

### (3) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週日曜日15:00～15:30(11月20日、11月27日、  
12月11日は除く)

### (4) ベルギーアニメ上映会

・「タンタンの冒険 めざすは月/月世界旅行」

日時：11月27日(日)

参加者数：計167人

・「タンタンの冒険 ファラオの葉巻/青い蓮」

日時：12月10日(土)

・「タンタンの冒険 タンタンチベットをゆく/紅海のサメ」

日時：12月18日(日)

各日13:00～、16:00～2回上映

### 主要記事等：

- ・福満葉子「寄稿『ベルギー象徴派』とは(上)見えない観念を暗示」『長崎新聞』平成17年12月7日
- ・福満葉子「寄稿『ベルギー象徴派』とは(下)記憶と虚構に生きる」『長崎新聞』平成17年12月14日

### 出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
1	フェリシアン・ロップス	踊る死神	1865年頃	鉛筆、白チヨーク/紙	25×13	ナミュール州立フェリシアン・ロップス美術館
2	フェリシアン・ロップス	漂着物	1866年	エッチング/紙	19.2×14	マリモン王立美術館
3	フェリシアン・ロップス	怪物を創る魔王	1867年	写真凸版、ソフトグラウンドエッチング/紙	20.5×27.8	マリモン王立美術館
4	フェリシアン・ロップス	娼婦政治家	1878年	エッチング、アクアティント/紙	23.2×18	リエージュ版画館
5	フェリシアン・ロップス	『魔性の女たち』	1879年	リトグラフ/紙		個人蔵
		a) 毒麦を蒔く魔王			27.8×20.5	
		b) 略奪			28.1×20.8	
		c) 偶像			28.2×20.7	
		d) 生贖			27.5×22.0	
		e) 磔刑			27.8×20.5	

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
6	フェリシアン・ロップス	女友達	1880年頃	水彩、鉛筆、グワッシュ / 紙	33.5 × 23.5	個人蔵
7	フェリシアン・ロップス	『魔性の女たち』	1882年	鉛筆、リトクレヨン、黒鉛、墨 / アート紙	各26.5 × 17	個人蔵
		a) 偶像				
		b) 生贄				
		c) 磔刑				
8	フェリシアン・ロップス	至高の悪徳	1884年	ソフトグラウンドエッチング / 紙	39.5 × 28.5	マリモン王立美術館
9	フェリシアン・ロップス	好奇心の強い女	1886年	銅版画 / 紙	30.9 × 23.6	マリモン王立美術館
10	フェリシアン・ロップス	『悪魔のような女たち』	1888 - 89年			ナミュール州立フェリシアン・ロップス美術館
		a) スフィンクス		写真凸版 / 紙	28.7 × 20.5	
		b) 深紅のカーテン		写真凸版 / 紙	28.7 × 20.7	
		c) ドン・ファンのもっと美しい愛人		写真凸版 / 紙	27.820.3	
		d) 罪の中の幸福		写真凸版 / 紙	28.320.6	
		e) ホイストのカードの裏側		写真凸版、アクアティント、ソフトグラウンドエッチング	27.620.7	
		f) 無神論者の晩餐にて		写真凸版 / 紙	28.6 × 20.4	
		g) 売春と狂気が世界を支配する		写真凸版、ソフトグラウンドエッチング	28.3 × 20.4	
		h) ある女の復讐		ドライポイント、アクアティント / 紙	23.1 × 17	
		i) 盗みと売春が世界を支配する		エッチング、ドライポイント / 紙	26 × 17	
11	フェリシアン・ロップス	キュテラ島のぶらんこ 9 番目の詩	1889年	パステル、色鉛筆 / 紙	22.2 × 15.5	個人蔵
12	フェリシアン・ロップス	キリストの愛人	1889年	ソフトグラウンドエッチング / 紙	18.6 × 11.5	リエージュ版画館
13	シャルル・ヴァン・デル・スタッペン	スフィンクス		ブロンズ	高さ70	トゥルネー美術館
14	グザヴィエ・メルリ	マルケン島の少女	1882年頃	水彩、ペン / 紙	51 × 25.5	個人蔵
15	グザヴィエ・メルリ	時の円舞曲	1890年	油彩 / キャンヴァス	47 × 73	個人蔵
16	グザヴィエ・メルリ	野バラ	1895年	鉛筆、木炭、金、油彩 / キャンヴァスで裏打した紙	80 × 57.5	個人蔵
17	グザヴィエ・メルリ	わが家の玄関	1899年頃	油彩 / キャンヴァス	71 × 55.7	個人蔵
18	グザヴィエ・メルリ	美の理想たる神をその身に宿し、そしてその神に従える者は幸いなり	1901年頃	水彩、金 / 紙	66.4 × 46.4	個人蔵
19	グザヴィエ・メルリ	ベギン会修道院	1912年頃	鉛筆 / 紙	44 × 29	個人蔵
20	グザヴィエ・メルリ	礼拝堂にて		混合技法 / 紙	58.5 × 80	個人蔵
21	グザヴィエ・メルリ	扉		油彩 / キャンヴァス	72.5 × 58	個人蔵
22	グザヴィエ・メルリ	マルケン島にて		混合技法 / 紙	52 × 77	個人蔵
23	レオン・フレデリック	アトリエの内部	1882年	油彩 / キャンヴァス	158 × 117	ブリュッセル、イクセル美術館
24	レオン・フレデリック	アルセンベルグ街道	1883年	油彩 / 板で裏打したキャンヴァス	20 × 45	個人蔵
25	レオン・フレデリック	チュルキー通り	1883年	油彩 / 板で裏打したキャンヴァス	20 × 45	個人蔵
26	レオン・フレデリック	無題(ジュリアン・ディレンスに捧ぐ)	1888年	鉛筆、色鉛筆 / 紙	170 × 100	個人蔵
27	レオン・フレデリック	祝福を与える人	1889年	油彩 / キャンヴァス	59 × 59	個人蔵
28	レオン・フレデリック	聖三位一体	1892年	油彩 / キャンヴァス	136 × 110	ナフレチュール、聖アンナ教会
29	レオン・フレデリック	三姉妹	1896年	油彩 / キャンヴァス	120.5 × 95	個人蔵
30	レオン・フレデリック	キャベツを持つ少女	1898年	木炭 / 紙	96.4 × 58.8	個人蔵
31	フェルナン・クノッフ	「聖アントニウスの誘惑」または「シバの女王」(フローベールより)	1883年	油彩、木炭 / キャンヴァスで裏打した紙	85 × 85	個人蔵
32	フェルナン・クノッフ	ジョルジュ・ローデンバックと共に 死都	1889年	パステル、墨 / 紙	64.5 × 47.5	個人蔵

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
33	フェルナン・クノッフ	グレゴワール・ル・ロワと共に わが心は過去に涙す	1889年	鉛筆、チョーク / 紙	25.5 × 14.5	個人蔵
34	フェルナン・クノッフ	フォッセにて 雨	1890年	油彩 / キャンヴァス	19 × 23.5	個人蔵
35	フェルナン・クノッフ	一日の終わり	1891年	パステル / 紙	24.5 × 34.5	個人蔵
36	フェルナン・クノッフ	ヴィクトリア 長い赤毛は炎のように	1892年	パステル / 紙	70.5 × 28.5	個人蔵
37	フェルナン・クノッフ	アクレイジア、『妖精の女王』より	1892年	油彩 / キャンヴァス	150.8 × 45	個人蔵
38	フェルナン・クノッフ	ブリトマート、『妖精の女王』より	1892	油彩 / キャンヴァス	150.8 × 45	個人蔵
39	フェルナン・クノッフ	蒼い翼	1894年	油彩、キャンヴァス	88.5 × 28.5	個人蔵
40	フェルナン・クノッフ	《愛撫》のための習作	1896年	色鉛筆、白のハイライト / 紙	直径14.8	個人蔵
41	フェルナン・クノッフ	フォッセの橋	1897年頃	油彩 / キャンヴァス	44 × 64	個人蔵
42	フェルナン・クノッフ	疑念	1897年以降	加工写真	29 × 19.8	個人蔵
43	フェルナン・クノッフ	メデューサの首	1900年	ブロンズ	高さ71	個人蔵
44	フェルナン・クノッフ	ブリュージュ 教会またはブリュージュの聖母、教会の内部	1904年	鉛筆、パステル / 紙	100 × 122	ヴェルヴィエ市立美術館
45	フェルナン・クノッフ	フランドルの思い出 運河	1904年	鉛筆、木炭、パステル / 紙	25 × 41.5	個人蔵
46	フェルナン・クノッフ	ブリュージュにて 正門	1904年	色鉛筆 / 紙	22 × 43	個人蔵
47	フェルナン・クノッフ	ブリュージュにて ブリュージュのたたずまい、愛の湖	1904年	鉛筆、パステル / 紙	47 × 101	個人蔵
48	フェルナン・クノッフ	ブリュージュの思い出 ベギン会修道院の入口	1904年	パステル、墨 / 紙	27 × 43.5	個人蔵
49	フェルナン・クノッフ	ブリュージュにて、聖ヨハネ施療院	1904年頃	色鉛筆、鉛筆 / カルトンで裏打した紙	29 × 50.5	個人蔵
50	フェルナン・クノッフ	メリザンド	1908年	色鉛筆、パステル / 紙	50 × 27	個人蔵
51	ヤン・トーロップ	二人の女	1893年	鉛筆、色鉛筆、水彩 / 褐色の紙 (画家の手になるフレーム)	24.5 × 37.5	個人蔵
52	ポール・デュボワ	最後の口づけ (オルフェウス伝説)	1909年	大理石	64.5 × 74 × 45	リエージュ市立ワロン美術館
53	ジェームズ・アンソール	未来派を予告する光景	1886年	黒鉛、色鉛筆、パステル、金 / 紙	53 × 61	個人蔵
54	ジェームズ・アンソール	ルンペンたちの喧嘩	1887年	鉛筆 / 紙	34.5 × 22.5	個人蔵
55	ジェームズ・アンソール	オステンドの海水浴場	1890年	混合技法 / 板	37.5 × 45.5	個人蔵
56	ジェームズ・アンソール	人間の群れを狩り出す死	1896年	銅版画 / 紙	23.5 × 17.5	個人蔵
57	ジェームズ・アンソール	キリストのブリュッセル入城	1898年	銅版画 / 紙	24.8 × 35.5	個人蔵
58	シャルル・ドゥドゥレ	命の糸を持つ四姉妹	1897年	油彩 / キャンヴァス	32 × 42	個人蔵
59	シャルル・ドゥドゥレ	廃位	1906年	油彩 / キャンヴァス	155 × 116	個人蔵
60	オーギュスト・ドネイ	人生の三段階	1889年	油彩 / キャンヴァス	119 × 210	エヌー市文化財
61	アルマン・ラッセンフォス	劫罰	1895年	パステル、鉛筆 / 紙	44.5 × 17.3	個人蔵
62	アルマン・ラッセンフォス	帝権		パステル / 紙	32 × 23	個人蔵
63	コンスタン・モンタルド	文学の寓意	1899年	油彩 / キャンヴァス	90 × 190	個人蔵
64	コンスタン・モンタルド	三美神	1902年	混合技法 / キャンヴァス	90 × 70	個人蔵
65	ウジェーヌ・ラルマンヌ	背徳	1889年	油彩 / キャンヴァス	99 × 54	個人蔵
66	エミール・ファブリ	仕草あるいは秋	1895年	油彩 / キャンヴァス	90 × 99	個人蔵
67	エミール・ファブリ	休息と武勲	1914 - 16年頃	油彩 / キャンヴァス	90 × 124	個人蔵
68	ジョルジュ・ミンヌ	傷ついた若者	1898年	ブロンズ	高さ30	個人蔵
69	ジョルジュ・ミンヌ	放蕩息子		ブロンズ	高さ59	個人蔵
70	アンリ・ド・グルー	ワーグナーの肖像	1890年	パステル、墨 / 紙	105 × 75	個人蔵
71	アンリ・ド・グルー	ゼンタ、「さまよえるオランダ人」より	1890頃	パステル / キャンヴァス	282 × 141	個人蔵
72	アンリ・ド・グルー	嘲弄されるキリスト		油彩 / キャンヴァス	141 × 172.5	個人蔵
73	ウィリアム・ドグーヴ・ド・ヌンク	夜の効果	1896年	パステル / 紙	49.2 × 66.7	イクセル市立美術館
74	ウィリアム・ドグーヴ・ド・ヌンク	爛れた森	1898年	油彩 / キャンヴァス	66 × 127	個人蔵
75	ウィリアム・ドグーヴ・ド・ヌンク	謎めいた森	1900年	油彩 / キャンヴァス	126 × 293	個人蔵
76	ジャン・デルヴィル	バルジファル	1890年	油彩 / キャンヴァス	90 × 60	個人蔵

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
77	ジャン・デルヴィル	赤死病の仮面	1890年頃	木炭、パステル/キャン ヴァスで裏打した紙	66×38	個人蔵
78	ジャン・デルヴィル	帝権	1892年	ブルーイヌ(青色顔料) /紙	15.3×56.5	トゥルネー美術館
79	ジャン・デルヴィル	死せるオルフェウス	1893年	油彩/キャンヴァス	82×103	個人蔵
80	ジャン・デルヴィル	栄華を司る天使	1894年	油彩/キャンヴァス	127×146	個人蔵
81	ジャン・デルヴィル	エレウシスの女たち	1931年	油彩/キャンヴァス	140×179	トゥルネー美術館
82	ジョルジュ・ル・ブラン	室内 ジャがいもの皮をむく子供	1895年	木炭/紙	66.5×41	ヴェルヴィエ市立美術館
83	ジョルジュ・ル・ブラン	クマシデの大木(桃色の雲)	1903年?	水彩、パステル/紙	48×62	ヴェルヴィエ市立美術館
84	ジョルジュ・ル・ブラン	立ち去る少女		鉛筆/厚紙で裏打した紙	63×48.5	リエージュ市立ワロン美術館
85	レオン・スピリアルト	雲	1902年	鉛筆、墨/紙	25.3×37.2	個人蔵
86	レオン・スピリアルト	猛禽	1902年	鉛筆、墨、木炭、水彩/紙	37.9×26.2	個人蔵
87	レオン・スピリアルト	七人の黒衣の女(七人の王女)	1902-03年	鉛筆、墨/紙	31.1×39	個人蔵
88	レオン・スピリアルト	猛禽	1903年	墨、チョーク/紙	50.5×35.6	個人蔵
89	レオン・スピリアルト	姦通	1903年頃	墨、チョーク/紙	50.5×35.6	個人蔵
90	レオン・スピリアルト	オステンドのタバ	1908年	墨/紙	64.8×49.8	個人蔵
91	レオン・スピリアルト	少女たちと波	1908年	墨、色鉛筆、色チョーク、 水彩/紙	63.2×47.8	個人蔵
92	レオン・スピリアルト	待つ女	1908年	墨、チョーク、水彩/紙	63×48	個人蔵
93	レオン・スピリアルト	植木のある静物	1909年	墨、色鉛筆/紙	55×48.5	個人蔵
94	レオン・スピリアルト	セマホア信号所	1909年頃	グワッシュ、水彩/紙	48.5×36	個人蔵
95	レオン・スピリアルト	上昇	1910年	墨、色鉛筆/紙	37.8×30	個人蔵

## 「南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵 魅惑の17～19世紀フランス絵画展」

平成18年1月11日(水)～2月12日(日) \*32日間 会場：企画展示室

### 概要：

ファーブル美術館の名品90点によって、17世紀から20世紀初頭までのフランス絵画の流れを概観する展覧会。クールベの代表作《出会い、こんにちはクールベさん》や、「印象派」としての活躍を始める直前に普仏戦争で命を奪われたバジールの清冽な作品群など、日本初公開の作品を多数含む内容となった。

開催形態：巡回展、実行委員会形式

主催：長崎県美術館、読売新聞西部本社、NIB 長崎国際テレビ、美術館連絡協議会

後援：文化庁、フランス大使館、長崎県、長崎県教育委員会

協力：日本航空

協賛：花王株式会社

### 観覧料：

一般1,000(800)円、高大生800(600)円、中学生500(300)円、70歳以上700(500)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
小学生以下は無料

観覧者数：22,461人(一日あたり702人)

出品点数：90点

解説ツール：音声ガイド、子ども用リーフレット

### 関連事業：

(1) 講演会「フランス絵画の近代 その栄光と魅力」

講師：高階秀爾(大原美術館館長)

日時：1月22日(日) 14:00～16:00

参加者数：195人

(2) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週水・日曜日14:00～14:30(1月11日、1月22日を除く)

(3) フランス映画上映会

・「アラン・レネ短編傑作選」

日時：1月14日(土)、2月4日(土) 16:00～

参加者数：各日約50人



・「月世界旅行」「ジャン・リュック・ゴダール短編傑作選」

日時：1月28日(土)、2月11日(土) 16:00～

参加者数：各日約50人

### 主要記事等：

・福満葉子「南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵 魅惑の17～19世紀フランス絵画展 華麗 仏美術の精髓」『長崎新聞』平成17年12月16日

・福満葉子「見に来て！絵を『読む』楽しみ」『読売新聞』平成18年1月8日

・福満葉子「魅惑の17～19世紀フランス絵画展から(1)ギュスターヴ・クールベ『出会い、こんにちはクールベさん』」『読売新聞』平成18年1月17日

・福満葉子「魅惑の17～19世紀フランス絵画展から(2)フレデリック・バジール『身づくろい』」『読売新聞』平成18年1月18日

・福満葉子「魅惑の17～19世紀フランス絵画展から(3)アレクサンドル・カバネル『アルベド』」『読売新聞』平成18年1月21日

・福満葉子「魅惑の17～19世紀フランス絵画展から(4)シモン・ヴーエ『賢明の寓意』」『読売新聞』平成18年1月22日

・福満葉子「魅惑の17～19世紀フランス絵画展から(5)フランソワ＝グザヴィエ・ファーブル『アベルの死』」『読売新聞』平成18年1月23日

・伊東順二『SIGNATURE』(シティカードジャパン)平成18年2月号

### 出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	シモン・ヴーエ	賢明の寓意	1645年頃	油彩/カンヴァス	116.5×90.5
2	ニコラ・プッサン	眠るサテュロスのいる風景	1626年頃	油彩/カンヴァス	75.0×90.0
3	ローラン・ド・ラ・イール	笛を吹く羊飼いのいる風景	1647年	油彩/カンヴァス	59.0×78.0

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
4	セバスティアン・ブールドン	パイプを吸う男のいる居酒屋 (放浪者たちの休息)		油彩 / 板	38.5 × 53.5
5	セバスティアン・ブールドン	悪魔にとりつかれた人を治癒するイエス	1655年頃	油彩 / カンヴァス	110.5 × 144.0
6	セバスティアン・ブールドン	パラティヌス伯アドルフ・ヨハン・ド・ファルツの肖像	1652年頃	油彩 / カンヴァス	108.0 × 90.0
7	作者不詳 (17世紀後半のフランス画家)	ケパロスとプロクリスのいる風景		油彩 / カンヴァス	156.0 × 138.0
8	ニコラ・ド・ラルジリエール	自画像	1726年頃	油彩 / カンヴァス	80.5 × 64.0
9	ルイ・ド・シルヴェストル	ミネルヴァの助けを得たプロメテウスによる人間の創造	1702年	油彩 / カンヴァス	144.0 × 182.0
10	ジャン・ラウー	ソロモンの審判	1710年	油彩 / カンヴァス	63.0 × 103.0
11	カール・ヴァンロー	善きサマリア人	1723年	油彩 / カンヴァス	55.0 × 45.5
12	ジョゼフ＝マリ・ヴィアン	死に襲われるオサ	1742 - 43年	油彩 / カンヴァスに裏打ちされた紙	40.5 × 57.0
13	ジョゼフ＝マリ・ヴィアン	岩を打つモーセ	1742 - 43年	油彩 / カンヴァスに裏打ちされた紙	40.5 × 57.0
14	ジョゼフ＝マリ・ヴィアン	フランス人に福音を説く聖ドニ	1767年	油彩 / カンヴァス	110.8 × 65.7
15	ジョゼフ＝マリ・ヴィアン	決して愛さないことを誓うふたりの若きギリシャ娘	1773年頃	油彩 / カンヴァスに裏打ちされた紙	31.0 × 19.0
16	フランソワ＝アンドレ・ヴァンサン	ペリサリウス (乞食に身を落とし、ユスティニアヌス帝の軍隊の兵士に助けられる)	1776年	油彩 / カンヴァス	98.0 × 130.0
17	ノエル・アレ	子供たちと遊ぶアゲシラウス	1779年	油彩 / カンヴァス	76.0 × 96.0
18	ジャン＝パティスト・グルーズ	中風患者の胸像	1772 - 75年	油彩 / カンヴァス	64.0 × 54.0
19	ジャン＝パティスト・グルーズ	両手を組み合わせた少女	1780年以後	油彩 / カンヴァス	41.0 × 38.0
20	クロード＝ジョゼフ・ヴェルネ	穏やかな海の景色	1745年	油彩 / カンヴァス	58.0 × 108.5
21	ユベール・ロベール	橋	1776年	油彩 / カンヴァス	77.5 × 106.0
22	ジャック＝ルイ・ダヴィッド	アルフォンス・ルロワの肖像	1783年頃	油彩 / カンヴァス	73.0 × 93.0
23	ルイ・ゴフィエ	ホランド夫人	1794年	油彩 / カンヴァス	54.5 × 43.0
24	ルイ・ゴフィエ	パラディジノから見たヴァロンプロザ修道院とアルノ渓谷	1796年	油彩 / カンヴァス	39.0 × 50.5
25	ニコラ・ディディエ・ボゲ	ステュムパロス湖畔で鳥退治をするヘラクレス		デトランプ / カンヴァス	73.0 × 99.0
26	フランソワ＝グザヴィエ・ファール	セデキアの息子たちを殺させているネブカドネザル	1787年	油彩 / カンヴァス	44.5 × 55.0
27	フランソワ＝グザヴィエ・ファール	アベルの死	1790年	油彩 / カンヴァス	146.0 × 198.0
28	フランソワ＝グザヴィエ・ファール	プシュケに扮したシャルルモン夫人の肖像	1796年	油彩 / カンヴァス	58.0 × 46.0
29	フランソワ＝グザヴィエ・ファール	ナルキッソスの死	1814年	油彩 / カンヴァス	119.0 × 168.0
30	フランソワ＝グザヴィエ・ファール	若き自画像	1784年頃	油彩 / カンヴァス	53.0 × 43.0
31	アンヌ＝ルイ・ジロデ＝トリオン	アルタクセルクセスの贈物を断るヒポクラテス	1791年	油彩 / カンヴァス	26.0 × 38.0
32	シャルル・メニエ	ティモレオン	1791年	油彩 / カンヴァス	48.5 × 65.0
33	ピエール＝アタナーズ・ショーヴァン	ナポリ近辺の風景	1811年	油彩 / カンヴァス	44.0 × 60.0
34	アシル＝エトナ・ミシャロン	レムノス島のピロクテテス	1822年	油彩 / カンヴァス	60.0 × 99.0
35	ウジェーヌ・ドラクロワ	ライオンの穴の中のダニエル	1849年( ? )	油彩 / カンヴァス	67.0 × 49.0
36	ウジェーヌ・ドラクロワ	エウリュディケを救うオルフェウス		油彩 / カンヴァス	61.0 × 50.0
37	ウジェーヌ・ドラクロワ	室内のアルジェの女性たち		油彩 / カンヴァス	85.0 × 120.0
38	ウジェーヌ・ドラクロワ	アスパジエの肖像 (混血娘アリーヌ)	1824年頃	油彩 / カンヴァス	81.0 × 65.0
39	シャルル＝ヴァシェ・ド・トゥルヌミーヌ	小アジアでのトルコの女性たちの散歩、日の入り		油彩 / カンヴァス	71.0 × 130.0

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
40	エドゥアール＝フランソワ・ベルタン	ラヴェルニャ山の頂上から眺めたアペニン山脈	1836年	油彩 / カンヴァス	182.0 × 42.0
41	アレクサンドル・ルイ・マリー・テオドル・リシャール	ポーの町と城の眺め	1844年	油彩 / カンヴァス	105.0 × 154.0
42	カミーユ・ロクブラン	海景、人物のいる浜辺		油彩 / カンヴァス	38.0 × 65.0
43	ジャック＝レモン・ブラスカッサ	動物たちのいる風景	1835年	油彩 / カンヴァス	115.5 × 147.5
44	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	エリソンの城の廃墟	1871年	油彩 / カンヴァス	71.0 × 104.5
45	ウジェーヌ・エルネスト・イルマシエール	マルグリット・ダンジュール	1866年	油彩 / カンヴァス	116.0 × 90.5
46	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	朝、霧の効果	1853年	油彩 / 板	25.3 × 35.4
47	ポール・ユエ	バ＝ムードンの眺め、霧の効果		油彩 / カンヴァス	66.5 × 103.5
48	テオドル・ルソー	沼	1840年頃	油彩 / カンヴァス	53.0 × 64.0
49	ジュール・ローランス	フォンテーヌブローの砂地の道、雷雨の効果	1869年頃	油彩 / カンヴァス	95.0 × 144.0
50	ナルシス・ディアズ・ドラ・ペーニャ	違いびき	1849年	油彩 / カンヴァス	28.0 × 19.5
51	ジャン＝フランソワ・ミレー	牧神パンへの捧げ物	1845年	油彩 / カンヴァス	52.5 × 29.0
52	オクターヴ・タセル	捨て子	1852年	油彩 / カンヴァス	46.0 × 38.0
53	オクターヴ・タセル	村への帰還 ( 蕩児の帰宅 )	1852年	油彩 / カンヴァス	45.0 × 37.0
54	アレクサンドル・カバネル	ヴェレダ	1852年	油彩 / カンヴァス	128.0 × 89.0
55	アレクサンドル・カバネル	ラ・キアルッチア	1848年	油彩 / カンヴァス	99.0 × 81.5
56	アレクサンドル・カバネル	アルベデ	1848年	油彩 / カンヴァス	98.0 × 80.0
57	アレクサンドル・カバネル	自画像 ( 29歳 )	1852年	油彩 / カンヴァス	62.4 × 47.0
58	オーギュスト＝バルテルミー・グレース	アルフレッド・ブリュイアスの書斎の内部	1848年	油彩 / カンヴァス	50.1 × 60.1
59	オーギュスト＝バルテルミー・グレース	アルフレッド・ブリュイアス ( 通称ビュルヌス ラブ人の頭巾付き袖なし外套 )	1849年	油彩 / カンヴァス	145.0 × 116.0
60	トマ・クテュール	アルフレッド・ブリュイアスの肖像	1850年	油彩 / カンヴァス	60.0 × 50.0
61	ギュスターヴ・クールベ	出会い、こんにちはクールベさん	1854年	油彩 / カンヴァス	132.0 × 150.5
62	ギュスターヴ・クールベ	縞の襟をつけた自画像	1854年	油彩 / カンヴァス	46.0 × 38.0
63	ギュスターヴ・クールベ	ボードレールの肖像	1848年	油彩 / カンヴァス	54.0 × 65.5
64	ギュスターヴ・クールベ	まどろむ糸つむぎ女	1853年	油彩 / カンヴァス	91.0 × 116.0
65	ギュスターヴ・クールベ	アンブリュッサムの橋	1857年	油彩 / 板で裏打ちされた紙	48.0 × 63.0
66	ギュスターヴ・クールベ	ラ・トゥール・ド・ファルジュの眺め		油彩 / 厚紙	48.0 × 63.0
67	アドルフ・ポール・エミール・バルフリエ	水飲み場		油彩 / カンヴァス	131.0 × 195.0
68	ウジェーヌ・カステルノ	サン・ル峰の荒地	1859年	油彩 / カンヴァス	81.0 × 129.0
69	ポール・ギゲー	プロヴァンス地方の風景	1869年	油彩 / 板	24.5 × 40.0
70	フレデリック・バジール	草の上に横たわる裸の少年	1870年	油彩 / カンヴァス	148.0 × 139.5
71	フレデリック・バジール	横たわる裸婦	1864年	油彩 / カンヴァス	70.0 × 190.0
72	フレデリック・バジール	牡丹と黒人の女性	1870年	油彩 / カンヴァス	60.0 × 75.0
73	フレデリック・バジール	身づくろい	1870年	油彩 / カンヴァス	131.0 × 127.0
74	フレデリック・バジール	路上で歌うイタリアの少女	1866年	油彩 / カンヴァス	131.0 × 98.0
75	アルフレッド・シスレー	羽根を広げられたあおさぎ	1867年頃	油彩 / カンヴァス	79.0 × 97.0
76	ジャン＝パティスト・アルマン・ギョマン	パリ郊外	1873年	油彩 / カンヴァス	116.0 × 90.0
77	アルベール・ルブール	メゾン＝ラフィットのセーヌ川	1898年	油彩 / カンヴァス	46.5 × 76.5
78	マルセラン・デブータン	乳母車		油彩 / カンヴァス	126.0 × 93.5
79	ルイ・エミール・ヴィラ	日本の衣装をつけた女性		油彩 / カンヴァス	32.0 × 23.5
80	ルイ・ジョゼフ・ラファエル・コラン	花瓶のアイリス		油彩 / カンヴァス	86.0 × 37.0
81	ウジェーヌ・カリエール	髪を結う女性	1890年頃	油彩 / カンヴァス	46.0 × 38.0
82	ウジェーヌ・カリエール	マルグリット・カリエールの肖像		油彩 / カンヴァス	81.5 × 60.0



番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
83	フレデリック・アンセルム・ロタン	かすかな記憶		油彩 / カンヴァス	196.0 × 97.0
84	アンリ・マティス	黒いナイフのある静物	1896年	油彩 / カンヴァス	57.2 × 68.5
85	アンリ・ジャン・ギヨーム・マルタン	古びた家		油彩 / カンヴァス	81.5 × 71.0
86	マキシム・エミール・ルイ・モーフラ	モルガの夕暮れ (フィニステール)	1902年	油彩 / カンヴァス	82.0 × 100.0
87	シャルル・コッテ	海岸近くのヨット	1890年	油彩 / カンヴァス	65.2 × 54.3
88	エミール・ルネ・メナール	小帆船のある風景		油彩 / カンヴァス	65.2 × 92.0
89	アシル・ロジェ	通称「ロール」の道		油彩 / カンヴァス	94.5 × 115.0
90	ジョルジュ・リブモン＝デゼニユ	湖畔の風景	1906年	油彩 / カンヴァス	74.0 × 90.0

## 「エドゥアルド・チリーダ展」

平成18年2月21日(火)～4月2日(日) \*38日間 会場：企画展示室

### 概要：

現代スペインを代表する彫刻家チリーダの作品を体系的に紹介する日本初の本格的展覧会。鉄、アラバスター、テラコッタ、紙など、チリーダが取り組んだ様々な素材による作品を幅広く網羅したほか、屋外設置の大型作品についてもマケットやパネルで紹介するなど、チリーダ芸術の全貌に迫る構成。

### 開催形態：巡回展

**主催：**長崎県美術館、長崎新聞社、エドゥアルド・チリーダ展実行委員会

**後援：**スペイン大使館、長崎県、長崎県教育委員会、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、NCM長崎ケーブルメディア、FM長崎

**協力：**日本航空

**企画協力：**空間造形コンサルタント

### 観覧料：

一般900(800)円、大学生・70歳以上800(700)円、中高生700(600)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
小学生以下は無料

**観覧者数：**7,048人(一日あたり185人)

**出品点数：**82点

### 関連事業：

(1) 講演会「空間の詩人 エドゥアルド・チリーダの芸術」

講師：中原佑介(美術評論家)

日時：3月5日(日) 14:00～15:30

参加者数：74人

(2) 講演会「チリーダの世界 出品作品を中心に」

講師：野中明(長崎県美術館学芸員)

日時：3月19日(日) 14:00～15:30

参加者数：51人

(3) ワークショップ「デコボコカード」

日時：3月11日(土) 10:30～13:00

参加者数：24人

(4) ワークショップ「コロコロテラコッタ」

日時：3月25日(土) 10:30～13:00

参加者数：24人

(5) 学芸員によるギャラリートーク

日時：2月26日(日)、3月12日(日)、3月26日(日)、4月2日(日)  
14:00～



### (6) フィルム上映会

「From Chillida to Hokusai」 / 「Chillida art and dreams」 / 「Chillida-Portrait of an Artist vol 24」

日時：3月12日(日)、3月26日(日) 15:00～

参加者数：各回約50人

### 主要記事等：

- ・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK長崎放送局)平成18年3月2日放送
- ・野中明「チリーダ展に寄せて 上、下」『長崎新聞』平成18年3月7日、8日朝刊
- ・「アートシーン」『新日曜美術館』(NHK教育)平成18年3月12日放送
- ・山口洋三「エドゥアルド・チリーダ展」『朝日新聞』(西部版)平成18年3月17日夕刊
- ・港千尋「連載：こころの風景 ようこそチリーダ」『朝日新聞』平成18年3月20日夕刊
- ・高塚かず子「寄稿：魅せられたチリーダの世界」『長崎新聞』平成18年3月21日
- ・池田和正「空間生かした鉄の彫刻『エドゥアルド・チリーダ展』」『読売新聞』(西部版)平成18年3月23日
- ・伊東順二「宇宙の櫛」『SIGNATURE』(シティカードジャパン)平成18年3月号
- ・野中明「『黒い光』が育んだ抽象空間への誘い エドゥアルド・チリーダ展」『版画芸術』no.132、平成18年
- ・速水史郎「長崎のチリーダ展(前編)(後編)」『美術の窓』no.273、274、平成18年6・7月号

## 出品リスト:

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
S 1	夢の金床Ⅲ	1958年	鉄、木	71×28×19	IVAM バレンシア近代美術館、バレンシア自治州
S 2	夢の金床ⅩⅢ	1962年	鉄、木	74×54×27	テレフォニカ・アート・コレクション、マドリード
S 3	空間の転調Ⅱ	1963年	鉄	57×78×61.5	ヴィルヘルム・レームブルック美術館、デュースブルク
S 4	場所、碑Ⅵ	1987年	スチール	111.5×18×12	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
S 5	森Ⅳ	1990年	スチール	108×75×75	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
S 6	碑ⅩⅤ	1992年	スチール	115×16.5×20	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
S 7	限界にてⅢ	1998年	スチール	41.5×80×46	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
S 8	異端の建築Ⅲ	2000年	アラバスター	53.5×57.5×52.5	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 1	平和の空間Ⅰ	1965年	スチール	19×21.6×38.1	個人蔵
M 2	空虚礼賛Ⅰ	1975年	スチール	22×12.5×10.5	個人蔵
M 3	ベルクソンのための碑	1977年	スチール	20.3×12.7×10.2	個人蔵
M 4	ゲーテの家	1981年	スチール	30×25×42	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 5	寛容の記念碑のためのプロジェクト	1982年	スチール	12×31×27	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 6	水平線礼賛Ⅰ (ヒホンのためのプロジェクト)	1985年	スチール	20×30×24	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 7	水礼賛のための習作Ⅱ	1986年	スチール	17.5×17.5×10	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 8	グルノーブルの記念碑の習作	1989年	スチール	17.5×9.5×9	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 9	音楽について、ダラスのためのプロジェクトⅩ	1989年	スチール	15.5×19×17	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 10	鉄礼賛Ⅱ	1990年	スチール	36×13×7	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 11	北斎へのオマージュのためのマケット	1991年	スチール	22×43×27	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 12	腰掛Ⅳ	1992年	スチール	17.5×46.5×20	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 13	王座のプロジェクトⅡ	1994年	スチール	12×8×19.2	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 14	抱擁Ⅲ	1995年	スチール	16.5×8.5×6.5	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 15	自由の檻のプロジェクト	1996年	スチール	17×22×18	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 16	ミュンヘンのプロジェクト、光を求めて	1997年	スチール	42×36.5×32	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 17	音楽についてⅣ	1999年	スチール	15×20×17	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
M 18	ベルリンのプロジェクトⅡ	1999年	スチール	40×22×28	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 1	土ⅩⅠⅠ	1980年	テラコッタ	38×25×18	ギジェルモ・デ・オスマ画廊、マドリード
T 2	テーブルG 15	1984年	テラコッタ	31.5×56×33	コロナⅩⅤⅠ画廊、ビルバオ
T 3	土	1985年	テラコッタ	30×28×41	コロナⅩⅤⅠ画廊、ビルバオ
T 4	土G 85	1985年	テラコッタ	16×20.5×11.5	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 5	土G 219	1991年	テラコッタ	23.5×15.5×19	ギャルリー・ルロン・チュウリヒ+パリ
T 6	土G 228	1991年	テラコッタ	16.5×25.5×20.5	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 7	土G 229	1991年	テラコッタ	15.5×28×16	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 8	土G 244	1992年	テラコッタ	11×29×23.5	ギャルリー・ルロン・チュウリヒ+パリ
T 9	土G 265	1992年	テラコッタ	16.5×22×19	ギャルリー・ルロン・チュウリヒ+パリ
T 10	土G 279	1994年	テラコッタ	35×24.5×23.5	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 11	土G 280	1994年	テラコッタ	21×22×35	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 12	土G 318	1995年	テラコッタ	27×23×23	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 13	土M 26	1996年	テラコッタ	33×32.5×11	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 14	土M 40	1997年	テラコッタ	9×41.5×27	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 15	土M 44	1997年	テラコッタ	21.5×25×16	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
T 16	土M 48	1997年	テラコッタ	11×23×41	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 1	人物	1949年	鉛筆/紙	19.5×15.3	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 2	人物	1951年	鉛筆/紙	13.4×21	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 3	十字架の聖ヨハネ	1991年	インク/紙	19.8×23.1	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 4	重力	1986年	インク/紙、切り込み	16×16.8	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 5	重力	1991年	インク/紙、切り込み	28×20	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 6	重力	1992年	インク/紙、切り込み	25.8×28.4	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 7	重力	1994年	インク/紙、切り込み	34.5×34.1	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
D 8	重力/自然	1997年	インク/紙、切り込み	23.6×19.3	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン
P 1	歌Ⅰ	1966年	エッチング/紙	45×63	チリーダ=レク美術館、エルナニ、スペイン

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
P 2	声 I	1966年	エッチング / 紙	33 × 25	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 3	バスクの国 I	1975年	エッチング / 紙	138 × 95 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 4	バスクの国 II	1975年	エッチング / 紙	138 × 96	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 5	バスクの国 III	1975年	エッチング / 紙	138 × 95 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 6	バスクの国 V	1976年	エッチング / 紙	160 × 120 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 7	バスクの国 VI	1976年	エッチング / 紙	140 × 96 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 8	手 X X II	1979年	ドライポイント / 紙	40 × 30	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 9	手 X X V	1979年	エッチング / 紙	60 × 45	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 10	手 X X VI	1980年	エッチング / 紙	65 × 50 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 11	手 X X VII	1984年	エッチング / 紙	53 5 × 38	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 12	赤い十字 I	1984年	リトグラフ / 紙	76 × 56 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 13	赤い十字 II	1984年	リトグラフ / 紙	76 × 56 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 14	赤い十字 III	1984年	リトグラフ / 紙	76 × 56 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 15	ゲルニカ	1987年	エッチング / 紙	65 × 50	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 16	ゲルニカ II	1987年	エッチング / 紙	53 5 × 38	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 17	光の中で III	1989年	エッチング / 紙	20 5 × 11 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 18	光の中で IV	1989年	エッチング / 紙	20 5 × 11 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 19	光の中で V	1989年	エッチング / 紙	20 5 × 11 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 20	やっこ	1990年	エッチング / 紙	20 5 × 11 5	個人蔵
P 21	まわり I	1991年	エッチング / 紙	50 × 66	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 22	まわり II	1991年	エッチング / 紙	50 × 66	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 23	まわり III	1991年	エッチング / 紙	50 × 66	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 24	まわり IV	1991年	エッチング / 紙	50 × 66	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 25	バルセロナ・オリンピック92	1991年	シルクスクリーン、エンボス / 紙	72 × 50 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 26	オリンピック百年祭	1992年	シルクスクリーン、エンボス / 紙	89 × 61	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 27	寄りかかる人物 I	1993年	エッチング / 紙	32 5 × 25	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 28	寄りかかる人物 II	1993年	エッチング / 紙	32 5 × 25	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 29	建てる、住まう、考える / ハイデッガーへのオマージュ	1994年	エッチング / 紙	60 × 80	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 30	バルメニデスへの挨拶	1996年	エッチング / 紙	75 5 × 53 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 31	アップ・ダウン	1996年	エッチング / 紙	65 5 × 51	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン
P 32	書籍『香り』、10点のエッチング	1999年	エッチング / 紙	カバー : 55 × 44 3 × 6 2、 エッチング : 54 × 42 5、 箱 : 56 2 × 45 3 × 7 5	チリーダ = レク美術館、エルナニ、スペイン

## 2) 美術館コレクション展

### 長崎の美術「写真／長崎」

平成17年4月23日(土)～6月26日(日) \*62日間 会場：常設展示室1

#### 概要：

長崎ゆかりの作家や、長崎を舞台とした芸術作品の顕彰及び奨励を目的とする小企画展シリーズの第1弾として開催。長崎における写真の黎明期から現代までを総覧するとともに、近現代長崎史を振り返る試みを同時に行った。日本の職業写真家の開祖のひとりとして、肖像写真のスタイルを確立した上野彦馬から、大正期の文化人・永見徳太郎（夏汀）被爆直後の長崎の撮影を行った山端庸介、戦後、軍艦島を撮影し写真家としてデビューした奈良原一高、1960年代に被爆者の撮影を開始し、現在まで長崎を捉え続けている東松照明、そして軍艦島をフィールドとしてさまざまな角度から作品を制作している雑賀雄二の作品を紹介した。

#### 開催形態：自主企画

#### 主催：長崎県美術館

後援：長崎県、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社西部本社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、FM長崎、長崎ケーブルメディア

#### 協賛：十八銀行、親和銀行

出品点数：120点（会期中一部展示替えあり）

#### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	撮影年	形状	技法	サイズ (cm)	所蔵	備考(展示期間)
1		上野彦馬	上野彦馬一族	明治初期	台紙貼り			長崎県立長崎図書館	前期
2		上野彦馬	上野彦馬、葛城思風、内田九一	明治5年(1872)頃	台紙貼り		9×5.9	学校法人産業能率大学 上野一郎氏蔵	前期
3		上野彦馬	避暑地へ向かう外国人	明治10年(1877)頃	めくり			長崎県立長崎図書館	前期
4		上野彦馬	長崎港	明治10年(1877)頃	めくり			長崎県立長崎図書館	前期
5		上野彦馬	中島川 上野写真館付近	明治20年(1887)頃	めくり			長崎県立長崎図書館	前期
6		上野彦馬	露国皇太子ニコライ二世	明治24年(1891)5月	台紙貼り			長崎県立長崎図書館	前期
7		上野彦馬	鶏の置物に乗った西洋人男性	明治24年(1891)頃	台紙貼り		9.7×10.8	学校法人産業能率大学 上野一郎氏蔵	前期
8		上野彦馬	二人の彦馬、トリック写真	明治24年(1891)年頃	台紙貼り		13.8×9.8	学校法人産業能率大学 上野一郎氏蔵	前期
9		上野彦馬	伊勢神宮付近高麗橋傘鉾巡業	明治初期頃	めくり			長崎県立長崎図書館	前期
10		上野彦馬	上野彦馬	明治3年(1870)頃	めくり			長崎県立長崎図書館	後期
11		上野彦馬	老女と幼児 上野彦馬の母いそと、長男陽一郎？	明治2-6年(1869-1873)頃	台紙貼り			学校法人産業能率大学 上野一郎氏蔵	後期
12		上野彦馬	諏訪神社	明治初期頃	めくり			長崎県立長崎図書館	後期
13		上野彦馬	諏訪神社	明治初期頃	めくり			長崎県立長崎図書館	後期



#### 関連事業：

対談「対話：東松照明+今福龍太 長崎の『時』」

日時：6月5日(日) 14:00～16:00

会場：長崎県美術館ホール

参加者数：50人

#### 主要記事等：

「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK長崎放送局)平成17年4月14日

番号	収蔵番号	作者名	作品名	撮影年	形状	技法	サイズ (cm)	所蔵	備考 (展示期間)
14		上野彦馬	長崎港	明治15年 (1882)頃	めくり			長崎県立長崎図書館	後期
15		上野彦馬	上野家の物干し場と六人の男性	明治中期頃	台紙貼り		9.3×13.3	学校法人産業能率大学 上野一郎氏蔵	後期
16		上野彦馬	人力車にのるニコライ	明治24年 (1891)頃	めくり		11×17	長崎県立長崎図書館	後期
17		上野彦馬	トーマス・ブレイク・グラバー	明治20年代	めくり			長崎県立長崎図書館	後期
18		上野彦馬	倉場富三郎		めくり			長崎県立長崎図書館	後期
19		上野彦馬	鉢植の朝顔 銘「こしじの雪」	明治30年 (1897)頃	台紙貼り		13.9×10.1	学校法人産業能率大学 上野一郎氏蔵	後期
20		上野彦馬使用	携帯用暗室	19世紀				長崎県	
21		上野彦馬使用	写真機	19世紀				長崎県	
22		永見徳太郎	『夏汀画集』	大正2年(1913) 3月発行	冊子			長崎県立長崎図書館	
23		永見徳太郎	『夏汀画集 巻2』	大正4年(1915) 1月1日発行	冊子			長崎県立長崎図書館	
24		永見徳太郎	『夏汀画集 第3 印度の巻』	大正6年 (1917)発行	冊子			長崎県立長崎図書館	
25		永見徳太郎	『珍しい写真』	昭和7年(1932) 2月18日発行	冊子			長崎県立長崎図書館	
26		山端庸介	長崎 井樋ノ口町付近 爆心地より1.5km	昭和20年(1945) 8月10日	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	半切	山端祥吾氏蔵	
27		山端庸介	長崎 東北郷付近 爆心地より2km	昭和20年(1945) 8月10日	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	半切	山端祥吾氏蔵	
28		山端庸介	長崎 松山町	昭和21年 (1946)春	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	半切	山端祥吾氏蔵	
29		山端庸介	長崎 浦上天教堂	昭和21年 (1946)春	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	半切	山端祥吾氏蔵	
30		山端庸介	長崎 岩川町	昭和21年 (1946)春	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	半切	山端祥吾氏蔵	
31		山端庸介	長崎 目覚町付近	昭和21年 (1946)春	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	半切	山端祥吾氏蔵	
32		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 軍艦島全景	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	前期
33		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 軍艦島全景	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	後期
34		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 岸壁(ベトン)	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	前期
35		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 時化(しけ)	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	後期
36		奈良原一高	人間の土地・緑なき島 岸壁(ベトン)	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	前期
37		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 ごみ捨て場	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	後期
38		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 地下道(トンネル)	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	前期
39		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 地下道(トンネル)	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	後期
40		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 雪の貯炭場	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	前期
41		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 立て坑のリフトに乗る坑夫達	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	後期
42		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 立て坑のリフトに乗る坑夫達	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	前期
43		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 立て坑のリフトに乗る坑夫達	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	後期
44		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 一服	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	後期
45		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 浴場	昭和29-32年 (1954-57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21.6×32.9	東京都写真美術館	前期

番号	収蔵番号	作者名	作品名	撮影年	形状	技法	サイズ (cm)	所蔵	備考 (展示期間)
46		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 浴場	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
47		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 作業場と浮桟橋、夜景	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
48		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパートの入口、夜景	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
49		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパート俯瞰、夜景	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
50		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパート俯瞰、昼景	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
51		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパート俯瞰、昼景	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
52		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパートの物干し	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
53		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパートの階段	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
54		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパートの道	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
55		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 お使いの子供	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
56		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 潜水服のある風景	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
57		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 子守の老人達	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
58		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 日なたぼっこ	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
59		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 帰り道	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
60		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 海を見る少年	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
61		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 雪の貯炭場の少年	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
62		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 水のないプール	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
63		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 端島神社	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
64		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アマリリスのあるバルコニー	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
65		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 屋上のラジオ・アンテナ	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
66		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 葬式船を見送る人々	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
67		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパートの屋上	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	前期
68		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 アパートの窓	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
69		奈良原一高	人間の土地 緑なき島 夕陽の軍艦島	昭和29 32年 (1954 57)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	21 6×32 9	東京都写真美術館	後期
70	Hイ1	東松照明	上野町から掘り出された 腕時計 長崎国際文化会 館・平野町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期
71	Hイ15	東松照明	片岡津代さん 1 本原町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期
72	Hイ21	東松照明	浦上より岩屋山を望む	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期
73	Hイ22	東松照明	浦上より金比羅山を望む	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期
74	Hイ87	東松照明	下谷富太郎さん 山里町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期
75	Hイ136	東松照明	浦川志津香さん 1 坂本 町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期

番号	収蔵番号	作者名	作品名	撮影年	形状	技法	サイズ (cm)	所蔵	備考 (展示期間)
76	Hイ47	東松照明	時中小学校(現・孔子廟) 大浦町	昭和38年 (1963)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期
77	Hイ210	東松照明	魚市場 尾上町	昭和41年 (1966)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	前期
78	Hイ7	東松照明	浦上天主堂のキリスト像 本尾町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
79	Hイ8	東松照明	熱線と火災で溶解変形した瓶 長崎国際文化会館・平野町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
80	Hイ51	東松照明	末次助作さん1 江平町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
81	Hイ52	東松照明	末次助作さん2 末次助作さんの家 江平町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
82	Hイ207	東松照明	印 興善町	昭和36年 (1961)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
83	Hイ45	東松照明	崇福寺門前 鍛冶屋町	昭和37年 (1962)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
84	Hイ94	東松照明	山口仙二さん1 中園町	昭和37年 (1962)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
85	Hイ38	東松照明	井持浦天主堂 下五島・玉之浦町	昭和38年 (1963)	額装	ゼラチンシルバープリント(モダンプリント)	全紙	長崎県美術館	後期
86		雑賀雄二	月の道 Borderland #11 1 9	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
87		雑賀雄二	月の道 Borderland # 8 4 9	平成2年 (1990)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
88		雑賀雄二	月の道 Borderland # 9 1 15	平成2年 (1990)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
89		雑賀雄二	月の道 Borderland #12 4 5	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
90		雑賀雄二	月の道 Borderland #10 2 6	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
91		雑賀雄二	月の道 Borderland #13 6 4	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
92		雑賀雄二	月の道 Borderland #11 2 7	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
93		雑賀雄二	月の道 Borderland # 1 46 7	昭和63年 (1988)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
94		雑賀雄二	月の道 Borderland #11 1 11	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
95		雑賀雄二	月の道 Borderland #11 1 13	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
96		雑賀雄二	月の道 Borderland #12 1 4	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
97		雑賀雄二	月の道 Borderland #11 1 15	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
98		雑賀雄二	月の道 Borderland #12 5 4	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
99		雑賀雄二	月の道 Borderland #13 6 6	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
100		雑賀雄二	月の道 Borderland #12 4 2	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
101		雑賀雄二	月の道 Borderland # 8 3 11	平成2年 (1990)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
102		雑賀雄二	月の道 Borderland #12 5 5	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
103		雑賀雄二	月の道 Borderland #11 1 7	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
104		雑賀雄二	月の道 Borderland #11 2 15	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
105		雑賀雄二	月の道 Borderland #12 5 2	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	



番号	収蔵番号	作者名	作品名	撮影年	形状	技法	サイズ (cm)	所蔵	備考 (展示期間)
106		雑賀雄二	月の道 Borderland #12 5 12	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
107		雑賀雄二	月の道 Borderland #13 7 7	平成3年 (1991)	額装	ゼラチンシルバープリント	27 2×22 5	作者蔵	
108	Hイ96	東松照明	町並 2 上小島方面	平成8年 (1996)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
109	Hイ181	東松照明	天然記念物の大村桜 大 村市	平成9年 (1997)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
110	Hイ122	東松照明	ハナちゃん 大浦市場・ 相生町	平成10年 (1998)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
111	Hイ25	東松照明	マユハケオモト 鳴滝一 丁目	平成11年 (1999)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
112	Hイ26	東松照明	青色のキャンバス おたく さ通り商店街・新大工町	平成11年 (1999)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
113	Hイ124	東松照明	おくんち 2 栄町	平成11年 (1999)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
114	Hイ176	東松照明	チビシロくん 諏訪町	平成11年 (1999)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
115	Hイ178	東松照明	町並 3 桜馬場二丁目 より伊良林方面	平成11年 (1999)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
116	Hイ54	東松照明	スタンドグラス 紐差教 会・平戸市	平成12年 (2000)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
117	Hイ79	東松照明	坂の町のどっこいしょ 中新町	平成12年 (2000)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
118	Hイ156	東松照明	川底の色模様 北松浦半 島・吉井町	平成12年 (2000)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
119	Hイ179	東松照明	町並 4 上田町より大 浦東町方面	平成12年 (2000)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	
120	Hイ228	東松照明	(無題) 蛍茶屋行電車内	平成12年 (2000)	額装	クリスタルカラープリント	全紙	長崎県美術館	

前期：平成17年4月23日～5月22日

後期：平成17年5月24日～6月26日

## 教育普及連携展「植物展 木をみて、森もみる」

平成17年6月29日(水)～9月25日(日) \*74日間 会場：常設展示室1、2

### 概要：

小中学生を対象とした夏休み企画として開催した教育普及連携展覧会。収蔵作品の中から「植物と観察」をテーマに構成。観察する視距離の違い(近視点、俯瞰など)や、四季の変化を捉えたものなど、様々な角度から観察し表現された作品を展示した。

### 開催形態：自主企画

### 主催：長崎県美術館

後援：長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、朝日新聞社、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、FM長崎、長崎ケーブルメディア

### 企画協力：あおぞら工房

### 出品点数：65点(会期中一部展示替えあり)

### 解説ツール：ワークシート

### 関連事業：

「ひまわりの心」(パントマイム+11弦ギター演奏)



日時：7月23日(土) ①10:00～13:00 ②14:00～17:00  
③18:00～20:00、24(日) ④10:00～13:00 ⑤14:00～17:00 ⑥19:00～20:00

⑥についてはギター演奏のみ

出演者：清水きよし(パントマイミスト) 辻幹雄(11弦ギター奏者)

参加者数：450人

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考(展示期間)
I. あれも植物、これも植物				
1	A II 481	彭城貞徳	花づくし	
2	F 口 3 1 4(1)	彭城貞徳	静物(1) 葡萄	前期
3	F 口 3 1 4(2)	彭城貞徳	静物(2) 苺	前期
4	F 口 3 1 4(3)	彭城貞徳	静物(3) 竹の子	前期
5	F 口 3 1 4(10)	彭城貞徳	静物(10) 栗の実	前期
6	F 口 3 1 4(4)	彭城貞徳	静物(4) 竹の子	後期
7	F 口 3 1 4(6)	彭城貞徳	静物(6) いちご(苺)	後期
8	F 口 3 1 4(9)	彭城貞徳	静物(9) バインアップル	後期
9	F 口 3 1 4(11)	彭城貞徳	静物(11) 胡瓜	後期
II. 卓上の植物				
10	A II 182	横手貞美	静物	
11	A II 1021	彭城貞徳	菊花図	
III. 窓の外の植物				
12	A II 230	辻利平	南の窓	
13	A II 1036	古賀春江	彦山図	
14	A II 2	山本森之助	雨後	
15	A II 26	山本森之助	丘	
IV. 植物の四季				
16	A II 448	山本森之助	桃の里	
17	A II 47	石川滋彦	五月の雲仙	
18	A II 262	山本森之助	矢上風景	
19	A II 765	曾宮一念	阿蘇裾野	
20	A II 10	小林和作	山湖の秋	

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考(展示期間)
21	A II イ251	池野清	樹	
22	A II イ1022	山本森之助	冬山	
V. 植物に覆われる				
23	H イ13	東松照明	草冠 1 地藏菩薩 皓台寺・寺町	前期
24	H イ221	東松照明	草冠 8 島原市	前期
25	H イ35	東松照明	草冠 2 十人町	前期
26	H イ219	東松照明	草冠 6 炭住跡 大島・崎戸町	前期
27	H イ214	東松照明	草冠 5 水源地 昭和町	後期
28	H イ262	東松照明	草冠 9 にぼし加工場跡 島原半島・南串山漁港	後期
29	H イ200	東松照明	草冠 4 古堀 寄合町	後期
30	H イ220	東松照明	草冠 7 東彼杵郡・波佐見町	後期
VI. 植物とわたし				
31	A II イ793	鴨居羊子	さようなら	
32	A II イ791	鴨居羊子	終演	
33	A II イ748	鴨居羊子	玉まわし	
34	A II イ798	鴨居羊子	捨猫次郎吉	
35	A II イ796	鴨居羊子	閉幕	
36	A II 口218	鴨居羊子	花バス	
37	A II 二72	鴨居羊子	思い出	
38	A II 二68	鴨居羊子	草っ原	
39	A II 二73	鴨居羊子	花束 B	
40	A II 二71	鴨居羊子	ペチュニアと猫ウイリー	
VII. 筆1本で植物を描く				
41	A I 口59	阿南竹垞	墨竹図屏風	前期
42	A I 口41	胡鐵梅	古木竹石図	前期
43	A I 口22	王治梅	白木蓮之図	後期
44	A I 口33	小曾根乾堂	竹石図	後期
VIII. 植物の声を聴く				
45	A I 口55	江上瓊山	雲峰飛瀑図	前期
46	A I 口97	長井雲坪	秋景山水図	前期
47	A I 口36	守山湘颯	雪景山水図	前期
48	A I 口35	胡公壽	放鶴亭之図	後期
49	A I 口88	王治梅	鳧川聴雨図	後期
50	A I 口60	湊汲古	雪中山水図	後期
IX. やきものに描かれた植物				
51	D 八 a 4	12代横石臥牛	ススキ文絵皿	
52	D 八 a 399	中里末太郎(陽山)	釉下彩藤鳥文花瓶	
53	D 八 a 403	中里末太郎(陽山)	染付大樹文花瓶	
54	D 八 a 428	中里末太郎(陽山)	染付竹文輪花大皿	
55	D 八 a 418	中里末太郎(陽山)	染付盛夏柳文蓋物	
56	D 八 a 120	13代今泉今右衛門	色鍋島吹墨花文額皿	
57	D 八 a 166	池田傳平	釉裏紅梅花文蓋物	
58	D 八 a 242	14代酒井田柿右衛門	濁手山桜文花瓶	
X. 文様となった植物				
59	D 八 a 0276	口石長山	白磁牡丹菊籠目香炉	
60	D 八 a 0419	中里末太郎(陽山)	白磁透彫牡丹唐草文蓋物	
61	D 八 a 0400	中里末太郎(陽山)	白磁陰刻葡萄文花瓶	
62	D 八 a 0475	中里末太郎(陽山)	白磁陽刻菊唐草文蓋物	
63	D 八 a 0457	中里末太郎(陽山)	白磁薄手陰刻牡丹文鉢	
64	D 八 a 0474	中里末太郎(陽山)	白磁陰刻牡丹文香合	
65	D 八 a 0117	中里安吉郎	白磁菊細工香炉	

前期：平成17年6月29日～8月21日

後期：平成17年8月23日～9月25日

開館記念特別展示

「長崎の近代美術」

平成17年4月23日(土)～6月26日(日) 会場：常設展示室2、3

主要記事等：

「なんでもミュージアム『長崎県美術館所蔵品紹介』」『もってこい長崎5』(NHK 長崎放送局)平成17年4月7日

出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
1	A I イ170	荒木十畝	早春				
2	A I イ97	荒木十畝	鶴				
3	A I イ98	荒木十畝	鳳凰				
4	A I 口13	荒木十畝	松樹白鷹の図				
5	A I イ39	大久保玉珉	国幣中社諏訪神社祭礼還御絵巻 (住吉神社の巻)				
6	A I イ149	栗原玉葉	艶				
7	A I イ186	栗原玉葉	尼僧(修道女)				
8	A I イ208	栗原玉葉	春秋美人図屏風				
9	A I イ187	栗原玉葉	母の愛(「孟母断機図」)				
10	C イ5	江上瓊山	前後赤壁賦				
11	D 八 a 95	中里三猿	染付浮上松鶴図花筒				
12	D 八 a 256	中里三猿	染付色浮上鬼灯文花瓶				
13	D 八 a 258	中里三猿	染付浮上柳鷺文浅鉢				
14	A II イ1029	彭城貞徳	菊図				
15	A II イ210	彭城貞徳	和洋合奏之図				
16	A II イ11	彭城貞徳	九十九島・月夜の景				
17	A II イ144	山本森之助	凍れる華厳				
18	A II イ213	山本森之助	山				
19	A II イ1034	山本森之助	フランスの田舎				
20	A II イ490	山本森之助	樹林				
21	A II イ2	山本森之助	雨後				
22	A II イ3	宮崎与平	金さんと赤 (渡辺与平)				
23	A II イ243	渡辺与平	帯 (宮崎与平)				
24	A II イ245	永見徳太郎	長崎港 (夏汀)				
25	A II イ268	永見徳太郎	朝のヒマラヤ(印度) (夏汀)				
26	A II イ4	横手貞美	ピロード服の女				
27	A II イ491	横手貞美	アトリエの庭				
28	A II イ507	横手貞美	モンマルトル風景				
29		山本芳翠	花		油彩/カンヴァス		三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)
30		山本芳翠	十二支・巳	明治25年 (1892)	油彩/カンヴァス	98.5×66.4	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)
31		山本芳翠	十二支・申	明治25年 (1892)	油彩/カンヴァス	98.5×66.4	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)
32		黒田清輝	岡辺の雪	大正9年 (1920)	パステル/紙	46.5×61.5	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)
33		久米桂一郎	秋の田圃道		油彩/カンヴァス	56.5×35.5	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)

常設展示室における上記以外の展示については、下記のとおり展示室ごとに記載した。

## 常設展示室 1

### 「富永直樹彫刻展」

平成17年9月27日(火)～12月11日(日)

#### 主要記事等：

「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』（NHK 長崎放送局）平成17年10月13日



#### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	B 八32	富永直樹	少年平和像（原爆子供記念碑）
2	B 二12	富永直樹	殊勲者
3	B 八33	富永直樹	山
4	B 八61	富永直樹	主将
5	B 二19	富永直樹	挑戦
6	B 二21	富永直樹	平和の叫び
7	B 八38	富永直樹	対話
8	B 二23	富永直樹	西洋音楽発祥記念碑（神父）
9	B 二24	富永直樹	西洋音楽発祥記念碑（子供たち）
10	B 八39	富永直樹	黒船で来た紅毛人
11	B 八48	富永直樹	ガンジスの夜明け
12	B 八54	富永直樹	織田信長公
13	B 八22	富永直樹	タロ・ジロの像
14	B 八 8	富永直樹	海浜
15	B 八15	富永直樹	メキシコで見た娘
16	B 八43	富永直樹	ファミリー
17	B 二32	富永直樹	大将の椅子
18	B 八47	富永直樹	初夏の朝
19	B 八53	富永直樹	クリスマス・イヴ

### 「長崎異国風景」

平成17年12月13日(火)～平成18年4月19日(水) 会期中一部展示替えあり

主要記事等：「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』（NHK 長崎放送局）平成18年2月9日

#### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考（展示期間）
1	A II イ469	山本森之助	聖福寺山門	
2	A II イ245	永見徳太郎（夏汀）	長崎港	
3	A II イ263	永見徳太郎（夏汀）	唐寺	
4	A II イ501	横手貞美	静物	
5	A I イ30	中島多茂都	長崎三題	
6	A II イ25	中川一政	長崎マリア園	
7	A II イ27	小山敬三	浦上聖堂	
8	A II イ266	鈴木信太郎	長崎の丘	
9	A II イ1037	鈴木信太郎	長崎風景	
10	A II イ 9	野口彌太郎	長崎の山々	
11	A II 口 9	曾宮一念	魚板	前期
12	A II 口24	鈴木信太郎	おらんだ万才	前期
13	A II 口 7	小磯良平	東山手	前期

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考（展示期間）
14	AⅡ口13	田村孝之助	おらんだ坂	前期
15	AⅡ口8	宮本三郎	大浦天主堂の前庭	前期
16	AⅡ口11	小糸源太郎	聖福寺本堂	前期
17	AⅡ口4	野口彌太郎	おらんだ坂	後期
18	AⅡ口5	野口彌太郎	長崎の港	後期
19	AⅡ口6	野口彌太郎	めがね橋	後期
20	AⅡ口191	鈴木信太郎	阿蘭陀萬歳之図	後期
21	AⅡ口10	鈴木信太郎	東山手	後期
22	AⅡ口329	鈴木信太郎	崇福寺山門	後期
23	AⅢ口29	田川憲	福濟寺	前期
24	AⅢ口44	田川憲	禅寺蘭秋	前期
25	AⅢ口49	田川憲	聖福寺鬼塚	前期
26	AⅢ口20	田川憲	黄檗興福寺	前期
27	AⅢ口15	田川憲	黄檗書意	前期
28	AⅢ口25	田川憲	海西法窟	前期
29	AⅢ口21	田川憲	グラバー氏の庭	前期
30	AⅢ口34	田川憲	長崎港遠望	前期
31	AⅢ口28	田川憲	飛龍の屋根	後期
32	AⅢイ18	田川憲	ロティ坂	後期
33	AⅢ口46	田川憲	活水と12番	後期
34	AⅢイ13	田川憲	ツェンペリー肖像	後期
35	AⅢ口27	田川憲	十字バラの窓	後期
36	AⅢ口14	田川憲	白い木の魚	後期
37	AⅢ口19	田川憲	居留地の廃屋	後期
38	AⅢ口18	田川憲	うらぶれた居留地	後期
39	Hイ113	東松照明	トランプ 大浦近辺	前期
40	Hイ34	東松照明	旧居留地（現・東山手十二番館） 東山手町	前期
41	Hイ99	東松照明	閻帝像 崇福寺・鍛冶屋町	前期
42	Hイ141	東松照明	蛇頭 福建会館・館内町	前期
43	Hイ64	東松照明	ランタン祭り 湊公園・新地町	前期
44	Hイ243	東松照明	聖母行列 2 北松浦郡・田平町	前期
45	Hイ20	東松照明	後藤光敏司祭（1971年死亡） 日本聖公会・常盤町	後期
46	Hイ142	東松照明	安政2年締結の日蘭条約書 長崎県立長崎図書館	後期
47	Hイ117	東松照明	中国の木神 館内町	後期
48	Hイ24	東松照明	住職とマイちゃん 聖福寺・玉園町	後期
49	Hイ173	東松照明	大正琴 天后堂・館内町	後期
50	Hイ264	東松照明	片岡津代さん 9 黒崎教会・外海町	後期

前期：平成17年12月13日～平成18年3月12日

後期：平成18年3月14日～4月19日

常設展示室 2

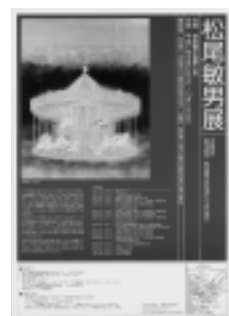
## 「松尾敏男展」

平成17年9月27日(火)～12月11日(日)

関連事業：作家によるギャラリートーク

日時：11月30日(水) 15:00～16:00

参加者数：50人



出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A I イ163	松尾敏男	貧しき人
2	A I イ210	松尾敏男	朝光のトレド
3	A I イ211	松尾敏男	素描 トレド
4	A I イ194	松尾敏男	夜想譜
5	A I イ215	松尾敏男	巴里
6	A I イ216	松尾敏男	カルネヴァーレ（ヴェネチアの謝肉祭）

「森正洋展」

平成17年12月13日(火)～平成18年4月19日(水) 会期中一部展示替えあり

主要記事等：「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』（NHK 長崎放送局）平成18年2月2日



出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先	備考（展示期間）
1	五島白土しょうゆさし試作品（2点）	1955年	磁器	森正洋デザイン研究所	
2	立縞しょうゆさし（1点）	1957年	磁器	森正洋デザイン研究所	
3	グレー縞しょうゆさし（1点）	1957年	磁器	森正洋デザイン研究所	
4	G型しょうゆさし（2点）	1958年	磁器	長崎県美術館	
5	角型調味料セット（1セット）	1959年	磁器	森正洋デザイン研究所	
6	えくぼしょうゆさし（1点）	1980年	磁器	森正洋デザイン研究所	
7	A型しょうゆさし（1点）	1987年	磁器	森正洋デザイン研究所	
8	B型しょうゆさし（1点）	1987年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
9	キューピック調味料入れ（3セット）	1977年	磁器	長崎県美術館	後期
10	C型しょうゆさし（1点）	1987年	磁器	森正洋デザイン研究所	
11	D型しょうゆさし（3点）	1987年	磁器	森正洋デザイン研究所	
12	E型しょうゆさし（2点）	1987年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
13	H型しょうゆさし（2点）	1987年	磁器	森正洋デザイン研究所	
14	立縞めしわん（1点）	1957年	磁器	森正洋デザイン研究所	
15	松葉めしわん（1点）	1964年	磁器	森正洋デザイン研究所	
16	丸型めしわん（1点）	1973年	磁器	森正洋デザイン研究所	
17	丸型めしわん（1点）	1981年	磁器	森正洋デザイン研究所	
18	平型めしわん（1点）	1988年	磁器	森正洋デザイン研究所	
19	緑錆ボール（1セット）	1958年	磁器	森正洋デザイン研究所	
20	白磁錆千筋シリーズ（6点）	1960年	磁器	森正洋デザイン研究所	
21	花天目平皿（5点）	1965年	磁器	長崎県美術館	
22	ねじり梅茶器（7点）	1968年	磁器	長崎県美術館	前期
23	染格子シリーズ（1セット）	1959年	磁器	長崎県美術館	後期
24	白磁千段シリーズ（12点）	1971年	磁器	森正洋デザイン研究所	
25	マルティシリーズ（8点）	1976年	磁器	森正洋デザイン研究所	
26	O型急須（1点）	1967年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
27	O型急須（1点）	1983年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
28	O型土瓶（1点）	1984年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
29	O型ポット（1点）	1991年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
30	O型宝瓶（1点）	1990年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
31	2002ポット（1点）	2002年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期

番号	作品名	制作年	技法・材質	所蔵先	備考(展示期間)
31	ドレッシングポット(5点)	1976年	磁器	長崎県美術館	後期
32	手付小鉢(4点)	1975年	磁器	長崎県美術館	後期
33	シェルボールの試作(6点)	1980年 -	磁器	森正洋デザイン研究所	
34	シェルボール(5点)	1982年	磁器	長崎県美術館	
35	シェル皿(9点)	1982年	磁器	長崎県美術館	
36	うず潮シェルシリーズ(6点)	1995年	磁器	森正洋デザイン研究所	
37	フリーボールL(2点)	1998年	磁器	森正洋デザイン研究所	
38	フリーボール(10点)	1998年	磁器	森正洋デザイン研究所	
39	G型コーヒークップ(1点)	1969年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
40	G型ティーカップ(1点)	1969年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
41	V型カップ(3点)	1984年	磁器	長崎県美術館	後期
42	H型カップ(2点)	1972年	磁器	森正洋デザイン研究所	
43	M型コーヒークップ(1点)	1973年	磁器	森正洋デザイン研究所	
44	F型コーヒークップ(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
45	F型デミタスカップ(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
46	U型コーヒークップ(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
47	L型コーヒークップ(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
48	L型デミタスカップ(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
49	カップA(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
50	カップB(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
51	P型コーヒークップ(1点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	
52	P型コーヒークップの実験(5点)	1972年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
53	カップの実験(5点)	1974年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
54	ロックセット、ワインカップ、ビールカップ(1セット)	1981年	磁器	長崎県美術館	後期
55	二重成形のマグカップ(2点)	1984年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
56	T型灰皿(2点)	1960年	磁器	長崎県美術館	後期
57	マグカップ(4点)	1982年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
58	デスク灰皿(4点)	1973年	磁器	長崎県美術館	後期
59	Q型マグカップ(2点)	1993年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
60	8型マグカップ(2点)	2005年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
61	平型ゆかん(5点)	1963年	磁器	長崎県美術館	後期
62	無印良品花瓶(2点)	2005年	磁器	森正洋デザイン研究所	
63	花瓶A(1点)	2001年	磁器	森正洋デザイン研究所	
64	花瓶B(1点)	2001年	磁器	森正洋デザイン研究所	
65	O型パーティートレイ(1セット)	1984年	磁器	長崎県美術館	
66	白磁さざ波L型パーティートレイ(1セット)	1983年	磁器	森正洋デザイン研究所	前期
67	フリープレート(13点)	1981年	磁器	長崎県美術館	後期
68	花器マテリアル(2点)	1987年	磁器	森正洋デザイン研究所	
69	C型花瓶(2点)	1982年	磁器	森正洋デザイン研究所	
70	B型花瓶(1点)	1976年	磁器	長崎県美術館	前期
71	E型花瓶(1点)	1982年	磁器	長崎県美術館	後期
72	菱形花瓶(3点)	1981年	磁器	長崎県美術館	
73	うねり型花瓶(4点)	1981年	磁器	長崎県美術館	
74	A型パーティートレイ(1セット)	1976年	磁器	長崎県美術館	
75	球ミニ花瓶(2点)	1970年	磁器	森正洋デザイン研究所	
76	角ミニ花瓶(2点)	1970年	磁器	森正洋デザイン研究所	
77	印花花瓶(2点)	1968年	磁器	森正洋デザイン研究所	
78	無印良品和の食器白磁シリーズ(37点)	2004年	磁器	森正洋デザイン研究所	
79	無印良品ボンチャイナシリーズ(18点)	2005年	磁器	森正洋デザイン研究所	
80	平形めし茶碗(100点)	1992 - 2005年	磁器	森正洋デザイン研究所	

前期：平成17年12月13日～平成18年2月12日

後期：平成18年2月14日～4月19日



常設展示室 3

「須磨コレクションⅠ」

平成17年6月29日(水)～平成18年1月22日(日)

出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考(展示期間)
1	AⅡイ141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像	11月13日まで
2	AⅡイ517	作者不詳(アラゴン派あるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ	
3	AⅡイ519	作者不詳(スペイン)	聖アンデレ	
4	AⅡイ520	作者不詳(スペイン)	聖ユダ	
5	AⅡイ109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ	
6	AⅡイ112	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ	
7	AⅡイ130	作者不詳(カスティーリャ派)	巡礼者聖ヤコブ	
8	AⅡイ142	作者不詳(カスティーリャ派あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト	
9	AⅡイ69	作者不詳(スペイン)(フアン・パントーハ・デ・ラ・クルスの周辺)	フェリベ二世	
10	AⅡイ101	フアン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵の肖像	
11	AⅡイ119	作者不詳(マドリッド派)	サンルーカル・ラ・マヨール公爵ドン・ガスパール・フェリベ・デ・グスマンの肖像	
12	AⅡイ525	アロンソ・サンチェス・コエーリョ(?)	アントニオ・ベレス(?)	
13	AⅡイ527	ミゲル・ハシント・メレンデス(?)	フェリベ五世	
14	AⅡイ528	作者不詳(スペイン)	ミゲル・クレメンテ・チェリフ・デ・メンドーサ	
15	AⅡイ362 1	アントン・ラファエル・メングス(?)	フェルナンド六世	参考出品
16	AⅡイ362 2	アントン・ラファエル・メングス(?)	王妃バルバラ	参考出品
17	AⅡイ106	ルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオス	フェルナンド七世の肖像	
18	AⅡイ514	作者不詳(フランドル)	風景の中の静物	

「須磨コレクションⅡ」

平成18年1月24日(火)～4月19日(水)

出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	AⅡイ141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像
2	AⅡイ517	作者不詳(アラゴン派あるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ
3	AⅡイ519	作者不詳(スペイン)	聖アンデレ
4	AⅡイ520	作者不詳(スペイン)	聖ユダ
5	AⅡイ109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ
6	AⅡイ112	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ
7	AⅡイ69	作者不詳(スペイン)(フアン・パントーハ・デ・ラ・クルスの周辺)	フェリベ二世
8	AⅡイ101	フアン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵の肖像
9	AⅡイ119	作者不詳(マドリッド派)	サンルーカル・ラ・マヨール公爵ドン・ガスパール・フェリベ・デ・グスマンの肖像
10	AⅡイ525	アロンソ・サンチェス・コエーリョ(?)	アントニオ・ベレス(?)
11	AⅡイ106	ルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオス	フェルナンド七世の肖像
12	AⅡイ86	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	貧者たちの聖体拝領
13	AⅡイ475	マリアノ・フォルトゥーニ・イ・マルサル	東洋の幻想
14	AⅡイ473	エミリオ・サラ・イ・フランセス	裸婦
15	AⅡイ550	エミリオ・サラ・イ・フランセス	マドリッドのカジノの装飾画のための習作
16	AⅡイ476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち

番号	収蔵番号	作者名	作品名
17	A IIイ477	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト舗装をする男たち
18	A IIイ95	ホセ・グティエレス・ソラーナ	仮面たち
19	A IIイ121	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面

常設展示室 4

「ミロ版画展」

平成17年 4月23日(土)～ 6月26日(日)

出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A III口83	ジョアン・ミロ	マヨルカシリーズ (内16点)
2	B八81	ジョアン・ミロ	枝の上の鳥

「スペイン現代版画・ドローイング展」

平成17年 6月29日(水)～ 8月21日(日)

出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A III口422	アントニ・クラベ	トランプの王様
2	A IIIイ75	アントニ・クラベ	手袋のアッサンブラージュ
3	A III口62 1	ザビエル・コルベロ	近似 1
4	A III口62 2	ザビエル・コルベロ	近似 2
5	A III口62 3	ザビエル・コルベロ	近似 3
6	A III口62 4	ザビエル・コルベロ	近似 4
7	A III口87	アントニ・タビエス	インフォーマル
8	A III口88	アントニ・タビエス	ガット
9	A IIニ76	アントニオ・サウラ	無題
10	A IIニ77	アントニオ・サウラ	無題
11	A IIニ78	アントニオ・サウラ	無題
12	A IIニ79	アントニオ・サウラ	無題

「ブロッサ版画展」

平成17年 8月23日(火)～ 10月10日(月)

出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A III口89 8	ジョアン・ブロッサ	2
2	A III口89 1	ジョアン・ブロッサ	林野の神
3	A III口89 13	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
4	A III口89 23	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
5	A III口89 16	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
6	A III口89 4	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
7	A III口89 5	ジョアン・ブロッサ	行跡

8	A III □89 20	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
9	A III □89 24	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
10	A III □89 15	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
11	A III □89 22	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
12	A III □89 7	ジョアン・ブロッサ	2
13	A III □89 14	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
14	A III □89 12	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
15	A III □89 11	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
16	A III □89 10	ジョアン・ブロッサ	ずれた詩
17	A III □89 3	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
18	A III □89 6	ジョアン・ブロッサ	視覚詩
19	A III □89 21	ジョアン・ブロッサ	視覚詩

## 「ダリ版画展」

平成17年10月12日(水)～12月11日(日)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A III □97 1	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 オウロポロス
2	A III □97 2	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 哲学者の増埒
3	A III □97 3	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 不死
4	A III □97 4	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 不死鳥
5	A III □97 5	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 錬金術の天使
6	A III □97 6	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 エメラルドの陰刻板
7	A III □97 7	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 陰と陽
8	A III □97 8	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 錬金術師の夢、もしくは生命の樹
9	A III □97 9	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 迷宮
10	A III □97 10	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 王と王妃

## 「ゴヤ四大版画集より『妄』」

平成17年12月13日(火)～平成18年2月12日(日)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A III イ34 1	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	周知の妄
2	A III イ34 2	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	几帳面の妄
3	A III イ34 3	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	畜生の妄
4	A III イ34 4	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	牡牛の妄
5	A III イ82	フランシスコ・デ・ゴヤ・イルシエンテス	妄(内17点)

## 「シャガール版画展」

平成18年2月14日(火)～4月19日(水)

### 出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A III口54	マルク・シャガール	サーカス(内20点)

常設展示室 5

## 「スペイン近現代美術 I」

平成17年4月23日(土)～9月25日(日)

### 出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考(展示期間)
1	A IIイ246	パブロ・ピカソ	静物	
2	A IIイ513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物	前期
3	A IIイ240	ジョアン・ミロ	PEINTURE(絵画)	前期
4	A IIイ258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとする ヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む	
5	A IIイ247	アントニ・タビエス	茶の上の黄土	前期
6	Bニ9	アントニ・タビエス	綱と十字の刻印	後期
7	A IIニ85	アントニ・タビエス	身体のコンポジション	
8	A IIイ294	アントニ・クラベ	キリストの埋葬	
9	A IIイ280	アントニ・クラベ	羽根飾りをつけた戦士	後期
10	A IIイ248	ルイス・フェイト	作品	後期
11	A IIイ308	アントニオ・ロベス・ガルシア	フランシスコ・カレテロ	前期
12	A IIイ301	ホアン・ヘノベス	都市風景=「三叉路」(ラス・メニナスの修復家達へのオマージュ)	
13	A IIイ478	マノロ・バルデス	黒い背景の肖像	
14	A IIイ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期	
15	A IIイ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック(赤と灰色)	前期

前期:平成17年4月23日～9月11日

後期:平成17年9月13日～9月25日

## 「スペイン近現代美術 II」

平成17年9月27日(火)～11月13日(日)

### 出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A IIイ475	マリアノ・フォルトゥーニ・イ・マルサル	東洋の幻想
2	A IIイ553	ホアキン・ソローリャ・イ・バスティーダ	A・サイント=アウビン
3	A IIイ541	モデスト・ウルジェイ・イ・イングラダ	共同墓地のある風景
4	A IIイ554	リカルド・バローハ・イ・ネッシ	メモリア門
5	A IIイ556	リカルド・バローハ・イ・ネッシ	勇敢なる13人
6	A IIイ136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルヘ
7	A IIイ476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち
8	A IIイ477	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト舗装をする男たち
9	A IIイ246	パブロ・ピカソ	静物
10	A IIイ248	ルイス・フェイト	作品
11	A IIイ249	ルイス・フェイト	作品
12	A IIイ280	アントニ・クラベ	羽根飾りをつけた戦士
13	A IIイ478	マノロ・バルデス	黒い背景の肖像

## 「スペイン近現代美術Ⅲ」

平成17年11月15日(火)～平成18年4月19日(水)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考(展示期間)
1	AⅡイ246	パブロ・ピカソ	静物	
2	AⅡイ513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物	
3	AⅡイ240	ジョアン・ミロ	PEINTURE(絵画)	1月28日まで
4	AⅡイ258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとする ヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む	1月28日まで
5	AⅡイ247	アントニ・タビエス	茶の上の黄土	
6	Bニ9	アントニ・タビエス	網と十字の刻印	
7	AⅡニ85	アントニ・タビエス	身体のコポジション	
8	AⅡイ308	アントニオ・ロベス・ガルシア	フランシスコ・カレテロ	
9	AⅡイ479	エドゥアルド・ナランホ	自画像「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」	
10	AⅡイ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期	
11	AⅡイ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック(赤と灰色)	

## 「特別公開/クロード・モネ」

平成18年1月28日(土)～3月30日(木)

愛媛県美術館で開催された「ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展」(平成18年2月10日～3月26日)に当館のダリおよびミロ作品を貸し出した際、それらの代替作品として下記の作品が当館に貸し出された。

### 出品リスト：

作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
クロード・モネ	アンティープ岬	1888年	油彩/カンヴァス	65×92	愛媛県美術館

パティオ前

## 「修復作品の紹介」

平成17年4月23日(土)～6月26日(日)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	AⅡイ741	作者不詳(スペイン)	聖カタリナの斬首
2	AⅡイ742	作者不詳(スペイン)	洗礼式
3	AⅡイ743	作者不詳(スペイン)	聖ルキア

## 「鴨居玲新収蔵作品の紹介」

平成17年8月23日(火)～10月10日(月)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	AⅡイ1030	鴨居玲	自画像
2	AⅡイ1031	鴨居玲	蛾
3	AⅡイ1032	鴨居玲	膝を抱える少女
4	AⅡイ1033	鴨居玲	夜

平成18年度

## 1) 企画展

### 「開館1周年記念事業 めぐる・ながむる長崎コレクション展」

平成18年4月22日(土)～5月14日(日) \*21日間 会場：企画展示室、常設展示室

#### 概要：

開館一周年を記念し、三菱重工業株式会社所蔵作品と当館所蔵作品を平明に紹介することを目的とした展覧会。企画展示室と常設展示室の2会場で開催した。三菱重工占勝閣が所蔵し、原則的には非公開の名作として知られる山本芳翠の連作「十二支」をすべて(現存するのは10点)借用し、明治25年(1892)以来114年ぶりに一挙公開する貴重な機会ともなった。

開催形態：自主企画

主催：長崎県美術館、長崎県

協力：三菱重工業株式会社長崎造船所

後援：長崎県教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、NCM長崎ケーブルメディア、FM長崎

#### 観覧料：

一般800(700)円、大学生・70歳以上600(500)円、  
小中高生300(200)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
県内の小中学生は無料

観覧者数：実績入場者数：10,081人(一日あたり480人)

出品点数：160点(うち当館所蔵作品150点)

解説ツール：作品解説シート

#### 関連事業：

(1) 講演会「《十二支》は、なぜ描かれたか？ 山本芳翠の中の江戸とパリ」

講師：高階絵里加(京都大学人文科学研究所助教授)

日時：4月22日(土) 14:00～15:30

#### 出品リスト：

第1会場(企画展示室)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
[人のすがた]			
I. 自らへのまなざし			
1	A II 544	ライムンド・デ・マドラーソ	自画像
2	A II 31	横手貞美	自画像
3	A II 1020	鴨居玲	自画像(パレット)



参加者数：120人

(2) 講演会「昔の絵の話」

講師：菊畑茂久馬(美術家)

日時：5月6日(土) 14:00～15:30

参加者数：40人

(3) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週水・土曜日 第1会場14:00～14:30、第2会場15:00～15:30

(4) 親子鑑賞会

日時：4月30日(日)、5月14日(日) 11:00～12:00

参加者数：30人、31人

(5) ボランティアによるギャラリートーク

日時：5月13日(土) 11:00～12:30

#### 主要記事等：

・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK長崎放送局)平成18年4月5日放送

・「県美術館 22日から1周年記念企画展」『長崎新聞』平成18年4月16日

・「アートシーン」『新日曜美術館』(NHK教育)平成18年4月30日放送

番号	収蔵番号	作者名	作品名
4	A II イ479	エドゥアルド・ナランホ	自画像「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」
5	A II イ723	永田力	自画像を描く男
6	H イ207	東松照明	印 長崎市興善町
7	H イ280	東松照明	ブリージング・アース 15
8	A II 二65	内田晴子	陽の爽気は眼の中で萎える
9	A II 二75	オチ・オサム	脳波による自画像
II. 家族の肖像			
10	A II イ243	渡辺与平(宮崎与平)	帯
11	A II イ184	渡辺ふみ子	食後(母と子)
12	B 八11	北村西望	母子像
13	A II 口203	椿貞雄	夏子像
14	A II 口267	石河光哉	妻デッサン
15	A II イ943	石河光哉	七千子肖像
III. 友情のかたち			
16	A II イ536	フランシスコ・ハビエル・デ・ウルティア	ドン・ミゲル・イラリオン・エスラバ
17	A II イ456	ホアキン・ソローリャ・イ・バスティーダ	画家ブラディーリャの肖像
18	A II イ553	ホアキン・ソローリャ・イ・バスティーダ	A・サイント=アウピンの肖像
19	A II イ472	エミリオ・サラ・イ・フランセス	バルド・バサン女伯爵
20	A II イ308	アントニオ・ロベス・ガルシア	フランシスコ・カレテロ
21	A I イ99	松尾敏男	I 氏像
22	F 口13	井上博道	鴨居玲肖像
23	F 口13	井上博道	鴨居玲肖像
IV. 民衆の素顔			
24	A III イ44	ケーテ・コルヴィッツ	困窮(連作『織工の蜂起』第1葉)
25	A III イ45	ケーテ・コルヴィッツ	死(連作『織工の蜂起』第2葉)
26	A III イ46	ケーテ・コルヴィッツ	協議(連作『織工の蜂起』第3葉)
27	A III イ43	ケーテ・コルヴィッツ	織工の行進(連作『織工の蜂起』第4葉)
28	A III イ47	ケーテ・コルヴィッツ	襲撃(連作『織工の蜂起』第5葉)
29	A III イ48	ケーテ・コルヴィッツ	顛末(連作『織工の蜂起』第6葉)
30	A II イ589	バレンティン・デ・スピアウレ	バスクの村人
31	A II イ3	宮崎与平(渡辺与平)	金さんと赤
32	A II イ136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルヘ
33	B 八55	富永直樹	塗る男
34	A II イ477	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト舗装をする男たち
35	A I イ163	松尾敏男	貧しき人
V. 躍動する身体			
36	A II イ194	横手貞美	拳闘
37	A II イ156	横手貞美	ラグビー
37	A III 口55 4	マリノ・マリーニ	馬と騎士IV
39	A III 口55 05	マリノ・マリーニ	馬と騎士V
40	A III 口55 06	マリノ・マリーニ	馬と騎士VI
41	A III 口55 07	マリノ・マリーニ	馬と騎士VII
42	A II イ552	ホアキン・ソローリャ・イ・バスティーダ	エレナ・コルテシーナ
VI. 女性のイメージ			
43	A II イ475	マリアノ・フォルトゥーニ・イ・マルサル	東洋の幻想
44	A II イ550	エミリオ・サラ・イ・フランセス	マドリードのカジノの装飾画のための習作
45	A II イ558	フランシスコ・イトゥリーノ	女
46	A II イ629	バレンティン・デ・スピアウレ	バレンシアの恋する女
47	A II イ179	横手貞美	楽器持つ女
48	A II イ4	横手貞美	ピロード服の女

番号	収蔵番号	作者名	作品名	所蔵先
49	A IIイ565	アルトゥーロ・ソウト・フェイホ	二人の踊り子	
50	A IIイ567	アントニオ・ゴメス・カーノ	眠る女	
51	A II口43	原精一	支那服の女	
52	A IIIイ74	原精一	裸婦	
53	B八36	富永直樹	エジプトでみた女	
54	A II口88	オチ・オサム	裸婦	
55	A IIニ74	鴨居羊子	布絵スケッチ	

## [ 風景 ]

### I . 遠近法

56	A IIイ269	彭城貞徳	富士山之図	
57	A IIイ574	ジェームス・マクドゥガル・ハート	キューバ風景	
58	A IIイ575	オットー・トーレン	嵐の前	
59	A IIイ539	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリパのダム	
60	A IIイ540	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋	

### II . 時間と大気

61	A IIイ268	永見徳太郎(夏汀)	朝のヒマラヤ(印度)	
62	A IIイ223	山本森之助	蒲郡の朝	
63	A IIイ159	村田タマ	磯遊び	
64	A IIイ541	モデスト・ウルジェイ・イ・イングラード	共同墓地のある風景	
65	A IIイ348	山本森之助	河畔の村と冬木立	
66	A IIイ29	野口彌太郎	丘の眺め	
67	A IIイ1	彭城貞徳	九十九島・月夜の景	

### III . かたちと構図

68	A IIイ1023	棟方志功	長崎公園隅景	
69	A IIイ271	永見徳太郎(夏汀)	赤道近くの家	
70	A IIイ180	横手貞美	風景	
71	A II口70	古賀春江	窓外風景	
72	A III口411	松崎卯一	雲仙四季(内、春、夏、秋)	
73		松崎卯一	雲仙四季(内、冬)	個人蔵
74	A IIイ559	ダニエル・バスケス・ディアス	イスパニダー記念聖堂	
75	A IIイ563	ホセ・フラウ・ルイス	雨のカスティージャ	
76	A IIイ1039	アントニオ・ムラード	ディプティック(赤と灰色)	
77	A IIイ497	横手貞美	バリ風景18区	
78	A IIイ504	横手貞美	ガラージュ	
79	A IIイ253	野口彌太郎	タンジール	

## [ 静物 ]

80	A IIイ182	横手貞美	静物	
81	A IIイ482	野口彌太郎	椅子のある静物	
82	A IIイ246	バプロ・ピカソ	静物	
83	A IIイ125	フランシスコ・グディエレス・デ・ラ・ベーカー(?)	騎士の夢	
84	A IIイ513	バプロ・ピカソ	鳩のある静物	
85	A IIイ5	横手貞美	鶏	
86	A IIイ764	青山義雄	静物	
87	A IIイ166	池野清	万暦赤絵	
88	A IIイ514	作者不詳(フランドル)	風景の中の静物	



第2会場（常設展示室）

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ（cm）	所蔵先
[ 物語 ]						
89	山本芳翠	十二支・子	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
90	山本芳翠	十二支・丑	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
91	山本芳翠	十二支・寅	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
92	山本芳翠	十二支・巳	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
93	山本芳翠	十二支・午	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
94	山本芳翠	十二支・未	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
95	山本芳翠	十二支・申	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
96	山本芳翠	十二支・酉	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
97	山本芳翠	十二支・戌	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
98	山本芳翠	十二支・亥	明治25年(1892)	油彩/カンヴァス	102.2×71.0	三菱重工業株式会社長崎造船所(占勝閣)蔵
[ 祝福された空間 吉祥図 ]						
99	A I イ140	荒木十畝		旭松図屏風		
100	A I イ97	荒木十畝		鶴		
101	A I イ98	荒木十畝		鳳凰		
102	A I イ219	小波魚青		楓鹿松鶴図屏風(内鶴図)		
[ 理想の世界 山水図 ]						
103	A I □97	長井雲坪		秋景山水図		
104	A I □55	江上瓊山		雲峰飛瀑図		
105	A I □27	江上瓊山		山水図		
106	A I イ108	西湖		春景山水図		
[ 聖なるかたち ]						
107	A II イ517	作者不詳(アラゴン派あるいはカタルーニャ派)		聖ステパノ		
108	A II イ109	トラルバの画家		洗礼者聖ヨハネ		
109	A II イ132	作者不詳(カスティール派)		聖セバスティアヌス		
110	A II イ130	作者不詳(カスティール派)		巡礼者聖ヤコブ		
111	A II イ131	作者不詳(カスティール派)		聖バルトロマイ		
112	A II イ112	ペレーアの画家		洗礼者聖ヨハネ		
113	A II 二85	アントニ・タビエス		身体のコンポジション		
114	A II イ294	アントニ・クラベ		埋葬		
115	A II イ142	作者不詳(カスティール派あるいはアンダルシア派)		聖母と眠れる幼児キリスト		
116	A II イ27	小山敬三		浦上聖堂		
117	A II イ264	山中清一郎		聖堂		
118	A II イ303	鴨居玲		恋人達(B)		
119	B 二 9	アントニ・タビエス		綱と十字の刻印		
[ ほんとうのわたし 菊畑茂久馬とオブジェ制作 ]						
120	A III □58 1	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 魚時計		
121	A III □58 2	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 波の足場		
122	A III □58 3	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 大陸棚(一)		
123	A III □58 4	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 大陸棚(二)		
124	A III □58 5	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 海難審判		
125	A III □58 6	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 天動説		
126	A III □58 7	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 デルタ曳き		
127	A III □58 8	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 ギヤァ割り		
128	A III □58 9	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 偽証		
129	A III □58 10	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 O氏像(一)		
130	A III □58 11	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 O氏像(二)		
131	A III □58 12	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 緩衝器		
132	A III □58 13	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 魚頭弾		
133	A III □58 14	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 二つの水囊		
134	A III □58 15	菊畑茂久馬		版画集 天動説 其の一 海鼠型錨		

番号	収蔵番号	作者名	作品名
135	A Ⅲ口58 16	菊畑茂久馬	版画集 天動説 其の一 三層の海
136	A Ⅲ口58 17	菊畑茂久馬	版画集 天動説 其の一 鯉割り
137	A Ⅲ口58 18	菊畑茂久馬	版画集 天動説 其の一 測量桿
138	A Ⅲ口58 19	菊畑茂久馬	版画集 天動説 其の一 ポケットへ
139	B二 6	菊畑茂久馬	ベトナムの空 No .1
140	B二 7	菊畑茂久馬	鼯の畏
141	B二 8	菊畑茂久馬	薔薇刑

[ わたしがみた世界 ]

142	A Ⅱイ240	ジョアン・ミロ	PEINTURE ( 絵画 )
143	Hイ12	東松照明	キャラクター P 1
144	Hイ120	東松照明	キャラクター P 5
145	Hイ158	東松照明	キャラクター P 6
146	Hイ163	東松照明	キャラクター P 7
147	Hイ282	東松照明	ドライスキン 1
148	Hイ302	東松照明	ドライスキン21
149	Hイ296	東松照明	ドライスキン15
150	Hイ294	東松照明	ドライスキン13
151	A Ⅱニ79	アントニオ・サウラ	無題
152	A Ⅱイ470	オチ・オサム	ディ・ドリーム
153	A Ⅱニ66	菊畑茂久馬	海・暖流 七
154	A Ⅱニ67	菊畑茂久馬	海・暖流 八
155	A Ⅱイ309	ダニエル・キンテロ	コップ一杯の水の中の溺死
156	A Ⅱイ258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとする ヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む
157	A Ⅱイ17	山口長男	方
158	A Ⅱイ237	前田齊	日蝕
159	A Ⅱニ23	井川惺亮	Peinture
160	A Ⅱイ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期

所蔵表記のない作品は、すべて長崎県美術館蔵。

# 「没後20年 鴨居玲展 私の話を聞いてくれ」

平成18年5月20日(土)～7月17日(月)・(祝) \*55日間 会場：企画展示室

## 概要：

洋画家・鴨居玲の没後20年の回顧展。自己の内面を鋭く切り出すかのごとく、暗い闇から強烈なハイライトによって対象をとらえた鴨居の作品は、孤独や不安、死をも感じさせるほどの緊張感に満ちており、観る者を惹きつけて止まない。本展では、鴨居の画業初期から晩年に至るまでの代表作110点によってその全貌に迫った。

開催形態：巡回展、実行委員会形式

主催：長崎県美術館、KTN テレビ長崎、長崎新聞社

協力：財団法人日動美術財団

後援：長崎県、長崎県教育委員会

## 観覧料：

一般900(800)円、大学生・70歳以上700(600)円、  
中高生500(400)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
小学生以下は無料

観覧者数：11,641人(一日あたり212人)

出品点数：110点(うち当館所蔵作品8点)

## 関連事業：

(1) 講演会「鴨居玲とスペイン絵画 1971、マドリードの  
静止した刻」

講師：木下亮(昭和女子大学教授)

日時：6月4日(日) 14:00～16:00

参加者数：70人

(2) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週水・日曜日 14:00～14:30

(3) ワークショップ「自分を描く」

講師：滝純一(福岡教育大学教授、二紀会委員)

日時：6月17日(土) 12:45～18:00

6月18日(日) 10:00～16:00 2日間連続

## 出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
1	夜(自画像)	1947年	油彩/カンヴァス	45.5×37.8	笠間日動美術館
2	観音像	1948年	油彩/カンヴァス	116.7×72.7	北國新聞社
3	赤い裸婦	1949年	油彩/カンヴァス	117.0×91.3	ア・トクレフクラブ
4	膝を抱える少女	1951年	油彩/カンヴァス	72.8×60.6	長崎県美術館
5	彷徨う(首吊り)	1955年	油彩/カンヴァス	61.0×50.5	個人蔵
6	月と小人	1958年	パステル/紙	84.7×66.0	個人蔵
7	月に飛びつく男	1958年	グワッシュ・パステル/紙	77.5×92.8	姫路市立美術館
8	鳥	1959年	油彩/カンヴァス	79.7×91.3	神戸市立小磯記念美術館
9	赤い髪	1959年	グワッシュ・パステル/紙	95.5×78.5	個人蔵



参加者数：25人

(4) 映画上映会

「女は下着で作られる」

日時：7月1日(土) 15:30～、17:30～

## 主要記事等：

- ・伊東順二「鴨居玲の肖像画」『SIGNATURE』シティカードジャパン、平成18年6月号
- ・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK長崎放送局)平成18年6月7日放送
- ・渡辺亮一「鴨居玲 没後20年展」『毎日新聞』平成18年6月9日
- ・松尾潤「木下亮氏が鴨居展講演会」『長崎新聞』平成18年6月11日
- ・市橋安治「鴨居玲に出会った」『長崎新聞』平成18年6月25日
- ・森園敦「鴨居玲の制作現場」『長崎新聞』平成18年6月29日
- ・中村共子「美術批評！没後20年 鴨居玲展」『朝日新聞』平成18年6月30日

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
10	花	1959年	グワッシュ・パステル/紙	59.0×48.0	個人蔵
11	自画像	1960年	油彩/ボード	40.0×21.0	長崎県美術館
12	パリ郊外の教会	1960年	油彩/厚紙	44.3×56.9	笠間日動美術館
13	蛾	1962年頃	油彩/カンヴァス	162.0×130.0	石川県立美術館
14	時計	1962年頃	油彩/カンヴァス	162.0×130.0	石川県立美術館
15	マネキン	1962年頃	油彩/カンヴァス	162.0×130.0	石川県立美術館
16	赤い老人	1963年	油彩/カンヴァス	160.0×97.0	個人蔵
17	静物 ブラジルにて	1965年	油彩/カンヴァス	80.5×80.5	個人蔵
18	太鼓 於ブラジル	1965年	油彩/カンヴァス	100×80.6	姫路市立美術館
19	風船と女	1965年	油彩/カンヴァス	116.4×73.1	神戸市立小磯記念美術館
20	マントの男	1965年	油彩/カンヴァス	116.3×73.3	神戸市立小磯記念美術館
21	祈り	1965年	油彩/カンヴァス	89.1×110.0	個人蔵
22	夜	1965年	油彩/カンヴァス	116.7×90.9	長崎県美術館
23	トランプ	1966年	油彩/カンヴァス	90.9×116.7	個人蔵
24	群がる	1966年	油彩/カンヴァス	116.7×90.9	石川県立美術館
25	静止した刻	1968年	油彩/カンヴァス	90.9×116.7	石川県立美術館
26	蛾と老人	1968年	油彩/カンヴァス	100.0×73.0	石川県立美術館
27	老人達	1968年	油彩/カンヴァス	100.0×73.2	個人蔵
28	アコーディオン	1968年	油彩/カンヴァス	116.5×80.5	個人蔵
29	ローマのおばあさん	1968年	油彩/カンヴァス	116.7×73.1	個人蔵
30	蛾	1969年	油彩/カンヴァス	80.5×100.0	長崎県美術館
31	サイコロ	1969年	油彩/カンヴァス	91.3×116.3	姫路市立美術館
32	りんご	1970年	油彩/カンヴァス	100.0×81.0	個人蔵
33	ドワはノックされた(アンネの日記より)	1970年	油彩/カンヴァス	91.3×116.5	個人蔵
34	コメット	1970年	油彩/カンヴァス	91.0×72.5	兵庫県公館
35	食事	1970年	油彩/カンヴァス	60.0×73.0	個人蔵
36	カルタ	1970年	油彩/カンヴァス	53.0×45.5	個人蔵
37	八百屋さん	1970年	油彩/カンヴァス	41.0×53.0	個人蔵
38	おばあさん	1970年	油彩/カンヴァス	72.7×53.0	個人蔵
39	靴みがき	1971年	油彩/カンヴァス	73.0×60.6	個人蔵
40	教会	1971年	油彩/カンヴァス	45.6×65.3	個人蔵
41	白い杖	1971年	油彩/カンヴァス	65.0×45.5	個人蔵
42	ギター弾き	1971年	油彩/カンヴァス	61.0×50.0	個人蔵
43	乞食	1971 - 73年頃	油彩/カンヴァス	73.0×60.5	個人蔵
44	風	1972年	油彩/カンヴァス	90.7×72.6	金沢市
45	月に叫ぶ	1972年	油彩/カンヴァス	22.2×27.0	個人蔵
46	月に叫ぶ	1973年年	油彩/カンヴァス	92.2×73.0	個人蔵
47	おっかさん	1973年	油彩/カンヴァス	65.2×87.0	個人蔵
48	私の村の酔っぱらい	1973年	油彩/カンヴァス	92.0×65.0	ひろしま美術館
49	私の村の酔っぱらい(A)	1973年	油彩/カンヴァス	92.0×65.0	笠間日動美術館
50	私の村の酔っぱらい(蟲歯)	1973年	油彩/カンヴァス	65.5×45.7	個人蔵
51	私の話を聞いてくれ	1973年	油彩/カンヴァス	100.0×80.5	長崎県美術館
52	おばあさん(B)	1973年	油彩/カンヴァス	100.0×81.0	石川県立美術館
53	私の村の酔っぱらい(夢候よ)	1973年	油彩/カンヴァス	92.0×73.0	個人蔵
54	廃兵	1973年	油彩/カンヴァス	195.2×130.3	笠間日動美術館
55	教会	1973 - 85年	油彩/カンヴァス	89.0×116.0	笠間日動美術館
56	踊り候え(A)	1974年	油彩/カンヴァス	92.5×60.5	個人蔵
57	夢候よ	1974年	油彩/カンヴァス	162.0×97.0	西宮大谷記念美術館
58	石(教会)	1974年	油彩/カンヴァス	60.7×50.3	笠間日動美術館
59	廃兵	1974 - 76年	油彩/カンヴァス	92.0×65.0	長崎県美術館
60	英雄	1975年	油彩/カンヴァス	73.0×60.0	長崎県美術館
61	サイコロ	1976年	油彩/カンヴァス	60.0×145.0	個人蔵
62	旅	1976年	油彩/カンヴァス	116.3×89.0	個人蔵
63	教会	1976年	油彩/カンヴァス	162.0×130.7	ひろしま美術館

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先
64	島からの帰り	1976年	油彩 / カンヴァス	61.3 × 38.0	個人蔵
65	石の降る街	1976年	油彩 / カンヴァス	45.5 × 65.3	個人蔵
66	蛾	1976年	油彩 / カンヴァス	116.0 × 89.0	個人蔵
67	月に歌う	1976年	油彩 / カンヴァス	92.0 × 65.0	ひろしま美術館
68	風船	1976年	油彩 / カンヴァス	73.0 × 92.2	個人蔵
69	教会 ( B )	1976年	油彩 / カンヴァス	60.0 × 73.0	個人蔵
70	食事	1976年	油彩 / カンヴァス	61.3 × 50.3	個人蔵
71	教会	1978年	油彩 / カンヴァス	163.0 × 130.7	石川県立美術館
72	Etude ( A )	1978年	油彩 / カンヴァス	162.0 × 97.0	石川県立美術館
73	Etude ( B )	1978年	油彩 / カンヴァス	162.0 × 97.0	ひろしま美術館
74	空に叫ぶ	1978年	油彩 / カンヴァス	72.7 × 60.6	個人蔵
75	石の花	1979年	油彩 / カンヴァス	90.3 × 60.5	石川県立美術館
76	石の花	1980年	油彩 / カンヴァス	80.3 × 61.0	個人蔵
77	雪と鳥 於能登輪島	1980年	油彩 / カンヴァス	45.6 × 65.3	石川県立美術館
78	しゃべる	1980年	油彩 / カンヴァス	53.0 × 45.6	個人蔵
79	老人と裸婦	1980年	油彩 / カンヴァス	72.7 × 60.6	個人蔵
80	LOVE ( A )	1980年	油彩 / カンヴァス	145.5 × 97.0	個人蔵
81	白い人 ( A )	1980年	油彩 / カンヴァス	80.0 × 65.2	ひろしま美術館
82	望郷を歌う ( 故高英洋に )	1981年	油彩 / カンヴァス	105.0 × 51.5	石川県立美術館
83	海の人	1981年	油彩 / カンヴァス	116.8 × 91.0	富山県立近代美術館
84	夢にて候	1981年	油彩 / カンヴァス	53.2 × 41.0	個人蔵
85	自画像	1982年	油彩 / カンヴァス	53.0 × 45.5	笠間日動美術館
86	1982年私	1982年	油彩 / カンヴァス	181.6 × 259.0	石川県立美術館
87	チェロ	1982年	油彩 / カンヴァス	91.0 × 65.3	個人蔵
88	教会	1982年	油彩 / カンヴァス	80.3 × 61.0	個人蔵
89	ミスター X の来た日 1982.2.17	1982年	油彩 / カンヴァス	53.0 × 45.5	個人蔵
90	蜘蛛の糸	1982年	油彩 / カンヴァス	193.8 × 130.0	石川県立美術館
91	兵どもが夢の跡	1983年	油彩 / カンヴァス	50.1 × 72.6	個人蔵
92	出を待つ ( 道化師 )	1984年	油彩 / カンヴァス	116.7 × 72.7	個人蔵
93	酔って候	1984年	油彩 / カンヴァス	162.1 × 97.0	石川県立美術館
94	勲章	1985年	油彩 / カンヴァス	116.5 × 72.7	笠間日動美術館
95	肖像	1985年	油彩 / カンヴァス	91.0 × 72.7	個人蔵
96	ポリビア	1967年	コンテ・パステル / 紙	148.0 × 71.5	個人蔵
97	太鼓	1967年	コンテ・パステル / 紙	148.0 × 71.4	個人蔵
98	蛾	1967年	コンテ・パステル / 紙	148.2 × 71.6	個人蔵
99	焼栗屋さん	1968年	パステル / 紙	76.0 × 67.0	個人蔵
100	市場のおっかさん	1972年	鉛筆・油彩 / 紙	151.7 × 88.0	個人蔵
101	狂い候え	1973年	鉛筆・油彩 / 紙	116.7 × 90.9	長崎県美術館
102	長谷川智恵子像	1975年	鉛筆・水彩 / 紙	53.2 × 36.0	笠間日動美術館
103	待つ A ( おっかさん )	1979年	鉛筆・グワッシュ・油彩 / 紙	75.5 × 56.5	個人蔵
104	道化師	1979年	鉛筆・油彩 / 紙	76.0 × 56.5	個人蔵
105	ポリヴィアの娘	1980年	パステル / 紙	91.0 × 60.7	有限会社タシマ美術振興
106	石の花	1980年	パステル / 紙	90.0 × 60.7	神戸市立小磯記念美術館
107	裸婦	1983年	パステル / 紙	50.0 × 65.0	個人蔵
108	裸婦	1983年	パステル / 紙	64.2 × 49.3	個人蔵
109	バレット ( 手 )	1968年		28.0 × 58.0	笠間日動美術館
110	バレット ( 自画像 )	1984年		55.0 × 89.0	笠間日動美術館

## 「デジタル遊園地 ネットワーキングアートの未来」

平成18年7月29日(土)～9月3日(日) \*36日間 会場：企画展示室

### 概要：

長崎県において初めてのメディアアートの本格的な展覧会。当時としては新しいメディアであった写真の発祥の地長崎において、現代のメディアアートの歴史を踏まえつつ、より親しみやすいかたちでその豊かな世界を紹介することを目的に開催。代表的なメディアアーティストによるインタラクティブな作品を中心に構成し、講演会、上映会、ワークショップ、作品体験会など豊富な関連事業も展開することで、より効果的なメディアアートの普及を目指した。

### 開催形態：自主企画

**主催：**長崎県美術館

**協力：**東京都写真美術館、東京大学大学院情報学環河口研究室、九州大学ユーザーサイエンス機構子どもプロジェクト、HeArt2006Nagasaki 実行委員会、三菱電機株式会社、五條製紙株式会社、ポーズ株式会社、株式会社イーケイジャパン  
**後援：**長崎県、長崎県教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK 長崎放送局、NBC 長崎放送、KTN テレビ長崎、NCC 長崎文化放送、NIB 長崎国際テレビ、NCM 長崎ケーブルメディア、FM 長崎

**助成：**財団法人地域創造

### 観覧料：

一般900(800)円、大学生・70歳以上700(600)円、高校生500(400)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
中学生以下は無料

**観覧者数：**13,445人(一日あたり373人)

**出品点数：**20点(6名1ユニットの作品)

### 関連事業：

(1) アーティストトーク

・講師：インゴ・ギュンター

日時：7月29日(土) 14:00～15:15

参加者数：50人

・講師：河口洋一郎

日時：8月27日(日) 11:00～12:30



参加者数：40人

(2) 講演会「メディアアートの今日」

講師：森山朋絵(東京都写真美術館学芸員・東京大学大学院情報学環特任助教)

日時：8月27日(日) 14:00～15:30

参加者数：42人

(3) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週水曜日18:00～19:00

(4) フィルム上映会

「ナム＝ジュン・パイク」

日時：8月12日(土)、8月13日(日) 14:00～16:00

参加者数：25人、42人

(5) ワークショップ「網で電波を捕まえる」

講師：西島治樹

日時：7月30日(日)、8月12日(土) 14:00～16:00

参加者数：10人、11人

(6) 「《視聴覚交換マシン》体験会」

講師：八谷和彦

日時：9月2日(土)、9月3日(日) 14:00～16:00

参加者数：65人、137人

(7) 映像体験ワークショップ「驚き盤をつくろう！」

日時：8月5日(土) 14:00～16:00

参加者数：11人

(8) 展示会「工作キット展示会」

日時：8月6日(日)～11日(金) 10:00～17:00

参加者数：のべ1,998人

出品リスト:

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質、展示形式、サイズ (cm) 等	所蔵先	備考
1	ナム=ジュン・バイク	グローバル・グルーヴ	1973年	シングルチャンネル・ビデオテープ、28分30秒、カラー、サウンド、プロジェクション		
2	ナム=ジュン・バイク	グッド・モーニングミスター・オーウェル	1984年	シングルチャンネル・ビデオテープ、38分、カラー、サウンド、プロジェクション		
3	ナム=ジュン・バイク	バイ・バイ・キップリング	1986年	シングルチャンネル・ビデオテープ、30分32秒、カラー、サウンド、プロジェクション		
4	ナム=ジュン・バイク	現実の花 生きている花	1982年	テレビのボディ、ビデオカメラ、4インチテレビ、生花、サイズ不定	東京都現代美術館	
5	インゴ・ギュンター	ワールドプロセッサー	2000 - 2004年	ミクストメディア、51体によるインスタレーション	九州大学	
6	明和電機	コイ・ビート	1993年	アルミ、ABS、木、24×113×22.3	作者蔵	
7	明和電機	パチモク	1993年	アルミ、ABS、ソレノイド、モーター、木魚、革、82.2×168.0×16.5 (ウイング全開時)	作者蔵	
8	明和電機	DVD「メカトロニカ」	2004年発売	プロジェクション		レーベル：GT Music
9	明和電機	DVD「NAKI～26のナンセンス＝マシーン～」	2004年発売	プロジェクション		レーベル：GT Music
10	西島治樹	Remain in Light	2000年	プログラム、PC、赤外線センサー、スピーカー、プロジェクター、スクリーン、電子昆虫採集キット他、インスタレーション	作者蔵	
11	八谷和彦	Enter	2003年	ミクストメディア、240×240×60	広島市現代美術館	
12	八谷和彦	コロボックルのテーブル アリーファインダー03	フェ 2006年	ミクストメディア、41×90×50		この作品は、独立行政法人科学技術振興機構CRESTプロジェクト『デバイスアートにおける表現系科学技術の創成』において制作されました。
13	八谷和彦	視聴覚交換マシン (2006年9月2日、3日に開催の「《視聴覚交換マシン》体験会」のみに出品)	1993年	ミクストメディア、サイズ不定	作者蔵	
14	岩井俊雄	時間層Ⅱ	1985年	ミクストメディア、180×100×100	毎日新聞社蔵 東京都写真美術館寄託	
15	宮島達男	Deathclock for participation in NPAM 2006	2006年	タイムコントロールプログラム、PC、カメラ、23インチディスプレイ、ケーブル類、インスタレーション	Courtesy TGA Co., Ltd.	
16	河口洋一郎	Gemotion	2000年～	プログラム、PC、カメラ 投影型インタラクティブインスタレーション	作者蔵	
17	河口洋一郎	EggyBoy (フィギュア)		ミクストメディア、150×100×100	作者蔵	
18	河口洋一郎	EGGY (レンチキュラー)	CG : 1990年	ミクストメディア、182×102×21	作者蔵	
19	河口洋一郎	EGGYBOY (レンチキュラー)	CG : 1990年	ミクストメディア、145×103.5×21	作者蔵	
20	河口洋一郎	FESTIVAL (レンチキュラー)	CG : 1991年	ミクストメディア、145×103.5×21	作者蔵	

## 「わたしが選んだちひろ展」

平成18年 8月4日(金)～9月3日(日) \*30日間 会場：県民ギャラリー全室

### 概要：

いわさきちひろの代表作に、各界の著名人や長崎県民から寄せられたメッセージを添えて構成した展覧会。

**開催形態：**長崎新聞社との共同主催

**主催：**長崎新聞社、長崎県美術館、ちひろ美術館

**共催：**長崎県、長崎県教育委員会、NCC 長崎文化放送

**協力：**長崎県社会福祉協議会、長崎県医師会、NHK 長崎放送局、長崎新聞販売センター

**特別協賛：**カステラ本家福砂屋、ジャパネットたかた、昭和堂

**協賛：**九州電力長崎支店、長崎ヤクルト、ダイワハウス、日本通運長崎支店、ぜに屋本店、あたご自動車学校、セルフからこ、優美苑、長崎花市場、長崎県花き振興協議会、ホテルニュー長崎



**観覧者数：**41,371人（一日あたり1,379人）

### 観覧料：

一般1,000（800）円、高大生・70歳以上800（600）円、小中生700（500）円

（ ）内は前売料金および20名以上の団体割引料金

**出品点数：**136点

### 出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	緑の風のなかの少女	1972年	水彩/紙	35.7×48.2
2	母の日	1972年	水彩、鉛筆/紙	35.7×38.0
3	ぶどうを持つ少女	1973年	水彩、鉛筆/紙	35.8×38.0
4	おつむてんてん	1971年	水彩、鉛筆/洋紙	24.1×35.8
5	立てひざの少年	1970年	パステル、水彩/紙	48.3×35.7
6	チューリップのなかの男の子	1965年	水彩、鉛筆/紙	31.8×31.8
7	チューリップと子ども	1970年頃	鉛筆、水彩/紙	36.0×24.2
8	あやめと少女	1967年	水彩/紙	62.8×34.4
9	秋の花と子どもたち	1965年	水彩/紙	36.7×48.4
10	水着の女の子	1970年	パステル/紙	50.0×65.0
11	麦わら帽子に蟹をのせた少年	1971年	水彩/紙	36.0×32.3
12	バラ飾りの帽子の少女	1971年	水彩、鉛筆/紙	35.8×24.0
13	毛糸を編む少女	1972年	水彩/紙	31.0×23.8
14	こげ茶色の帽子の少女	1970年代前半	水彩、鉛筆/紙	21.0×9.0
15	黄色い傘のふたり	1971年	水彩、鉛筆/紙	27.2×19.9
16	夏の宵の白い花と子ども	1969年	水彩、鉛筆/紙	24.0×18.0
17	お姉さんとあかちゃん	1971年	水彩、鉛筆/紙	24.3×31.8
18	ゆびきりをする子ども	1966年	水彩、鉛筆/紙	35.8×48.5
19	垣根ごしにのぞく子ども	1970年	パステル/紙	48.4×64.7
20	水仙とつくしをみる子ども	1960年代後半	鉛筆、水彩/紙	35.9×24.2
21	ストーブとふたりの子ども	1960年代後半	水彩、鉛筆/画用紙	22.6×34.8
22	紫の雨のなかの少女	1971年	水彩、鉛筆/洋紙	26.8×27.9
23	てるてるぼうずと少女	1971年	水彩、色鉛筆、鉛筆/洋紙	35.7×48.0
24	黄色い傘の子どもたち	1971年	水彩、鉛筆/紙	27.1×17.7
25	黄色い傘の少女	1969年	水彩/紙	23.0×16.5
26	かんらんしゃ		水彩、鉛筆/紙	35.9×48.4
27	りんごと天使	1964年	水彩/紙	11.3×11.0



番号	作品名	制作年	所蔵先	技法・材質
28	蓮の花の精	1960年代後半	水彩／紙	121×183
29	木の葉の精	1973年	水彩／紙	35.5×24.1
30	水仙の花畑のうさぎたち	1969年	水彩、鉛筆／紙	38.4×54.5
31	りすとクリスマスツリー	1969年	水彩、鉛筆／紙	36.0×33.4
32	山羊と男の子	1969年	水彩、鉛筆／紙	48.4×33.3
33	見つめあうライオンと女の子	1971年	水彩、鉛筆／紙	35.8×24.1
34	横顔の少年	1970年	パステル、水彩／紙	48.3×35.8
35	ピンクの服の少女	1970年	パステル／紙	35.7×24.2
36	ポインセチアと少女	1971年	水彩、鉛筆／紙	57.3×27.2
37	プレゼント	1970年頃	水彩、パステル／紙	48.1×35.8
38	楽器を鳴らす子どもたち	1957年	水彩、パステル／紙	35.7×48.7
39	「ままごと」	1959年	水彩、鉛筆／紙	32.0×22.0
40	十五夜の月	1965年	水彩、鉛筆／紙	35.7×48.3
41	小犬と雨の日の子どもたち	1967年	水彩、クレヨン、鉛筆／紙	34.3×35.7
42	身体測定	1966年	水彩、鉛筆／紙	35.7×48.4
43	ランドセルをしょって並んで歩く1年生	1966年	水彩／紙	16.7×29.1
44	春の野原	1972年	水彩、鉛筆／紙	35.7×32.0
45	雪に手をさしのべる少女	1958年	水彩／紙	20.8×37.0
46	ストーブに薪をくべる少女	1973年	水彩／紙	37.5×53.4
47	太い木と子ども	1971年	水彩／紙	24.0×18.8
48	雪のなかを走る子ども	1970年	水彩、鉛筆／紙	24.1×20.1
49	つば広帽子の少女	1968 - 69年	水彩／紙	52.4×38.1
50	「赤いくつ」	1960年代後半	水彩／紙	32.8×46.2
51	『アルプスの少女』おじいさんとハイジ		鉛筆、水彩／紙	24.1×17.9
52	『マッチうりの少女』マッチをともす少女	1964年	水彩／紙	18.2×19.7
53	『小公女、小公子』小公子		紙	26.0×24.5
54	『つるのおんがえし』夕焼けのなかのつると娘	1966年	水彩、鉛筆／紙	33.3×24.1
55	『つるのおんがえし』鶴を助けるおじいさん	1966年	水彩、鉛筆／紙	35.6×48.3
56	『つるのおんがえし』雪の日に訪ねてきた娘	1966年	水彩、鉛筆／紙	35.6×48.3
57	『つるのおんがえし』いろいろ端のおじいさんとあばあさん、むすめ	1966年	水彩、鉛筆／紙	35.8×48.3
58	『おにたのぼうし』麦わら帽子をかぶったおにた	1969年	水彩、鉛筆／紙	36.0×48.4
59	『おにたのぼうし』雪のなかを歩いてきたおにた	1969年	水彩、鉛筆／紙	35.9×48.3
60	『おにたのぼうし』戸口に立つおにた	1969年	水彩、鉛筆／紙	35.9×48.3
61	『おにたのぼうし』赤飯を差し出したおにたと少女	1969年	水彩、鉛筆／紙	36.1×48.4
62	『青い鳥』思い出の国の入口に立つチルチルとミチル	1969年	水彩、鉛筆／紙	35.9×48.3
63	『青い鳥』青い鳥を追いかけるチルチルとミチル	1969年	水彩、鉛筆／紙	35.9×48.4
64	『青い鳥』光がさしこんできた森	1969年	水彩／紙	36.0×48.4
65	『青い鳥』発明家になる未来の国の子どもたち	1969年	水彩、鉛筆／紙	36.0×48.4
66	『ゆきのひのたんじょうび』はい ぶれぜんと	1972年	水彩、鉛筆／紙	38.6×54.5
67	『ゆきのひのたんじょうび』色ろうそく	1972年	水彩／紙	38.6×41.8
68	『ゆきのひのたんじょうび』おほしさま		水彩／紙	36.0×48.5
69	『ゆきのひのたんじょうび』雪の家並み	1972年	水彩／紙	38.4×54.4
70	『ゆきのひのたんじょうび』赤い毛糸帽の女の子	1972年	水彩／紙	32.7×36.1
71	『ぼちのきたうみ』ぼちを抱く私	1973年	水彩／紙	30.0×16.8
72	『ぼちのきたうみ』鏡のなかの少女	1973年	水彩／紙	36.7×40.5
73	『ぼちのきたうみ』ぼちと私1 はらばい	1973年	墨、鉛筆／紙	17.6×21.5
74	『ぼちのきたうみ』ぼちと私2 うきぶくる	1973年	墨、鉛筆／紙	24.1×17.8
75	『ぼちのきたうみ』ぼちと私3 たかいたかい	1973年	墨、鉛筆／紙	24.2×14.4
76	『ぼちのきたうみ』海辺を走る少女と小犬	1973年	水彩／紙	32.8×54.5
77	『ぼちのきたうみ』小犬を抱く少女	1973年	水彩／紙	37.0×38.8
78	湯あがりのあかちゃん	1971年	水彩、鉛筆／紙	24.5×23.9
79	ピンクのうさぎとあかちゃん	1971年	水彩、鉛筆／紙	17.9×24.1
80	ピンクのリボンのあかちゃん	1971年	水彩、鉛筆／紙	14.1×9.0
81	えほんをめくるあかちゃん	1965年	インク／紙	18.0×25.8
82	昼寝をする夏のあかちゃん	1967年	インク／紙	18.5×13.1

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
83	椅子に座るあかちゃん (231 / 八カ月から九カ月まで)	1967年	インク / 紙	25.8 × 18.0
84	抱き上げてもらうはだかの赤ちゃん (119 / 乳児体操)	1967年	墨 / 紙	12.1 × 17.8
85	足をつかんで遊ぶあかちゃん	1967年	インク / 紙	12.1 × 17.9
86	でんぐりがえしをしようとするあかちゃん	1965年	インク / 紙	25.8 × 18.0
87	新聞紙で遊ぶあかちゃん	1967年	インク / 紙	25.7 × 18.2
88	自画像 (27歳)	1946年	鉛筆 / 紙	26.7 × 20.3
89	顔をおおう自画像	1947年頃	インク / 紙	15.8 × 20.4
90	屋根裏のアトリエで本を読む自画像	1947年頃	インク / 紙	13.3 × 20.4
91	長男、猛	1951年	鉛筆、水彩 / 紙	14.2 × 19.0
92	子ども	1962年	油彩 / カンヴァス	88.0 × 70.0
93	神戸原より田園風景をのぞむ	1950年	鉛筆、水彩 / 紙	18.0 × 25.3
94	信州の父母	1951年	鉛筆、水彩 / 紙	14.8 × 21.0
95	神戸原のやぎ	1950年	鉛筆、水彩 / 紙	14.2 × 20.0
96	布良 防波堤の子どもたち	1965年	鉛筆、水彩 / 紙	18.1 × 26.2
97	布良港 堤防で遊ぶ子どもたち	1965年	鉛筆、水彩 / 紙	18.1 × 26.2
98	ルーブルにて サモトラケのニケ	1966年	鉛筆、水彩 / 紙	16.0 × 23.5
99	オーデンセ アンデルセンの家	1966年	鉛筆、水彩 / 紙	16.0 × 23.5
100	フィレンツェ ボンテ、ヴェッキオの夕日	1966年	鉛筆、水彩 / 紙	16.0 × 23.5
101	ローマ 猫のいる遺跡	1966年	鉛筆、水彩 / 紙	13.9 × 17.7
102	『戦火のなかの子どもたち』戦火のなかの少女	1972年	鉛筆、水彩 / 紙	22.5 × 26.3
103	『戦火のなかの子どもたち』シクラメンの花のなかの子どもたち	1973年	鉛筆、水彩 / 紙	35.9 × 48.4
104	『戦火のなかの子どもたち』焼け跡の姉弟	1973年	鉛筆、墨 / 紙	36.0 × 48.0
105	『戦火のなかの子どもたち』少年	1973年	鉛筆、水彩 / 紙	35.7 × 36.4
106	『戦火のなかの子どもたち』焔のなかの母と子	1973年	鉛筆、墨 / 紙	38.5 × 54.5
107	『戦火のなかの子どもたち』たたずむ少年	1972年	鉛筆、水彩 / 紙	39.0 × 32.0
108	『戦火のなかの子どもたち』雨の中に座る少女	1972年	鉛筆、水彩 / 紙	33.7 × 24.9
109	『戦火のなかの子どもたち』ものかげからのぞく少女	1973年	鉛筆 / 紙	45.0 × 36.0
110	『わたしがちいさかったときに』見つめる少女	1967年	鉛筆 / 紙	26.0 × 20.9
111	『わたしがちいさかったときに』死んだ女の子	1967年	鉛筆 / 紙	20.6 × 25.3
112	『わたしがちいさかったときに』焼け跡の家族	1967年	鉛筆、墨 / 紙	24.2 × 18.0
113	『わたしがちいさかったときに』焼け跡を見つめる少年	1967年	鉛筆、墨 / 紙	24.2 × 29.7
114	『わたしがちいさかったときに』死んだ子どもを抱く目の見えなくなった母親	1967年	鉛筆、墨 / 紙	24.2 × 17.9
115	『わたしがちいさかったときに』泣いている少女	1967年	鉛筆、墨 / 紙	24.2 × 18.0
116	『わたしがちいさかったときに』防空ずきんにくるまるあかちゃん	1967年	鉛筆、墨 / 紙	24.2 × 18.0
117	『わたしがちいさかったときに』広島から八里の道を歩いて帰ってきた少女	1967年	鉛筆、墨 / 紙	24.2 × 23.5
118	「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」	1970年	パステル / 紙	1035 × 730
119	海辺の小鳥	1972年	水彩 / 紙	34.7 × 48.5
120	チューリップとあかちゃん	1971年	水彩、鉛筆 / 紙	33.1 × 23.1
121	緑の風のなかで	1973年	ビエゾグラフ	46.5 × 34.3
122	小指を口にあてる少女	1968 - 69年	ビエゾグラフ	18.0 × 16.2
123	帽子の少女	1970年	ビエゾグラフ	43.8 × 33.5
124	『あかまんまとうげ』わらびを持つ少女	1972年	ビエゾグラフ	43.0 × 31.5
125	光と風のなかで	1968年	ビエゾグラフ	41.4 × 69.5
126	水仙のある母子像	1972年	ビエゾグラフ	44.5 × 46.0
127	バラと少女	1966年	ビエゾグラフ	39.3 × 64.5
128	『あかちゃんのくるひ』あかちゃんのくるひ	1969年	ビエゾグラフ	44.0 × 44.2
129	『ことりのくるひ』小鳥と少女	1971年	ビエゾグラフ	43.5 × 45.3
130	『あめのひのおるすばん』くちもとに指をそえた少女	1968年	ビエゾグラフ	41.8 × 33.5
131	絵をかく女の子	1970年	ビエゾグラフ	43.7 × 55.7
132	「ロンドン橋がおちる」	1966年	ビエゾグラフ	43.8 × 55.8
133	『あめのひのおるすばん』窓ガラスに絵をかく少女	1968年	ビエゾグラフ	37.2 × 32.8
134	『ぼちのきたうみ』海の夕焼けと手紙をかく少女	1973年	ビエゾグラフ	47.1 × 62.1
135	『ぼちのきたうみ』海辺を走る少女と小犬	1973年	ビエゾグラフ	43.5 × 55.5
136	『にんぎょひめ』王子を想う人魚姫	1967年	ビエゾグラフ	43.0 × 43.3

参考出品 遺品・画材1式

作品は、すべて安曇野ちひろ美術館蔵。

# 「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ」展

平成18年10月7日(土)～11月19日(日) \*41日間 会場：企画展示室

## 概要：

AIG スター生命が所蔵する、印象派からエコール・ド・パリまでのフランス近代絵画50点を紹介する展覧会。モネやルノワールなど、日本でも人気の高い画家たちの作品で構成されるこのコレクションは、その質の高さにもかかわらず、これまで一度も本格的に紹介されたことがなかった。本展は、この秘蔵のコレクションを初めて大々的に一般公開する貴重な機会となった。

## 開催形態：自主企画

**主催：**長崎県美術館、長崎県、長崎新聞社、KTN テレビ長崎、NIB 長崎国際テレビ

**後援：**長崎県教育委員会、西日本新聞社、佐賀新聞社、FBS 福岡放送、TNC テレビ西日本、STS サガテレビ、長崎日仏協会

**特別協賛：**AIG グループ（アリコジャパン、AIG スター生命、AIG エジソン生命、AIU 保険会社、アメリカンホーム保険会社、AIG コミュニケーションワン、AIG フィナンシャル・システムズ）

## 観覧料：

一般1,000(900)円、大学生・70歳以上800(700)円、高校生600(500)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
中学生以下は無料

**観覧者数：**39,476人(一日あたり963人)

**出品点数：**50点

## 関連事業：

### (1) 講演会

「フランス近代絵画の流れ 印象派からエコール・ド・パリへ」

講師：三浦篤(東京大学教授)

日時：10月15日(日) 14:00～16:00

参加者数：79人

### (2) 学芸員によるスライドトーク

時間：14:00～14:45

10月14日(土)「印象派とジャポニスム」(遠山景子)

参加者数：約30人

10月21日(土)「エコール・ド・パリの画家たち」(遠山景子)

参加者数：約30人

10月28日(土)「ルノワール入門」(福満葉子)

参加者数：約50人

11月11日(土)「ゴッホ」(福満葉子) 参加者数：約30人

### (3) 学芸員によるギャラリートーク



日時：日曜(10月8、22日、11月5、12日) 14:00～14:30

### (4) 映画上映会

ジャン・ルノワール「ピクニック」

日時：10月29日(日) 14:00～14:40

参加者数：116人

### (5) コンサート

・井谷俊二ピアノコンサート「フランスの薫り、水辺のたたずみ」

日時：10月28日(土) 20:15～21:30

演奏：井谷俊二(活水女子大学教授)

料金：3,000円(本展観覧券、ドリンク付)

参加者数：169人

・ウルフ・シャーフフルートリサイタル

日時：10月27日(金) 18:00～19:00

演奏：ウルフ・シャーフ(ベルリン放送管弦楽団首席奏者)

参加者数：250人

## 主要記事等：

・福満葉子「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ (1) ルノワール《ジャンヌ・サマリーの肖像》」『長崎新聞』平成18年10月8日

・福満葉子「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ (2) ゴッホ《夫は漁に出ている》」『長崎新聞』平成18年10月15日

・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK 長崎放送局)平成18年10月18日放送

・福満葉子「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ (3) ドローネー《手袋のある静物》」『長崎新聞』平成18年10月22日

・遠山景子「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ (4) パスキン《小さな女優》」『長崎新聞』平成18年10月29日

## 出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	クロード・モネ	ラ・エーヴ岬の馬	1864年	油彩 / カンヴァス	51.5 × 73.0
2	クロード・モネ	農家の中庭	1878年	油彩 / カンヴァス	61.0 × 50.0
3	クロード・モネ	満潮のブルヴィルの日没	1882年	油彩 / カンヴァス	54.0 × 73.0
4	クロード・モネ	赤とピンクの芥子	1883年	油彩 / カンヴァス	119.5 × 37.0
5	クロード・モネ	ジヴェルニーの冬	1886年	油彩 / カンヴァス	60.0 × 81.0
6	クロード・モネ	ゴルフ・ジュアン	1888年	油彩 / カンヴァス	65.0 × 92.0
7	クロード・モネ	クリスティアニア近くのフィヨルドの岸辺	1895年	油彩 / カンヴァス	65.0 × 100.0
8	ギュスターヴ・カイユボット	セーヌ河の支流、アルジャントゥイユ	1886 - 87年	油彩 / カンヴァス	81.0 × 65.0
9	カミーユ・ピサロ	ルーアンの増水したセーヌ河	1896年	油彩 / カンヴァス	55.0 × 65.0
10	カミーユ・ピサロ	果樹園の収穫、エラニー	1899年頃	油彩 / カンヴァス	38.5 × 46.5
11	エドガー・ドガ	楽屋の二人の踊り子		パステル / 板に貼った 賽の目紙	52.0 × 45.0
12	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	ジャンヌ・サマリーの肖像	1879 - 80年頃	パステル / 紙	58.0 × 43.0
13	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	立ち姿のジョルジェット・シャルパンティエ	1880年	油彩 / カンヴァス	35.5 × 27.0
14	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	子どもとリンゴ		油彩 / カンヴァス	40.6 × 33.0
15	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	麦藁帽子の娘		油彩 / カンヴァス	55.9 × 46.0
16	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	帽子の傍で横たわる裸婦、休息		パステル、アーティスト トボードに貼った紙	45.0 × 60.0
17	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	森の小道、子どもを抱く女	1900年	油彩 / カンヴァス	26.0 × 20.6
18	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	カーニウ風景	1907 - 08年頃	油彩 / カンヴァス	32.6 × 41.3
19	フィンセント・ファン・ゴッホ	夫は漁に出ている	1889年	油彩 / カンヴァス	66.0 × 51.0
20	ポール・ゴーギャン	ブルターニュの少年と鷺鳥	1889年	油彩 / カンヴァス	92.0 × 73.0
21	オディロン・ルドン	花瓶のバンジー		パステル / 紙	62.3 × 48.5
22	アンリ・エドモン・クロス	東風の吹く地中海	1902年頃	油彩 / カンヴァス	60.0 × 81.0
23	ロベール・ドロネー	手袋のある静物	1906 - 07年	油彩 / カンヴァス	100.4 × 81.3
24	ビート・モンドリアン	農家と井戸	1907 - 08年	油彩 / 厚紙	76.5 × 64.0
25	ギュスターヴ・ロワソー	オセールの教会	1907年	油彩 / カンヴァス	64.8 × 54.6
26	ギュスターヴ・ロワソー	トリエルのつり橋	1917年	油彩 / カンヴァス	59.7 × 92.1
27	アンリ・ルバスク	ブランコ	1906年	油彩 / カンヴァス	89.5 × 116.5
28	アンリ・ルバスク	スペイン風クッションに横たわる裸婦		油彩 / カンヴァス	81.3 × 116.2
29	アルベール・マルケ	ヘスネスの室内、ノルウェー	1925年	油彩 / カンヴァス	50.2 × 61.2
30	ラウル・デュフィ	三美神	1942年	油彩 / カンヴァス	73.0 × 97.0
31	ピエール・ボナール	果物摘み	1946年	油彩 / カンヴァス	128.0 × 152.0
32	アンリ・アイデン	キュピスム風人物	1919 - 21年頃	油彩 / カンヴァス	99.5 × 65.0
33	マリー・ローランサン	棧敷席		油彩 / カンヴァス	33.0 × 41.0
34	マリー・ローランサン	母と娘	1927年	油彩 / カンヴァス	61.0 × 51.0
35	ジュール・パスキン	小さな女優	1927年	油彩 / カンヴァス	73.0 × 92.0
36	モイーズ・キスリング	芥子の花	1931年	油彩 / カンヴァス	92.0 × 65.0
37	藤田嗣治	ダリア	1918年	油彩 / カンヴァス	46.0 × 38.0
38	藤田嗣治	女の肖像	1931年	水彩、ペン、インク / 紙	42.0 × 33.0
39	藤田嗣治	着物姿の日本娘	1934年	ペン、墨、水彩 / 紙	93.2 × 64.7
40	藤田嗣治	花	1940年	油彩 / カンヴァス	55.0 × 46.0 55.0 × 46.0
41	荻須高德	並木道	1929年頃	油彩 / カンヴァス	60.0 × 73.0
42	荻須高德	レマン湖、ジュネーヴ	1934年	油彩 / カンヴァス	46.0 × 55.0
43	荻須高德	停泊地の眺望、ジュネーヴ	1938年	油彩 / カンヴァス	60.0 × 72.0
44	荻須高德	オ・ヴュー・シェーヌ		油彩 / カンヴァス	53.3 × 43.2
45	パブロ・ピカソ	食卓につく女	1959年	油彩 / カンヴァス	81.0 × 100.0
46	マルク・シャガール	ぬかるみにはまった荷馬車	1926 - 27年	グワッシュ / 紙	50.0 × 41.0
47	マルク・シャガール	赤い樹	1966年	油彩 / カンヴァス	130.2 × 95.8
48	マルク・シャガール	ドン・キホーテ		ペン、鉛筆、インク、 水彩 / 紙	71.1 × 53.3
49	マルク・シャガール	月下のヴァイオリニスト	1975年	油彩 / カンヴァス	134.6 × 114.3
50	マルク・シャガール	オルフェウスの神話	1977年	油彩 / カンヴァス	97.2 × 144.8

\*作品は、すべて AIG スター生命保険株式会社蔵。

# 「名取洋之助と日本工房 報道写真とグラフィック・デザインの青春時代」

平成18年11月28日(火)～12月28日(木) \*29日間 会場：企画展示室

## 概要：

ドイツでデザインを学んだ写真家の名取洋之助(1910 - 62)がアートディレクターとして主宰した日本工房は、当代随一の写真家・デザイナーを結集して、1930年代に日本初のグラフィック誌『NIPPON』を創刊するなどめざましい活動を行った。本展は、いまだ全貌の知られていないこの日本工房にスポットをあて、日本の写真、デザイン史に与えた多大な影響を検証したもの。

## 開催形態：巡回展

主催：長崎県美術館

共催：財団法人日本カメラ財団、社団法人日本写真家協会

協力：財団法人土門拳記念館

後援：長崎県、長崎県教育委員会

協賛：国書刊行会

## 観覧料：

一般900(800)円、大学生・70歳以上600(500)円、高校生400(300)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
中学生以下は無料

観覧者数：3,434人(一日あたり118人)

出品点数：257件

## 関連事業：

(1) 講演会「日本とデザイン」

講師：伊東順二(長崎県美術館長)

日時：12月17日(日) 14:00～15:30

参加者数：50人

## 出品リスト：

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ(cm)	所蔵先	備考
1		ライカⅢ	1935年発売	参考資料	7×14×5.3	日本カメラ博物館	
2		ローライフレックス スタンダード	1936年発売	参考資料	20×9.5×8	日本カメラ博物館	
3		『ディー・ベトヒャー・シュトラッセ』	1928年10月	参考資料	35.3×25.8	個人蔵	発行：アンゲルザクセン・フェアラーク社
4	写真：堀野正雄	「大東京の性格」(『中央公論』)	1931年10月	参考資料	21.2×27.3	個人蔵	発行：中央公論社
5	写真：渡辺義雄	「カメラ・ウワークより ダンスホールをみる」(『フォトタイムス』)	1933年2月	参考資料	21.8×15	個人蔵	発行：フォトタイムス社
6	構成：河野鷹思	「モダン趣味」(『婦人画報』)	1934年2月	参考資料	24.2×19	島田安彦コレクション	発行：東京社
7	写真：名取洋之助	「宝さがし」(『ミュンヘナー・イラストリール・ブレッセ』)	1931年6月	パネル		日本カメラ博物館提供	



(2) ゲストによるギャラリートーク

講師：堀宜雄(福島県立美術館学芸員)

日時：11月28日(土) 11:00～12:00

参加者数：20人

(3) 学芸員によるギャラリートーク

毎週日曜日14:00～15:00

(4) ワークショップ

・「レターヘッドデザイン オリジナル便せんをつくろう！」

日時：12月9日(土) 10:30～13:00

参加者数：24人

・「ブックジャケットデザイン」

日時：12月16日(土) 14:00～16:00

参加者数：24人

## 主要記事等：

・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK 長崎放送局)平成18年12月6日放送

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
8	写真：名取洋之助	「日本の宿屋」(『ベルリナー・イラストリールテ・ツァイトウング』)	1932年6月26日	掲載誌	37.8×27.8	個人蔵	
9	写真：名取洋之助	「日本の住宅」(『ベルリナー・イラストリールテ・ツァイトウング』)	1932年9月4日	掲載誌	37.8×27.8	川崎市市民ミュージアム	
10	写真：名取洋之助	「相撲」(『ベルリナー・イラストリールテ・ツァイトウング』)	1934年7月7日	掲載誌	37.8×27.8	川崎市市民ミュージアム	
11	写真：名取洋之助	「空からみた日本」(『ベルリナー・イラストリールテ・ツァイトウング』)	1935年8月15日	掲載誌	37.8×27.8	川崎市市民ミュージアム	
12	写真：名取洋之助	「玩具の学校」(『婦人画報』)	1934年7月	掲載紙	26.2×18.8	島田安彦コレクション	発行：東京社
13	写真：木村伊兵衛	「表紙」(『光画』2巻10号)	1933年10月	掲載誌	27.8×22.1	川崎市市民ミュージアム	
14	写真：名取洋之助	「外国行通信写真の一部」(『光画』2巻10号)	1933年10月	掲載誌	27.8×22.1	川崎市市民ミュージアム	
15	写真：木村伊兵衛	「文芸家肖像展」(『光画』2巻12号)	1933年12月	掲載誌	27.8×22.1	個人蔵	
16	名取洋之助	日本の宿屋 より 1点	1932年	写真(ゼラチンシルバークラウド)	30.4×25.4	土門拳記念館	
17	名取洋之助	日本の住宅 より 3点	1932年	写真(ゼラチンシルバークラウド)	各30.4×25.4	土門拳記念館/日本写真家協会	
18	木村伊兵衛	ライカによる文芸家の肖像より 佐藤春夫	1933年12月	写真(ゼラチンシルバークラウド)	28.7×22.4	横浜美術館	半期展示
19	木村伊兵衛	ライカによる文芸家の肖像より 高田保	1933年12月	写真(ゼラチンシルバークラウド)	28.7×19.4	横浜美術館	半期展示
20	木村伊兵衛	ライカによる文芸家の肖像より 長谷川如是閑	1933年12月	写真(ゼラチンシルバークラウド)	28.7×22.4	横浜美術館	半期展示
21	木村伊兵衛	ライカによる文芸家の肖像より 横光利一	1933年12月	写真(ゼラチンシルバークラウド)	28.7×21.3	横浜美術館	半期展示
22		報道写真展会場 2点	1934年3月	写真資料	12.2×19.3、 12.7×19.6	特種製紙	半期展示
23		報道写真展会場 4点	1934年3月	パネル		日本カメラ博物館提供	半期展示
24		日本工房パンフレット1-報道写真に就いて	1934年3月12日	印刷物	24.3×19.2	特種製紙	発行：日本工房(構成：原弘/写真：木村伊兵衛、名取洋之助)
25		「大東京の性格」(『中央公論』)	1931年10月	参考資料	21.2×27.3	個人蔵	発行：中央公論社(写真：堀野正雄)
26		『NIPPON』1号	1934年10月20日	雑誌	37×26.6	武蔵工大図書館/特種製紙/川崎市市民ミュージアム/個人蔵	発行：日本工房(表紙構成：山名文夫/表紙写真：渡辺義雄)
27		『NIPPON』2号	1935年1月25日	雑誌	37.2×26.6	武蔵工大図書館/特種製紙/川崎市市民ミュージアム/山鬼文庫/個人蔵	発行：日本工房(表紙構成：河野鷹思)
28		『NIPPON』3号	1935年4月20日	雑誌	37.2×26.6	武蔵工大図書館/特種製紙/川崎市市民ミュージアム	発行：日本工房(表紙構成：山名文夫)
29		『NIPPON』4号	1935年7月22日	雑誌	37.2×26.6	武蔵工大図書館/川崎市市民ミュージアム/個人蔵	発行：日本工房(表紙構成：山名文夫)
30		『NIPPON』5号	1935年11月25日	雑誌	37.2×26.6	武蔵工大図書館/特種製紙/川崎市市民ミュージアム	発行：日本工房(表紙構成：山名文夫)
31		『NIPPON』6号	1936年3月5日	雑誌	37×26.5	武蔵工大図書館/川崎市市民ミュージアム	発行：日本工房(表紙構成：山名文夫/表紙写真：名取洋之助)

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
32		『NIPPON』7号	1936年6月4日	雑誌	37.2×26.6	武蔵工大図書館/川崎市市民ミュージアム/個人蔵	発行: 日本工房 (表紙構成: 河野鷹思/表紙写真: 名取洋之助)
33		『NIPPON』8号	1936年8月10日	雑誌	37×26.6	武蔵工大図書館/川崎市市民ミュージアム/個人蔵	発行: 日本工房 (表紙構成: 山名文夫)
34		『NIPPON』9号	1936年11月2日	雑誌	37×26.6	武蔵工大図書館/個人蔵	発行: 日本工房 (表紙構成: 山名文夫/表紙写真: [土門拳])
35		『NIPPON』10号 現代日本女性号	1937年3月15日	雑誌	37.2×26.6	武蔵工大図書館/日本カメラ博物館	発行: 日本工房 (表紙構成: 河野鷹思)
36		『NIPPON』11号 パリ万国博覧会号	1937年5月17日	雑誌	36.9×26.5	武蔵工大図書館/川崎市市民ミュージアム/個人蔵	発行: 日本工房 (表紙構成: 熊田五郎/表紙写真: [土門拳])
37		『NIPPON』12号 日本教育号	1937年7月28日	雑誌	36.9×26.5	武蔵工大図書館/川崎市市民ミュージアム/個人蔵	発行: 日本工房 (表紙構成: 山名文夫)
38		『NIPPON』日本語版1936年	1936年12月20日	雑誌	37.2×26.3	川崎市市民ミュージアム/個人蔵	発行: 日本工房 (表紙構成: 熊田五郎/表紙写真: [土門拳])
39		『NIPPON』14号合本	1934-35年	雑誌	37.2×26.7	国際交流基金図書館	発行: 日本工房
40		『NIPPON』58号合本	1935-36年	雑誌	37×26.5	国際交流基金図書館	発行: 日本工房
41		『NIPPON』912号合本	1936-37	雑誌	37.2×26.7	国際交流基金図書館	発行: 日本工房
42	構成: 山名文夫	日本工房便箋2	1934年頃	印刷物	28.1×21.6	資生堂企業資料館	
43	構成: 山名文夫	日本工房便箋3	1935-36年	印刷物	28.1×21.6	資生堂企業資料館	
44	構成: 山名文夫	日本工房封筒1	1934年	印刷物	10.9×27.2	資生堂企業資料館	
45	構成: 山名文夫	日本工房封筒2	1934年	印刷物	10.9×27.2	資生堂企業資料館	
46	構成: 山名文夫	『NIPPON』購読用ハガキ1	1935年頃	印刷物	14×9.1	川崎市市民ミュージアム	
47		昭和11年年賀状	1935年	印刷物	14.1×9.1	資生堂企業資料館	
48	構成: 熊田五郎 / 写真: 名取洋之助、土門拳	『NIPPON』リーフレット	1936年頃	印刷物	19.1×13.4	川崎市市民ミュージアム	
49	構成: 熊田五郎 / 写真: 名取洋之助、土門拳	『NIPPON』リーフレット	1936年頃	印刷物	19.1×13.4	個人蔵	
50	構成: 熊田五郎	『NIPPON』購読用ハガキ2	1936年頃	印刷物	9.1×14	個人蔵	
51	構成: 熊田五郎	『NIPPON』購読用ハガキ3	1936年頃	印刷物	9.1×14	個人蔵	
52	構成: 山名文夫	『NIPPON』ポスター	1934-35年	印刷物	50.3×34.8	資生堂企業資料館	
53	構成: 熊田五郎	昭和12年年賀状	1936年	印刷物	14×9.1	個人蔵	
54	構成: 熊田五郎	クリスマスカード	1936年	印刷物	13.3×18.7	個人蔵	
55	構成: 熊田五郎	『NIPPON』購読用ハガキ4	1936年頃	印刷物	9.1×14	個人蔵	
56	構成: 熊田五郎 / 写真: 名取洋之助	芝浦電気扇ポスター	1936年	印刷物	75.6×52.6	個人蔵	
57	構成: 熊田五郎 / 写真: 土門拳	芝浦製作所カレンダー1937年6月	1936年	印刷物	46.2×37.8	個人蔵	
58	構成: 熊田五郎 / 写真: 土門拳	芝浦製作所カレンダー1937年9月	1936年	印刷物	46.2×37.8	個人蔵	
59	構成: 山名文夫	鐘紡リーフレット	1935-36年	印刷物	27.2×19.2	資生堂企業資料館	
60	構成: 熊田五郎	鐘紡包装紙	1935-36年	印刷物	26.7×18.9	資生堂企業資料館	
61	構成: 熊田五郎	鐘紡封筒	1935年頃	印刷物	11.9×22.7	個人蔵	
62	構成: 熊田五郎	鐘紡封筒	1935年頃	印刷物	12.6×17.6	個人蔵	
63	構成: 熊田五郎	鐘紡サービスステーション封筒	1935年頃	印刷物	25.6×16.8	個人蔵	
64	構成: 熊田五郎	鐘紡包装紙	1935年頃	印刷物	39.5×26.9	個人蔵	
65	構成: 熊田五郎	鐘紡包装紙	1935年頃	印刷物	37.8×27	個人蔵	

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
66	構成：熊田五郎 / 写真：[土門拳]	鐘紡ジヨーゼツトン夏衣ボスター	1936年頃	印刷物	51×70.8	個人蔵	
67	構成：熊田五郎	共同印刷パンフレット	1936年	印刷物	34.1×26.6	個人蔵	
68	構成：熊田五郎	小西六印画紙リーフレット	1936-37年	印刷物	17.5×17.5	個人蔵	
69		『RECOLLECTIONS』(東京女子高等師範学校卒業アルバム)	1936年3月	出版物	25.2×21.3	土門拳記念館	編集：山名文夫、熊田五郎 / 写真：名取洋之助、土門拳
70		『ZUR ERNNEHRUNG』(早稲田大学経済学部卒業アルバム)	1936年3月	出版物	26.5×36.5	個人蔵	編集：山名文夫、熊田五郎 / 写真：名取洋之助、土門拳
71		『YEAR BOOK 1935-36』(日本陸上競技連盟年鑑)	1936年	出版物	27.2×19.2	資生堂企業資料館	制作：日本工房 / 構成：熊田五郎
72		名取洋之助『グロース・ヤーバン=大日本』	1937年	出版物	27.4×22.4	個人蔵	発行：カール・シュベヒト社(装幀：ジグムント・フォン・ウェイヒ)
73		名取洋之助『グロース・ヤーバン=大日本』	1942年	出版物	26.8×21.7	個人蔵	発行：カール・シュベヒト社(装幀：ジグムント・フォン・ウェイヒ)
74	山名文夫	サンデー毎日挿画「新しき年のために」	1934年1月	関係資料	18×12.9	資生堂企業資料館	
75	山名文夫	日本工房封筒原稿	1934年	関係資料	10.9×24.3	資生堂企業資料館	
76	山名文夫	扉絵原画(『NIPPON』1号)	1934年	関係資料	34.5×24.9	資生堂企業資料館	
77	山名文夫	山名文夫書簡(熊田精華宛)	1934年10月19日消印	関係資料	20.1×28	個人蔵	
78	山名文夫	「女性の表情」見出し(『NIPPON』2号)	1935年	関係資料	16.2×19.3	資生堂企業資料館	
79	山名文夫	「米」見出し(『NIPPON』2号)	1935年	関係資料	5.8×19.9	資生堂企業資料館	
80	山名文夫	「朝鮮舞踊」見出し(『NIPPON』3号)	1935年	関係資料	16.2×19.3	資生堂企業資料館	
81	山名文夫	「浦島太郎」印刷原画(『NIPPON』3号)	1935年	関係資料	36.8×26.7	資生堂企業資料館	
82	山名文夫	「熱河」「三井」見出し(『NIPPON』4号)	1935年	関係資料	16.7×27.2	資生堂企業資料館	
83	山名文夫	「桃太郎」下図(『NIPPON』4号)	1935年	関係資料	37×26.6	資生堂企業資料館	
84	山名文夫	「民族舞踊」「皇軍」見出し(『NIPPON』5号)	1936年	関係資料	17.3×27.2	資生堂企業資料館	
85	山名文夫	「日本の輸出工業の躍進と見通し」見出し(『NIPPON』5号)	1936年	関係資料	15.9×27.3	資生堂企業資料館	
86	山名文夫	「郷土玩具」見出し(『NIPPON』6号)	1936年	関係資料	23.6×29.9	資生堂企業資料館	
87	山名文夫	「今日の日本住宅」「舞踏会」見出し(『NIPPON』5、6号)	1936年	関係資料	15.4×27.3	資生堂企業資料館	
88	山名文夫	鐘紡レタリング	1934-36年	関係資料	13.4×19.5	資生堂企業資料館	
89	山名文夫	資生堂広告原画(『NIPPON』7号) 2点	1936年	関係資料	15.1×9.6	資生堂企業資料館	
90	山名文夫	『NIPPON』見出し 2点	1934-36年	関係資料	各51×38.6	多摩美術大学	
91	山名文夫	見出し用アルファベットレタリング清刷	1934年頃	関係資料	17×22、33.9×24.8	資生堂企業資料館	
92	山名文夫	「オリンピック」見出し(『NIPPON』9号)	1936年	関係資料	9.5×15.4	資生堂企業資料館	
93	堀野正雄	中禅寺湖のヨットレース(『NIPPON』1号)より	1934年	写真(ゼラチンシルバークラウドプリント)	30.4×25.4	個人蔵	



番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
94	名取洋之助	日本の輸出工業の躍進と見 通し (『NIPPON』5号)よ り芝浦電気工場 2点	1935年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館	
95	名取洋之助	日本の輸出工業の躍進と見 通し (『NIPPON』5号)よ り [鉄鋼所] 3点	1935年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館 / 日本 写真家協会	
96	名取洋之助	皇軍 (『NIPPON』5号) より 5点	1935年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館 / 日本 写真家協会	
97	名取洋之助	小学校の運動会 (『NIP- PON』5号)より 6点	1935年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館 / 日本 写真家協会	
98	名取洋之助	鐘紡の女工 (『NIPPON』 5号)より 3点	1935年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本写真家協会	
99	名取洋之助	キリスト教徒の村 より 12点	1935年 8月	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本写真家協会	
100	名取洋之助	原節子	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	30 4×25 4	日本写真家協会	
101	名取洋之助	仮手本忠臣蔵 より 2 点	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館	
102	名取洋之助または 土門拳	陸上選手 より 2点	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本写真家協会	
103	名取洋之助または 土門拳	弓道 より	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	30 4×25 4	土門拳記念館	
104	名取洋之助または 土門拳	剣道 より	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	30 4×25 4	土門拳記念館	
105	名取洋之助または 土門拳	柔道 より	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	30 4×25 4	土門拳記念館	
106	名取洋之助	法隆寺 より 2点	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本写真家協会	
107	名取洋之助	農村花嫁学校 より	1933 36年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	30 4×25 4	日本写真家協会	
108	名取洋之助	海辺にて より 3点	1935年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本写真家協会	
109	土門拳	伊豆の週末 より 10点	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館	
110	土門拳	浅草 より 6点	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館	
111	土門拳	鶴見造船所 (『NIPPON』 9号表紙)	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	30 4×25 4	土門拳記念館	
112	土門拳	日本の水兵 より 4点	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	土門拳記念館	
113	名取洋之助	ベルリン1936 より 8点	1936年 8月	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本カメラ博物館	
114	名取洋之助	アメリカ1937 より 12点	1937年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本カメラ博物館	
115	名取洋之助	朝鮮 より 4点	1936年	写真 (ゼラチンシ ルバープリント)	各30 4×25 4	日本カメラ博物館	
116	土門拳	鐘紡包装紙	1936年頃	写真資料	21 6×30	個人蔵	
117		日本工房コンタクト・ブック 16冊	1933 44年	写真資料	各30 8×22 7	横浜美術館	
118		『ベルリナー・イラストリー ルテ・ツァイトウング』オリ ンピック特集号	1936年	掲載誌	36 8×26	個人蔵	
119	写真:名取洋之助	「日本の兵士」『ライフ』表 紙	1937年 1月11日 号	掲載誌	36×27	個人蔵	
120	写真:名取洋之助	「最高の日本人写真家」『ラ イフ』	1937年 5月10日	掲載誌	36×27	個人蔵	
121	写真:名取洋之助	「日本人写真家、ヴァーモン トを見る」『ライフ』	1937年 7月19日	掲載誌	36×27	個人蔵	
122	写真:名取洋之助	「世界で最も因習的な国民」 『ライフ』	1937年 8月30日	掲載誌	36×27	個人蔵	
123	写真:名取洋之助	「日本人のみたアメリカ」 『ベルリナー・イラストリー ルテ・ツァイトウング』	1937年 8月25日	掲載誌	37 8×27 8	川崎市市民ミュージ アム	

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
124	写真：土門拳	「パン屋さんの出征」『ライフ』	1937年11月29日	掲載誌	36×27	個人蔵	
125	写真：名取洋之助	「日本人写真家のみた日中戦争」『ライフ』	1937年12月20日	掲載誌	36×27	個人蔵	
126	写真：名取洋之助	『世界ライカ傑作選』	1938年	掲載誌	26.7×21.5	個人蔵	
127	写真：土門拳	「奥伊豆、狩野川」『新風土』	1938年8月号	掲載誌	22.3×15.2	個人蔵	
128		『NIPPON』13号	1937年10月1日	雑誌	36.9×26.5	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 松戸市教育委員会 / 個人蔵	発行：日本工房 (表紙構成：山名文夫)
129		『NIPPON』14号	1938年2月28日	雑誌	37.2×26.6	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 山鬼文庫 / 個人蔵	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思 / 表紙写真：名取洋之助)
130		『NIPPON』15号 日本の手 工芸号	1938年6月1日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 山鬼文庫 / 個人蔵	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思 / 表紙写真：[土門拳])
131		『NIPPON』16号	1938年10月20日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 特種製紙 / 山鬼文庫	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思)
132		『NIPPON』17号 ゴールデ ンゲート万博号	1939年3月18日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思)
133		『NIPPON』18号 朝鮮号	1939年7月1日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム	発行：国際報道工芸 (表紙構成：高松甚二郎 / 表紙写真：森堯之)
134		『NIPPON』19号 満洲国特 別号	1939年10月12日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙構成：亀倉雄策)
135		『NIPPON』20号 日本精神 特集号	1939年11月20日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム	発行：国際報道工芸 (表紙構成：高松甚二郎)
136		『NIPPON』21号	1940年2月12日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙構成：板坂勇)
137		『NIPPON』22号 外国との 文化交流号	1940年5月25日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム	発行：国際報道工芸 (表紙構成：伊神商平)
138		『NIPPON』23号	1940年8月25日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙構成：伊神商平 / 表紙写真：松田正志)
139		『NIPPON』24号	1940年12月20日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 特種製紙 / 川崎市市民ミュージアム	発行：国際報道工芸 (表紙構成：亀倉雄策)
140		『NIPPON』25号 日米特集号	1941年3月20日	雑誌	37.2×26.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙構成：伊神商平 / 表紙画：里見勝蔵)
141		『NIPPON』26号	1941年5月30日	雑誌	36.4×25.7	武蔵工大図書館 / 川崎市市民ミュージアム / 松戸市教育委員会 / 個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙構成：伊神商平 / 表紙画：近藤浩一路)
142		『NIPPON』27号	1941年8月30日	雑誌	36.3×25.7	武蔵工大図書館 / 特種製紙 / 川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙構成：亀倉雄策)
143		『NIPPON』日本語版 1937年	1937年12月17日	雑誌	36.8×26.7	特種製紙 / 川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思)

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
144		『日本の手仕事』『NIPPON』特別号	1938年4月14日	雑誌	37.1×26.4	特種製紙 / 川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思 / 表紙写真：[土門拳])
145		『NIPPON』日本版 1 1	1938年7月25日	雑誌	36.8×26.7	川崎市市民ミュージアム / 大宅壮一文庫	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思)
146		『NIPPON』日本版 1 2	1938年12月28日	雑誌	29.7×22.7	個人蔵	発行：日本工房 (表紙構成：河野鷹思)
147		『COMMERCE JAPAN』5号	1939年4月10日	雑誌	34.8×26.6	川崎市市民ミュージアム / 山鬼文庫 / 個人蔵	発行：貿易組合中央会 (制作：日本工房 / 表紙構成：岡秀行)
148		『COMMERCE JAPAN』6号	1939年6月30日	雑誌	35.0×26.4	特種製紙 / 山鬼文庫	発行：貿易組合中央会 (制作：日本工房)
149		『COMMERCE JAPAN』8号	1939年12月25日	雑誌	35.0×26.7	特種製紙	発行：貿易組合中央会 (制作：日本工房)
150		『COMMERCE JAPAN』12号	1941年3月28日	雑誌	35.3×26.5	特種製紙 / 日本カメラ博物館 / 山鬼文庫	発行：貿易組合中央会 (制作：日本工房)
151		『COMMERCE JAPAN』14号	1941年6月25日	雑誌	36.3×25.7	日本カメラ博物館 / 山鬼文庫	発行：貿易組合中央会 (制作：日本工房)
152		『COMMERCE JAPAN』15号	1941年12月25日	雑誌	36.2×25.7	川崎市市民ミュージアム	発行：貿易組合中央会 (制作：日本工房)
153		『COMMERCE JAPAN』16号	1942年3月25日	雑誌	36.2×25.7	川崎市市民ミュージアム / 日本カメラ博物館	発行：貿易組合中央会 (制作：日本工房)
154		『SHANGHAI』2号	1939年3月	雑誌	34.9×26.7	川崎市市民ミュージアム	発行：Ching Cong Kan (制作：日本工房 / 表紙構成：河野鷹思)
155		『CANTON』1 1号	1939年4月	雑誌	29.8×22.5	特種製紙 / 山鬼文庫	発行：Oriental Cultural Association (制作：日本工房 / 表紙構成：亀倉雄策)
156		『CANTON』1 2号	1939年5月	雑誌	30×22.4	特種製紙 / 山鬼文庫	発行：Oriental Cultural Association (制作：国際報道工芸 / 表紙構成：亀倉雄策)
157		『CANTON』1 3号	1939年6月	雑誌	30.1×22.4	特種製紙 / 山鬼文庫	発行：Oriental Cultural Association (制作：国際報道工芸 / 表紙構成：亀倉雄策)
158		『CANTON』1 4号	1939年8月	雑誌	30.1×22.4	川崎市市民ミュージアム	発行：Oriental Cultural Association (制作：国際報道工芸 / 表紙構成：坂坂勇 / 表紙写真：名取洋之助)
159		『CANTON』1 5号	1939年10月	雑誌	30.1×22.4	川崎市市民ミュージアム / 山鬼文庫	発行：Oriental Cultural Association (制作：国際報道工芸 / 表紙構成：亀倉雄策 / 表紙写真：名取洋之助)

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
160		『CANTON』 1 6号	1939年12月	雑誌	29.7×22.5	川崎市市民ミュージアム / 山鬼文庫	発行：Oriental Cultural Association (制作：国際報道工芸 / 表紙構成：S.松下 / 表紙写真：藤本四八)
161		『華南画報』 2 2号	1940年3月1日	雑誌	35.7×26	日本カメラ博物館	発行：華南画報社
162		『MANCHOUKUO』 1号	1940年4月	雑誌	37.1×26.7	川崎市市民ミュージアム	発行：マンチュウコウ・フォト・サービス (表紙構成：亀倉雄策)
163		『MANCHOUKUO』 2号	1940年	雑誌	37.1×26.7	川崎市市民ミュージアム	発行：マンチュウコウ・フォト・サービス (表紙構成：高松基二郎)
164		『MANCHOUKUO』 3号	1940年	雑誌	37.1×26.7	川崎市市民ミュージアム	発行：マンチュウコウ・フォト・サービス (表紙構成：本津恵三)
165		『MANCHOUKUO』 4号	1940年	雑誌	37.1×26.7	特種製紙 / 川崎市市民ミュージアム	発行：マンチュウコウ・フォト・サービス (表紙構成：本津恵三)
166		『Eastern Asia』 3号	1940年12月15日	雑誌	34.6×26	島田安彦コレクション	発行：南満洲鉄道 (印刷：国際報道工芸)
167		『NIPPON』 13 16号合本	1937 38年	雑誌	37.2×26.7	国際交流基金図書館	発行：日本工房
168		『NIPPON』 17 20号合本	1939年	雑誌	37.2×26.7	国際交流基金図書館	発行：日本工房
169		『NIPPON』 21 24号合本	1940年	雑誌	37.2×26.7	国際交流基金図書館	発行：国際報道工芸
170		『NIPPON』 『COMMERCE JAPAN』 合本	1935 39年	雑誌	37.2×26.6	特種製紙	
171		折り本 『日本』	1938年3月頃	出版物	27.5×30.5	特種製紙 / 国際交流基金図書館 / 個人蔵	発行：国際文化振興会 (制作：日本工房 / 構成：熊田五郎 / 写真：名取洋之助、土門拳ほか)
172		折り本 『日本』 リーフレット		印刷物	14×17.3	個人蔵	発行：国際文化振興会 (構成：熊田五郎)
173		写真壁画『楽シイ日本』	1940年4月	パネル		日本写真家協会写真提供	
174		写真壁画『楽シイ日本』の制作の指示をする亀倉雄策	1940年4月	写真資料	25.4×20.3	日本写真家協会	
175		『日本の日用品目録』	1938年3月頃	出版物	18.1×15.1	国際交流基金図書館 / 個人蔵	発行：国際文化振興会 (構成：亀倉雄策)
176		『日本 = 一つの文化的展開』	1938年	出版物	22×15.3	国際交流基金図書館	発行：国際文化振興会
177		『シネマ・イヤー・ブック・オブ・ジャパン1938』	1938年	出版物	30.4×23.3	国際交流基金図書館	発行：国際文化振興会 (制作：日本工房)
178		『スポーツ KBS フォトシリーズ』	1939年	出版物	21.4×18.2	国際交流基金図書館	発行：国際文化振興会 (制作：日本工房)
179		『日本 クローズアップ』	1940年	出版物	24.1×19.2	国際交流基金図書館	発行：国際文化振興会 (制作：日本工房)
180		『日本 クローズアップ』	1941年	出版物	24.1×19.2	国際交流基金図書館	発行：国際文化振興会 (制作：日本工房)
181		『日本の工業美術製品』	1940年	出版物	21×21.2	国際交流基金図書館	発行：国際文化振興会

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
182		『南支派遣軍』	1940年 3月	出版物	26.3×19	個人蔵	発行：南支派遣軍報道部会（制作：国際報道工芸／構成：河野鷹思）
183		『時代の条件』池島重信編	1940年	出版物	18.8×13	日本カメラ博物館	発行：名取書店（装幀：亀倉雄策）
184		『周作人苦茶随筆』周作人	1940年	出版物	18.8×13	日本カメラ博物館	発行：名取書店（装幀：亀倉雄策）
185		『生活文化の方向』古屋綱武篇	1940年	出版物	18.8×13	日本カメラ博物館	発行：名取書店（装幀：亀倉雄策）
186		『中支を征く』	1940年12月	出版物	26.2×19.1	個人蔵	発行：中支従軍記念写真帖刊行会（制作：国際報道工芸）
187		『琉球史料叢書』伊波普猷ほか編	1940年	出版物	18.8×13	日本カメラ博物館	発行：名取書店
188		『聖戦記念 中村(次)部隊』	1941年 3月	出版物	26.3×19	個人蔵	発行：南支派遣軍百武部隊（制作：国際報道工芸）
189		『Uボート』	1941年 5月 3日	出版物	18.1×12.8	個人蔵	発行：名取書店
190		『スツウカ 急降下爆撃隊』	1941年 5月 3日	出版物	18.2×12.7	個人蔵	発行：名取書店
191		『府藩縣制史』宮武外骨	1941年	出版物	22.4×15.8	個人蔵	発行：名取書店
192		『マンチュウコウ・イラスト レイテッド』	1941年	出版物	26×19.8	日本カメラ博物館	発行：マンチュウコウ・フォト・サービス
193		昭和14年年賀状	1938年	出版物	14.1×9.1	武蔵工大図書館	
194	亀倉雄策	亀倉雄策名刺	1938年頃	関係資料	5.6×9.1	資生堂企業資料館	
195	名取洋之助	中国の農民 より 4点	1937 38年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	日本写真家協会	
196	土門拳	千人針	1937年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	30.4×23.3	土門拳記念館	
197	土門拳	南京戦勝 より 2点	12388	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	土門拳記念館	
198	土門拳	出征 より 3点	1937 38年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	土門拳記念館	
199	土門拳	道具としての手 より 6点	1937 38年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	土門拳記念館	
200	土門拳	赤十字の下に より 8点	1938年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	土門拳記念館	
201	藤本四八	刀鍛冶 より 5点	1938年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	日本カメラ博物館	
202	土門拳	防共富士登山隊 より 5点	1938年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	日本カメラ博物館	
203	小柳次一	中支従軍記録 より 15点	1938年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	10.5×15.5、 11.5×16.3、 18.2×12.6、 18.9×27.1ほか	個人蔵	
204	松田正志	体の弱い子のための学校 より 5点	1939年11月	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	日本写真家協会	
205	松田正志、松下正夫、藤本四八、門奈次郎	女性の日常 より 5点	1939年	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	日本写真家協会	
206	松田正志	職業野球 より 2点	1940年 5月	写真（ゼラチンシルバークラウド）	各30.4×23.3	日本写真家協会	
207		国際文化振興会アルバム		写真資料	34×27	川崎市市民ミュージアム	
208	森堯之	密着「朝鮮」より 2点	1939年	写真資料	各30.4×25.4	日本カメラ博物館	
209	写真：土門拳	「赤十字の下輝く白衣」(『写真週報』17号)	1938年 6月 8日	掲載誌	37.8×27.8	個人蔵	発行：内閣情報部
210	写真：土門拳	「お山は晴天」(『写真週報』25号)	1938年 8月 3日	掲載誌	37.8×27.8	個人蔵	発行：内閣情報部

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考
211	写真：上海プレスユニオン	「蒋介石よさらば！」(『写真週報』35号)	1938年10月12日	掲載誌	37.8×27.8	個人蔵	発行：内閣情報部
212	写真：上海プレスユニオン	「上海明暗二相」(『写真週報』49号)	1939年1月25日	掲載誌	37.8×27.8	個人蔵	発行：内閣情報部
213	写真：上海プレスユニオン	「平和な春が来た」(『写真週報』52号)	1939年2月15日	掲載誌	37.8×27.8	個人蔵	発行：内閣情報部
214		ベルリン国際手工業博覧会パンフレット	1938年	参考資料	21×21	資生堂企業資料館	
215		ニューヨーク万国博覧会、サンフランシスコ万国博覧会パンフレット	1939年	参考資料	21.7×10.9	資生堂企業資料館	
216		『NIPPON』28号	1941年12月30日	雑誌	36.2×25.7	武蔵工大図書館 / 特種製紙 / 川崎市市民ミュージアム / 大宅壮一文庫	発行：国際報道工芸 (表紙構成：亀倉雄策 / 表紙写真：土門拳)
217		『NIPPON』29号	1942年9月20日	雑誌	29.7×21	特種製紙 / 個人蔵	発行：国際報道工芸
218		『NIPPON』30号	1942年11月30日	雑誌	29.7×21	大宅壮一文庫	発行：国際報道工芸 (表紙画：宮本三郎)
219		『NIPPON』31号	1943年4月25日	雑誌	29.7×21	大宅壮一文庫	発行：国際報道 (表紙画：福沢一郎)
220		『NIPPON』32号	1943年6月25日	雑誌	29.7×21	大宅壮一文庫	発行：国際報道 (表紙画：佐藤敬)
221		『NIPPON』33号	1943年9月15日	雑誌	29.7×21	山鬼文庫 / 個人蔵	発行：国際報道 (表紙画：山名文夫)
222		『NIPPON』34号	1943年12月20日	雑誌	29.6×20.9	個人蔵	発行：国際報道 (表紙写真：松田正志)
223		『NIPPON』35号	1944年3月8日	雑誌	29.6×20.9	山鬼文庫	発行：国際報道 (表紙画：橋本徹郎)
224		『NIPPON』36号	1944年9月8日	雑誌	29.7×21	大宅壮一文庫	発行：国際報道 (表紙構成：亀倉雄策 / 表紙写真：土門拳)
225		『中華』1号	1942年	雑誌	22×15.2	山鬼文庫	発行：Chunghwa Publishing Company (表紙構成：亀倉雄策)
226		『カウパブ・タウンオーケ』1号	1941年12月1日	雑誌	34.6×26	川崎市市民ミュージアム / 個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙構成：亀倉雄策)
227		『カウパブ・タウンオーケ』2号	1942年1月15日	雑誌	34.6×26	特種製紙 / 川崎市市民ミュージアム	発行：国際報道工芸
228		『カウパブ・タウンオーケ』6号	1942年5月17日	雑誌	34.6×26	川崎市市民ミュージアム	発行：国際報道工芸
229		『カウパブ・タウンオーケ』7号	1942年6月15日	雑誌	34.6×26	川崎市市民ミュージアム	発行：国際報道工芸
230		『カウパブ・タウンオーケ』9号	1942年8月27日	雑誌	34.6×26	日本カメラ博物館	発行：国際報道工芸
231		『カウパブ・タウンオーケ』12号	1942年12月15日	雑誌	34.6×26	個人蔵	発行：国際報道工芸 (表紙写真：松田正志)
232		『カウパブ・タウンオーケ』24号	1944年4月15日	雑誌	34.6×26	日本カメラ博物館	発行：国際報道
233		『カウパブ・タウンオーケ』25号	1944年5月25日	雑誌	34.6×26	個人蔵	発行：国際報道
234		『不滅の鴻業 エミール・フォン・ベエリングの生涯』	1941年12月21日	出版物	18.2×12.7	個人蔵	発行：名取書店

番号	作者名、著者名等	資料名	制作年、発行年等	出品区分	サイズ (cm)	所蔵先	備考	
235		『輝く満洲』	1941年12月25日	出版物	25.9×18.8	山鬼文庫 / 個人蔵	発行：マンチュウコウ・フォト・サービス	
236		『ニッポン・フォト・シリーズ1：重工業』	1942年	出版物	25.5×18	国際交流基金図書館	発行：国際文化振興会（制作：国際報道工芸）	
237		『南方民族図譜』	1943年5月25日	出版物	26.4×19.1	個人蔵	発行：国際報道（編集：厚生省研究所人口民族部）	
238		『印度支那』	1942年10月25日	出版物	29.6×21	個人蔵	発行：国際報道工芸	
239		『日本の認識』	1943年1月25日	出版物	29.5×18.2	個人蔵	発行：国際文化振興会（制作：国際報道）	
240		中支派遣祭七三九部隊報道班編集『浙贛作戦』	1943年4月15日	出版物	25.3×38	個人蔵	発行：国際報道中華総局（印刷：太平出版印刷公司）	
241		陸軍省報道部監修『陸軍少年飛行兵』	1943年11月15日	出版物	34.9×26.6	個人蔵	発行：帝国教育会出版部発行（撮影編集：国際報道）	
242		『報道写真海軍作戦記録大陸篇』	1944年1月	出版物	26.1×18.8	個人蔵	発行：支那事変記念海軍写真帖刊行会（制作：国際報道）	
243		『きくわんしやのはなし』	1944年3月	出版物	18.4×25.8	個人蔵	発行：国際報道（監修：はらだみつを）	
244		『ハナサカヂヂイ』（大東亜紙芝居）	制作年不詳	出版物	25.3×35.9	個人蔵	発行：国際報道	
245	藤本四八	海軍軍楽隊より	4点	1942年8月	写真（ゼラチンシルバプリント）	各30.4×23.3	日本写真家協会	
246	藤本四八	戦時下の市民生活	より	5点	1943年7月	写真（ゼラチンシルバプリント）	各30.4×23.3	日本写真家協会
247	土門拳	予科練	より	4点	1944年	写真（ゼラチンシルバプリント）	各30.4×23.3	土門拳記念館
248	小柳次一	義烈空挺隊	より	4点	1945年5月	写真（ゼラチンシルバプリント）	27×23.3、 9.7×14.8、 19.2×27.5、 17.6×26.1	個人蔵
249		『週刊サンニュース』	1947-49年	参考資料	各37.7×26.6	個人蔵	発行：サンニュースフォトス	
250		『岩波写真文庫』	1950-58年	参考資料	各26.1×18.8	個人蔵	発行：岩波書店	
251	伊奈信男、木村伊兵衛、名取洋之助	『写真の常識』（フォトライブラリー1）	1955年	参考資料	17.2×10.4	日本カメラ博物館	発行：慶友社	
252	名取洋之助	『新しい写真術』（フォトライブラリー3）	1955年	参考資料	17.5×10.6	日本カメラ博物館	発行：慶友社	
253	名取洋之助	『組写真の作り方』（フォトライブラリー7）	1956年	参考資料	17.3×10.4	個人蔵	発行：慶友社	
254	名取洋之助	『麦積山石窟』	1957年	参考資料	26.1×18.8	個人蔵	発行：岩波書店（装幀：河野鷹思）	
255	名取洋之助	『ロマネスク』	1962年	参考資料	26.1×18.8	個人蔵	発行：慶友社（装幀・レイアウト：名取美和）	
256	名取洋之助	『写真の読みかた』	1963年	参考資料	17.5×10.6	個人蔵	発行：岩波書店	
257	名取洋之助	『人間・動物・文様』	1963年	参考資料	30.5×21.8	個人蔵	発行：慶友社（装幀：堀内誠一）	

[ ]内は推定データ

雑誌『NIPPON』の展示には複製版も活用した（その旨はキャプションに明記）

## 「ベルギー王立美術館展 ブリュージュからデルヴォーまで」

平成19年1月6日(土)～3月25日(日) \*74日間 会場：企画展示室

### 概要：

ブリュッセルにある、ベルギー王国最大の美術館の所蔵品展。ブリュージュ、ルーベンスらのフランドルの巨匠たちから、クノップフ、アンソールらの象徴派、マグリット、デルヴォーらのシュルレアリストによる20世紀の作品までの87点により、豊饒のベルギー美術400年の歴史を展望する内容。特にピーテル・ブルジョワ(父)の《イカロスの墜落》が日本初公開される貴重な機会となった。

### 開催形態：巡回展、実行委員会形式

主催：長崎県美術館、読売新聞西部本社、NIB 長崎国際テレビ、ベルギー王立美術館

後援：外務省、文化庁、長崎県教育委員会、ベルギー王国大使館

特別協賛：新光証券

協賛：日本通運、カステラ本家福砂屋、トヨタ自動車、大日本印刷、ダイキン工業

協力：日本航空、日本興亜損害保険

### 観覧料：

一般1,200(1,000)円、大学生・70歳以上900(700)円、高校生600(400)円

( )内は前売料金および20名以上の団体割引料金  
中学生以下は無料

観覧者数：29,472人(一日あたり398人)

出品点数：87点

解説ツール：音声ガイド

### 関連事業：

(1) 講演会「失われたブルジョワ 《イカロスの墜落》の寓意と真筆性の問題」

講師：森洋子(明治大学教授)

日時：1月27日(土) 14:00～15:00

参加者数：100人

(2) 講演会「アンソールからマグリットまで ベルギー近代美術の世界」

講師：福満葉子(長崎県美術館学芸員)

日時：2月17日(土) 14:00～15:00

参加者数：80人

(3) 講演会「美術館でダンスを話そう 始原からベジャールまで」

講師：三浦雅士(評論家)

日時：3月17日(土) 13:00～15:00



参加者数：60人

(4) 学芸員によるギャラリートーク

毎週日曜日(3月25日を除く) 14:00～14:30

(5) 親子鑑賞会

日時：1月21日(日)、3月4日(日) 11:00～12:00

参加者数：30人、83人

(6) コンサート

「OMURA 室内合奏団 ピアノ五重奏とベルギー王立美術館展」OMURA 室内合奏団

日時：2月18日(日) 17:00～18:00

参加者数：150人

### 主要記事等：

・福満葉子「YW GALLERY ベルギー王立美術館展 個性際立つ2人のベルギー人画家による秀作」『読売ウイークリー』平成18年11月12日号

・福満葉子「YW GALLERY ベルギー王立美術館展 すべてが謎めくシュルレアリスムの独自様式」『読売ウイークリー』平成18年11月19日号

・福満葉子「ベルギー王立美術館展 古典と前衛400年の重み」『読売新聞』平成18年12月25日

・福満葉子「ベルギー王立美術館展から(1)ブルジョワ『イカロスの墜落』悲劇と日常 印象的に対比」『読売新聞』平成19年1月30日

・福満葉子「ベルギー王立美術館展から(2)ブルジョワ(子)『婚礼の踊り』鮮やかな色、動き見飽きず」『読売新聞』平成19年1月31日

・「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』(NHK 長崎放送局)平成19年1月31日放送

・福満葉子「ベルギー王立美術館展から(3)ヨルダーンズ『飲む王様』民衆の狼狽な活力表現」『読売新聞』平成19年2月1日



- ・福満葉子「ベルギー王立美術館展から(4)ド・グルー『食前の祈り』庶民の日常 感傷的に描く」『読売新聞』平成19年2月2日
- ・福満葉子「ベルギー王立美術館展から(5)マグリット『光の帝国』不条理な世界が生む詩情」『読売新聞』平成19年2

月4日

- ・「ベルギー王立美術館展 学芸員が講演 歴史交えて絵画紹介」『読売新聞』2月18日
- ・福満葉子「クノッフの『シューマンを聴きながら』をめぐって」『読売新聞』3月8日

## 出品リスト:

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1	ピーテル・ブリューゲル〔父〕(?)	イカロスの墜落		油彩/カンヴァス	73.5×112.0
2	パウル・ブリル	港		油彩/カンヴァス	105.0×150.0
3	ピーテル・ブリューゲル〔子〕	婚礼の踊り	1607年	油彩/板	38.5×51.5
4	ヤーコブ・ファン・スワーネンブルフ	地獄のアイネイアス		油彩/カンヴァス	101.5×150.0
5	ペーテル・パウル・ルーベンス	ピーテル・ベキウス		油彩/カンヴァス	142.0×121.0
6	ペーテル・パウル・ルーベンス/コルネリス・ド・フォス	ネーデルラント総督アルブレヒト大公		油彩/カンヴァス	138.0×105.5
7	ペーテル・パウル・ルーベンス/コルネリス・ド・フォス	イザベラ大公妃		油彩/カンヴァス	138.0×105.5
8	ペーテル・パウル・ルーベンス	聖ベネディクトゥスの奇跡		油彩/カンヴァス	164.0×262.0
9	ウジェーヌ・ドラクロワ	聖ベネディクトゥスの奇跡	1841年	油彩/カンヴァス	130.0×194.8
10	アンソニー・ヴァン・ダイク	酔ったシレノス		油彩/カンヴァス	133.5×109.5
11	アンソニー・ヴァン・ダイク	アレクサンドル・デッラ・ファイユ		油彩/カンヴァス	111.0×97.0
12	アンソニー・ヴァン・ダイク	イエズス会神父ジャン=シャルル・デッラ・ファイユ		油彩/カンヴァス	130.8×118.5
13	ヤーコブ・ヨルダーンス	サテュロスと農民		油彩/カンヴァス	188.5×168.0
14	ヤーコブ・ヨルダーンス	飲む王様		油彩/カンヴァス	156.0×210.0
15	ヤーコブ・ヨルダーンス	ヴィーナスとアドニス		油彩/カンヴァス	164.0×146.0
16	ガスパール・ド・クレイエル	天使に着付けてもらう若いマリア		油彩/カンヴァス	155.0×111.0
17	アブラハム・ヤンセン・ファン・ヌイッセン	欲望		油彩/カンヴァス	107.5×97.0
18	デニス・ファン・アルスロート	マリモンの城と庭園	1620年	油彩/カンヴァス	163.5×233.5
19	ヒリス・ファン・ティルポルフ	村の祭り		油彩/カンヴァス	117.5×178.5
20	ニコラース・ファン・フェーレンダール	猿の宴		油彩/カンヴァス	29.0×42.0
21	ヤン・シベレフツ	農家の中庭	1662年	油彩/カンヴァス	123.0×189.0
22	テオドール・ファン・テュルデン	音楽 夫婦の調和の寓意	1652年	油彩/カンヴァス	194.0×135.0
23	ダーフィット・テニールス〔子〕	イタリア絵画ギャラリーのネーデルラント総督レオポルト・ウィルヘルム大公	1651年	油彩/カンヴァス	96.0×129.0
24	ヤーコブ・ファン・オースト〔父〕	奏楽の人々	1667年	油彩/カンヴァス	163.0×189.0
25	コルネリス・ハイスブレフツ	ヴァニタス		油彩/カンヴァス	63.5×47.5
26	アドリアーン・ファン・ユトレヒト	オウムにいる静物	1636年	油彩/カンヴァス	117.0×154.0
27	ヤン・フェイト	鶏と七面鳥		油彩/カンヴァス	122.0×158.0
28	フランス・スネイデルス	鹿のいる静物		油彩/カンヴァス	172.0×116.0
29	ヴィルヘルム・シューベルト・フォン・エーレンベルク	アントウェルペンのシント・カロルス・ボロメウス教会内部	1667年	油彩/カンヴァス	118.5×145.0
30	ジャック・ダルトワ	冬景色		油彩/カンヴァス	82.5×121.5
31	ペーテル・スネイエルス	イザベラ王女のラーケン巡礼		油彩/カンヴァス	112.0×155.5
32	ベルトレ・フレマル	ピュロスの死		油彩/カンヴァス	130.0×153.5
33	ヤン・ペーテル・ブリューゲルに帰属	花飾りに縁取られたキリスト降誕		油彩/カンヴァス	120.0×87.5
34	アブラハム・ブリューゲル	花と果実	1677年	油彩/カンヴァス	127.0×177.0
35	ペーテル・スネイエルス	ハリネズミと植物と果実		油彩/カンヴァス	106.5×81.0
36	フランソワ=ジョゼフ・ナヴェス	砂漠のハガルとイシマエル	1820年	油彩/カンヴァス	221.0×171.0
37	フランソワ=ジョゼフ・ナヴェス	ヴィルデル夫人と息子の肖像	1825年	油彩/カンヴァス	182.0×150.0
38	フィリップ・ヴァン・プレー	家族に囲まれ、庭で制作するルーベンス	1833年	油彩/板	75.0×98.5
39	アントワーヌ・ヴィールツ	浴女とサテュロス	1841年	油彩/カンヴァス	65.0×81.0
40	ルイ・ガレ	十字軍によるアンティオキアの占拠	1843年	油彩/カンヴァス	75.0×133.5
41	ルイ・ガレ	芸術と自由	1849年	油彩/カンヴァス	150.0×110.0
42	アンリ・レイス	愛の告白	1863年	油彩/カンヴァス	124.0×96.0
43	アンリ・レイス	フランス・フローリスのアトリエ	1868年	油彩/板	75.5×106.5
44	シャルル・ド・グルー	食前の祈り	1861年頃	油彩/カンヴァス	80.0×154.0
45	アルフレッド・ステヴァンス	秋の花	1867年頃	油彩/カンヴァス	74.5×55.0

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
46	アルフレッド・ステヴァンス	アトリエ	1869年頃	油彩 / 板	94.0 × 71.0
47	フェリシアン・ロップス	バリジーン	1867年	木炭 / 紙	56.0 × 36.0
48	フェリシアン・ロップス	口論	1877年	鉛筆、木炭、パステル、水彩 / 透かし入りのクリーム色のヴェラム紙	74.0 × 53.0
49	アンリ・ド・ブラーケレル	窓辺の男	1874 - 76年頃	油彩 / カンヴァス	80.5 × 70.0
50	アンリ・ド・ブラーケレル	トランプ遊び	1887年頃	油彩 / カンヴァス	52.0 × 70.5
51	イボリート・ブーランジェ	秋の朝、アンセレム	1872 - 73年	油彩 / カンヴァス	74.5 × 110.0
52	ギヨーム・ヴォーゲルス	吹雪	1886年頃	油彩 / カンヴァス	104.0 × 154.0
53	ジェームズ・アンソール	ロシア音楽	1881年	油彩 / カンヴァス	133.0 × 110.0
54	ジェームズ・アンソール	怒れる仮面	1883年	油彩 / カンヴァス	135.0 × 112.0
55	ジェームズ・アンソール	自画像	1884年	木炭、白チョーク / 紙	75.5 × 57.8
56	ジェームズ・アンソール	怪物の夢を見る叔母	1888年	鉛筆、コンテ、色鉛筆 / 紙	21.9 × 30.0
57	ジェームズ・アンソール	黄金の拍車の戦い	1891年	鉛筆、コンテ、茶と黒の墨、ペン、色チョーク、色鉛筆、グアッシュ、金色の下塗り / 板	37.7 × 46.1
58	ジェームズ・アンソール	燻製ニシンを奪い合う骸骨たち	1891年頃	油彩 / 板	16.0 × 21.5
59	フェルナン・クノッフ	シューマンを聴きながら	1883年	油彩 / カンヴァス	101.5 × 116.5
60	フェルナン・クノッフ	ジェルメーヌ・ヴィーナーの肖像	1893年頃	油彩 / 板	50.0 × 40.0
61	フェルナン・クノッフ	白、黒、金	1901年頃	パステル、水彩、グアッシュ / カンヴァスで裏打ちした紙	90.0 × 30.0
62	フェルナン・クノッフ	遠い昔	1905年頃	色鉛筆で着色し、厚紙に貼った写真	21.8 × 28.3
63	ジャン・デルヴィル	トリスタンとイゾルデ	1887年	鉛筆、黒チョーク、木炭 / 紙	44.3 × 75.4
64	ジャン・デルヴィル	情念の輪	1890年	黒チョーク / 紙	21.0 × 33.2
65	グザヴィエ・メルリ	目覚め	1899年	水彩、インク、鉛筆、ニス / 塗った金地背景 / 厚紙に貼った紙	55.5 × 90.0
66	コンスタン・モンタルド	踊るニンフ	1898年頃	艶消しのメディウムで溶いた油彩、テンペラ / カンヴァス	95.5 × 135.5
67	ウィリアム・ドグーヴ・ド・ヌンク	孔雀	1896年	パステル / 厚紙に貼った紙	59.5 × 99.0
68	ジョルジュ・レメン	ピアノに向かって	1891年頃	コンテ、白のグアッシュ / 象牙色の紙	59.3 × 46.1
69	アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド	縫い目を繕う娘	1890年	油彩 / カンヴァス	78.0 × 101.5
70	テオ・ファン・レイセルベルヘ	読書をする婦人と少女 (画家の妻と娘の肖像)	1899年	油彩 / カンヴァス	96.0 × 129.0
71	エミール・クラウス	陽光の降り注ぐ小道	1893年	油彩 / カンヴァス	82.0 × 165.0
72	エミール・クラウス	太陽と雨のウォータールー橋、3月	1916年	油彩 / カンヴァス	102.0 × 127.0
73	アンリ・エヴェヌブル	大きな帽子を被ったアンリエット	1899年	油彩 / カンヴァス	72.0 × 58.0
74	ヤーコブ・スミッツ	ジョジーン		水彩 / 紙	60.0 × 45.0
75	ヤーコブ・スミッツ	マーテル・ドロローサ (悲しみの聖母)		木炭、水彩、金色の絵具 / 紙	50.0 × 42.5
76	ヤーコブ・スミッツ	受刑者の父	1901年頃	油彩 / カンヴァス	100.0 × 90.0
77	レオン・スピリアールト	帽子の女	1907年	水彩、グアッシュ、色鉛筆 / 紙	48.5 × 30.3
78	レオン・スピリアールト	寝室	1908年頃	墨による淡彩、パステル、色鉛筆、水彩 / 紙	65.3 × 49.8
79	レオン・スピリアールト	オステンドの港	1909年	墨による淡彩、青の色鉛筆 / 紙	64.7 × 50.2
80	ヴァレリウス・ド・サーデレル	フランドルの冬	1927年	油彩 / カンヴァス	84.0 × 96.0
81	ポール・デルヴォー	ノクターン	1939年	油彩 / 板	94.0 × 123.0
82	ポール・デルヴォー	夜汽車	1957年	油彩 / 板	110.0 × 170.0
83	ポール・デルヴォー	《散歩をする女たち》のための習作	1947年頃	墨による淡彩 / 紙	20.8 × 26.7
84	ポール・デルヴォー	テラスのオダリスク	1947年頃	墨による淡彩 / 厚紙に貼った紙	27.8 × 37.9

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
85	ルネ・マグリット	女盗賊	1927年頃	油彩 / カンヴァス	101.0 × 72.6
86	ルネ・マグリット	光の帝国	1954年	油彩 / カンヴァス	146.0 × 114.0
87	ルネ・マグリット	血の声	1961年	油彩 / カンヴァス	90.0 × 110.0

## 2) 美術館コレクション展

### 教育普及連携展「モトモトもって？わざワーク！展 素材と技法」

平成18年7月25日(火)～11月26日(日) \*120日間 会場：常設展示室1、2

#### 概要：

作品の素材と技法に焦点を当てた教育普及連携展示会。油彩画、水彩画、版画、日本画、彫刻、陶磁器の6セクションで構成し、鑑賞の手引きとなるようワークシートを作成した。展示室内に画材や技法の実施見本、絵画のパズルなど実際に触れることの出来る「体験コーナー」を設置。関連事業として、子どもを対象とした鑑賞会、映画上映、ワークショップを行った。

#### 開催形態：自主企画

主催：長崎県美術館

協力：株式会社ターレンスジャパン

後援：長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、NCM長崎ケーブルメディア、FM長崎

観覧者数：19,481人(1日あたり162人)

出品点数：63点(会期中一部展示替あり)

解説ツール：ワークシート

#### 関連事業：

(1) こども鑑賞会

日時：8月1日(火)、26日(土) 10:30～11:30

参加者数：小学生の親子40人(17人、23人)

(2) フィルム上映会「トントンギコギコ工の時間」

(監督：野中真理/2004年/99分)

日時：8月4日(金)1回目：10:30～ / 2回目：13:30～

パネルディスカッション(15:30～17:00)

料金：大人1000円 小中高生500円 \*未就学児は無料

参加者数：200名(1回目約40名、2回目約160名)



(3) ワークショップ「かたどってモト？わざ！」

日時：9月30日(土)～10月1日(日)(2日間連続) 10:30～16:30

参加費：3,000円

対象：小学生

参加者数：13人

(4) ワークショップ「ひっかいてモト？わざ！」

日時：10月14日(土)～10月15日(日)(2日間連続) 10:00～16:30

参加費：2,000円

対象：一般

参加者数：11人

(5) 学芸員によるギャラリートーク

日時：毎週金曜日18:00

(6) ボランティアによるギャラリートーク

日時：毎週土曜日15:00

#### 主要記事等：

「なんでもミュージアム『もってこい長崎5』(NHK長崎放送局)平成17年10月4日放送

#### 出品リスト：

番号	所蔵番号	作者名	作品名	備考(展示期間)
1	AⅡイ3	渡辺(宮崎)与平	金さんと赤	
2	AⅡイ1029	彭城貞徳	菊図	
3	AⅡイ251	池野清	樹	
4	AⅡイ248	ルイス・フェイト	作品	
5	AⅡイ249	ルイス・フェイト	作品	
6	AⅡイ478	マノロ・バルデス	黒い背景の肖像	
7	AⅡイ1020	鴨居玲	自画像(パレット)	
8	AⅡイ799	鴨居羊子	あいさつ	前期
9	AⅡイ365	アーリン・ローデ	時の移ろい	後期

番号	所蔵番号	作者名	作品名	備考(展示期間)
10	A II イ803	鴨居羊子	自画像	
11	A II イ804	鴨居羊子	犬	
12	A II イ802	鴨居羊子	天使	
13	A II イ800	鴨居羊子	マリア様	
14	A II イ801	鴨居羊子	倦怠	
15	A II ニ71	鴨居羊子	ベチュニアと猫(ウイリー)	
16	A II ニ76	アントニオ・サウラ	無題	前期
17	A II ニ77	アントニオ・サウラ	無題	前期
18	A II ニ78	アントニオ・サウラ	無題	後期
19	A II □328	アントニオ・サウラ	無題 1991	後期
20	A II □22	野口彌太郎	雲仙嶽	前期
21	A II □331	野口彌太郎	農家の庭	後期
22	A II □212	鴨居羊子	読書と体操	前期
23	A II □214	鴨居羊子	じゃれる猫	後期
24	A III イ81	フランシスコ・デ・ゴヤ	「戦争の惨禍」73番 猫のパントマイム	前期
25	A III イ81	フランシスコ・デ・ゴヤ	「戦争の惨禍」74番 これはもう最悪だ!	後期
26	A III イ81	フランシスコ・デ・ゴヤ	「戦争の惨禍」77番 綱が切れるぞ	前期
27	A III イ81	フランシスコ・デ・ゴヤ	「戦争の惨禍」78番 見事な防戦だ	後期
28	A III イ77	エドゥアルド・チリーダ	開く	前期
29	A III イ80	エドゥアルド・チリーダ	爪	後期
30	A III □99	木村一生	「風文様シリーズ」1	前期
31	A III □99	木村一生	「風文様シリーズ」5	後期
32	A III □99	木村一生	「風文様シリーズ」6	後期
33	A III □99	木村一生	「風文様シリーズ」8	前期
34	A III □84	牧野宗則	「有明海シリーズ」天啓	前期
35	A III □420	牧野宗則	「有明海シリーズ」流れは広く	前期
36	A III □84	牧野宗則	「有明海シリーズ」悠久の刻	後期
37	A III □84	牧野宗則	「有明海シリーズ」月華のままに	後期
38	A III ニ328	オチ・オサム	「デイドリーマ・シリーズ」クツ	後期
39	A III ニ328	オチ・オサム	「デイドリーマ・シリーズ」レース1	前期
40	A III ニ328	オチ・オサム	「デイドリーマ・シリーズ」止められた羽根	後期
41	A III ニ328	オチ・オサム	「デイドリーマ・シリーズ」干イワシ	前期
42	B ニ10	水谷鏡也	うさぎ	
43	B ハ16	ザビエル・コルベロ	静止の世界	
44	B □1	田中栄作	男女像	
45	A I イ187	栗原玉葉	母の愛(「孟母断機図」)	前期
46	A I イ185	栗原玉葉	初秋の夕	前期
47	A I イ219	小波魚青	楓鹿松鶴図屏風(内、鹿図)	後期
48	A I イ64	小波魚青	春野白狐 臘夜狸図	前期
49	A I イ37	松尾敏男	火口湖	後期
50	A I イ47	松尾敏男	鳥碑	後期
51	A I イ210	松尾敏男	朝光のトレド	前期
52	A I □75	荒木十畝	暮汀飛雁図	後期
53	A I イ170	荒木十畝	早春	後期
54	A I イ133	荒木十畝	梅花群雀図	後期
55	A I □38	渡辺(宮崎)与平	枯木寒鴉図	前期
56	D ハ a 30	口石長三	白磁龍巻香炉	
57	D ハ a 276	口石長山	三川内焼白磁牡丹菊籠目香炉	
58	D ハ a 398	中里末太郎(陽山)	染付唐子文花瓶	
59	D ハ a 416	中里末太郎(陽山)	青磁獅子香炉・白磁獅子香炉	
60	D ハ a 167	12代今泉今右衛門	色鍋島草花更紗文花瓶	
61	D ハ a 171	中原仁市	花器	
62	D ハ a 171	中原仁市	水注	
63	D ハ a 6	12代横石臥牛	ふちなぶり鶯文皿	

前期：平成18年7月25日～9月24日

後期：平成18年9月26日～11月26日

## 「長崎の美術 2 長崎が生んだ風景画家 山本森之助展」

平成18年11月29日(水)～平成19年3月25日(日) \*104日間 会場：常設展示室1、2

### 概要：

長崎市出身の洋画家、山本森之助（1877 - 1928）の画業を再検証した展覧会。当館の収蔵作品と他館や個人所蔵の作品で構成した。

### 開催形態：自主企画

### 主催：長崎県美術館

後援：長崎県、長崎県教育委員会、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、NCM長崎ケーブルメディア

助成：財団法人花王芸術・科学財団、財団法人UFJ信託文化財団



出品点数：39点（会期中一部展示替えあり）

日時：1月12日(金) 14：00～16：00

参加者数：19人

観覧者数：13,417人（一日あたり129人）

講師：宮田カイ子（俳人協会会員、「西陲」同人、「天為」同人）

### 関連事業：

(1) 講演会「山本森之助の芸術と日本近代洋画のあゆみ」

日時：1月26日(金) 14：00～16：00

講師：森園敦（長崎県美術館学芸員）

参加者数：26人

日時：12月16日(土) 15：00～17：00

・「森之助と旅する絵手紙」

参加者数：30人

講師：上田清人（壱岐市立沼津中学校長）

(2) 学芸員によるギャラリートーク：

日時：2月3日(土)・4日(日) 10：30～13：00

毎週日曜日15：00～

参加者数：計43人

(3) ボランティアによるギャラリートーク

毎週土曜日15：00～

(4) ワークショップ

### 主要記事：

「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』（NHK長崎放送局）平成19年2月7日

・大人のための鑑賞会「森之助の世界を俳句に」

講師：田中俊廣（活水女子大学文学部教授、詩人）

### 出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先	備考(展示期間)
1	林間草花	1898年	油彩/カンヴァス	61.5×75.5	東京藝術大学大学美術館	
2	落葉	1900年	油彩/カンヴァス	70.6×99.8	個人蔵	
3	女半身	1899年	油彩/カンヴァス	84.5×62.1	東京藝術大学大学美術館	
4	風景	1900年	油彩/カンヴァス	60.7×45.3	東京藝術大学大学美術館	
5	琉球の燈台	1902年	油彩/板	24.0×33.0	東京藝術大学大学美術館	
6	首里の夕月	1902年	油彩/カンヴァス	92.5×73.7	個人蔵	
7	田舎家	1904年	油彩/カンヴァス	23.5×32.7	東京藝術大学大学美術館	
8	雨後の海	1905年	油彩/カンヴァス	46.0×60.9	東京藝術大学大学美術館	
9	曲浦	1908年	油彩/カンヴァス	60.5×81.0	東京国立近代美術館	
10	濁らぬ水	1909年	油彩/カンヴァス	61.3×81.5	静嘉堂文庫美術館	
11	炭焼く煙の図	1911年	油彩/カンヴァス	61.0×81.0	個人蔵	
12	夏の海岸	1912 - 14年	油彩/カンヴァス	60.7×80.5	静岡県立美術館	
13	うろこ雲	1913年	油彩/カンヴァス	59.5×78.6	田中サダ氏	
14	波	1918年	油彩/カンヴァス	60.2×80.3	財団法人野間文化財団	後期
15	冬山	1918年	油彩/カンヴァス	60.5×80.3	長崎県美術館	

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵先	備考 (展示期間)
16	凍れる華厳	1919年	油彩 / カンヴァス	80.3 × 65.2	長崎県美術館	
17	三保の朝	1921年	油彩 / カンヴァス	33.0 × 45.8	個人蔵	
18	奈良の夕方	1921年	油彩 / カンヴァス	45.4 × 60.3	財団法人野間文化財団	後期
19	富士の落日	1922年	油彩 / カンヴァス	73.0 × 100.2	財団法人野間文化財団	前期
20	海に雲	1922年	油彩 / カンヴァス	60.8 × 80.4	財団法人野間文化財団	前期
21	春のセーヌ河	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	80.3 × 100.0	個人蔵	
22	リラの花咲く頃	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	59.0 × 79.0	長崎歴史文化博物館	
23	セーヌ河畔	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	90.0 × 117.0	個人蔵	
24	ポプラ	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	115.0 × 92.0	黒川古文化研究所	前期
25	河畔の村と冬木立	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	79.0 × 99.0	長崎県美術館	後期
26	フランスの田舎	1923年	油彩 / カンヴァス	80.3 × 100.0	長崎県美術館	
27	丘	1923年	油彩 / カンヴァス	80.3 × 100.0	長崎県美術館	
28	街風景	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	80.3 × 60.6	個人蔵	
29	樹林	1924 - 26年	油彩 / カンヴァス	60.0 × 79.0	長崎県美術館	
30	牧島	1924年	油彩 / カンヴァス	65.2 × 80.3	個人蔵	
31	矢上風景	1924年	油彩 / カンヴァス	46.0 × 38.0	長崎県美術館	
32	鶏と竹	1925年頃	油彩 / カンヴァス	121.0 × 130.0	個人蔵	
33	蒲郡の朝	1926年	油彩 / カンヴァス	60.5 × 80.0	長崎県美術館	
34	山百合	1927年	油彩 / カンヴァス	77.5 × 98.0	個人蔵	
35	自画像	1928年	油彩 / カンヴァス	53.0 × 45.5	笠間日動美術館	
36	明治天皇西国中国御巡幸長崎御入港図 (下図)	1928年	油彩 / カンヴァス	89.5 × 80.5	長崎歴史文化博物館	
37	雨後	1928年	油彩 / カンヴァス	72.8 × 91.0	長崎県美術館	
38	セーヌ河 ポプラ	1922 - 23年	油彩 / カンヴァス	37.0 × 44.7	長崎県美術館	
39	ヨーロッパスケッチ帖	1922 - 23年	水彩 / 紙	直径30.4	長崎県美術館	

前期：平成18年11月29日～平成19年1月22日

後期：平成19年1月23日～3月25日



常設展示室における上記以外の展示については、下記のとおり展示室ごとに記載した。

#### 常設展示室 1

### 「名誉県民富永直樹氏追悼展」

平成18年 5月18日(木)～ 7月23日(日)

#### 主要記事：

「なんでもミュージアム」『もってこい長崎5』（NHK 長崎放送局）平成18年 5月31日



#### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	B 八32	富永直樹	少年平和像（原爆子供記念碑）
2	B 二12	富永直樹	殊勲者
3	B 八61	富永直樹	主将
4	B 二18	富永直樹	覇者
5	B 二21	富永直樹	平和の叫び
6	B 八38	富永直樹	対話
7	B 八42	富永直樹	好日
8	B 八43	富永直樹	ファミリー
9	B 八59	富永直樹	大將の椅子
10	B 二42	富永直樹	花神

#### 常設展示室 2

### 「長崎の近現代美術」

平成18年 5月18日(木)～ 7月23日(日)

#### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A I イ149	栗原玉葉	艶
2	A I イ186	栗原玉葉	尼僧（修道女）
3	A I イ208	栗原玉葉	春秋美人図屏風
4	A I イ209	栗原玉葉	美人図屏風
5	A I イ194	松尾敬男	夜想譜
6	A I イ216	松尾敬男	カルネヴァーレ（ヴェネチアの謝肉祭）
7	D 八 a 119	12代横石臥牛	刷毛目潮文鉢
8	D 八 a 2	12代横石臥牛	ドクダミ文隅丸四角皿
9	D 八 a 72	13代横石臥牛	刷毛目薄絵向付
10	D 八 a 93	横石圭介	三彩大皿
11	D 八 a 150	横石圭介	長与三彩染付線文組鉢
12	D 八 a 165	中村強	白磁蓋物
13	D 八 a 509	小林東五	三嶋茶碗

## 「須磨コレクションⅠ」

平成18年5月17日(水)～10月22日(日)

### 出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	AⅡイ141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像	
2	AⅡイ517	作者不詳(アラゴン派あるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ	
3	AⅡイ519	作者不詳(スペイン)	聖アンデレ	
4	AⅡイ520	作者不詳(スペイン)	聖ユダ	
5	AⅡイ109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ	
6	AⅡイ112	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ	
7	AⅡイ69	作者不詳(スペイン)(ファン・パントーハ・デ・ラ・クルスの周辺)	フェリペ二世	
8	AⅡイ103	作者不詳(カスティーリャ派)	サンティアゴ騎士団員の肖像	
9	AⅡイ101	ファン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵の肖像	
10	AⅡイ119	作者不詳(マドリード派)	サンルーカル・ラ・マヨール公爵ドン・ガスパー ル・フェリペ・デ・グスマンの肖像	
11	AⅡイ525	アロンソ・サンチェス・コエーリヨ(?)	アントニオ・ベレス(?)	
12	AⅡイ527	ミゲル・ハシント・メレンデス(?)	フェリペ五世	
13	AⅡイ528	作者不詳(スペイン)	ミゲル・クレメンテ・チェリフ・デ・メンドーサ	
14	AⅡイ536	フランシスコ・ハビエル・デ・ウルティア	ドン・ミゲル・イラリオン・エスラバ	
15	AⅡイ362 1	アントン・ラファエル・メンクス(?)	フェルナンド六世	参考出品
16	AⅡイ362 2	アントン・ラファエル・メンクス(?)	王妃バルバラ	参考出品
17	AⅡイ106	ルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオス	フェルナンド七世の肖像	
18	AⅡイ480	パブロ・ゴンサルボ・イ・ベレス	トレド、アルカンタラ橋	
19	AⅡイ656	ヘナロ・ベレス・ピリャアミル	ロンダ(マラガ)	
20	AⅡイ514	作者不詳(フランドル)	風景の中の静物	

## 「須磨コレクションⅡ」

平成18年10月24日(火)～平成19年4月22日(日)

### 出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	AⅡイ141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像	
2	AⅡイ517	作者不詳(アラゴン派あるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ	
3	AⅡイ519	作者不詳(スペイン)	聖アンデレ	
4	AⅡイ520	作者不詳(スペイン)	聖ユダ	
5	AⅡイ109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ	
6	AⅡイ112	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ	
7	AⅡイ518	作者不詳(フランドル)	カール五世のチュニス攻略を援けるエルナンド・	
8	AⅡイ524	作者不詳(フランドル)	アリ・ア五世に謁見するエルナンド・デ・アラルコン	
9	AⅡイ115	作者不詳(カタルーニャ派)	キリストの磔刑	
10	AⅡイ101	ファン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵の肖像	
11	AⅡイ142	作者不詳(カスティーリャ派あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト	
12	AⅡイ362 1	アントン・ラファエル・メンクス(?)	フェルナンド六世	参考出品
13	AⅡイ362 2	アントン・ラファエル・メンクス(?)	王妃バルバラ	参考出品
14	AⅡイ106	ルイス・デ・ラ・クルス・イ・リオス	フェルナンド七世の肖像	
15	AⅡイ138	作者不詳(スペイン)	女と少年のいるポデゴン	
16	AⅡイ514	作者不詳(フランドル)	風景の中の静物	

## 「鴨居羊子の世界」

平成18年 5月17日(水)～7月23日(日)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名	制作年	所蔵先
1		鴨居羊子(チュニック制作室)	下着、ネマキ(20点)	1950年代後半	チュニック株式会社
2		鴨居羊子(チュニック制作室)	ドレス	1950年代後半	チュニック株式会社
3		鴨居羊子(チュニック制作室)	ガウン	1950年代後半	チュニック株式会社
4		鴨居羊子(チュニック制作室)	下着、ネマキ(5点)	昭和39年 (1964)頃	チュニック株式会社
5		鴨居羊子(チュニック制作室)	紙のドレス	1960年代	チュニック株式会社
6		鴨居羊子(チュニック制作室)	紙のドレス(鴨居羊子着用)	1960年代	チュニック株式会社
7		鴨居羊子(チュニック制作室)	ベテンドール(大人のおもちゃ)(5点)	1950年代後半	チュニック株式会社
8		鴨居羊子(チュニック制作室/株式会社)	アンティーク人形(5点)		チュニック株式会社
9		鴨居羊子(チュニック制作室)	チュニック・カタログ	昭和31年 (1956)	チュニック株式会社
10		鴨居羊子(チュニック制作室)	下着デザイン画スクラップブック	1950年代後半	チュニック株式会社
11	AⅡイ795	鴨居羊子	さようなら		
12	AⅡイ748	鴨居羊子	玉まわし		
13	AⅡイ791	鴨居羊子	終演		
14	AⅡイ792	鴨居羊子	リボンリボンリボン		
15	AⅡ口213	鴨居羊子	天使ちゃん		
16	AⅡ口214	鴨居羊子	買い物		
17	AⅡ口216	鴨居羊子	お出かけ		
18	F口14	鴨居羊子	『下着ぶんか論』		
19	図書資料	鴨居羊子	『ミス・ベテン』		
20	図書資料	鴨居羊子	『わたしは驢馬に乗って下着をうりにゆきたい』		
21	F口14	鴨居羊子	『のら猫トラトラ』		

## 「東松照明 1961」

平成18年 7月25日(火)～10月22日(日)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	Hイ1	東松照明	上野町から掘り出された腕時計 長崎国際文化会館・平野町
2	Hイ2	東松照明	爆風により崩壊した浦上天主堂の天使像 本尾町
3	Hイ3	東松照明	熱線と火災で表面が変質変色した火鉢 長崎国際文化会館・平野町
4	Hイ6	東松照明	頭蓋骨が付着した鉄かぶと 長崎国際文化会館・平野町
5	Hイ8	東松照明	熱線と火災で溶解変形した瓶 長崎国際文化会館・平野町
6	Hイ15	東松照明	片岡津代さん1 本原町
7	Hイ19	東松照明	片岡津代さん5 長崎大学医学部・坂本一丁目
8	Hイ21	東松照明	浦上より岩屋山を望む
9	Hイ22	東松照明	浦上より金比羅山を望む
10	Hイ31	東松照明	長崎原爆病院1 屋上 片淵一丁目
11	Hイ32	東松照明	長崎原爆病院2 千羽鶴 片淵一丁目
12	Hイ68	東松照明	崎田マシさん1 銭座町
13	Hイ69	東松照明	崎田マシさん2 銭座町
14	Hイ70	東松照明	崎田昭夫さん1 長崎原爆病院・片淵一丁目
15	Hイ71	東松照明	崎田昭夫さん2 崎田昭夫さんの次女京子さん(左下) 聖徳保育園・銭座町
16	Hイ115	東松照明	福田須磨子さん2 城山町
17	Hイ130	東松照明	浦川清美さん1 坂本町

番号	収蔵番号	作者名	作品名
18	H イ136	東松照明	浦川志津香さん 1 坂本町
19	H イ145	東松照明	浦川清美さんと娘たち 1 左から美雪・和代・志津香さん 坂本町
20	H イ153	東松照明	風頭公園より市街・長崎港を望む

## 「ダリ版画集『ドン・キホーテ』」

平成18年10月24日(火)～平成19年1月21日(日)

### 出品リスト:

収蔵番号	作者名	作品名
A Ⅲ口92	サルバドール・ダリ	ドン・キホーテ (全12点)

## 「菊畑茂久馬版画集『オブジェデッサン』」

平成19年1月23日(火)～4月22日(日)

### 出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A Ⅲ口57 1	菊畑茂久馬	オブジェデッサン ダーウィンの頭
2	A Ⅲ口57 2	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 鼻開く
3	A Ⅲ口57 3	菊畑茂久馬	オブジェデッサン コルセット
4	A Ⅲ口57 4	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 鳥の雛形
5	A Ⅲ口57 5	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 天動の説
6	A Ⅲ口57 6	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 海のデッサン
7	A Ⅲ口57 7	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 魚のデッサン
8	A Ⅲ口57 8	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 壊れた鯉
9	A Ⅲ口57 9	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 卵形カプセル
10	A Ⅲ口57 10	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 肖像画
11	A Ⅲ口57 11	菊畑茂久馬	オブジェデッサン ワッペンのデザイン
12	A Ⅲ口57 12	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 三人の友
13	A Ⅲ口57 18	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 二つの円窓
14	A Ⅲ口57 19	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 歯車の分割
15	A Ⅲ口57 20	菊畑茂久馬	オブジェデッサン 封印の仕方

常設展示室 5

## 「スペイン近現代美術Ⅰ」

平成18年5月17日(水)～10月22日(日)

### 出品リスト:

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A Ⅱイ246	パブロ・ピカソ	静物
2	A Ⅱイ513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物
3	A Ⅱイ240	ジョアン・ミロ	PEINTURE (絵画)
4	B Ⅷ81	ジョアン・ミロ	枝の上の鳥

番号	収蔵番号	作者名	作品名
5	A IIイ258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引き上げるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む
6	A IIイ294	アントニ・クラベ	キリストの埋葬
7	A IIイ308	アントニオ・ロベス・ガルシア	フランシスコ・カレテロ
8	A IIイ247	アントニ・タビエス	茶の上の黄土
9	A IIニ85	アントニ・タビエス	身体のコンポジション
10	A IIイ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
11	A IIイ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック（赤と灰色）

## 「スペイン近現代美術Ⅱ」

平成18年10月24日(火)～平成19年4月22日(日)

### 出品リスト：

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A IIイ476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち
2	A IIイ477	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト舗装をする男たち
3	A IIイ559	ダニエル・バスケス・ディアス	イスパニダー記念聖堂
4	A IIイ246	パブロ・ピカソ	静物
5	A IIイ513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物
6	A IIイ240	ジョアン・ミロ	PEINTURE（絵画）
7	B八81	ジョアン・ミロ	枝の上の鳥
8	A IIイ258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引き上げるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む
9	A IIイ281	アントニ・クラベ	王様
10	A IIイ247	アントニ・タビエス	茶の上の黄土
11	A IIイ479	エドゥアルド・ナランホ	自画像「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」
12	A IIイ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
13	A IIイ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック（赤と灰色）

## 4 . 教育普及・生涯学習事業

平成17年度

### 1) 大学との連携事業

「WOOD WORKS 遊木」展 木とあそぼう みる・きく・さわる

平成17年4月23日～5月8日\*16日間 10:00～19:00 会場：アトリエ、アトリエ前庭

#### 概要：

来館者に親しみやすく、利用しやすい雰囲気づくりを工夫し、美術に対する興味・関心を高めてもらうため、オープニングの展覧会に関連した事業として、幼児・児童を対象としたハンズ・オンの展覧会を開催。大学との連携事業として、佐賀大学の協力により、木の温もりを大切にした芸術性と共に安全性も高い玩具を制作、約100点が展示された。長崎県美術館が所蔵するスペイン美術に関連して、闘牛の彫刻、長崎の文化に関連して、教会や灯台の積み木、長崎帆船祭りの時期に併せて大きな木の船など、佐賀大学が「長崎」をテーマとした作品作りに、開催の半年前から取り組み、工夫を重ねた。また、県林務課の協力もあり、長崎県産ヒノキを使用し、木の香り豊かな会場となった。家族連れの参加が大半を占め、展覧会とともに、「開かれた美術館」としての新しい試みを楽しんだ。

#### 連携大学：

佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程木材工芸研究室（加賀谷研究室）

参加者数：62,000人 入場無料・自由参加

サポートスタッフ：計約70人

研究室メンバー約20人、教育ボランティア約40人、館職員約10人



**「WOOD WORKS 遊木」展（延長により2回目の開催）**

平成17年6月1日(水)～8月21日(日)\*77日間 10:00～19:00

会場：アトリエ前庭、運河ギャラリー

**概要：**

開館と同時に開催した「WOOD WORKS 遊木」展が大好評を得、「常設してほしい」「子どもが美術館に行きたいと言う」など、期待が高かった。そのため、再度、大学の協力を得て、会期を延長して開催。佐賀大学による作品修理を経て、会場を変え縮小した形で展示した。保育園や学童保育など、団体利用の申込が増え、とくに夏休み中、遊びながら美術館に触れる機会としてリピートする子どもが多かった。子どもに限らず、若者からお年寄まで気軽に参加する憩いの場として、親しみやすい美術館のイメージが根付いた。

**連携大学：**

佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程木材工芸研究室（加賀谷研究室）

**参加者数：**20,000人 入場無料・自由参加

**サポートスタッフ：**計63人

会場監視：教育ボランティア約50人、館職員約10人、  
教員研修3人

作品メンテナンス：佐賀大学加賀谷研究室約10人



## 2) 移動美術館 art moving

### ① 移動美術館 in 森山町

開催期間：平成17年10月15日(土)～24日(月)\* 8日間

10:00～18:00

休館日：10月18日(火)、10月20日(木)

主催：長崎県美術館、諫早市、諫早市教育委員会

会場：諫早市立森山図書館

観覧者数：1,500人

観覧料：無料、関連事業への参加費無料

出品点数：25点

#### 概要：

スペイン美術と長崎ゆかりの作品をテーマとして構成した。開催地にも近い吾妻町出身の日本画家である栗原玉葉の作品、現在も長崎に在住し活躍している写真家、東松照明の長崎シリーズ、触れる展示として子ども達に好評の富永直樹の動物彫刻を展示した。

#### 関連事業：

(1) オープニング式典及び学芸員によるギャラリートーク

日時：10月15日(土) 10:00～11:00

参加者数：50人

(2) 鑑賞教室

日時：10月19日(水) 14:00～16:30

参加校：諫早市立森山小学校 98人

(3) ワークショップ「シルクスクリーン」

日時：10月19日(水) 1回目 13:30～15:30

10月23日(日) 2回目 10:30～12:30

参加者数：6歳～大人 親子参加可 計40人

(4) こどもの広場「木のプール」

日時：10月15日(土)～10月24日(月)

会場：図書館内視聴覚スペース

木の大型玩具「木のプール」で遊ぶ。

(5) 演奏会「木管五重奏」

日時：10月23日(日) 14:30～15:30

演奏：ポケ（諫早交響楽団所属）

#### 販売物：

展覧会図録、ポストカード、須磨コレクショングッズ等



#### 森山町会場出品リスト

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A II イ620	アンヘル・リスカーノ	ドン・キホーテとライオン（『ドン・キホーテ』より）
2	A II イ539	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム
3	A II イ549	リカルド・デ・ピリョーダス	自画像
4	A II イ548	リカルド・デ・ピリョーダス	画家の妻、アントニア・レビーリャ
5	A II イ559	ダニエル・バスケス・ディアス	イスバニダー記念聖堂
6	A II イ121	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面
7	A II イ223	山本森之助	蒲郡の朝
8	A II イ243	渡辺与平（宮崎与平）	帯
9	A II イ6	横手貞美	ピエロ
10	A II イ792	鴨居羊子	リボンリボンリボン



11	A II 二74	鴨居羊子	布絵スケッチ
12	A II イ728	野口彌太郎	呉淞にて
13	A II イ763	鈴木信太郎	曇りの日の港
14	A I イ133	荒木十畝	梅花群雀図
15	A I イ187	栗原玉葉	母の愛(「孟母断機図」)
16	A I イ185	栗原玉葉	初秋の夕
17	A I イ209	栗原玉葉	美人図屏風
18	H イ85	東松照明	造船所3 カモちゃん 浜田造船・野母崎町
19	H イ27	東松照明	吾輩は社長である 大浦市場・相生町
20	H イ43	東松照明	畑のなかの野良猫 寄合町
21	H イ233	東松照明	アーサーくん 風頭町
22	B 八24	富永直樹	パンダうさぎ
23	B 八19	富永直樹	宝来牛
24	B 八57	富永直樹	リリーという猫
25	B 八60	富永直樹	華麗なる女王

## ②移動美術館 in 東彼杵町

**開催期間：**平成17年11月18日(金)～27日(日)\*10日間

9：00～17：00

**休館日：**なし

**主催：**長崎県美術館、東彼杵町、東彼杵町教育委員会

**会場：**東彼杵町歴史民俗資料館

**観覧者数：**1,272人

**観覧料：**無料、関連事業への参加費無料

**出品点数：**31点

**概要：**

スペイン美術と長崎ゆかりの美術をテーマとして構成した。長崎ゆかりの作家である鴨居玲、鴨居羊子の作品、長崎に在住し活躍している写真家、東松照明の長崎シリーズ、触れる展示として子ども達に好評の富永直樹の動物彫刻を展示した。

**関連事業：**

(1)オープニング式典及び学芸員によるギャラリートーク

日時：11月18日(金) 10：00～11：00

参加者数：50人

(2)鑑賞教室

日時：11月18日(金) 13：40～16：30

11月21日(月) 9：00～16：30

参加校：(以下、東彼杵町立)千綿小学校、彼杵小学校、大楠小学校、音琴小学校、千綿中学校、彼杵中学校  
計625人

(3)ワークショップ「絵の具作り」

日時：11月19日(土) 9：30～12：00

参加者数：6歳～大人 親子参加可 計64人

(4)こどもの広場「木のプール」

日時：11月18日(金)～11月27日(日)

会場：東彼杵町歴史民俗資料館内スペース  
木の大型玩具「木のプール」で遊ぶ。

**販売物：**

展覧会図録、ポストカード、須磨コレクショングッズ等



## 東彼杵町会場出品リスト

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	AⅡイ620	アンヘル・リスカーノ	ドン・キホーテとライオン(『ドン・キホーテ』より)
2	AⅡイ622	アンヘル・リスカーノ	エル・トボソのドゥルシネア(『ドン・キホーテ』より)
3	AⅡイ539	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム
4	AⅡイ540	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋
5	AⅡイ549	リカルド・デ・ビリョーダス	自画像
6	AⅡイ548	リカルド・デ・ビリョーダス	画家の妻、アントニア・レビーリャ
7	AⅡイ559	ダニエル・バスケス・ディアス	イスパニダー記念聖堂
8	AⅡイ121	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面
9	AⅡイ1029	彭城貞徳	菊図
10	AⅡイ270	宮崎与平(渡辺与平)	白日
11	AⅡイ243	渡辺与平(宮崎与平)	帯
12	AⅡイ223	山本森之助	蒲郡の朝
13	AⅡイ348	山本森之助	河畔の村と冬木立
14	AⅡイ180	横手貞美	風景
15	AⅡイ6	横手貞美	ピエロ
16	AⅡイ303	鴨居玲	恋人蓮(B)
17	AⅡニ65	内田晴子	陽の爽気は眼の中で萎える
18	AⅡイ274	市山時一郎	白馬村野平
19	AⅡイ793	鴨居羊子	さようなら
20	AⅡイ792	鴨居羊子	リボンリボンリボン
21	AⅡイ763	鈴木信太郎	曇りの日の港
22	AⅡイ728	野口彌太郎	呉淞にて
23	Hイ190	東松照明	人形浄瑠璃 皿山大神宮・東彼杵郡・波佐見町
24	Hイ181	東松照明	天然記念物の大村桜 大村市
25	Hイ233	東松照明	アーサーくん 風頭町
26	Hイ27	東松照明	吾輩は社長である 大浦市場・相生町
27	Hイ85	東松照明	造船所3 カモちゃん 浜田造船・野母崎町
28	BⅡ57	富永直樹	リリーという猫
29	BⅡ60	富永直樹	華麗なる王女
30	BⅡ19	富永直樹	宝来牛
31	BⅡ24	富永直樹	パンダうさぎ

### ③移動美術館 in 小値賀町

開催期間：平成18年1月14日(土)～22日(日)\* 9日間

9:00～18:00

休館日：なし

主催：長崎県美術館、小値賀町、小値賀町教育委員会

会場：小値賀町離島開発総合センター

観覧者数：1,301人

出品点数：30点

入館料：無料、関連事業への参加費無料

概要：

スペイン美術と長崎ゆかりの作品を中心に構成した。開催地の要望もあり、マルク・シャガールの「サーカス」シリーズより4点を特別展示し、渡辺与平の代表作《帯》の他、20世紀スペインの画家ホセ・グティエレス・ソラーナの《仮面たち》、海の近い土地に合う、長崎出身の画家、山本森之助の《蒲郡の朝》などを展示した。

関連事業：

(1)オープニング式典及び学芸員によるギャラリートーク

日時：1月14日(土) 10:00～11:00



1月22日(日) 13:00~14:00

参加者数:計90人

(2)鑑賞教室

日時:1月16日(月) 8:30~15:30

1月17日(火) 8:30~15:00

参加校:小値賀町立小値賀小学校(大島分校含)

小値賀町立斑小学校、小値賀町立小値賀中学校、

県立北松西高等学校 計379人

(3)ワークショップ「シルクスクリーン」

日時:1月14日(土)1回目13:00~15:30

参加者数:6歳~大人 親子参加可 計24人

ワークショップ「絵の具作り」

日時:1月15日(日)1回目10:00~12:30

2回目14:00~16:30

参加者数:6歳~大人 親子参加可 計43人

(4)こどもの広場「木のプール」

日時:1月14日(土)~1月22日(日)

会場:小値賀町離島開発総合センター内ロビー

木の大型玩具「木のプール」で遊ぶ。

販売物:

展覧会図録、ポストカード、須磨コレクショングッズ等

小値賀町会場出品リスト

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A II イ76	作者不詳(セビーリャ派)	十字架を担う幼児キリスト
2	A II イ77	作者不詳(アンダルシア派)	悲しみの聖母
3	A II イ539	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム
4	A II イ540	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋
5	A II イ620	アンヘル・リスカーノ	ドン・キホーテとライオン(『ドン・キホーテ』より)
6	A II イ549	リカルド・デ・ピリョーダス	自画像
7	A II イ548	リカルド・デ・ピリョーダス	画家の妻、アントニア・レビーリャ
8	A II イ534	アントニオ・エスケベル・イ・スアレス	ある家族
9	A II イ559	ダニエル・パスケス・ディアス	イスパニダー記念聖堂
10	A II イ95	ホセ・グティエレス・ソラーナ	仮面たち
11	A II イ121	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面
12	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
13	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
14	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
15	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
16	A III 口54	彭城貞徳	菊図
17	A II イ348	山本森之助	河畔の村と冬木立
18	A II イ223	山本森之助	蒲郡の朝
19	A II イ270	宮崎与平(渡辺与平)	白日
20	A II イ243	渡辺与平(宮崎与平)	帯
21	A II イ6	横手貞美	ピエロ
22	A II イ728	野口彌太郎	呉淞にて
23	A II イ763	鈴木信太郎	曇りの日の港
24	A II イ792	鴨居羊子	リボンリボンリボン
25	H イ9	東松照明	インターフェイス1 上五島
26	H イ10	東松照明	インターフェイス2 上五島
27	H イ27	東松照明	吾輩は社長である 大浦市場・相生町
28	H イ233	東松照明	アーサーくん 風頭町
29	B ハ57	富永直樹	リリーという猫
30	B ハ60	富永直樹	華麗なる王女
31	B ハ19	富永直樹	宝来牛
32	B ニ34	富永直樹	タロ・ジロの像
33	B ハ24	富永直樹	バンダウさぎ

### 3) アートクラブ

#### ①こどもアートクラブ

##### 概要:

基本テーマ「まなぶ・つくる・深める」のもとに、全9回の活動を通して、継続的に鑑賞力・表現力を高めることを目的とする。本年度は、前期と後期に対象年齢を分けて、展覧会や長崎の文化的行事に関連する活動を行った。

表現活動においては「わんぱくアート」をサブテーマに、表現する楽しさを体感いただく事を目的に取り組んだ。

#### (1)前期 チャイルドチーム

日時：5月～10月(全9回)隔週土曜日 10:00～12:00

参加者数：33人

対象・募集方法：幼児・小学生(1～4年生)/葉書 定員を超える場合は抽選

会場：アトリエ他

参加費：2,000円(材料費全9回分)

サポートスタッフ：各回約10人

関連：アートクラブ作品展 チャイルドチーム

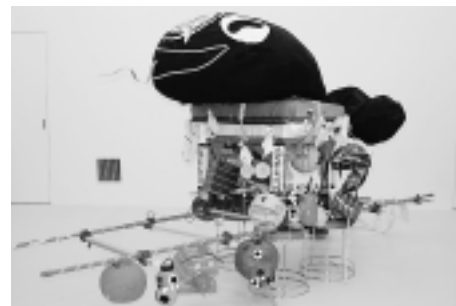
日時：9月30日(金)、10月1日(土)

会場：アトリエ

観覧者数：300人

共同作品は、長崎くんちの期間中エントランスに展示した。

開催日	テーマ	内容
① 5月14日(土)	スマコレ探検隊	オリエンテーション後、「よみがえる須磨コレクション展」をおしゃべり鑑賞した。
② 5月28日(土)	絵の具づくりに挑戦だ!	常設展で気に入った作品を模写した後、砕いて擦った石で絵の具を作り彩色した。
③ 6月11日(土)	はじめましてのすきなもの	ベアになった相手のすきなものを「六角返し」に3つ描いた後、粘土に絵の具を混ぜて自分のすきな色と形を作った。
④ 6月25日(土)	わくわくアート①フラターペーパー	現代アートにふれる活動。中島洋和氏が考案したフラターペーパーを作り、誰の作品が一番飛ぶか競った。講師 中島 洋和(美術家)
7月9日(土)	カラフルからっぽ	床に敷いた90cm四方の白い板ダンボールにモダンテクニックを使って「夏」をテーマに描いた。
⑥ 7月16日(土)	わくわくアート②バタフライ	現代アートにふれる活動その2。中島洋和氏が考案したひらひら揺れながら線をたどるバタフライを作った。講師 中島 洋和(美術家)
⑦ 9月11日(日)	長崎の祭おくんち!(グループ制作)	長崎くんちにちなんで、共同でくじらの神輿を作った。
⑧ 9月25日(日)		講師：濱崎 彰(絵画教室・工作教室あとリエエコロジー) 主宰
⑨ 10月2日(日)	鑑賞会	これまでの全作品を鑑賞後、館周辺をグループ制作の神輿を担いでまわった。



#### (2)後期 ジュニアチーム

日時：5月～10月(全9回)隔週土曜日 10:00～12:00

参加者数：30人

対象・募集方法：小学生(主に5・6年生)～中学生/葉書 定員を超える場合は抽選

会場：アトリエ他

参加費：2,000円(材料費全9回分)

サポートスタッフ：各回約10人

関連：アートクラブ作品展 ジュニアチーム

日時：2月3日(金)、2月4日(土)

会場：アトリエ

観覧者数：353人

共同作品は、ランタンフェスティバルの期間中までエントランスに展示した。

開催日	テーマ	内容
①10月8日(土)	やきものづくり入門編	県民ギャラリーで陶器の作品展を鑑賞し、手びねりで「コップ」を作った。
②10月22日(土)	やきものづくり達人編	常設展鑑賞後、手びねりで「どうぶつ」を作った。
③11月12日(土)	スペインをえがきとる!	企画展で気に入った作品を模写した後、ドライポイントの技法で制作した。
④11月19日(土)	パラレル・パステル	展覧会を鑑賞後、パステルの画材を使ってりんごを描いた。
12月10日(土)	パパ・ノエルがやってくる! ①	円筒形や花形の土台にパーツをトッピングして、キャンドルを作った。 講師：宮嶋 健一（あおぞら工房施設長）・アシスタント2名
⑥12月24日(土)	パパ・ノエルがやってくる! ②	90cm四方の白い段ボールに「クリスマス」をテーマにした絵を描き、高さ180cmのツリー型ダンボールにスタンピングの技法で彩色した。
⑦1月21日(土)	長崎ランタンフェス!	ランタンフェスティバルにちなんで、共同で大型ランタンを作った。
⑧1月28日(土)		
⑨2月5日(日)	鑑賞会	これまでの全作品を鑑賞後、スライドをもとに活動の様子を振り返った。



## ②親子アートクラブ

### 概要：

基本テーマ「まなぶ・つくる・深める」のもとに、全10回の活動を通して、美術館に親しむことを目的とする。母親は鑑賞学習と表現活動を体験し、幼児は造形遊びを中心に活動した。母と子が別々の活動をするが、同じアトリエ内において活動し、保育サポートもあるため、安心して取り組むことができた。

**日時：**前期5月～10月（全10回）後期11月～3月（全10回）

**隔週火曜日10：00～12：00**

**会場：**展覧会場、アトリエ

**参加人数：**各25人

**対象・募集方法：**親子（3歳以上の就学前のお子様と母）/  
葉書 定員を超える場合は抽選

**参加費：**2,000円（材料費全10回分）

**サポートスタッフ：**各回約8人

### 前期

開催日	親の活動	幼児の活動
①5月10日(火)	鑑賞：よみがえる須磨コレクション展 表現：絵の具作り	造形あそび、木のプール、絵本の読み聞かせ
②5月24日(火)	表現：渋紙を使った型染め	〃
③6月14日(火)	表現：製図 透視図法	〃
④6月28日(火)	表現：陶芸成形型作り（食器）	〃
7月12日(火)	表現：陶芸絵付け具須（食器）	〃
⑥7月26日(火)	鑑賞：「アメリカ・ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔展」 表現：造形 和灯籠（竹・和紙）	〃
⑦9月13日(火)	鑑賞：「植物展 - 木をみて、森もみる」 表現：点描	〃
⑧9月27日(火)	表現：点描	〃
⑨10月12日(火)	鑑賞：「リアル - スペイン美術の現在展」 表現：シルクスクリーン（植物）	〃
⑩10月25日(火)	表現：シルクスクリーン（植物）	〃

開催日	親の活動	幼児の活動
①11月8日(火)	鑑賞：「リアル - スペイン美術の現在展」 表現：絵の具作り	造形あそび、木のプール、絵本の読み聞かせ
②11月22日(火)	表現：渋紙を使った型染め	〃
③12月13日(火)	鑑賞：「ベルギー象徴派展」 表現：製図 透視図法	〃
④12月27日(火)	表現：陶芸成型作り（食器）	造形あそび、木のプール、絵本の読み聞かせ
1月11日(水)	表現：陶芸絵付け呉須（食器）	〃
⑥1月24日(火)	鑑賞：「魅惑の17～19世紀フランス絵画展」 表現：点描	〃
⑦2月14日(火)	表現：造形 和灯籠（竹・和紙）	〃
⑧2月28日(火)	鑑賞：「エドゥアルド・チリーダ展」 表現：造形 和灯籠（竹・和紙）	〃
⑨3月14日(火)	表現：シルクスクリーン（植物）	〃
⑩3月28日(火)	表現：シルクスクリーン（植物）	〃



### ③サマーアートクラブ「技法で遊ぼう！」

#### 概要：

企画展「アメリカ - ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔」に関連した活動。1日目はおしゃべり鑑賞、2日目からはアトリエで様々な技法に挑戦した。

日時：7月28日(木)～7月31日(日)

午前の部 / 10:00～12:00、午後の部 / 14:00～16:30

会場：企画展示室、アトリエ

#### 連携大学：

長崎大学教育学部教科教育コース美術（中川研究室）

対象・応募方法：午前の部（小学1～3年生）

午後の部（小学4～6年生）

/ 葉書

参加費：1,000円（材料費全4日分）

参加者数：午前の部35人、午後の部35人

日程	活動	内容
①7月28日(木)	おしゃべり鑑賞・模写	企画展のおしゃべり鑑賞をグループ別に行い、気に入った作品の模写をした。（3日目のシルクスクリーンの下絵）
②7月29日(金)	ドリッピング	ジャクソン・ポロックの作品をヒントにドリッピングの技法で紙とTシャツに絵を描いた。
③7月30日(土)	シルクスクリーン	2日目に制作したTシャツの表に、シルクスクリーンで印刷を行った。
④7月31日(日)	鑑賞会	制作したTシャツを着て、館内をパレード。3日間の活動の様子をスライドで振り返った。



## 4) ワークショップ

### ①プレ・ワークショップ「アートの種を飛ばそう！」

#### 概要：

美術館の開館を記念した子ども達によるアート活動。中島洋和氏が考案したフラッターペーパーを制作し、エントランスの空間に飛行させた。開館前からボランティアや大学生も準備・協力に加わった。

日時：4月23日(土)

会場：エントランス

講師：中島洋和(美術家) 協力：太田造形教室

参加者数：小学生60人

サポートスタッフ：計24人

美術館職員8人、教育ボランティア10人、大学生6人



### ②「よみがえる須磨コレクション展」関連ワークショップ

#### 自然の絵の具箱 石・土・植物から絵の具を作る

#### 概要：

絵の具は、どのようにして作られるのか、その歴史を知り、絵の具(顔料)を精製する技法を学習し、実際に自分で作り出した絵の具を使って絵を描く、実技講座形式のワークショップ。“ラピスラズリの青”など鉱石や土、植物から顔料を作り、色見本を制作、画用紙やキャンバスなど支持体も工夫しながら、作品作りを行った。

会場：アトリエ

講師：関根秀樹(和光大学講師)

日時：5月19日(木)~22日(日)\*4日間連続

第1日目(木)17:00~20:00

第2日目(金)17:00~20:00

第3日目(土)13:00~16:00/17:00~20:00

第4日目(日)13:00~16:00/17:00~20:00

#### 対象・募集方法：

高校生以上一般/葉書 応募多数の場合は抽選

参加費：3,000円

参加者数：22人

サポートスタッフ：のべ5人



### ③サマーワークショップ2005

#### 「美術館でつながる - 人・場所・時間」

#### 概要：

作品を通して人と人とのつながりを提案する、紙コップアーティスト LOCO 氏を講師に、紙コップを使用したワークショップを行った。

#### (1)「コップ人間アートツアー」

#### 概要：

My コップ人間を制作し、コップ人間に変身して、アートツアーへ出かけた。館内や水辺の森公園の各所で写真撮影を行った。



日時：平成17年7月16日(土)、17日(日) 14:00~17:00

会場：アトリエ、美術館周辺

講師：LOCO(紙コップアーティスト)

対象・募集方法：子ども~大人/葉書・FAX

参加費：2,000円

参加者数：30人

サポートスタッフ：のべ6人

(2)「糸でんわ de 伝えたい」

概要：

『糸でんわ』 紙コップに自分の顔を描き、それらをつないで糸でんわを制作。たくさんの人々とのつながりを体験した。『等身大糸でんわ』 糸に見立てた大きな布をくぐり、自分が声になって相手の所までとどけるという活動を行った。

日時：平成17年7月18日(月) 10:00~13:00

14:00~自由参加時間(申込不要)

会場：アトリエ、アトリエ前庭

講師：LOCO(紙コップアーティスト)

対象・応募方法：子ども~大人/葉書・FAX

参加費：無料

参加者数：447人



④教育普及連携展「植物展 木をみて森もみる」関連ワークショップ

「ひまわりの心」パントマイムと11弦ギター演奏

概要：

「植物展 木をみて、森もみる」を館職員とおしゃべりしながら鑑賞し、「ひまわりと少年」の物語を表現したパントマイムを観て、アトリエで思い思いのひまわりの絵を描き、大きな壁面に貼るといふ、3部構成の鑑賞と表現に繋がりを持たせたワークショップ。壁一面に元気いっぱいひまわり畑が広がった。

日時：7月23日(土)、24日(日)午前・午後・夜

定員各150人まで

午前の部 10:00~10:40 植物展鑑賞  
11:00~12:00 パントマイム+ギター演奏  
12:00~13:00 アトリエで絵を描く  
午後の部 14:00~14:40 植物展鑑賞  
15:00~16:00 パントマイム+ギター演奏  
16:00~17:00 アトリエで絵を描く  
夜の部 18:30~20:00 パントマイム+ギター演奏

会場：鑑賞会(展示室内) パントマイム観賞(ホール)  
ひまわりの絵(アトリエ)

公演：清水きよし(パントマイム)

辻幹雄(11弦ギター奏者)

対象・募集方法：小学生~一般 チケット販売

料金：公演入場料/一般1,000円(前売900円)/

小中生500円(前売400円)

参加者数：計450人

サポートスタッフ：のべ10人





### 大学連携ワークショップ「8Peace (ハッピーズ)」

#### 概要：

平和学習の一環として、「つながる」をテーマに活動。8月9日にちなんだ「8Peace (ハッピーズ)」(ハッピーとピースを合わせた造語)の文字をデザインし、友だちや大学生と交流した。展示室では、パブロ・ピカソ《鳩のある静物》を鑑賞し、平和について考えた。また、館内では、紙テープを張り巡らせ、出会った人の名前を書き、人と人とのつながりを形で表現するパフォーマンスを行った。

日時：8月9日(火) 10:00~15:00

#### 会場：

アトリエ、常設展示室第5室、エントランス、橋の回廊

#### 参加者数：

諫早市立上諫早小学校6年生 20人

#### 連携大学：

長崎大学教育学部教科コース美術(中川研究室)約20人



### ⑥企画展「エドゥアルド・チリーダ」関連ワークショップ

(1) 第1回「デコボコカード」エンボス版画

(2) 第2回「コロコロテラコッタ」テラコッタ粘土で彫塑

#### 概要：

学芸員の解説を聞きながら、チリーダの作品を鑑賞した後に、エンボス版画やテラコッタの技法を取り入れたワークショップを行った。チリーダの制作風景のVTRも参考に、チリーダ風の線や形の面白さを学び、一人あたり3kgものテラコッタ粘土を使って土の素朴な感覚を楽しみながら、コロコロと転がるような軽快な形を作った。

日時：「デコボコカード」3月11日(土) 10:30~13:00

「コロコロテラコッタ」3月25日(土) 10:30~13:00

会場：企画展示室、アトリエ

#### 対象・募集方法：

8歳~一般 各24人/葉書 応募多数の場合は抽選

参加費：500円

参加者数：各24人

サポートスタッフ：のべ5人



## 5) こどもの広場

### 概要：

「絵本の読み聞かせ、おもちゃコレクションとの出会い」による美術とのふれあいを基本に、来館者のために解放する自由な空間として提供しているもの。

### 第1回「おもちゃの広場がやってくる」

**内容：**NPO 法人日本グッド・トイ委員会によって認定された優良おもちゃ「グッド・トイ」を中心に世界各国のおもちゃ約60点を展示。自由に手にとって遊べる場を提供した。おもちゃコンサルタントによる育児中の父母に向けた講演「おもちゃのおはなし」や「手作りのおもちゃ講座」を実施した。

**日時：**6月5日(日) 10:00~18:00

**会場：**アトリエ、講座室

**共催：**おもちゃコンサルタント北部九州支部

**対象：**0歳~一般

**参加者数：**のべ1,740人

**サポートスタッフ：**

約20人(グッド・トイ委員会サポート9人)



### 第2回「木のプールだっけきもちいい」

#### 内容：

当館所有のおもちゃ「木のプール」や絵本を初公開するとともに、おもちゃの館ピーターパンのおもちゃ約80点を展示。工作のヒントになるおもちゃ作りの体験や当館スタッフによる絵本の読み聞かせを実施した。

**日時：**8月28日(日) 10:00~18:00

**会場：**ホール

**協力：**おもちゃの館ピーターパン

**対象：**0歳~一般

**参加者数：**のべ1,423人

**サポートスタッフ：**約15人



### 関連企画 フィルム上映会こどもの広場編

「びじゅつかんのえいがかん」

**日時：**8月29日(月)~31日(水) ①10:30~11:00

②14:00~14:30 ③16:00~18:00

**会場：**ホール

**対象：**3歳~一般

**参加者数：**576人

### 上映作品：

世界絵本箱「スイミー」全5話（2001年/28分）上映回数3回

レオ・レオ二作の絵本「フレデリック」「コーネリアス」「ぼくのだ！わたしのよ！」「さかなはさかな」「スイミー」

世界絵本箱「かいじゅうたちのいるところ」全3話（2004年/35分）上映回数1回

モーリス・センダック作の絵本「ちいさなちいさなえほんばこ(歌)」「かいじゅうたちのいるところ」「まよなかのただいどころ」

世界絵本箱「すてきな三にんぐみ」全4話（2001年/30分）上映回数1回

トミー・アンゲラー作の絵本「すてきな三にんぐみ」「月おとこ」「ぼうし」「ラシーヌおじさんとふしぎな動物」

世界絵本箱「ベッドのまわりはおばけがいっぱい」(2001年/26分)全3話 上映回数1回

バーバラ・ウォーカー作「ティニー・タイニーと魔女」、ルース・ブラウン作「くらーいくらいおはなし」、ジェームズ・スティープンソン作「ベッドのまわりはおばけがいっぱい」

秘密の花園（1993年/102分） 上映回数3回

F・バーネット原作の児童文学作品。フランス・F・ Coppola製作総指揮。

### 第3回「世界のおもちゃグッド・トイ展」

#### 内容：

NPO 法人日本グッド・トイ委員会選定のおもちゃ「グッド・トイ」を中心に世界のおもちゃ約200点を展示。自然のぬくもりを大切にしておもちゃをみて、さわって、感じて遊べる。

日時：11月25日(金) 10:00～18:00、26日(土) 10:00～17:00

会場：ホール、アトリエ

主催：長崎県美術館、長崎グッド・トイ委員会

対象：0歳～一般

参加者数：のべ2,894人

サポートスタッフ：のべ約70人（グッド・トイ委員会57人）



### 関連企画 おもちゃ講演会「遊び力で子どもは育つ」

日時：11月24日(木) 10:30～12:30

会場：講座室

講師：多田千尋（芸術教育研究所所長・おもちゃ美術館館長  
NPO 法人日本グッド・トイ委員会理事長）

対象：一般

参加者数：のべ106人



### 第4回「美術館でメリークリスマス」

(1) クリスマス・マジックショー

日時：12月23日(金) 14:30～15:00

会場：ホール

講師：近藤陽志夫（九州奇術連合会所属・佐世保マジッククラブ会長 県立佐世保工業高校教諭）

対象：幼児～一般

参加者数：220人

(2) クリスマスのえいがかん

日時：A 12月23日(金) 16:00～18:00

B 24日(土)・25日(日)

①10:30～10:55、②11:00～11:50

会場：ホール

**対象：**子ども～大人

**参加者数：**302人（A130人、B172人）

A / 「トムとジェリー」全13話（2000年 / 118分）上映回数  
1回

アカデミー賞ノミネート作品「メリー・クリスマス」他、  
アカデミー賞受賞＆ノミネート作品を紹介。

B / 「まどから おくりもの」全3話（1999年 / 23分）上  
映回数1回

五味太郎（絵本作家）原作・監修・イラストレーション。  
「てんしさまがおりてくる」「まどから おくりもの」  
「もみのきそのみをかざりなさい」

「クリスマス・アニメーション」全6話（2003年 / 44分）  
上映回数1回

フライシャー兄弟によるクリスマス向けアニメーション他。  
「サンタクロースの小屋」（1933年）「リトル・キング『ク  
リスマスの夜』」（1933年）「グランピーのサンタクロース」  
（1936年）「赤鼻のトナカイ」（1948年）「サンタへのプレ  
ゼント」（1947年）「スノー・フォーリン」（1949年）

(3) クリスマスカンドル ワークショップ

**日時：**12月24日(土) 13:00～15:00、25日(日) 13:00～16:30

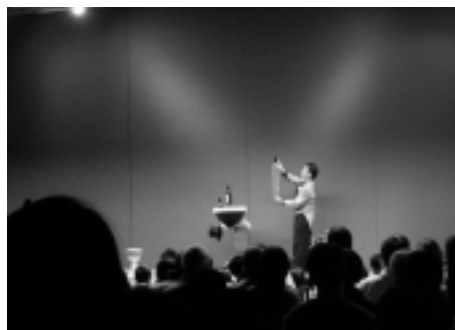
**会場：**アトリエ

**対象：**6歳～一般

**参加費：**100円

**参加者数：**587人

**サポートスタッフ：**のべ20人



## 6) 遠隔授業

### 概要：

遠隔地の学校と美術館を IT 機器で直接結び双方向対話型の授業を行う事業。

展示室から館職員の解説を聞くことで美術への関心を高め、鑑賞学習の支援を行う。

### 連携校：

長崎県立鹿町工業高等学校

所在地：長崎県北松浦郡鹿町土肥ノ浦免110

美術担当：山下嘉仁 教諭

### 日時：

第1回：7月14日(木)、15日(金)

「長崎県美術館の施設概要と収蔵作品」

第2回：9月5日(月)

「長崎ゆかりの作家を知る 鴨居玲」

第3回：3月6日(月)「日本と西洋の絵画表現」

会場：学校：視聴覚教室 / 美術館：常設展示室内

参加者数：のべ850人

### 授業担当：

第1回「長崎県美術館の施設概要と収蔵作品」

解説：福満葉子、伊藤晴子、森園敦 進行：堺雅子

第2回「長崎ゆかりの作家を知る 鴨居玲」

解説：森園敦 進行：堺雅子 サポート：濱垣明日香

第3回「日本と西洋の絵画表現」

解説：遠山景子 進行：堺雅子 サポート：松尾千裕

使用機器：SONY テレビ会議システム型式 PCS 1

### 映像画素数：

CIF (352×288) : QCIF (176×144)

静止画 4 CIF (704×480)

内蔵カメラ：光学10倍ズーム、デジタル4倍ズーム

### 音声入出力：

(本体) 外部マイク入力×2、ライン入力×1 (データソリューションボックス)

(本体) 2端子、(データソリューションボックス) 2端子

### 拡張性：

データソリューションボックス、ISDN 接続ユニット等の純正オプションが利用可能、多数の出力端子の利用で高精細カメラやPC等の利用が可能。



## 7) 親子鑑賞会

「リアル - スペイン美術の現在展」関連事業 親子鑑賞会

### 概要:

スペインの絵画や彫刻についてのギャラリートークを聞きながら、家族で展覧会を楽しむ鑑賞会。対話型の鑑賞方法による案内で、ストーリー性のある作品に、子ども達は反応し、ユニークな意見や感想を述べた。

日時：10月16日(日)、10月29日(土) 10:30~12:00

会場：企画展示室

対象・募集方法：家族（子ども：小学生以上）/ 葉書・FAX

参加費：観覧料のみ

参加者数：計114人（42家族）

サポートスタッフ：のべ12人



## 8) 博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習を下記のように実施した。

期間：平成17年7月25日(月)~7月29日(金)

実習費：5,000円

実習生：10人（6校）

(第1日) 7月25日	10:00~12:00	オリエンテーション(森園) 館長講話(伊東館長) 講義：現在の美術館状況(福満)
	13:00~17:00	館内見学(森園) 講義：企画展を考える(野中) 企画展レポートの説明(森園) 図書について(遠山)
(第2日) 7月26日	10:00~12:00	講義：美術館の広報活動(吉野)
	13:00~17:00	作品取り扱い、作品保存、状態調査表作成(伊藤)
(第3日) 7月27日	10:00~12:00	講義：美術館の運営について(白石)
	13:00~17:00	学芸員補助
(第4日) 7月28日	10:00~12:00	企画展レポート作成
	13:00~17:00	企画展発表・講評
(第5日) 7月29日	10:00~12:00	講義：教育普及について(堺)
	13:00~17:00	サマーアートクラブ参加

## 9) スクールプログラム

### 概要：

学校と美術館との連携事業として、図工・美術の時間、総合的な学習の時間、学校行事、修学旅行、部活動などで利用いただくためのプログラム。大きな柱は鑑賞プログラムと表現プログラムであり、教員とエドゥケーターが共同で内容を組み立てた。

【鑑賞プログラム】.....企画展、美術館コレクション展の作品を、少人数に分かれ、スタッフと一緒におしゃべり鑑賞を行う。

【表現プログラム】.....アトリエにて制作を行う。「模写」「絵の具作り」「ドライポイント」「シルクスクリーン」の4種から選ぶことができる。

材料費：一人100円（表現プログラムのみ）

【出張授業】.....美術館に来る前の事前学習として、エドゥケーターが学校に訪問。美術館や作品について授業を行う。

計4校

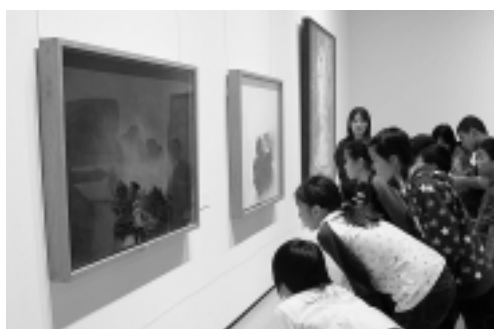
利用総数：12,294人

### H17 スクールプログラム（学校利用）

（利用校種別月別表）内容：エドゥケーターの解説による鑑賞活動、表現活動、自由鑑賞

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	校種別合計
幼稚園	64	251	60	0	0	0	0	200	0	0	21	0	596
保育園	0	124	0	0	33	0	0	37	0	0	18	0	212
学童保育	50	56	60	20	126	0	0	0	23	0	0	0	335
小学校	0	282	727	66	74	610	1879	1335	63	37	193	58	5324
中学校	0	246	654	42	98	0	471	99	28	38	0	104	1780
高校	0	393	0	340	51	0	327	0	292	125	234	0	1762
盲・ろう・養護学校	119	31	23	0	3	0	45	38	0	23	7	15	304
大学（短大）	1	226	16	54	0	0	0	0	0	0	12	0	309
専門学校	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17
PTA	59	10	63	10	8	0	285	115	0	37	0	0	587
教職員研究部会	0	0	87	4	90	0	0	158	0	0	0	0	339
教員	12	38	47	18	21	63	111	87	27	50	53	19	546
その他	0	0	73	0	30	0	0	40	0	0	0	40	183
月別合計	293	1619	1763	553	513	673	3185	2178	433	310	538	236	12294



10) 印刷物



WOOD WORKS 遊木展 4 / 23 - 5 / 8



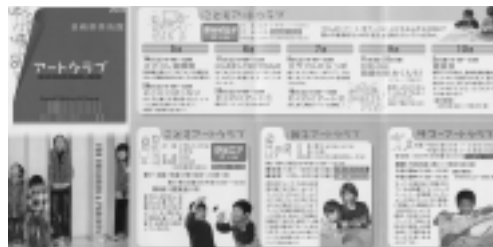
WOOD WORKS 遊木展 ポスター



WOOD WORKS 遊木展  
6 / 1 - 8 / 21



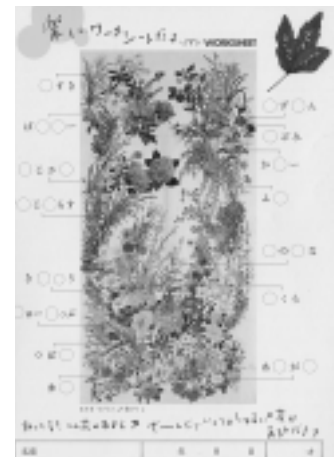
移動美術館



アートクラブ リーフレット



サマーワークショップ チラシ



植物展 - 木をみて、森もみる -  
ワークシート



こどもの広場  
木のプールだってきもちいい



こどもの広場  
グッド・トイ展



スクールプログラム 表紙



スクールプログラム  
修学旅行用チラシ



平成18年度

## 1) 大学との連携事業

「Children's eye LIFE～木と暮らそう～」

4月11日(火)～5月7日(日)\*26日間 10:00～20:00 会場：アトリエ、アトリエ前庭

### 概要：

美術館の教育普及・生涯学習プログラムに賛同した大学・学校・県内木工業者が長崎の子ども達の健やかな成長を祈り、家族がゆっくりと幸せな時間を過ごせる木に囲まれた“夢の空間”を創造していこうと企画。生活の中に“用の美”があり、それを“使うことの美しさ”があることを伝えたい、そして美しいものをみる目をもった子どもを育てたいという思いが一つになった。木の香り広がる、学校・教会・住宅・公園、に触れて、それぞれ作った人々の手の温かさ、やさしさを感じてもらうことを目指した展覧会。

**連携大学：**長崎総合科学大学

### 協力：

県立長崎工業高等学校、県立長崎高等技術専門校、長崎県森林組合連合会、東彼杵郡森林組合、長崎県総合農林試験場、長崎県豊工業組合、長崎建具木工業共同組合、「ながさ木の家」づくり推進連絡協議会、NPO 木の建築フォーラム

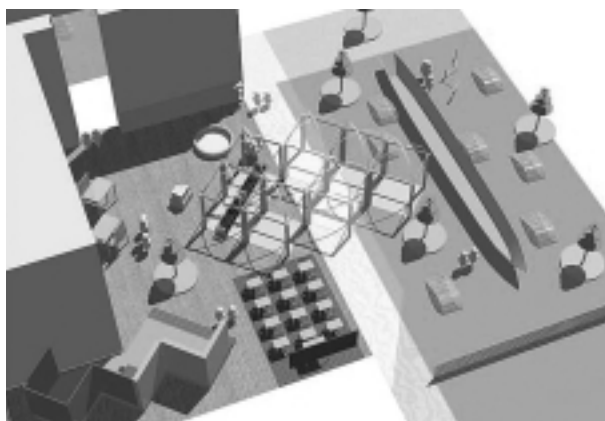
木工所関係：あんくるうっど、井口建具アルミ店、石橋建具、大関、カネウ木工房、五建、小島工作所、坂元木工工藝、佐世保独楽本舗、進藤履物店、SODA FACTORY、そのだ建具製作所、大賀コーポレーション、高来町技能士会、田原木工所、茶坂建設、力武久光、副山浩幸

**入場料：**100円

**参加者数：**9,355人（内、招待幼・保育園10園を含む）

### サポートスタッフ：

長崎総合科学大学約25人（建築科/人間環境学科/電気科）、長崎工業高校約15人、専門校約15人、木工業者約80人、県林務課約5人、美術館スタッフ約10人、教育ボランティア約50人、計200人



### 関連ワークショップ：

#### (1)「木の車を作る」

日時：4月15日(土)、16日(日) 10:00~13:00

会場：アトリエ、アトリエ前庭

対象：子ども~大人

参加費：500円

参加者数：のべ500人

#### (2)「子供が初めて建てる家」大工さんの技で作る子供の家

##### 内容：

木の仕事にたずさわる人々と一般の家族が交流し、山や森についての話を聞き、『木造の仕組み』を学ぶワークショップ。長崎県産ヒノキを使用した組み立て式の角材を参加者全員で協力し、床・柱・梁・屋根の順に組み上げ、木の家が完成。また、大工さんの道具を使い方から習い、ホゾ組みハンガーを製作。

日時：4月22日(土) 1回目11:00~ 2回目15:00~

会場：講座室、アトリエ

講師：袴田喜夫・宮坂公啓(建築家)

##### 対象・募集方法：

親子(子ども5才~小学校低学年)/葉書・FAX

参加費：1000円

参加者数：のべ30人

#### (3)建築・木工関係者による意見交換会

##### 木の文化~現在のライフスタイルにおける木の役割~

##### 概要：

建築家の袴田喜夫氏を中心に、木工業社、大学の建築科教官が集まり、木に携わる人々が「木の仕事の現状と未来を語る」をテーマに自由形式の討論会を行った。

日時：4月22日(土) 17:30~20:00

会場：講座室

参加者数：約30人

#### (4)「モックモック・ワークショップ」大学生と一緒に木を使って楽しい工作

##### 内容：

総合科学大学の学生による木を使ったワークショップ。貝や木の実などの自然物を円形の板につけてペンダントを作る、また、立体パズルを組み合わせて自由に形を作る造形遊びを行った。幼・保育園など団体利用の際は、園児の創造性を伸ばす興味深いワークショップだと先生方に好評であった。

日時：4月29日(土)、30日(日)、5月6日(土)、7日(日)

10:00~12:00、16:00~18:00

会場：アトリエ、アトリエ前庭

参加者数：のべ700人



## 2) アーティスト・イン・レジデンス事業

### 「Children's eye PHOTO~写真を撮ろう~」

7月1日(土)~ 8月27日(日)\*55日間

#### 概要:

2006年の長崎を一眼レフカメラのファインダー越しに覗いてみる。そして、フィルム現像から印画紙へのプリントまで、モノクロ写真のプロセスを実際に体験して写真技術の原理を知る。「撮る・映す・焼く」とは何なのか、写真の魅力に迫ったワークショップ。

「Artist in Residence」として作家を招聘し作品展、ワークショップを行うなど、地域と交流しながら活動をした。

**招聘作家:** 山頭範之(写真家)

#### 会場:

アトリエ、アトリエ準備室(暗室)、講座室、館外(長崎市街)

#### 協力:

創研、九州広告、IN-TEX、Y2 Yamazaki Studio, ARTEYE, Photo Style, contrast

フィルム提供: Kodak

アフガン・ダイアリーズ支援委員会

**助成:** 朝日新聞文化財団

**参加者数:** 9,410人

参加人数内訳

- ・公開制作(撮影・暗室見学)7月1日(土)~7日(金) 計170人
- ・作品展「アフガン・ダイアリーズ」\*29日間 計7,800人
- ・写真ワークショップ「フォトピクニック」\*9日間 36人
- ・プリント体験 8月15日(火)~20日(日)\*6日間 計283人
- ・フォトピクニック写真展 8月23日(水)~27日(日)、\*5日間 数1,121人

**サポートスタッフ:** 計27人

写真家9人、美術館スタッフ約8人、教育ボランティア約10人

#### 関連ワークショップ

##### (1)「フォトピクニック: こども編 - ながさき街写真 - 」

**内容:** 長崎らしい街並みを一眼レフカメラで撮影し、現像の工程を学習、実際にモノクロプリントを体験する。

**日時:** 7月31日(月)撮影、8月2日(水)、8月3日(木)プリント 全3日間 11:00~15:00

**会場:** 長崎市街(古川町、小島町、館内町、南山手:撮影)、講座室(解説)、アトリエ準備室(暗室作業)

**講師:** 長崎在住の写真家9人

(山頭範之、岩本賢吾、坂口佳史、坂本肖美、宅島和彦、宅島健一、深堀勝久、福田雅之、山崎安典)

**対象・募集方法:** 親子(小学生3年生~中学生)/葉書・FAX

**参加費:** 3,000円

**参加者数:** 12人

**サポートスタッフ:** のべ10人



**(2)「フォトピクニック：おとな編 - ながさき撮影局 - 」**

**概要：**長崎らしい街並みを一眼レフカメラで撮影し、現像の工程を学習、実際にモノクロプリントを体験する。

**日時：**グループ① 7月29日(土)撮影、8月5日(土) 暗室作業  
\*全2日間 11:00~17:00  
グループ② 7月30日(日)撮影、8月6日(日) 暗室作業  
\*全2日間 11:00~17:00

**会場：**長崎市街(古川町、丸山町、館内町、南山手：撮影)、講座室(解説)、アトリエ準備室(暗室)

**講師：**長崎在住の写真家7人  
(山頭範之、坂口佳史、坂本肖美、宅島和彦、宅島健一、深堀勝久、福田雅之)

**対象・募集方法：**大人/葉書・FAX

**参加費：**5000円

**参加者数：**24人

**(3)「プリント体験 - モノクロプリントやってみよう！」**

**内容：**フィルムを選び、暗室でモノクロプリントを体験する自由参加型のワークショップ

**日時：**8月15日(火)~8月20日(日)\*6日間  
10:00~12:00、16:00~18:00

**会場：**アトリエ、暗室(アトリエ準備室)

**参加費：**100円

**参加者数：**のべ283人

**サポートスタッフ：**のべ10人



**3)「手でみる形 - 富永直樹彫刻展」**

平成18年11月14日(火)~26日(日)\*13日間 10:00~18:00

会場：アトリエ

**概要：**

「手で触れることのできる彫刻」として、広く親しまれている、富永直樹の彫刻展。視覚とともに、触覚も使った親しみやすい鑑賞として「愛しきもの」をテーマに10点の作品をアトリエに展示。また、アトリエの一角に体験コーナーを設置し、観ることと作ることを関連付け展開した。視覚に障害のある方々への鑑賞サポート(事前申込不要)と点字による会場案内と館案内を準備した。

**観覧者数：**3,544人

**出品点数：**10点

**入場料：**無料

**サポートスタッフ：**

のべ15人



**出品リスト**

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	B八34	富永直樹	真珠の首飾り
2	B二17	富永直樹	リリーという猫
3	B八68	富永直樹	喝采
4	B八8	富永直樹	海浜
5	B八19	富永直樹	宝来牛
6	B二34	富永直樹	タロ・ジロの像
7	B八24	富永直樹	パンダうさぎ
8	B八66	富永直樹	アレックス
9	B八78	富永直樹	天使 2 天上のシンフォニー

## 4) 移動美術館 art moving

### ① 移動美術館 in 雲仙市

開催期間：平成18年9月12日(火)～21日(木)\*10日間

9:00～18:00

休館日：台風のため9月17日(日)のみ13時より休館

主催：長崎県美術館、雲仙市教育委員会、雲仙市文化会館  
自主文化事業振興会

会場：吾妻町ふるさと会館

観覧者数：827人

観覧料：無料、関連事業への参加無料

出品点数：38点

概要：

「ふうけい」、「ひと」、「どうぶつ」をテーマとして構成した。長崎に在住し活躍している写真家、東松照明の長崎シリーズ、触れる展示として子ども達に好評の富永直樹の動物彫刻を展示した。

関連事業：

(1)オープニング式典及び学芸員によるギャラリートーク

日時：9月12日(火) 9:00～10:00

参加者数：78人

(2)鑑賞教室

日時：9月15日(金) 13:30～、15:30～

参加校：雲仙市立吾妻中学校 82人

(3)ワークショップ「絵の具作り」

日時：9月16日(土) 10:00～12:00

参加者数：23人

(4)こどもの広場「木のプール」

日時：9月12日(火)～21日(木)

会場：展示室横スペース

木の大型玩具「木のプール」で遊ぶ

販売物：

展覧会図録、ポストカード、須磨コレクショングッズ等



### 雲仙市会場出品リスト

[ 風景 ]

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A II イ1	彭城貞徳	九十九島・月夜の景
2	A II イ262	山本森之助	矢上風景
3	A II イ159	村田タマ	磯遊び
4	A II イ25	中川一政	長崎マリア園
5	A II イ250	野口彌太郎	漁港(島原)
6	A II イ765	曾宮一念	阿蘇裾野
7	A II イ277	石河光哉	千々石海岸
8	H イ96	東松照明	町並 2 上小島方面
9	H イ111	東松照明	温泉 1 島原半島・小浜町
10	H イ112	東松照明	温泉 2 島原半島・小浜町
11	H イ221	東松照明	草冠 8 島原市
12	A II イ541	モデスト・ウルジェイ・イ・イングラダ	共同墓地のある風景

[ひと]

番号	収蔵番号	作者名	作品名
13	AⅡイ210	彭城貞徳	和洋合奏之図
14	AⅡイ31	横手貞美	自画像
15	AⅡイ502	横手貞美	習作3(裸婦)
16	AⅡ口327	鴨居玲	婦人像
17	AⅡイ723	永田力	自画像を描く男
18	Hイ218	東松照明	鍛える 長崎市炉粕町
19	Hイ229	東松照明	野菜箱 長崎市玉園町
20	Hイ231	東松照明	兄弟 長崎市中田町
21	BⅧ8	富永直樹	海浜
22	BⅧ11	北村西望	母子像
23	AⅡイ552	ホアキン・ソローリャ・イ・バスティーダ	エレナ・コルテシーナ
24	AⅡイ473	エミリオ・サラ・イ・フランセス	裸婦
25	AⅡイ567	アントニオ・ゴメス・カーノ	眠る女
26	AⅡイ479	エドゥアルド・ナランホ	自画像 「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」

[どうぶつ]

27	AⅡイ270	宮崎(渡辺)与平	白日
28	AⅡイ791	鴨居羊子	終演
29	Hイ122	東松照明	ハナちゃん 大浦市場・長崎市相生町
30	Hイ104	東松照明	似姿 長崎市川上町
31	Hイ176	東松照明	チビシロくん 長崎市諏訪町
32	BⅧ4	北村西望	愛猫
33	BⅧ22	富永直樹	タロ・ジロの像
34	BⅧ59	富永直樹	大将の椅子
35	AⅢ口54	マルク・シャガール	サーカス
36	AⅢ口54	マルク・シャガール	サーカス
37	AⅢ口54	マルク・シャガール	サーカス
38	AⅢ口54	オットー・トーレン	嵐の前

②移動美術館 in 新上五島町

開催期間：平成18年10月6日(金)～15日(日)\*9日間

10:00～18:00

休館日：10月9日(月・祝)

主催：長崎県美術館、新上五島町、新上五島町教育委員会

会場：新上五島町立中央図書館

観覧者数：962人

観覧料：無料、関連事業への参加無料

出品点数：27点

概要：

「ふうけい」、「ひと」、「どうぶつ」をテーマとして構成した。長崎に在住し活躍している写真家、東松照明の長崎シリーズ、触れる展示として子ども達に好評の富永直樹の動物彫刻を展示した。

関連事業：

(1)オープニング式典及び学芸員によるギャラリートーク

日時：10月6日(金) 11:00～12:00

参加者数：46人



(2)鑑賞教室

日時：10月6日(金) 13:00~16:00

参加校：新上五島町立有川中学校85人

10月13日(金) 14:00~14:45

参加校：新上五島町立有川小学校40人

(3)ワークショップ「シルクスクリーン」

日時：10月14日(土) 14:00~16:00 参加者数：22人

10月15日(日) 10:00~12:00 参加者数：29人

(4)こどもの広場「木のプール」

日時：10月6日(金)~15日(日)

会場：館内自由スペース

木の大型玩具「木のプール」で遊ぶ

販売物

展覧会図録、ポストカード、須磨コレクショングッズ等



新上五島町会場出品リスト

[ 風景 ]

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A II イ262	山本森之助	矢上風景
2	A II イ159	村田タマ	磯遊び
3	A II イ765	曾宮一念	阿蘇裾野
4	H イ96	東松照明	町並 2 上小島方面
5	H イ140	東松照明	三井楽の墓地
6	A II イ541	モデスト・ウルジェイ・イ・イングラード	共同墓地のある風景

[ ひと ]

7	A II イ31	横手貞美	自画像
8	A II イ502	横手貞美	習作3(裸婦)
9	A II 口327	鴨居玲	婦人像
10	H イ218	東松照明	鍛える 長崎市炉粕町
11	H イ231	東松照明	兄弟 長崎市上田町
12	B 八11	北村西望	母子像
13	A II イ479	エドゥアルド・ナランホ	自画像 「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」

[ どうぶつ ]

14	A II イ270	宮崎(渡辺)与平	白日
15	A II イ791	鴨居羊子	終演
16	H イ122	東松照明	ハナちゃん 大浦市場・長崎市相生町
17	H イ104	東松照明	似姿 長崎市川上町
18	H イ176	東松照明	チビシロくん 長崎市諏訪町
19	H イ24	東松照明	住職とマイちゃん 聖福寺・玉園町
20	B 八4	北村西望	愛猫
21	B 八22	富永直樹	タロ・ジロの像
22	B 八24	富永直樹	パンダうさぎ
23	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
24	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
25	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
26	A III 口54	マルク・シャガール	サーカス
27	A II イ575	オットー・トーレン	嵐の前

## 5) アートクラブ

### こどもアートクラブ

#### 概要:

基本テーマ「まなぶ・つくる・深める」のもとに、全9回の活動を通して、継続的に鑑賞力・表現力を高めることを目的とする。本年度は、時期を年1回上半期に設定し、対象を小学生に絞って展覧会や長崎の文化的行事に関連する活動を行った。応募が増え、参加者の男女比や年齢比を考慮できた事で、縦割り等の混合グループ分けが可能になった事、活動の場所をアトリエにとどまらず、館内各所や隣の水辺の森公園まで広げた事が特徴的だった。

日時：5月～10月（全9回）第2・第4土曜日

10：00～12：00

会場：アトリエ他

対象・募集方法：

小学生（1～6年生）/葉書 定員を超える場合は抽選

参加費：3,000円（材料費全9回分）

参加者数：30人

サポートスタッフ：各回約10人

関連事業：アートクラブ作品展

日時：平成18年10月7日(土)、10月8日(日) 10：00～18：00

観覧者数：311人

共同作品は、長崎くんちの期間中までエントランスに展示。



開催日	テーマ	内容
5月13日(土)	十二支探検隊	オリエンテーション後、企画展を鑑賞し、バックヤードツアーを行った。
5月27日(土)	アートハタめく	一銭バタを作り、マーカーで彩色した後、水辺の森公園でハタ揚げを行った。 講師 小川暁博（小川風店）
6月10日(土)	線で遊ぶ	線のトレーニング（体の形をうつしとる/コンテ）をした後、企画展で素描作品を鑑賞し、素描（人体を線で描く/木炭）を行った。
6月24日(土)	板の大変身	板作りの表現技法で、「カップ」と「お皿」を制作した。
7月8日(土)	にこにこぱっちり「フォトスタジオ編」	一眼レフカメラを使って館内の屋内外で風景写真を自由に撮り、写真撮影室で人物のポートレートを撮った。講師 山頭範之（写真家）・写真家ボランティア5人
7月22日(土)	にこにこぱっちり「現像編」	講師の作品展を鑑賞し、暗室で自分の作品をプリントした。作品を飾る額を制作し、次回の活動の構想を練った。講師 山頭範之（写真家）
9月9日(土) 23日(土)	長崎の祭おくんち！ 「ビビッド・ドラゴン！」	長崎くんちにちなんで、共同で龍踊りの「龍」を作った。 （全長：約11m）
10月9日 （月・祝）	鑑賞会「おひろめの舞」	これまでの全作品を鑑賞後、エントランスで作品を用いて龍踊りを披露した。 講師 ぜっと屋（龍踊り演技指導）



## ②親子アートクラブ

### 概要：

基本テーマ「まなぶ・つくる・深める」のもとに、全10回の活動を通して、美術館に親しむことを目的とする。母親は鑑賞学習と表現活動を体験し、幼児は造形遊びを中心に活動した。母と子が別々の活動をするが、同じアトリエ内において活動し、保育サポートもあるため、安心して取り組むことができた。

日時：11月～3月（全10回） 隔週火曜日10：00～12：00

会場：展覧会場、アトリエ

対象・募集方法：親子（3歳以上の就学前のお子様と母）/

葉書 定員を超える場合は抽選

参加費：3,000円（材料費全10回分）

参加者数：25人

サポートスタッフ：各回約8人



開催日	親の活動	幼児の活動
①11月7日(火)	鑑賞：「AIG コレクション」展 表現：絵の具作り	彩り - はじめての絵の具
②11月28日(火)	表現：絵の具作り、ドローイング	彩り - はじめての絵の具
③12月12日(火)	鑑賞：「名取洋之助と日本工房」展展覧会概要 + 代表作約3点 表現：book jacket のデザイン（コラージュ）	切る - 紙を使った工作
④12月26日(火)	表現：陶芸成型型作り（食器）	かたち - テラコッタ
⑤1月9日(火)	表現：陶芸絵付け具須（食器）	かたち - テラコッタ
⑥2月6日(火)	表現：造形 和灯籠（竹・和紙）	貼る - 色和紙でミニランタン
⑦2月27日(火)	鑑賞：「山本森之助展」展覧会概要 + 代表作約3点 表現：点描（風景画）	つなげる - 組合せの立体
⑧3月6日(火)	鑑賞：「ベルギー王立美術館展」表現：点描（風景画）	貼る - 色和紙を使ったコラージュ
⑨3月13日(火)	表現：シルクスクリーン（植物）	つなげる - 組合せの立体
⑩3月20日(火)	表現：シルクスクリーン（植物）	幼児の活動：ダンボールのお城

## 6) ワークショップ

### ①「鴨居玲展 私の話を聞いてくれ」関連ワークショップ 「自分を描く」

#### 概要：

自分と向き合うことを常に絵画制作の礎とした鴨居玲の展覧会開催にあたり、参加者に自分と向き合うことの大切さ、難しさを知ってもらう事を目的として、自画像の制作に油絵の具で取組むワークショップを開催。古今東西の芸術家による自画像についての講座を受講後、制作。鴨居作品にとらわれることなく、参加者それぞれの自画像が仕上がった。

日時：6月17日(土) 12:45~18:00

18日(日) 10:00~16:00\*2日間連続

会場：アトリエ、講座室、企画展示室

講師：滝純一（福岡教育大学教授、二紀会委員）

参加数：25人

対象・募集方法：高校生～一般/葉書・FAX

参加費：3,000円

サポートスタッフ：6人



### ②教育普及連携展「モトモとつ？わざワーク！」関連ワークショップ

#### 概要：

作品は、何を使って（素材）どんな（技法）で作られているのかをワークショップを通して体験し、作品の世界に親しみをもっていただいた。

#### (1)こども鑑賞会

##### 内容：

ワークシートやパズルを使って学芸員・エドゥケーターのサポートのもと、鑑賞会を行った。

日時：8月1日(火)、8月26日(土) 10:30~11:30

会場：常設展示室1、2

対象・募集方法：小学生の親子/葉書・FAX

参加費：観覧料のみ

参加者数：40人（17人、23人）

サポートスタッフ：のべ5人



#### (2)ワークショップ「かたどってモト？わざ！」

##### 内容：

展覧会鑑賞後、粘土で制作した形を樹脂で型取りし、透明なオブジェを制作。彫刻作品の型取りの工程を体験した。

日時：9月30日(土)~10月1日(日) 10:00~16:30\*2日間連続

会場：アトリエ、常設展示室1、2

対象・募集方法：小学生/葉書・FAX

参加費：3,000円

参加者数：13人

サポートスタッフ：のべ5人



### (3)ワークショップ「ひっかいてモト?わざ!」

内容：展覧会鑑賞後、エッチングの技法で銅版画を制作した。

日時：10月14日(土)～10月15日(日) 10：00～16：30＊2日間連続

会場：アトリエ、常設展示室1、2

対象・募集方法：一般／葉書・FAX

参加費：2,000円

サポートスタッフ：のべ5人



### (4)フィルム上映会「トントンゴゴゴ工図の時間」

(監督：野中真理子・2004年制作・99分)

内容：

東京のとある小学校の図工室。トントンゴゴゴ……。図工専科のウチノ先生と子どもたちのキラキラ輝く宝の時間を収めたドキュメンタリー映画の上映後には「こどもが作るということ」をテーマにパネルディスカッションを行った。

日時：8月4日(金) / 1回目10：30～、2回目13：30～、

パネルディスカッション 15：30～17：00

会場：ホール

パネリスト：野中真理子／監督、小島英俊／長崎中央児童相談所、中山八重子／壱岐市立三島小学校原島分校、菅野弘之／長崎大学教育学部、濱崎彰／絵画教室・工作教室  
あとリエエコロジー主催

対象・募集方法：小人～大人／葉書・FAX

料金：大人1,000円、小中学生500円 未就学児は無料

参加者数：200人(1回目約40人、2回目約160人)

サポートスタッフ：5人



### ③「名取洋之助と日本工房展」関連ワークショップ

#### (1)「レターヘッドデザイン - オリジナル便せんを作ろう - 」

概要：

学芸員の解説を聞きながら、展覧会の鑑賞をした後に、レターヘッドデザインを行った。展示作品を参考にし、レイアウトやロゴの制作についてデザイナーから話を聞き、レターヘッドを制作した。

日時：12月9日(土) 10：00～13：00

会場：企画展示室、アトリエ

講師：山崎加代子(デザイナー)

対象・募集方法：8歳～一般／葉書・FAX

参加費：2,000円

参加者：24人

サポートスタッフ：5人



#### (2)「ブックジャケットデザイン」

概要：

学芸員の解説を聞きながら、展覧会の鑑賞をした後に、フォトグラムの技法を使って形をデザインし、シルクスクリーンの技法によって布にプリントし、ブックジャケットを制作した。



日時：12月16日(土) 10:30~15:00

会場：企画展示室、アトリエ

対象・募集方法：8歳~一般 / 葉書・FAX

参加費：2000円

参加者：24人

サポートスタッフ：5人

#### ④「山本森之助展」関連事業

##### (1)大人のための鑑賞会「森之助の世界を俳句に」

###### 概要：

一般の方々に、ゆったりと展覧会鑑賞を楽しんでいただく事を目的として企画。展覧会鑑賞後、俳句を詠み句会を行った。一切無駄な言葉を削ぎとって心に浮かんだ情景を適切に詠む俳句の手法と、四季折々の風景作品が並ぶ展覧会の双方がもつ魅力が生きた鑑賞会であった。完成作品は常設展示室入り口にて一般公開した。

日時：①1月12日(金)、②26日(金) 14:00~16:00

会場：①講座室 ②アトリエ

講師：①田中俊廣(活水女子大学文学部教授、詩人)

②宮田カイ子(俳人協会会員、「西陲」同人、「天為」同人)

対象・募集方法：50歳以上の方 / 葉書・FAX

参加費：観覧料のみ

参加者数：45人(①19人、②26人)

サポートスタッフ：6人



##### (2)ワークショップ「森之助と旅する絵手紙」

###### 概要：

展覧会の鑑賞後、山本森之助が旅の途中で描いたスケッチのように、旅の絵手紙を自分の大切な人に宛てて描いた。

日時：平成18年2月3日(土)、4日(日) 10:30~13:00

会場：アトリエ、常設展示室1、2

講師：上田清人(壱岐市立沼津中学校長)

対象・応募方法：高校生~一般 / 葉書・FAX

参加費：500円

参加者数：のべ43人

サポートスタッフ：のべ10人



## 7) こどもの広場

### 概要：

「絵本の読み聞かせ、おもちゃコレクションとの出会い」による美術へのふれあいを基本として、「つくってみる！」をテーマとして、身近な素材のおもしろさに気づき、自らの手で作り出すおもしろさを味わってもらおう事をねらいとした活動を展開した。また、大学との連携を行い、学生支援事業としても推進した。

### 第1回「手作りのおもちゃ箱」

#### 内容：

長崎大学教育学部美術科の学生との共同ワークショップ。小学生、幼児と保護者を対象に、身近な素材を使って、「動くおもちゃ」の作り方を紹介した。

日時：11月3日(金)・(祝) 13:00～16:00、  
4日(土)・5日(日) 10:00～16:00

会場：アトリエ、アトリエ前庭

対象：小学生～一般

共催：長崎大学教育学部芸術表現講座美術科教育研究室

参加費：100円（但し未就学児は無料、展覧会との相互割引有）

参加者数：のべ1,598人

サポートスタッフ：42人（学生サポーター22人含）



### 第2回「美術館でクリスマス」

#### 内容：

「つくってみる！」をテーマとし、クリスマスにちなんだワークショップを開催した。

日程：12月22日(金)～24日

対象：子ども～大人

#### (1)キャンドルワークショップ

##### 内容：

ケーキに見立てたキャンドルの制作。所要時間30分程度。

日時：12月22日(金)、23日(土・祝) 11:00～15:00

会場：アトリエ

対象：子ども～一般

参加費：100円

参加者数：244人

サポートスタッフ：のべ17人



## (2)アニメ上映会

「ポーラ・エクスプレス」(2005年/約100分)上映回数1回  
絵本「急行『北極号』」をフルCGで映画化した作品。

日時：12月24日(日) 10:30~12:10

会場：ホール

対象：子ども~一般

参加者数：98人



## (3)サンタさんの読み聞かせ

内容：各回4回、計16冊の絵本の読み聞かせを行った。

日時：12月24日(日)

①13:30~ ②14:00~ ③14:30~ ④15:00~

会場：講座室

対象：3歳~一般

参加者数：74人

サポートスタッフ：6人

## 第3回「絵本のアトリエ」

内容：

当館所蔵の絵本約300冊をアトリエで公開。しかけ絵本を中心に、自由に手にとって親しめるよう展示した。期間中、ワークショップや絵本の読み聞かせを開催した。

日時：2月10日(土)~12日(月・祝) 10:00~16:00

会場：アトリエ、講座室、ホール

対象：子ども~一般

参加者数：計3,000人

サポートスタッフ：のべ34人



## (1)とびだす絵本のワークショップ

内容：

さまざまな材料を使って、見開き1ページのポップアップ絵本を制作した。

日時：2月①10日(土)、②11日(日) 13:00~16:00

会場：ホール

講師：marini\*monteany(マリーニ・モンティエーニ/絵本作家)

対象・募集方法：

①親子②中学生~一般/葉書・FAX(先着順)

参加費：1,000円

参加者数：63人(①41人、②22人)



## (2)絵本の読み聞かせ

日時：2月10日(土)、11日(日) ①11:00~ ②14:00~

12日(月・祝) ①11:00~ ②13:00~ ③14:00~

会場：講座室

対象：3歳~一般

参加者数：計520人

## 8) 遠隔授業

### 概要：

遠隔地の学校と美術館を IT 機器で直接結び双方向対話型の授業を行う事業。

展示室から館職員の解説を聞くことで美術への関心を高め、鑑賞学習の支援を行う。

**連携校：**長崎県立鹿町工業高等学校

所在地：長崎県北松浦郡鹿町土肥ノ浦免110

美術担当：山下嘉仁 教諭

**日時：**第1回 7月10日(月)「鴨居玲展 - 私の話を聞いてくれ - 」

第2回 12月11日(月)「アートビジョンと映像」

第3回 3月12日(月)「ベルギー王立美術館展」

**参加者数：**のべ500人

**会場：**学校 / 視聴覚教室、館 / 常設展示室内

### 授業担当

第1回「鴨居玲展 - 私の話を聞いてくれ - 」 解説：森園敦、進行：堺雅子、濱垣明日香、松尾千裕

第2回「アートビジョンと映像」解説：古賀恭子、進行：堺雅子、濱垣明日香

第3回「ベルギー王立美術館展」解説：福満葉子、進行：堺雅子、サポート：松尾千裕

**使用機器：**SONY テレビ会議システム型式 PCS - 1

**映像画素数：**CIF (352×288) : QCIF (176×144) 静止画  
4CIF (704×480)

**内臓カメラ：**光学10倍ズーム；デジタル4倍ズーム

**音声入出力：**(本体) 外部マイク入力×2、ライン入力×1  
(データソリューションボックス)

(本体) 2端子、(データソリューションボックス) 2端子

**拡張性：**データソリューションボックス、ISDN 接続ユニット等の純正オプションが利用可能、多数の出力端子の利用で高精細カメラや PC 等の利用が可能。



## 9) 親子鑑賞会

### (1) 「めぐる・ながむる長崎コレクション展」関連事業 親子鑑賞会

#### 概要：

長崎ゆかりの作品や三菱重工長崎造船所「占勝閣」所蔵の名作である山本芳翠の「十二支」についてのギャラリートークを聞きながら、家族で展覧会を楽しむ鑑賞会。対話型の鑑賞方法による案内で、2つの会場をめぐり作品鑑賞を楽しんだ。

日時：4月30日(日)、5月14日(日) 11:00~12:00

会場：企画展示室

対象・募集方法：

親子（保護者2人まで、子ども：中学生以下）/ 葉書・FAX

参加費：観覧料のみ

参加者数：計61人（23家族）

サポートスタッフ：のべ12人



### (2) 「ベルギー王立美術館展」関連事業 親子鑑賞会

#### 概要：

フランドルの巨匠たちの重厚な作品や20世紀の作品についてのギャラリートークを聞きながら、家族で展覧会を楽しむ鑑賞会。子ども達は、とくにマグリットなどのシュルレアリスム作品に興味が高く、多彩な感想を述べながら鑑賞を楽しんだ。

日時：1月21日(日)、3月4日(日) 11:00~12:00

会場：企画展示室

対象・募集方法：

親子（保護者2人まで、子ども：小学生）/ 葉書・FAX

参加費：観覧料のみ

参加者数：計113人（38家族）

サポートスタッフ：のべ10人





## 10) 博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習を下記のように実施した。

期間：平成18年7月31日(月)～8月4日(金)

実習費：5,000円

実習生：13人(8校)

(第1日) 7月31日	10:00～12:00	オリエンテーション(森園) 講義：現在の美術館状況(福満)
	13:00～17:00	館内見学(森園) 講義：企画展を考える(森園) 企画展レポートの説明(森園)
(第2日) 8月1日	10:00～12:00	講義：教育普及について(堺)
	13:00～17:00	教育普及活動体験 企画展レポート作成
(第3日) 8月2日	10:00～12:00	講義：美術館の広報活動(吉野) 講義：ボランティア活動について(泉田)
	13:00～17:00	作品取り扱い、作品保存、状態調査表作成(伊藤、森園、たけのした工房)
(第4日) 8月3日	10:00～12:00	講義：図書について(遠山) 図書整理参加
	13:00～17:00	企画展レポート作成
(第5日) 8月4日	10:00～12:00	企画展レポート作成
	13:00～17:00	企画展発表・講評

## 11) スクールプログラム

### 概要：

学校と美術館との連携事業として、図工・美術の時間、総合的な学習の時間、学校行事、修学旅行、部活動などで利用いただくためのプログラム。大きな柱は鑑賞プログラムと表現プログラムであり、教員とエドゥケーターが共同で内容を組み立てた。

【鑑賞プログラム】.....企画展、美術館コレクション展の作品を、少人数に分かれ、スタッフと一緒におしゃべり鑑賞を行う。

【表現プログラム】.....アトリエにて制作を行う。「模写」「絵の具作り」「ドライポイント」「シルクスクリーン」の4種から選ぶことができる。

材料費：一人100円（表現プログラムのみ）

【出張授業】.....美術館に来る前の事前学習として、エドゥケーターが学校に訪問。美術館や作品について授業を行う。

計2校

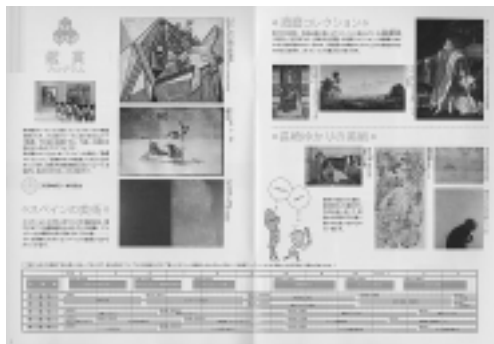
利用総数：10,247人

### H18 スクールプログラム（学校利用）

（利用校種別月別表）内容：エドゥケーターの解説による鑑賞活動、表現活動、自由鑑賞

（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	校種別合計
幼稚園	368	92	79	50	0	0	0	0	0	0	0	0	589
保育園	124	0	0	0	25	0	0	37	0	0	0	0	186
学童保育	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	55
小学校	27	5	280	186	0	352	843	677	63	108	281	0	2822
中学校	403	68	197	37	94	432	938	391	7	32	15	91	2705
高校	0	0	352	36	61	0	19	114	169	550	289	353	1943
盲・ろう・養護学校	136	0	12	37	0	4	0	4	29	0	101	35	358
大学（短大）	0	20	0	60	0	0	255	0	0	26	0	0	361
専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
P T A	0	0	0	0	60	61	0	0	75	0	26	0	222
教職員研究部会	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0		20
教員	71	22	87	39	16	79	152	67	0	96	72	20	721
その他	0	0	10	52	112	0	30	0	0	0	0	41	245
月別合計	1129	207	1017	497	423	928	2257	1290	343	812	784	560	10247



### 関連事業：教員向け内覧会

#### 概要：

学校の先生方を対象に、企画展、美術館コレクション展の魅力を学芸員の解説を交えて紹介。意見交換会では、学校と美術館の連携において現場の状況や今後の問題点などが話し合われた。

#### 「ベルギー王立美術館」展

内容：企画展、長崎コレクション展の鑑賞、意見交換会

日時：平成17年1月17日(水) 13:00～16:30

会場：企画展示室、常設展示室、ホール

参加者数：県内小中学校教員17人

解説：学芸員 進行：エドゥケーター



12) 印刷物



Children's eye LIFE  
- 木と暮らそう - チラシ



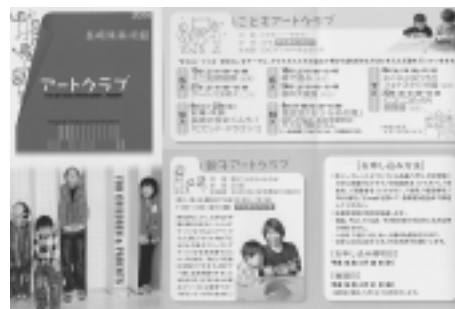
Children's eye PHOTO  
- 写真を撮ろう - チラシ



手でみる形  
- 富永直樹 彫刻展 - チラシ



移動美術館  
パンフレット



アートクラブ  
リーフレット



モトモトもって?  
わざワーク!展  
ワークシート



クリスマスイベントパンフレット



スクールプログラム  
パンフレット



こどもの広場  
手作りのおもちゃ箱 チラシ



こどもの広場  
絵本のアトリエ チラシ

---

## 5 . 収集事業

---

### 1 ) 新収蔵作品

作品のデータは、収蔵番号 / 作者名 / 作品名 ( 点数 ) / 制作年 / 形状 / 技法・材質 / サイズ / 備考の順に記載した。  
平成16年度

---

A I イ218

**岡田篁所、松尾其賞、江上瓊山、阿南竹垞**

**古梅ヶ寄唐船の上ヨリノ図**

明治34年 ( 1901 )

掛幅装

紙本着色

146.5×52.0cm

購入

---

A I イ219

**小波魚青**

**楓鹿松鶴図屏風**

明治29年 ( 1896 )頃

六曲一双

紙本着色

[ 鶴 ] 152.7×358cm ( 本地 ) [ 鹿 ] 151.0×358cm ( 本地 )

屏風箱附属

購入

---

A II イ1029

**彭城貞徳**

**菊図**

明治末頃

額装

油彩 / ボード

76.0×151.8cm

購入

---

A II イ1030

**鴨居玲**

**自画像**

昭和35年 ( 1960 )

額装

油彩 / ボード

40.0×21.0cm

購入

---

---

A II イ1031

**鴨居玲**

**蛾**

昭和44年（1969）

額装

油彩／カンヴァス

80.5×100cm

購入

---

A II イ1032

**鴨居玲**

**膝を抱える少女**

昭和26年（1951）

額装

油彩／カンヴァス

72.8×60.6cm

購入

---

A II イ1033

**鴨居玲**

**夜**

昭和40年（1965）

額装

油彩／カンヴァス

116.7×90.9cm

購入

---

A II イ1034

**山本森之助**

**フランスの田舎**

大正11 - 12年（1922 - 23）

額装

油彩／カンヴァス

80.3×100.0cm

第5回帝展出品作（1924）

購入

---

---

A II イ1035

**山本森之助**

**セーヌ河 ポプラ**

大正11 - 12年 ( 1922 - 23 )

額装

油彩 / カンヴァス

37.0 × 44.7cm

購入

---

A II イ1036

**古賀春江**

**彦山図**

昭和3年頃 ( 1928 )

額装

油彩 / カンヴァス

60.8 × 72.8cm

購入

---

A II イ1037

**鈴木信太郎**

**長崎風景**

昭和40年 ( 1965 )?

額装

油彩 / カンヴァス

F30号

キリンビール株式会社寄贈

---

A II イ1038

**エドゥアルド・アロージョ**

**ハエの天国もしくはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウにおける最期**

1998年

油彩 / カンヴァス / 板、鉄

352 × 412cm

購入

---

---

A II イ1039

**アントニオ・ムラド**

**ディプティック（赤と灰色）**

2002年

ワックス、ニス、油彩 / カンヴァス

269×411cm

購入

---

A II ニ85

**アントニ・タピエス**

**身体のコポジション**

2003年

ミクストメディア、アサンブラージュ / 板

210×448cm

購入

---

A III イ76

**エドゥアルド・チリーダ**

**鉄に生命を吹き込む(BURUNI BIZITU II)**

1971年

額装

エッチング / 紙

68.0×56.5cm (イメージ・サイズ) 21.0×26.8cm (紙サイズ)

18 / 50

購入

---

A III イ77

**エドゥアルド・チリーダ**

**開く (Iriki)**

1972年

額装

エッチング / 紙

58.5×63cm (紙サイズ) 33.8×33cm (イメージ・サイズ)

31 / 50

購入

---



---

A III イ78

**エドゥアルド・チリーダ**

**曲がる (Zeihartu IV)**

1973年

額装

エッチング / 紙

79.0×60.5cm (紙サイズ) 23.8×29.7cm (イメージ・サイズ)

19 / 50

購入

---

A III イ79

**エドゥアルド・チリーダ**

**統一 (Bakuntza II)**

1973年

額装

エッチング / 紙

27.8×29.9cm (イメージ・サイズ) 74.5×60.0cm (紙サイズ)

20 / 50

購入

---

A III イ80

**エドゥアルド・チリーダ**

**爪 (Atzapar)**

1973年

額装

エッチング / 紙

40.0×30.0cm (イメージ・サイズ) 79.5×60.0cm (紙サイズ)

10 / 50

購入

---

A III イ81

**フランシスコ・デ・ゴヤ**

**戦争の惨禍 (80葉)**

1863年刊

マット装

エッチング、エンブレイヴィング、ドライポイント、アクアティント他 / 紙

24.5×34.5cm (紙サイズ)

初版 [ Harris 1 a ]

購入

---

---

A III イ82

**フランシスコ・デ・ゴヤ**

**妄（18葉）**

1864年刊

冊子装

エッチング、アクアティント、ドライポイント他 / 紙

33.0×50.0cm（紙サイズ）

初版

購入

---

B 八81

**ジョアン・ミロ**

**枝の上の鳥**

1981年

ブロンズ

95×76×30cm

2 / 6

購入

---

**2) 新収蔵図書**

**平成17年度受け入れ冊数**

	購入	寄贈	計
和書	122冊	65冊	187冊
洋書	65冊	7冊	72冊
計	187冊	72冊	259冊

**平成18年度受け入れ冊数**

	購入	寄贈	計
和書	189冊	334冊	523冊
洋書	49冊	26冊	75冊
計	238冊	360冊	598冊

（展覧会図録・逐次刊行物は含まない）

## 6 . 保存・修復事業

### 1) 作品修復

平成17年度

#### ① 絵画の修復

委託先：たけのした工房（長崎県）

	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	A II イ 8	池野清	鳩笛たち	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 題箋の脱酸処置、裏打ち、移動。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離箇所箇所の固着、補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
2	A II イ 25	中川一政	長崎マリア園	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード） タトウの作製（中性紙ボード）
3	A II イ 26	山本森之助	丘	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード） 作品取り付け金具の交換（ステンレス製）
4	A II イ 37	池野清	樹骨	1	絵の具層の亀裂、剥離箇所箇所の固着。 絵の具層の剥落箇所箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
5	A II イ 73	作者不詳（マドリッド派）	祈る姿の王妃イサベル・デ・ボル ボンと王女マリア・テレサ（？）	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
6	A II イ 100	マヌエル・ベネディート・ピベス	裸婦	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所箇所の充填・補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
7	A II イ 101	ファン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵の肖像	1	絵の具層の剥落箇所箇所の補彩。
8	A II イ 111	作者不詳（カスティーリャ派）	聖母の嘆き（ピエタ）	1	絵の具層の剥離箇所箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離箇所等箇所の固定、補彩。
9	A II イ 113	作者不詳（スペイン）	聖ペテロと聖フランチェスコを 伴ったキリストの磔刑	1	絵の具層の剥離箇所箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離、剥落箇所箇所の固定、充填・形成、補彩。
10	A II イ 130	作者不詳（カスティーリャ派）	巡礼者聖ヤコブ	1	絵の具層の剥離箇所箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所箇所の充填・形成、補彩の後ダン マルニスの塗布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。
11	A II イ 131	作者不詳（カスティーリャ派）	聖バルトロマイ	1	絵の具層の剥離箇所箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所箇所の充填・形成、補彩の後ダン マルニスの塗布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。
12	A II イ 132	作者不詳（カスティーリャ派）	聖セバスティアヌス	1	絵の具層の剥離箇所箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。
13	A II イ 136	ダニエル・パスケス・ディアス	きこりのホルヘ	1	絵の具層の剥離箇所箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 木枠と画布の間にポリエステル布張り込み。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所箇所の補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード）

	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
14	A II イ139	作者不詳(カスティーリャ派)	カルメル会の聖母	1	絵の具層の剥離箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所の充填・形成・補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離箇所の固着、補彩。 額縁の虫害箇所の補強。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。
15	A II イ141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の補彩。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
16	A II イ142	作者不詳(カスティーリャ派あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト	1	過去の補彩の再補彩。 絵の具層の剥離箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所の充填・形成・補彩の後ダンマルニス塗布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。
17	A II イ112	ペレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ	1	額縁の剥離、剥落箇所の固着、補彩。
18	A II イ159	村田タマ	磯遊び	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
19	A II イ166	池野清	万暦赤絵	1	画面の汚損除去。 絵の具層の剥離箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所の充填・形成・補彩。 画布裏面付着のラベルの移動。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の損傷箇所の補彩。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
20	A II イ184	渡辺ふみ子	食後(母と子)	1	画面の汚損除去。 絵の具層の剥離箇所の接着。 画面全体に膠水を噴霧。 破れ箇所の麻糸の接着。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 周辺補布。 木枠と画布の間にポリエステル布張り込み。 ニスの塗布。 木枠の楔の作製および張り調整。 題箋の脱酸処置、裏打ち、移動。
21	A II イ191	山本森之助	残雪	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁およびグレージングの汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離、剥落箇所の充填・形成・補彩。 作品とグレージングとの間に棧取り付け。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。 題箋の脱酸処置、裏打ち、移動。
22	A II イ194	横手貞美	拳闘	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
23	A II イ207	池野清	手	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所の充填・形成・補彩。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。 題箋の脱酸処置、裏打ち。
24	A II イ223	山本森之助	蒲郡の朝	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 木枠の楔作製、支持体張り調整。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離箇所の固着、補彩。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。 タトウの作製(中性紙ボード)。
25	A II イ243	渡辺与平	帯	1	額縁の剥離、剥落箇所の補彩。
26	A II イ256	野口彌太郎	白い家	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。

	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
27	A II イ 257	野口彌太郎	黒いタイトの女	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
28	A II イ 262	山本森之助	矢上風景	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の損傷箇所の充填・形成、補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
29	A II イ 263	永見徳太郎(夏汀)	唐寺	1	画面の汚損除去。 絵の具層の剥離箇所の接着（表面・および裏面から） 絵の具層の剥落部分の充填・形成、補彩。 ニス層の調整。 支持体（画布）の補強および周辺補布。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の損傷部分の充填・形成、補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード） 簡易タトウの作製（中性紙ボード）
30	A II イ 266	鈴木信太郎	長崎の丘	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠落箇所の充填・形成、補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
31	A II イ 268	永見徳太郎	朝のヒマラヤ	1	画面の汚損除去。 額縁の剥離箇所の固着。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
32	A II イ 269	彭城貞徳	富士山之図	1	画面の汚損除去。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の脱酸処置による殺虫。 裏板破損箇所の接着。
33	A II イ 270	宮崎与平(渡辺与平)	白日	1	絵の具層の亀裂箇所の固着。 絵の具層の剥落箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
34	A II イ 271	永見徳太郎(夏汀)	赤道近くの海	1	脆弱な絵の具層の接着。 画面の汚損除去。 裏面の殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
35	A II イ 277	石河光哉	千々石海岸	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の損傷箇所の固着。 額縁の欠損箇所の充填・形成、補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
36	A II イ 281	アントニ・クラベ	王様	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の亀裂箇所の固着。 額縁の欠損箇所の充填・成形、補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
37	A II イ 348	山本森之助	河畔の村と冬木立	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）
38	A II イ 362	アントン・ラファエル・メンクス (?)	フェルナンド六世、王妃バルバラ	2	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 支持体側面裏打ち布の剥れ箇所の接着。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所の補彩。 裏板の取り付け（中性紙ボード） タトウの作製（中性紙ボード）

	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
39	A II イ477	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト舗装をする男たち	1	絵の具層の擦れ箇所補彩。 絵の具層の剥落箇所充填・形成・補彩。 画布の波打ち押え。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の損傷箇所固着、および充填・形成・補彩。 額縁のL字金具による補強。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
40	A II イ489	横手貞美	赤い線のある家	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の損傷箇所固着、および充填・形成・補彩。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。 タトウの作製(中性紙ボード)。
41	A II イ541	モDEST・ウルジェイ・イ・イングラダ	共同墓地のある風景	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。
42	A II イ548	リカルド・デ・ピリョーダス	画家の妻、アントニア・レベリャ		絵の具層の剥離箇所固着、補彩。
43	A II イ552	ホアキン・ソローリャ・イ・バスティーダ	エレナ・コルテシーナ	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
44	A II イ562	ティモテオ・ベレス・ルピオ	冬の庭	1	絵の具層の剥離・剥落箇所固着。 過去の補彩の仮除去(絵の具層を覆う部分のみ)。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
45	A II イ665	作者不詳(アンダルシア派?)	眠る幼児キリスト	1	作品裏面ラベルの除去。
46	A II イ763	鈴木信太郎	曇りの日の港		絵の具層の剥離・亀裂箇所固着 絵の具層の剥落箇所充填・成形・補彩。 作品裏面の汚損除去。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。
47	A II イ788	黄元喆	風シリーズ	1	作品裏面および額縁に付着した繭の除去。 木枠については、被害の大きさから断念し破棄。 木枠の作成。 作品裏面の汚損除去。 繭の同定。
48	A II イ1021	彭城貞徳	菊花図	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁外枠の取り外し。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。 旧裏板書き込み箇所の切り取り、新裏板への取り付け。
49	A II イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック(赤と灰色)	1	絵の具層の剥離箇所接着。
50	A II イ1042	野口彌太郎	農家と山(多良岳)	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処理。 裏面の題箋の脱酸処理および裏打ち、木枠への添付。 欠落した楔の作成および張りの調整。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処理。 額縁の欠損箇所補彩。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
51	A III 口97-1	サルバドール・ダリ	哲学者の錬金術 オウロポロス	1	剥落したガラス玉の固着。

## ②彫刻の修復

委託先：浦仏刻所(福岡県)

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	B二3	松田安生	図南の志士	1	左手首先の割損離脱箇所、右臀部くぼみおよび割損欠失箇所の修復。

平成18年度

① 絵画の修復

委託先：たけのした工房（長崎県）

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	A I イ47	松尾敏男	鳥碑	1	作品裏面の汚損除去。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 題箋の裏打ち、移動。 作品取り付け金具の交換（ステンレス製）。
2	A II イ4	横手貞美	ピロート服の女	1	絵の具層の剥落箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）。
3	A II イ5	横手貞美	鶏	1	作品裏面の汚損除去。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所の充填・形成、補彩。 題箋の移動。 作品取り付け金具の交換（ステンレス製）。 裏板の取り付け（中性紙ボード）。 タトウ作製（中性紙ボード）。
4	A II イ86	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	貧者の聖体拝領	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 画面に付着した金箔の除去。 絵の具層の剥落箇所の補彩。 ニス層の調整。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。
5	A II イ95	ホセ・グティエレス・ソラーナ	仮面たち	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離、剥落箇所の充填・形成、補彩。 裏板の取り付け（ポリカーボネイト）。 タトウの作製（中性紙ボード）。
6	A II イ100	マヌエル・ベネディート・ビバス	裸婦	1	画面の欠損、破れ箇所の充填、補彩。 過去の補彩の再補彩。 ニス層のムラ調整。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏面からの補布および支持体（画布）の周辺補布。 木枠と画布の間のポリエステル画布の張り込み。 木枠の破損箇所の接着。 裏板の取り付け（中性紙ボード）。
7	A II イ115	作者不詳（カタルーニャ派）	キリストの磔刑	1	画面の汚損除去。 ニスの塗布。 絵の具層の剥離箇所の接着。 加筆箇所の補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏面の脆弱な箇所の充填・補強。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の割れ箇所の接着、補彩。 裏板の取り付け（ポリカーボネイト）。
8	A II イ121	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面	1	絵の具層の剥落箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、剥落、剥離箇所の充填、補彩。 裏板の取り付け（ポリカーボネイト）。 額縁外枠の取り外し。 タトウの作製（中性紙ボード）。 つり金具の交換（ステンレス製）。
9	A II イ128	作者不詳（カスティージャ派）	聖人修道士の埋葬	1	絵の具層の剥離箇所の接着。 絵の具層の剥落箇所の充填・形成、補彩。 画面の脆弱な箇所の充填・補強。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 支持体の亀裂箇所の補強。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥落、剥離箇所の充填、補彩。 作品と額縁の接触面の保護。 裏板の取り付け（ポリカーボネイト）。

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
10	A II イ 133	作者不詳(カスティージャ派)	ゲッセマネの祈り	1	絵の具層の剥離箇所の固着(蜜蝋)、ニス層の調整。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の剥離箇所の接着、充填・形成、補彩。
11	A II イ 138	作者不詳(スペイン)	女と少年のいるボデゴン	1	画面の汚損除去。 絵の具層の剥離箇所の充填・形成、補彩。 裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、剥離箇所の接着。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。
12	A II イ 146	青山龍水	山の尼寺	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所の充填・形成、補彩。 作品取り付け金具の交換(ステンレス製)。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。 つり金具の交換(ステンレス製)。
13	A II イ 147	青山龍水	バリー郊外	1	画面剥離箇所の固着。 画面の汚損除去。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、欠損部分の充填・形成、補彩。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。 つり金具の交換(ステンレス製)。
14	A II イ 149	横手貞美	小口運送屋	1	ニス層の調整。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所の充填・形成、補彩。 作品取り付け金具の交換(ステンレス製)。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。 つり金具の交換(ステンレス製)。
15	A II イ 181	横手貞美	バリーの裏街	1	絵の具層の剥離箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 作品取り付け金具の交換(ステンレス製)。 裏板の取り付け(中性紙ボード)。 つり金具の交換(ステンレス製)。
16	A II イ 182	横手貞美	静物	1	絵の具層の亀裂箇所の温圧固定。 剥離箇所の補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、欠損部分の固着、補彩。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。 つり金具の交換(ステンレス製)。 (裏面書き込み文字の赤外線調査)
17	A II イ 195	山本森之助	戦場ヶ原	1	作品裏面の汚損および付着した和紙の除去。 支持体(画布)の周辺補布および張りなおし(木枠とのずれの調整)。 題箋の裏打ち、移動。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 作品と額縁の接触面に中性布テープを添付。
18	A II イ 213	山本森之助	山	1	絵の具層の剥離箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 木枠の楔作成、支持体(画布)の張り調整。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の亀裂、剥離箇所の固着。 額縁の欠損箇所の充填、補彩。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。 タトウの作製(中性紙ボード)。
19	A II イ 216	野口彌太郎	長崎の夕ぐれ	1	画面の汚損除去。 絵の具層の剥離箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 題箋の裏打ち。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所の充填、補彩。 裏板の取り付け(ポリカーボネイト)。



番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
20	A II イ 235	小林敏夫	街で( 巴里 )	1	画面の汚損除去。 絵の具層の剥離箇所 <sup>の</sup> の固着。 絵の具層の剥落部分の充填・形成、補彩。 裏面添付の紙の除去。 作品裏面の殺菌・防黴処置。 作品取り付け金具の交換( ステンレス製 )。 裏板の取り付け( 中性紙ボード )。
21	A II イ 244	小島善太郎	村のナポレオン	1	画面の汚損除去。 作品裏面の汚損除去。 支持体( 画布 ) 張り込み金具の取替え。 木枠へのテンサーの取り付けおよび張りの調整。 題箋の脱酸処理、裏打ち、移動。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所 <sup>の</sup> の充填・形成、補彩。 作品取り付け金具の交換( ステンレス製 )。 裏板の取り付け( ポリカーボネイト )。
22	A II イ 246	パブロ・ピカソ	静物	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。
23	A II イ 248	ルイス・フェイト	作品	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 絵の具層の剥離、亀裂箇所 <sup>の</sup> の接着。
24	A II イ 249	ルイス・フェイト	作品	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 絵の具層の剥離、亀裂箇所 <sup>の</sup> の接着。
25	A II イ 253	野口彌太郎	タンジール	1	絵の具層の剥離箇所 <sup>の</sup> の固着。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所 <sup>の</sup> の充填・形成、補彩。 裏板の取り付け( 中性紙ボード )。 つり金具の交換( ステンレス製 )。
26	A II イ 254	野口彌太郎	フラメンコ	1	画面の黴および付着物の除去。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 楔の作成および支持体( 画布 ) の張り調整。 額縁の剥離箇所 <sup>の</sup> の固着、補彩。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け( 中性紙ボード )。 つり金具の交換( ステンレス製 )。
27	A II イ 255	野口彌太郎	海辺の家	1	作品裏面の汚損除去。 題箋の移動。 額縁の剥落箇所 <sup>の</sup> の固着。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 作品取り付け金具の交換( ステンレス製 )。 裏板の取り付け( 中性紙ボード )。 つり金具の交換( ステンレス製 )。
28	A II イ 268	永見徳太郎( 夏汀 )	朝のヒマラヤ( 印度 )	1	画面の汚損除去。 画面陥没箇所 <sup>の</sup> の復元。 絵の具層の剥落箇所 <sup>の</sup> の充填・形成、補彩。 裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 木枠の作成、取り付け。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所 <sup>の</sup> の固着、補彩。 裏板の取り付け( ポリカーボネイト )。 タトウ作成( 中性紙ボード )。
29	A II イ 279	石河光哉	メヒコ婦人	1	作品裏面の汚損除去。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所 <sup>の</sup> の充填・形成、補彩。 作品取り付け金具の交換( ステンレス製 )。 裏板の取り付け( 中性紙ボード )。 つり金具の交換( ステンレス製 )。
30	A II イ 308	アントニオ・ロベス・ガルシア	フランシスコ・カレテロ	1	作品裏面の汚損除去。 支持体( 板 ) の亀裂箇所 <sup>の</sup> の補強。
31	A II イ 365	アーリン・ローデ	時の移ろい	1	絵の具層の剥落箇所 <sup>の</sup> の固着。
32	A II イ 490	山本森之助	樹林	1	作品裏面の汚損除去、額縁の汚損除去、殺菌。

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
33	A II イ482	野口彌太郎	椅子のある静物	1	作品裏面の汚損除去。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 ステンレス製金具への交換。 木枠の楔の作成および支持体（画布）の張り調整。 題箋の脱酸処置、裏打ち、移動。 額縁の欠損箇所の充填・形成、補彩。 作品取り付け金具の交換（ステンレス製）。 裏板の取り付け（ポリカーボネイト）。
34	A II イ537	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	川の流れる風景	1	作品裏面の汚損除去。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）。
6	A II イ539	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム	1	画面の汚損除去。
7	A II イ540	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋	1	画面の汚損除去。
35	A II イ558	フランシスコ・イトゥリーノ	女	1	絵の具層の剥落箇所の充填・形成、補彩。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 裏板の取り付け（中性紙ボード）。
36	A II イ765	曾宮一念	阿蘇裾野	1	絵の具層の剥離箇所の温圧固着。 作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 作品取り付け金具の交換（ステンレス製）。
37	A II イ791	鴨居羊子	終演	1	作品裏面の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の汚損除去、殺菌・防黴処置。 額縁の欠損箇所の充填、補彩。
10	A III 口57	菊畑茂久馬	オブジェデッサン	20	劣化したテープの除去。

## ②彫刻の修復

委託先：たけのした工房（長崎県）

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	B Ⅷ20	富永直樹	天地への讃歌	1	「偲ぶ会」出品により付着した花粉の除去。
2	B Ⅷ51	富永直樹	初舞台	1	「偲ぶ会」出品により付着した花粉の除去。

## 2) 額装関係

平成17年度

### ①額装改善

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	A II イ76	作者不詳(セビーリャ派)	十字架を担う幼児キリスト	1	額縁取替え。
2	A II イ77	作者不詳(アンダルシア派)	悲しみの聖母	1	額縁取替え。
3	A II イ258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む	1	グレージング取り付け（紫外線カット低反射ガラス）
4	A III 口89	ジョアン・ブロッサ	「視覚詩」シリーズ	24	マット装。
5	A III 口92	サルバドール・ダリ	ドン・キホーテ	12	マット装。

### ②汎用額の作成

番号	種類	サイズ	備考	点数
1	アルミニウム（黒）	20×24inch	グレージング（低反射アクリル板）	30
2	木（黒）	79×55cm	グレージング（紫外線カット低反射ポリカーボネイト板）	3
3	木（黒）	55×45.8cm	グレージング（紫外線カット低反射ポリカーボネイト板）	9

平成18年度

①額装改善

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	AⅡイ184	渡辺ふみ子	食後(母と子)	1	額装(低反射紫外線カットポリカーボネイト板グレージング付き)
2	AⅡイ246	パブロ・ピカソ	静物	1	額縁外枠の取り外し。 グレージング取り付け(紫外線カット低反射ガラス) 裏板取り付け(ポリカーボネイト)
3	AⅡイ248	ルイス・フェイト	作品	1	グレージング付(低反射紫外線カットポリカーボネイト板)額縁の作成(ブラックチェリー) 裏板取り付け(ポリカーボネイト) タトウ作成(中性紙ボード)
4	AⅡイ249	ルイス・フェイト	作品	1	グレージング付(低反射紫外線カットポリカーボネイト板)額縁の作成(ブラックチェリー) 裏板取り付け(ポリカーボネイト) タトウ作成(中性紙ボード)
5	AⅡイ490	山本森之助	樹林	1	グレージングの取替え(低反射紫外線カットポリカーボネイト板) 作品固定金具の交換。 裏板取り付け(ポリカーボネイト)
6	AⅡイ539	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム	1	グレージング取り付け(紫外線カット低反射ガラス) 裏板取り付け(ポリカーボネイト)
7	AⅡイ540	ニコラス・カバニエーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋	1	グレージング取り付け(紫外線カット低反射ガラス) 裏板取り付け(ポリカーボネイト)
37	AⅡイ791	鴨居羊子	終演	1	グレージングの取替え(紫外線カット低反射ポリカーボネイト板) 裏板取り付け(ポリカーボネイト)
8	AⅡイ1030	鴨居玲	自画像	1	グレージング取替え(低反射紫外線カットポリカーボネイト板)
9	AⅡイ1031	鴨居玲	蛾	1	グレージング取替え(低反射紫外線カットポリカーボネイト板)
10	AⅢ口57	菊畑茂久馬	オブジェデッサン	20	マット装。

②汎用額の作成

番号	種類	サイズ	備考	点数
1	木(黒)	65×80cm	グレージング(紫外線カット低反射ポリカーボネイト板)	12

3) 虫害環境調査

平成18年度

期間	平成18年8月～平成19年3月
内容	昆虫大量発見による全館モニタリング用トラップの設置
調査結果	昆虫の同定：オオハサミムシ。屋上緑化部分および周辺の公園より発生。各出入口より侵入。

## 7. 作品貸出記録

### 平成17年度

「ダリの宇宙とシュルレアリスムの巨匠展」  
愛媛県立美術館：平成18年2月10日～3月26日  
・サルバドール・ダリ《海の皮膚を引き上げるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む》(AⅡイ258)  
・サルバドール・ダリ《ドンキホーテ》12点セット  
(AⅢ口92)  
・ジョアン・ミロ《絵画》(AⅡイ240)

### 「小林和作展」

田辺市立美術館：平成18年2月11日～3月26日  
・小林和作《山湖の秋》(AⅡイ10)

### 平成18年度

### 「長崎の美術」

長崎歴史文化博物館：平成18年6月21日～8月21日  
・伊藤八百叟《蟹図》(AⅠ口32)  
《蟹》(AⅠ口14)

### 「魚のすがた展 みる、釣る、喰う、祈る、遊ぶ」

愛媛県美術館：平成18年10月12日～11月26日  
・東松照明《漁船／下五島・玉之浦町》(Hイ166)  
《魚供養／長崎漁港・尾上町》(Hイ55)  
《魚市場／尾上町》(Hイ210)  
《豊漁祈願のエビス様／島原半島・南串山町》  
(Hイ28)  
《漁具／島原半島・南串山町》(Hイ36)  
《ひおぎ貝／島原半島・南串山町》(Hイ37)

### 「笠松宏有回顧展」

東京セントラル美術館：平成18年10月24日～10月29日  
・笠松宏有《伝説 女の肖像》(AⅡイ305)  
《旅序章》(AⅡイ304)  
《昭和史》(AⅡイ757)

### 「揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに」

東京国立近代美術館：平成18年11月7日～12月24日  
京都国立近代美術館：平成19年1月10日～2月25日  
・彭城貞徳《和洋合奏之図》(AⅡイ210)

### 「NHK 日曜美術館30年展」

広島県立美術館：平成19年2月15日～3月25日  
・フランシスコ・ゴヤ『戦争の惨禍』より5点  
2番「理由があるうとなかろうと」  
(AⅢイ81-2)

15番「もう助かる道はない」(AⅢイ81-15)  
36番「これもまた・・・」(AⅢイ81-36)  
69番「虚無、事実が物語るだろう」  
(AⅢイ81-69)  
80番「彼女はよみがえるだろうか？」  
(AⅢイ81-80)

### 「第6回セミナーヨ版画展」

ありえコレジヨホール：平成19年3月3日～3月11日  
・ジョアン・ブロッサ『視覚詩』より10点  
「2」(AⅢ口89 1)  
「行跡」(AⅢ口89 4)  
「視覚詩」(AⅢ口89 9)  
「視覚詩」(AⅢ口89 14)  
「視覚詩」(AⅢ口89 16)  
「視覚詩」(AⅢ口89 17)  
「2」(AⅢ口89 19)  
「視覚詩」(AⅢ口89 20)  
「視覚詩」(AⅢ口89 21)  
「ずれた詩」(AⅢ口89 24)

### 「吉田輝彦回顧展」

長崎県美術館県民ギャラリー：平成19年3月13日～3月18日  
・吉田輝彦《少年》(AⅡイ170)

---

## 8 . 調査・研究事業

---

### 1) 研究活動

当館学芸員による研究活動を、「展覧会企画・構成」、「図録編集」、「執筆」、「翻訳」、「講演会等」、「大学出講」の順に記載する（職員名の五十音順）。展覧会関係の雑誌・新聞等への寄稿については、本年報の「3. 展覧会事業」に掲載したため割愛した。

#### 伊藤晴子

- 展覧会企画・構成、図録編集
  - ・「長崎の美術1 写真/長崎」展、平成17年
- 執筆
  - ・「長崎と写真」『長崎の美術1 写真/長崎』（図録/論文）平成17年
- 大学出講
  - ・「博物館学」長崎純心大学、平成17年・18年

#### 遠山景子

- 図録編集
  - ・「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ」展、平成18年
- 執筆
  - ・『よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年』（図録/主要文献目録、作品解説、作家解説）平成17年
  - ・『AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ』（図録/作家解説）平成18年
- 翻訳
  - ・『アメリカ ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカ』（図録/作品解説、作家解説）平成17年
  - ・『ベルギー王立美術館展』（図録/作品解説、作家解説）平成18年
- 講演会等
  - ・「印象派とジャポニスム」（「AIG 展」関連事業）長崎県美術館講座室、平成18年10月14日
  - ・「エコール・ド・パリの画家たち」（「AIG 展」関連事業）長崎県美術館講座室、平成18年10月21日

#### 野中明

- 展覧会企画・構成、図録編集
  - ・「デジタル遊園地 ネットワーキングアートの未来」展、平成18年
- 図録編集
  - ・「エドゥアルド・チリーダ」展、平成17年
- 執筆
  - ・『よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年』（図録/作家解説・作品解説）平成17年
  - ・「作品ノート 場所の文脈を手掛かりに」『第2回北村西望生誕地現代彫刻プロジェクト「From Life」』（論文）平成19年3月
- 翻訳
  - ・『アメリカ ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔』（図録/作品解説）平成17年
  - ・『エドゥアルド・チリーダ展』（図録/年譜）平成18年
- 講演会等
  - ・「美術館を楽しもう！美術館ができるまで/できてから」（諫早市伊木力公民館主催事業）伊木力公民館、平成17年9月1日
  - ・「長崎県美術館の活動紹介」（九州藝術学会）長崎県美術館ホール、平成17年12月8日
  - ・「チリーダの世界 出品作品を中心に」（「チリーダ展」関連事業）長崎県美術館ホール、平成18年3月19日
- 大学出講
  - ・「職業と実践」長崎シーボルト大学情報メディア学科、平成18年12月4日

## 福満葉子

- 展覧会企画・構成、図録編集
  - ・「リアル スペイン美術の現在」展、平成17年
  - ・「AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ」展、平成18年
- 図録編集
  - ・「よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年」展、平成17年
  - ・「ベルギー王立美術館展」平成18年
- 執筆
  - ・『よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年』(図録/作家解説・作品解説) 平成17年
  - ・「フランスの光、色彩、夢 AIG コレクションに見る西洋近代絵画の流れ」『AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ』(図録/論文) 平成18年
  - ・『AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ』(図録/作家解説・作品解説) 平成18年
  - ・『リアル スペイン美術の現在』(図録/章解説・作家解説) 平成17年
  - ・「アンソールの《怒れる仮面》をめぐって」『ベルギー王立美術館展』(図録/論文) 平成18年
- 翻訳
  - ・『アメリカ ホイットニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔』(図録/作品解説・作家解説) 平成17年
  - ・『ベルギー王立美術館展』(図録/作品解説・作家解説) 平成18年
- 講演会等
  - ・「描かれた女たち」長崎市男女共同参画推進センターアマランス、平成17年10月29日
  - ・「仮面の画家アンソールの誕生」北九州市美術館、平成17年10月8日
  - ・「ピカソ入門」(「リアル展」関連事業) 長崎県美術館ホール、平成17年10月23日
  - ・「アンソールとクノッフ」(「ベルギー象徴派展」関連事業) 長崎県美術館ホール、平成17年12月11日
  - ・「ルノワール入門」(「AIG 展」関連事業) 長崎県美術館講座室、平成18年10月28日
  - ・「ゴッホ入門」(「AIG 展」関連事業) 長崎県美術館講座室、平成18年11月11日
  - ・「ベルギー象徴派の時代」国立西洋美術館、平成18年11月18日
  - ・「アンソールからマグリットまで ベルギー近代美術の世界」(「ベルギー王立美術館展」関連事業) 長崎県美術館ホール、平成19年2月17日
- 大学出講
  - ・長崎大学「地域教育論」平成17年6月29日

## 森園敦

- 展覧会企画・構成、図録編集
  - ・「長崎の美術2 長崎が生んだ風景画家 山本森之助」展、平成18年
- 執筆
  - ・「現在所在の確認ができる旧須磨コレクション」・「須磨コレクションに関する新聞記事」『よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年』(図録) 平成17年
  - ・『よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年』(図録/作品解説・作家解説) 平成17年
  - ・「長崎県美術館と須磨コレクション」『地中海学会月報282号』(エッセイ) 地中海学会、平成17年9月
  - ・「僭主殺害者像とテセウス図像の類似とその意味」『アルゴナウタイ(福部信敏先生に捧げる論文集)』(論文) アルゴ会、平成18年
  - ・「鴨居玲と舞台芸術」『没後20年 鴨居玲 私の話を書いてくれ』(図録/論文) 平成17年
  - ・「新・県別美術風土記 長崎県」『美術の窓』No.278(エッセイ) 生活の友社、平成18年11月
  - ・「山本森之助の生涯と芸術」『長崎の美術2 長崎が生んだ風景画家 山本森之助』(図録/論文) 平成18年
- 講演会等
  - ・「山本森之助の芸術と日本近代洋画のあゆみ」(「山本森之助展」関連事業) 長崎県美術館ホール、平成18年12月16日
  - ・「長崎の近代 洋画家・山本森之助を中心に」西日本天神文化サークル、平成19年2月18日

## 2) 刊行物一覧

平成17年度

[ 展覧会図録 ]

### 長崎県美術館開館記念展

#### よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年

The Suma Collection Revisited : 500 Years of Spanish Art

須磨コレクションとスペインの美術 過去、現在から未来へ (大高保二郎)

長崎県美術館の須磨コレクション (ヘスス・グティエレス・ブロン)

カタログ

I . スペインと長崎

II . 15、16世紀の聖堂装飾美術

III . 黄金世紀の絵画

IV . 18世紀スペイン・ブルボン家の宮廷美術とゴヤ

V . 再評価されるスペイン19世紀絵画

VI . 20世紀前半におけるスペイン絵画の展開

須磨コレクションについて (徳山光)

現在所在の確認ができる旧須磨コレクション (森園敦 編)

馬德里夜話 (須磨彌吉郎)

須磨コレクションに関する新聞記事 (森園敦 編)

作家解説

スペイン関連年表 (野中明 編)

主要文献目録 (遠山景子 編)

出品作品リスト

編集 : 福満葉子 (長崎県美術館)

表紙デザイン : 長友啓典 + K 2

制作 : 印象社

印刷 : 三浦印刷株式会社

発行 : 長崎県美術館

A 4 判変型、314ページ、ソフトカバー、2500円



#### よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年

英語版 (巻頭テキストのみ)

The Suma Collection and Spanish Art: Past, Present and Future (Yasujiro Otaka)

30 × 22cm 8p

---

よみがえる須磨コレクション スペイン美術の500年

別冊 長崎県美術館所蔵須磨コレクション総目録2005

Catalogue of Collections, Nagasaki Prefectural Art Museum, The Suma Collection 2005

編集：長崎県美術館

制作：印象社

印刷：三浦印刷株式会社

発行：長崎県美術館

A4判変型、71ページ、ソフトカバー



---

アメリカ ホワイトニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔

Picturing America: Selections from the Whitney Museum of American Art

アメリカを描く（ダナ・A・ミラー）

アメリカという造形概念（伊東順二）

モダニズムの教え（山村仁志）

図版

I．移民

II．都市

III．消費

IV．記憶

作家解説

関連年表（遠山景子 編）

関連文献

編集：長崎県美術館、府中市美術館、金沢21世紀美術館、北九州市美術館、郡山市立美術館

制作：印象社

発行：ホワイトインターナショナル

A4判変型、188ページ、ソフトカバー、2500円





## リアル スペイン美術の現在

Real: Current Spanish Art

リアル スペインの生と死 (伊東順二)

カタログ

第1部 ピカソから21世紀へ 国内所蔵作品に見るスペイン美術の冒険 (福満葉子)

第2部 抽象と写実 スペインからのメッセージ 抽象と写実 変わることのないジレンマ (ライラ・イシカワ)

作家・作品解説 (福満葉子・松田健児)

出品リスト

編集: 福満葉子、松本奈美 (長崎県美術館)

デザイン: 山崎加代子 (株式会社九州広告)

制作: 株式会社九州広告

印刷: 株式会社インテックス

発行: 長崎県美術館

B5判変型、136ページ、ハードカバー、2300円



## ベルギー象徴派展

Le Symbolisme en Belgique Le réel en abîme

はじめに (ミッシェル・ドラゲ)

第1章 ロップスとボードレールの遺産 (ミッシェル・ドラゲ)

第2章 『現代芸術』を通して 『若きベルギー』から「二十人会」まで (ミッシェル・ドラゲ)

第3章 象徴派主義は不在と存在のはざまに (ミッシェル・ドラゲ)

第4章 1886年 象徴主義の創造 (ミッシェル・ドラゲ)

第5章 ワグナーとラファエル前派の間で (ミッシェル・ドラゲ)

第6章 初期フランドル美術とベルギー象徴派 (ミッシェル・ドラゲ)

第7章 理想へ向かって 現代性に直面する象徴主義 (ミッシェル・ドラゲ)

第8章 理想から理想主義へ 秘教主義に取り込まれた象徴主義 (ミッシェル・ドラゲ)

第9章 都市から離れて (ミッシェル・ドラゲ)

カタログ

出品リスト

関連年表

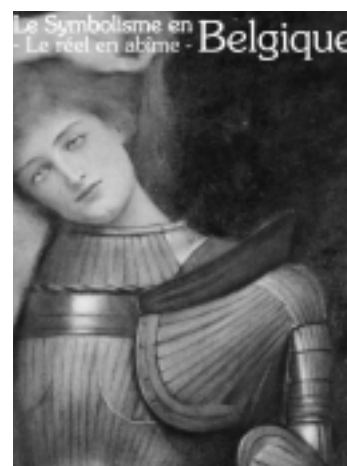
ベルギー象徴主義に関する主要日本語文献

編集: 宮澤政男

制作: 印象社

発行: ホワイトインターナショナル

A4判変型、192ページ、ソフトカバー、2500円



南仏モンペリエ ファーブル美術館所蔵

魅惑の17世紀 - 19世紀フランス絵画展

French Paintings from the Musée Fabre, Montpellier

蒐集の歴史：モンペリエのファーブル美術館の場合（ミッシェル・イレール）

1855年のクールベ（賀川恭子）

フレデリック・バジール《身づくろい》について（小林晶子）

カタログ

I．ブッサンと17世紀の物語画

II．ルイ15世の時代から大革命までの絵画

III．新古典主義の諸相

IV．ドラクロワとピトレスク絵画

V．バルビゾン派とアカデミズム派（ブリュイアス・コレクション）

VI．クールベと南仏の画家

VII．バジールと印象派の時代

VIII．カリエールからマティスまで

作家解説

出品目録

編集：読売新聞東京本社文化事業部

制作：印象社

発行：読売新聞東京本社

A 4判変型、197ページ、ソフトカバー、2000円



## エドゥアルド・チリーダ展

Eduardo Chillida Exhibition

エドゥアルド・チリーダ 鉄からの発想 (山梨俊夫)

宇宙への鍵 チリーダへの一考察 (伊東順二)

チリーダ：沈黙と空間 (コスメ・デ・バラニャーノ)

図版

公共空間のためのプロジェクト

空けられた / 空間化された、彫刻

エドゥアルド・チリーダ、マルティン・ハイデッガーを想起しながら (水沢勉)

チリーダの理想郷：チリーダ＝レク美術館 (毛利伊知郎)

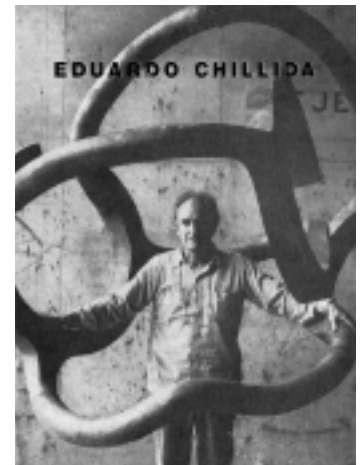
年譜

主要参考文献

出品リスト

公共空間における作品リスト

チリーダの言葉



編集：野中明 (長崎県美術館)、石崎勝基 (三重県立美術館)、是枝開 (神奈川県立近代美術館)、土田久子 (空間造形コンサルタント)

デザイン・制作：美術出版デザインセンター 垣本正哉、笠毛和人、河野素子

印刷：大日本印刷

発行：エドゥアルド・チリーダ展実行委員会 / 空間造形コンサルタント

A 4判変型、175ページ、ハードカバー、2400円

## 長崎の美術1 写真 / 長崎

長崎と写真 (伊藤晴子)

図版

写真黎明期 / 上野彦馬 (越中勇)

大正・藝術写真の時代 / 永見徳太郎 (伊藤晴子)

8月9日 / 山端庸介 (伊藤晴子)

軍艦島1 - 人間の土地・緑なき島 / 奈良原一高 (伊藤晴子)

停止した時 11:02 / 東松照明 (伊藤晴子)

軍艦島2 - 月の道 / 雑賀雄二 (伊藤晴子)

町歩き / 東松照明 (伊藤晴子)

略歴 (越中勇、伊藤晴子)

図版リスト

参考文献

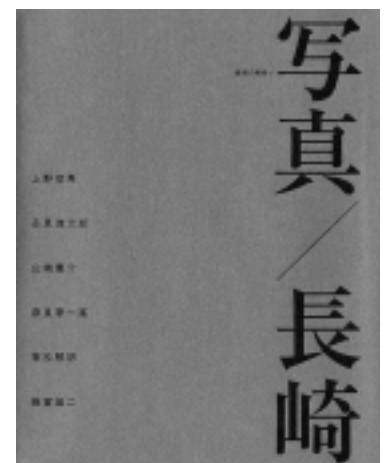
編集：伊藤晴子 (長崎県美術館)、山崎加代子 (株式会社九州広告)

デザイン：山崎加代子

印刷：株式会社インテックス

発行：長崎県美術館

B 5判変型、126ページ、ハードカバー、1680円



平成18年度

[ 展覧会図録 ]

## 没後20年 鴨居玲展 私の話を聞いてくれ

夢の夢の夢 鴨居玲 虚実の画人(瀧悌三)

カタログ

金沢時代の鴨居玲(二木伸一郎)

鴨居玲のイメージ・ソースについて思うこと(渡辺純子)

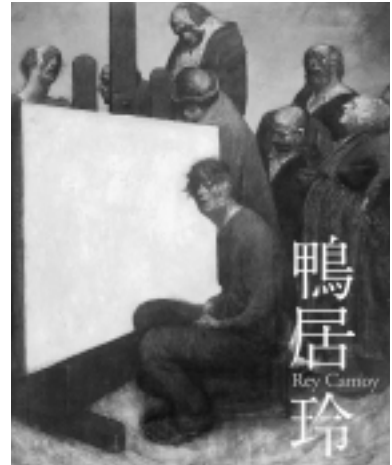
鴨居玲と舞台芸術 スペイン時代の作品から(森園敦)

鴨居玲と神戸(廣田生馬)

年譜

文献目録

作品リスト



編集：石川県立美術館、神戸市立小磯記念美術館、財団法人ひろしま美術館、長崎県美術館

デザイン：馬面俊之

制作：日動出版

発行：石川県立美術館、神戸市立小磯記念美術館、財団法人ひろしま美術館、長崎県美術館

A 4判変型、141ページ、ソフトカバー、2000円

## デジタル遊園地 ネットワーキングアートの未来

The Future of Communication

芸術から心へ ネットワーキング・アートの未来(伊東順二)

展覧会ノート：ネットワーキング・アートは成立しているか?(森山朋絵)

カタログ〔作家プロフィール/作品解説〕(野中明)

作品リスト

会場平面図

関連イベント

編集：野中明(長崎県美術館)

デザイン：山崎加代子(株式会社九州広告)

制作：株式会社九州広告

印刷：株式会社インテックス

発行：長崎県美術館

B 4判、52ページ、ソフトカバー、1200円



---

## AIG コレクション フランス印象派からエコール・ド・パリへ

AIG Collection: From French Impressionism to Ecole de Paris

フランスの光、色彩、夢 AIG コレクションに見る西洋近代絵画の流れ (福満葉子)  
カタログ

- I . 印象派、あるいは風景の冒険 モネ、カイユボット、ピサロ
  - II . 印象派、あるいは人のかたち ドガとルノワール
  - III . 印象派を越えて ゴッホ、ゴーギャンからモンドリアンまで
  - IV . 生きるよろこび ロワゾーからボナールまで
  - V . パリの異邦人たち エコール・ド・パリとその周辺
  - VI . さまよえる魂 シャガール
- 作家解説 (福満葉子、遠山景子)  
作品リスト

編集：長崎県美術館

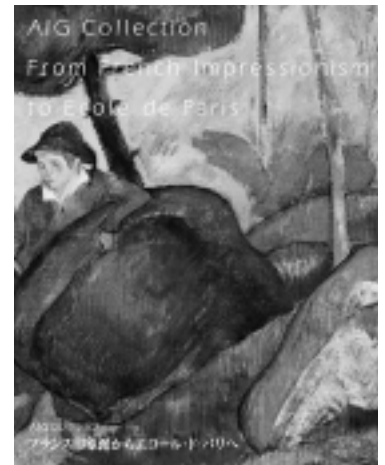
デザイン：納富司 (株式会社プラネットシーアール)

制作：株式会社プラネットシーアール

印刷：株式会社昭和堂

発行：長崎県美術館

B 5 判変型、144ページ、ソフトカバー、2000円



---

## 名取洋之助と日本工房 (1931 - 45)

報道写真とグラフィック・デザインの青春時代

Natori Younosuke and Nippon Studio

日本工房を率いた名取洋之助 (白山真理)

- 1 . 報道写真の夜明け (1931 - 34 . 3)
  - 2 . 『NIPPON』創刊 (1934 . 4 - 37 . 8)
  - 3 . 国策と対外宣伝 (1937 . 9 - 41 . 11)
  - 4 . 拡散と消耗 (1941 . 12 - 45 . 8)
- エピローグ (1945 . 9 - 63)

参考文献

編集：白山真理 (日本カメラ博物館) 堀宜雄 (福島県立美術館)

制作：岩波書店

デザイン：梯耕治

印刷：大日本印刷

発行：毎日新聞社

A 4 判変型、174ページ、ソフトカバー、2500円



## ベルギー王立美術館展

Chefs-d'œuvre des Musées royaux des Beaux-Arts de Belgique

Meesterwerken van de Koninklijke Musea voor Schone Kunsten van België

《イカロスの墜落》をめぐるノート(幸福輝)  
ヤーコブ・ヨルダーンズの《飲む王様》(ヴェロニック・ビュッケン)  
ルイ・ガレの《芸術と自由》(ピエール=イヴ・ドセーヴ)  
アンソールの《怒れる仮面》をめぐる(福満葉子)  
ルネ・マグリットの《女盗賊》(フレデリック・レーン)  
カタログ  
コラム



編集：幸福輝(国立西洋美術館) 福満葉子(長崎県美術館) 読売新聞東京本社文化事業部

デザイン：馬面俊之

制作：アイメックス・ファインアート

印刷：大日本印刷

発行：読売新聞東京本社

A4判変型、181ページ、ソフトカバー、2300円

## 名誉県民 富永直樹氏の足跡

富永直樹氏略歴

作品について～富永直樹氏のことばより～

長崎県内の代表作品

編集・発行：長崎県美術館

21×15cm、6ページ、パンフレット



---

## 長崎の美術2 長崎が生んだ風景画家 山本森之助

Yamamoto Morinosuke

山本森之助の芸術と生涯（森園敦）

カタログ

- I．東京美術学校から白馬会展まで
- II．文展受賞と光風会設立、そして写生旅行の日々
- III．滞欧期
- IV．帰国して後、晩年に至るまで
- V．スケッチ・絵葉書

資料編

作品目録

関連年表

参考文献

出品リスト

編集：森園敦（長崎県美術館）

デザイン：町田淳（ピーエス企画）

制作：ピーエス企画

印刷：凸版印刷株式会社

発行：長崎県美術館

A4判変型、111ページ、ソフトカバー、2000円



## 9. アートボランティア事業

### 1) 登録人数

	17年度		18年度	
	人数	割合	人数	割合
男	35人	17%	31人	19%
女	174人	83%	133人	81%
合計	209人	100%	164人	100%

### 2) 活動内容

(人)

	内 容	17年度	18年度
学 芸 補 助	① 図書	25	30
	② 監視 (18年度は廃止)	20	-
	③ ギャラリートーク (18年度は学芸補助②となる)	23	16
館 運 営	① 来館者誘導案内	12	14
	② 運営補助	26	18
広 報 支 援	広報	39	40
館 管 理	館管理	5	4
教 育	スクールプログラムチーム	15	14
	ワークショップチーム	21	11
	アートクラブチーム	21	17
	須磨コレクション衣装製作チーム (18年度は廃止)	2	-
合 計		209	164

### 3) 活動記録

年度	開催時期	内 容
平成16年度	8月25日(水)・28日(土)	基礎研修
	9月8日(水)・11日(土)	全体研修 ①長崎の美術史
	9月22日(水)	全体研修 ②近現代の長崎ゆかりの美術 - 館収蔵コレクションについて
	9月25日(土)	全体研修 ②近現代の長崎ゆかりの美術 - 主要作家について
	10月13日(水)・16日(土)	全体研修 ③西洋美術史
	10月23日(土)	全体研修 ④長崎県美術館の建設について
	11月10日(水)・13日(土)	全体研修 ⑤スペイン美術について
	11月24日(水)・27日(土)	全体研修 ⑥企画展について - 新しい美術館における展覧会事業
	12月11日(土)・15日(水)	全体研修 ⑦修復について - 油絵修復 作業内容について
	1月15日(土)・19日(水)	全体研修 ⑧美術館における教育普及・生涯学習について
	1月29日(水)	全体研修 ⑨「スーパーボランティア戦記～福岡アジア美術館の挑戦」 講師：後小路雅弘 (九州大学教授)
	2月2日(水)	全体研修 ⑩接遇・挨拶・話し方研修
	2月5日(土)	ギャラリートーク
	2月16日(水)・19日(土)	活動希望分野確認会
	3月9日(水)	全体研修 ⑪館の設備と機能説明
3月12日(土)	美術館・水辺の森公園一帯清掃活動	
3月23日(水)	全体研修 ⑫緊急対応・避難訓練	
平成17年度	7月20日(水)	全体意見交換会
	8月	「車椅子・視覚障害のお客様への接し方」 講師：岩永秀徳・山本倫子 (長崎県社会福祉協議会)
	9月10日(土)	「これからの博物館の運営とボランティア活動の在り方 ～長崎歴史文化博物館開館に向けて～」 講師：大堀 哲 (長崎歴史文化博物館館長)
	11月24日(水)～12月1日(水)	分野別交流会
	12月14日(水)	長崎歴史文化博物館見学
	1月16日(月)	伊東館長「南仏モンペリエ フェーブル美術館所蔵 魅惑の17～19世紀 フランス絵画展」 ギャラリートーク
	2月21日(火)	全体交流会
3月15日(水)	美術館周辺・屋上庭園除草作業	



平成18年度	5月20日(土)	伊東館長「没後20年 鴨居玲展 私の話を聞いてくれ」ギャラリートーク
	5月27日(土)	熊本市現代美術館 ボランティア研修ツアー
	8月1日(火)	伊東館長「デジタル遊園地 - ネットワーキングアートの未来」ギャラリートーク
	8月	ボランティア通信「Cataluña! (カタルーニャ)」創刊
	9月24日(日)	ボランティアメッセ in 九博
	10月17日(火)	全体交流会
	10月22日(日)	伊東館長「AIG コレクション - フランス印象派からエコール・ド・パリへ展」ギャラリートーク
	11月15日(水)~3月28日(水)	英会話研修「館内での外国人来館時のコミュニケーション」
	11月28日(火)	堀宜雄(福島県立美術館学芸員)「名取洋之助と日本工房展」ギャラリートーク
	2月12日(月)	伊東館長「ベルギー王立美術館展」ギャラリートーク
	3月	ボランティア通信「Cataluña!」Vol.2発行



ボランティア通信「Cataluña!」  
年2回(8月、3月)発行  
A4、2色/6ページ、各300部

## 10. 広報マーケティング事業

### 1) 主要広報記録(展覧会関係は除く)

#### 主なテレビ・新聞

	放送日・発売日	種別	媒体	内容
平成16年度	10月14日	テレビ・新聞	地元マスコミ	長崎県美術館事業発表
	11月8日	テレビ・新聞	地元マスコミ	欧州美術館調査訪問記者発表
	11月17日	テレビ・新聞	地元マスコミ	美術館マスコミ公開
平成17年度	4月	新聞	フジサンケイ(関東)	美術館紹介
	4月	新聞	地元マスコミ	美術館紹介
	4月22~24日	テレビ・新聞	地元マスコミ	美術館オープニング、開館関連
	4月	テレビ	NHK(全国)	美術館紹介
	4月	テレビ・新聞	地元マスコミ	イブニングライブ開始
	4月28日	新聞	フジサンケイビジネスアイ	館・「よみがえる須磨コレクション」展紹介
	5月6日	テレビ	KTN・FBS	美術館紹介
	5月21日	テレビ・新聞	地元マスコミ	入館者10万人突破
	9月17日	テレビ・新聞	地元マスコミ	小浜町に美術館ファンクラブ誕生
	1月6日	テレビ・新聞	地元マスコミ	入館者50万人突破
平成18年度	2月22日	テレビ・新聞	地元マスコミ	都市景観賞受賞 大きな建物部門
	4月14日	テレビ・新聞	地元マスコミ	1周年記念 隈研吾氏講演会
	4月22・23日	テレビ・新聞	地元マスコミ	開館1周年
	5月15日	テレビ・新聞	地元マスコミ	AIG社員専用カード 受渡し式
	6月27日	テレビ・新聞	地元マスコミ	ボランティア 作品解説開始
	10月23日	テレビ・新聞	地元マスコミ	「カサ・アジア賞」受賞
	10月25日	新聞	毎日新聞社(全国)	日常とアートの懸け橋 ショップグッズ紹介
	3月18日	テレビ・新聞	地元マスコミ	入館者100万人突破
	3月22日	テレビ・新聞	地元マスコミ	スペイン現代美術スペシャリスト 来館

注) 地元マスコミ...長崎新聞、西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、NHK、NBC、KTN、NCC、NIB、NCM

#### 主な雑誌掲載

	発売日	種別	媒体名	コーナー名	内容
平成17年度	4月1日	会員誌	IMPRESSION GOLD	museum	館紹介
	4月27日	雑誌	ELLE JAPON	ミュージアムをもっと楽しもう	館紹介
	5月1日	会員誌	MOCO	MOCOS PARK	館紹介
	5月1日	会員誌	NICOS magazine		館紹介
	5月1日	会員誌	SIGNATURE		館紹介・伊東館長寄稿
	5月1日	雑誌	BRIO		伊東館長 長崎おすすめスポット・美術館紹介
	5月20日	雑誌	週刊ポスト	伊集院静氏 スペインの美は長崎	館・収蔵作品紹介
	5月20日	雑誌	アートトップ	NEWS	館紹介
	5月30日	雑誌	日経アーキテクチュア		館・教育・展示室他紹介 全8P
	6月1日	雑誌	旅	インフォメーション	館紹介
	6月1日	会員誌	JCB ニュース		館紹介
	6月1日	会員誌	SIGNATURE		館紹介・伊東館長寄稿
	7月10日	雑誌	エンターテインメントビジネス	NEW OPEN CLOSE UP	館・教育紹介
	8月31日	書籍	五木寛之の百寺巡礼九州四国		館紹介
	9月10日	雑誌	日経消費マイニング	産声を上げるアート消費市場	館紹介
	9月30日	テレビ	TBS	日本列島ホット通信	館紹介
	10月26日	雑誌	anan	有名建築家が続々参戦。 気になるアートのスペース。	館紹介
	10月1日	雑誌	DoME	ミュージアムグッズ・表紙写真	オリジナルCD紹介
	11月15日	雑誌	Musee	ジャーナルポケット	館紹介・伊東館長インタビュー
	12月6日	雑誌	AERA	ART BIT	館・収蔵作品紹介
	1月27日	雑誌	九州大人のウォーカー		館・屋上・カフェ・フランス展紹介
3月1日	雑誌	BRUTUS Casa		波佐見焼陶板紹介(館内)	

	発売日	種別	媒体名	コーナー名	内容
平成18年度	4月	雑誌	一個人	建築家で選ぶ美術館	館・隈研吾氏紹介
	5月31日	雑誌	kids de cha cha cha!		教育 LIFE・館紹介
	7月1日	会員誌	GRAN	PRESENT	館紹介
	9月15日	機関誌	ways	アートスポット全国版ガイド	館紹介・東松照明展紹介
	10月16日	雑誌	日経グローバル	新スポット	スペイン美術に力を入れ、ブラド美術館と交流協定
	11月1日	雑誌	pen	いまこそ世界はアートが必要だ!	館紹介
	11月1日	雑誌	船の旅	長崎スイーツ散策	カフェ・スイーツ紹介
	11月	雑誌	Esquire		館・教育紹介
	12月20日	雑誌	meuble	国内の隠れ家とリゾート特集	館紹介
	1月	雑誌	美術の窓	アートニュース	カサ・アジア受賞
	1月	会員誌	SIGNATURE		「カサ・アジア賞」受賞・伊東館長寄稿
	2月	雑誌	Musee		ショップグッズ
2月19日	雑誌	OZ マガジン	長崎特集	館紹介	

## 2) 広報印刷物

### 平成17年度

開館に向け、開館告知ポスター2種を発行。また、美術館の基本機能を紹介する「美術館概要パンフレット」や「館案内リーフレット」(4ヶ国語:日本語・英語・中国語・韓国語) 展覧会スケジュールを紹介する「年間スケジュール」(2ヶ国語:日本語・英語)を発行。また全館広報紙として、「月刊イベントスケジュール」を発行し、展覧会情報及びイベント、貸館、カフェ、ショップ情報を紹介。公共施設、全国の美術館、各種企業等に広く配布した。

内容:

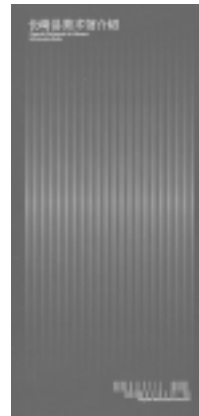
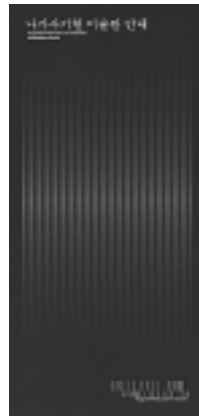
開館告知ポスター2種	B2、4色 計4,500部
美術館概要パンフレット	170mm×210mm、4色/4色、36ページ 10,000部
館案内リーフレット(日本語)	A3変形、4色/4色、両観音折 100,000部
館案内リーフレット(英語)	A3変形、4色/4色、両観音折 100,000部
館案内リーフレット(中国語)	A3変形、4色/4色、両観音折 3,000部
館案内リーフレット(韓国語)	A3変形、4色/4色、両観音折 3,000部
年間スケジュール(日本語)	A3変形、4色/4色、両観音折 100,000部
年間スケジュール(英語)	A3変形、4色/4色、両観音折 10,000部
月刊イベントスケジュール	A4、4色/4色 約24,000部(約2,000部/月)



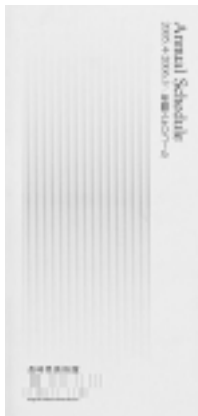
美術館概要パンフレット



開館告知ポスター 2種



館案内リーフレット一式



年間スケジュール



月刊イベントスケジュール

### 平成18年度

展覧会スケジュールを紹介する「年間スケジュール」を発行。また全館広報紙として、「月刊イベントスケジュール」を発行し、展覧会情報及びイベント、貸館、カフェ、ショップ情報を積極的に紹介。公共施設、全国の美術館、各種企業等に広く配布した。

内容：

年間スケジュール（日本語） A3変形、4色/4色、両観音折 40,000部

月刊イベントスケジュール A4、4色/4色 24,000部（2,000部/月）



年間スケジュール



月刊イベントスケジュール

### 3) ホームページ

#### 平成17年度

開館に合わせてホームページを開設し、自主運営を行う。最新情報（企画展・美術館コレクション展・教育普及・イベント）ミュージアムショップ、カフェについて常にタイムリーな情報を更新。収蔵作品をデータベース化し検索できるようにした他、館の利用案内、収蔵作品の紹介、ボランティア活動の紹介、県民ギャラリー案内などを掲載。11月にミュージアムショップのページを拡大。

(<http://www.nagasaki-museum.jp>)

ページ構成：

最新情報（開催中展覧会等紹介）

総合案内（館の概要・機能等を紹介）

コレクション（当館収蔵作品等を紹介）

年間スケジュール（当館主催事業及び貸館情報の年間一覧）

学校との連携（長崎県教育委員会制作の活用事例集）

県民の部屋（県民作家ネットギャラリー・アンケート・メルマガ申込み）

情報提供（美術館ニュース・年報）

ショップ&カフェ（ミュージアムショップ商品紹介・カフェ紹介）

ボランティア（活動紹介）

長崎県内情報検索（長崎県の文化財・県内資料館検索・長崎歴史文化博物館を含めた全収蔵資料検索及び全収蔵図書検索）

リンク（県内主要施設・観光団体・交通機関など6件にリンク）

アクセス件数：

172,501件（1日平均 503件）



トップページ



開催中企画展情報のページ

## 平成18年度

最新情報（企画展・美術館コレクション展・教育普及・イベント）、ミュージアムショップ・カフェについて常にタイムリーな情報を更新。最新情報の企画展紹介では、Flash 動画で展覧会イメージの紹介を開始。収蔵作品の検索、館の利用案内、ボランティア活動の紹介、県民ギャラリー案内などを掲載。平成19年3月、「学校との連携」部分を当館スクールプログラムの情報へ変更。

(<http://www.nagasaki-museum.jp>)

ページ構成：

最新情報（開催中展覧会等紹介）

総合案内（館の概要・機能等を紹介）

コレクション（当館収蔵作品等を紹介）

年間スケジュール（当館主催事業及び貸館情報の年間一覧）

学校との連携（スクールプログラム学校利用案内）

県民の部屋（県民作家ネットギャラリー・アンケート・メルマガ申込み）

情報提供（美術館ニュース・年報）

ショップ&カフェ（ミュージアムショップ商品紹介・カフェ紹介）

ボランティア（活動紹介）

長崎県内情報検索（長崎県の文化財・県内資料館検索・長崎歴史文化博物館を含めた全収蔵資料検索及び全収蔵図書検索）

リンク（県内主要施設・観光団体・交通機関など8件にリンク）

アクセス件数：

227,201件（1日平均 622件）



トップページ



開催中美術館コレクション展情報のページ

## 4) アートビジョン

### 平成17年度

美術館入口に LED 大型映像装置「アートビジョン」を設置。オープニング記念式典にて、イベント連動型の使用を行った。展覧会情報の他、総合案内映像、高城剛（ハイパーメディア・クリエイター）制作美術館イメージ映像、美術館ロゴモーショングラフィックス等、館基本情報を告知する映像を上映。その他文化庁メディア芸術祭、コンテンポラリーダンス映像、県内高校生の映像作品等、映像芸術の公開を推進。館内で開催した講演会等のライブ配信を行う。県内高校が出場した高校野球、県内社会人サッカークラブ V・ファーレン長崎の試合中継や、みなとまつり、ランタンフェスティバル告知 CM を上映するなど地域の文化・スポーツの振興を目的とした上映も行った。

アートビジョンでのイベント・主な映像作品上映については、「11 .イベント等」に記載。

主な上映内容：

- ・総合案内映像（美術館基本情報）
- ・展覧会案内（企画展・美術館コレクション展・教育普及・イベント等を告知）
- ・美術館ロゴモーショングラフィックス
- ・講演会等館内イベントライブ映像配信
- ・観光案内映像
- ・スペースシャワー TV 告知映像
- ・紙コップアーティスト LOCO 映像作品（平成17年7月）
- ・「タンタンの冒険」シリーズ（平成17年12月）



アートビジョン上映風景



美術館イメージ映像

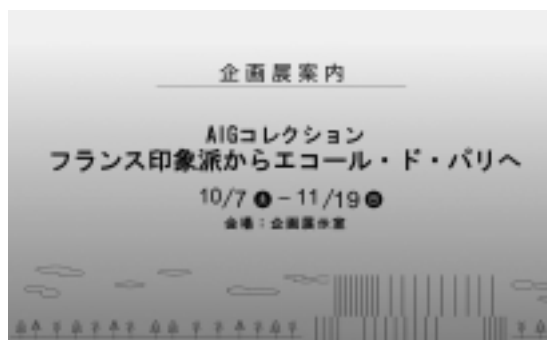
### 平成18年度

平成17年度に制作したコンテンツに加え、収蔵作品案内映像を制作・上映。また、展覧会情報案内を高城剛制作デザインに一新。その他文化庁メディア芸術祭、アニメ上映、横浜ダンスコレクション R 受賞作品映像、県内高校生の映像作品等映像芸術の公開を推進。高城剛による DVJ パフォーマンスなどイベントを開催。展覧会主催等企業の CM、当館賛助会員企業名の告知を開始。

アートビジョンでのイベント・主な映像作品上映については、「11 .イベント等」に記載。



収蔵作品案内映像



展覧会案内

## 5) 会員事業

### 平成17年度

#### ①メールマガジン

毎月1回メールマガジンを発行(創刊号4月22日)。展覧会情報の他、メルマガ会員限定プレゼントなどを実施。メールマガジン登録はホームページより行い、発行履歴はホームページ上に掲載される。

年間発行回数:13回

#### ②年間フリーパスポート

美術館コレクション展をフリーパスで鑑賞できる年間フリーパスポートの販売を開始。

料金:一般1,200円、大学生900円、小中高生600円、シニア(70歳以上)900円

年間発行実績:1,865枚

### 平成18年度

#### ①メールマガジン

毎月1回メールマガジンを発行。展覧会情報の他、イベント時など随時増刊号を発行し情報を発信。その他メルマガ会員限定プレゼントなどを実施。メールマガジン登録はホームページより行い、発行履歴はホームページ上に掲載される。

年間発行回数:13回

#### ②年間フリーパスポート

年間発行実績:213枚

#### ③プレミアムメンバーズカード(個人会員)

開館1周年を記念し、より身近に美術館を利用できるように、会員カードの販売を開始。

- ・館主催企画展と美術館コレクション展がフリーパス
- ・ミュージアムショップとカフェの利用が10%割引(一部商品を除く)

年会費:5,000円 別途年間960円で、毎月、月刊イベントスケジュール他最新情報を郵送

会員数:467人(平成18年3月31日現在)

#### ④ミュージアムパートナーズカード(賛助会員)

主に法人を対象とし、福利厚生にも利用できる賛助会員プログラムのサービスを開始。

- ・館主催企画展と美術館コレクション展がフリーパス(1口につきカード1枚発行)
- ・1口につき館主催企画展招待券を50枚、美術館コレクション展招待券を20枚発行
- ・ミュージアムショップとカフェの利用が10%割引(一部商品を除く)
- ・館内の賛助会員リストへの掲出と、アートビジョンにて賛助会員リストを上映
- ・毎月、月刊イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費:1口50,000円~

会員数:24件・26口(平成18年3月31日現在)

#### ⑤AIGグループ社員限定パスポート

隣接するAIG長崎ビルの落成に伴い、同グループ社員向け年間パスポートを、同グループ社員と開発し販売。

- ・申し込みから13ヶ月間、美術館コレクション展がフリーパス
- ・館主催企画展に団体料金で入場可、同伴者は美術館コレクション展と館主催企画展に団体料金で入場可
- ・ミュージアムショップとカフェの利用が10%割引(一部商品を除く)

年会費:1,500円

会員数:185人(平成18年3月31日現在)



## 6) その他の美術館紹介事業

伊東順二館長講演会

### 平成17年度

講演先	日時	内容
諫早ロータリークラブ	1月21日	長崎県美術館について
IMA 展講演会	1月23日	現代美術の考え方
長崎中央ロータリークラブ	2月21日	長崎県美術館について
十八銀行思友会	3月11日	長崎県美術館について
長崎南高等学校	3月12日	長崎県美術館について
長崎ロータリークラブ	3月24日	長崎県美術館開館に向けて
長崎南ロータリークラブ	4月27日	長崎県美術館について
長崎情報懇話会	4月27日	長崎県美術館について
長崎県教育センター	5月13日	心のかたち
長崎市寄付講座	5月18日	「文化と芸術 長崎の美術」
長崎日仏協会	6月3日	フランスの文化戦略
長崎市官公衛懇談会 三水会	6月15日	美術館による地域活性化について
二十人会創立10周年記念	6月18日	長崎県美術館計画 美術館による地域活性化への試み
長崎新聞ランチの会「甲比丹21」	6月28日	美術館の呼吸法
長崎新聞フォーラム基調講演	7月5日	呼吸する美術館 第一章
小浜 異業種交流会	7月22日	呼吸する美術館
長崎県赤十字有功会総会	7月28日	長崎県美術館の楽しみ方
医師信用組合	9月3日	心と呼吸する美術館
佐世保地区経済同友会	9月12日	心と呼吸する美術館
長崎県議員研修会	9月13日	美術館による地域活性化について
博物館協会総会	9月15日	21世紀の文化施設のあり方
国際長崎クラブ	10月19日	長崎県美術館について
長崎県臨床整形外科医会	10月29日	心と呼吸する美術館
長崎国際文化協会	11月26日	長崎県美術館について
十八銀行北支店	11月28日	美術館と私
文化経済学会九州部会	12月4日	長崎県美術館について
十八銀行	12月12日	長崎県美術館について
長崎市寄付講座	12月21日	長崎県美術館の経営戦略
三菱電機株式会社九州支社	2月16日	21世紀のコンテンツ ロジスティクス

### 平成18年度

講演先	日時	内容
裏千家淡交会	4月23日	新しい茶のかたち
十八銀行	4月27日	続・呼吸する美術館
長崎校長会研究大会	5月12日	続・呼吸する美術館
諫早文化協会	5月20日	地域と文化
親和銀行長崎支店	6月5日	アートとの出会い
諫早市美術協会	6月25日	芸術の価値
長崎出島ロータリークラブ	7月28日	長崎県美術館について
長崎市臨床内科医会	8月18日	芸術の力
長崎県交通局 社員研修会	9月4日	長崎県美術館について
長崎市医師会婦人部会	9月25日	地域文化の再生について フランスと長崎
九州 IBM ユーザー研究会	10月3日	コンテンツハブとしての美術館
長崎県老人クラブ連合会	10月19日	生きがいとしてのアート
活水市民大学講座	10月21日	長崎ミュージアムシティー計画
長崎総合科学大学公開講演会	10月23日	長崎の未来
長崎市寄付講座	11月1日	ことばと文化
福岡市美術連盟	11月11日	21世紀アートと美術館の未来
諫早図書館	11月12日	諫早で読んだ本
青雲学園	11月20日	未来を読む感性
NHK 長崎放送局会館公開イベント講演	12月3日	世界遺産フランス縦断の旅
長崎大学医学部皮膚科学教室同門会	2月10日	呼吸する美術館の未来
雲仙市講演会	3月26日	呼吸する美術館
タナカヤ友の会	3月27日	芸術を楽しむ

## 7) 入館者アンケート

### 平成17年度

アンケート収集方法 ————— エントランスロビーにアンケート用紙及び回収箱を設置（平成17年6月～3月）

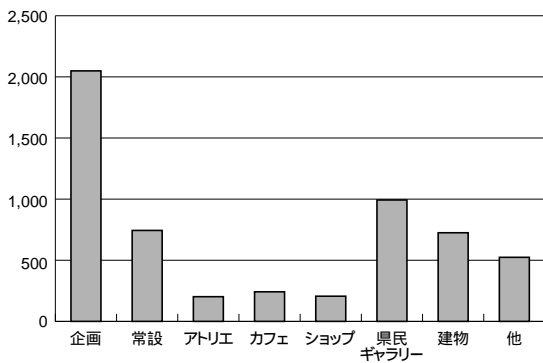
アンケートサンプル数 ————— 2,862

アンケート質問内容

1. 本日の来館目的
2. 施設、スタッフの対応を含めたお客様の満足度をお聞かせください。
3. 何回目のご来館ですか？
4. 基本情報（性別、居住地、年齢、職業、来館方法、同伴者）

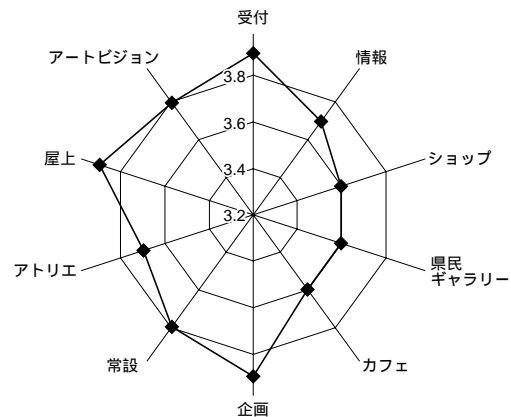
1

来館目的（複数回答）							
企画	常設	アトリエ	カフェ	ショップ	県民ギャラリー	建物	他
2,049	744	202	242	206	993	725	524



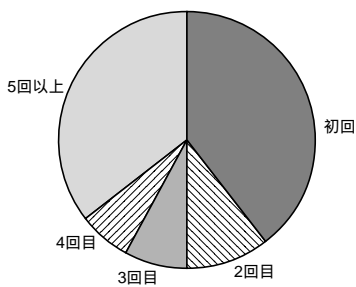
2

満足度（5段階評価）									
受付	情報	ショップ	県民ギャラリー	カフェ	企画	常設	アトリエ	屋上	アートビジョン
3.9	3.7	3.6	3.6	3.6	3.9	3.8	3.7	3.9	3.8



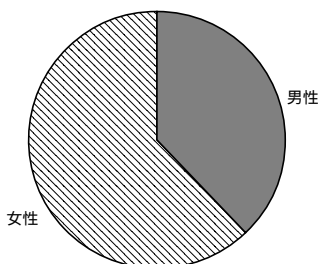
3

来館回数				
初回	2回目	3回目	4回目	5回以上
39.5%	10.5%	7.9%	6.6%	35.5%

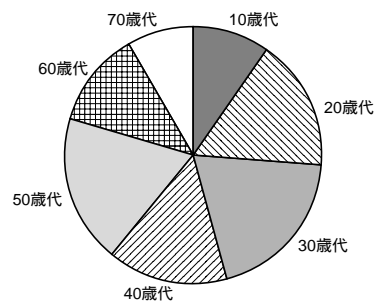


4

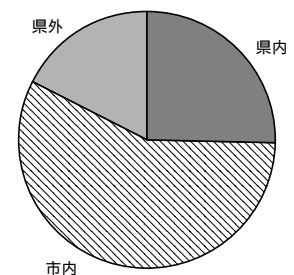
性別	
男性	女性
38%	62%



年齢構成（歳代）						
10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
9.7%	16.6%	19.6%	15.2%	18.7%	12.1%	8.4%



県内外		
県内	市内	県外
24.9%	56.1%	17.2%



## 平成18年度

アンケート収集方法 ————— エントランスロビーにアンケート用紙及び回収箱を設置（通年）

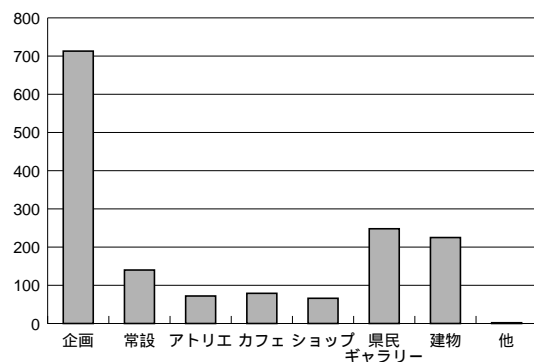
アンケートサンプル数 ————— 1,375

アンケート質問内容

1. 本日の来館目的
2. 施設、スタッフの対応を含めたお客様の満足度をお聞かせください。
3. 何回目のご来館ですか？
4. 基本情報（性別、居住地、年齢、職業、来館方法、同伴者）

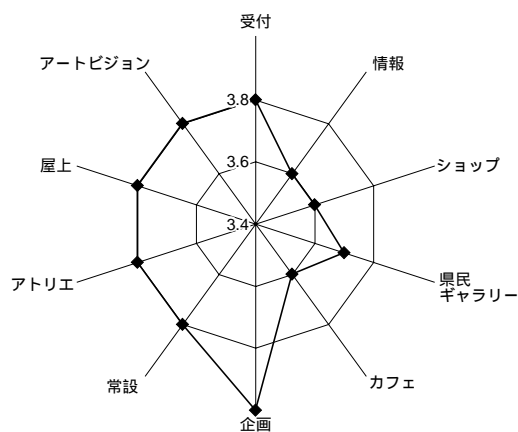
1

来館目的（複数回答）							
企画	常設	アトリエ	カフェ	ショップ	県民ギャラリー	建物	他
713	140	72	79	66	248	225	2



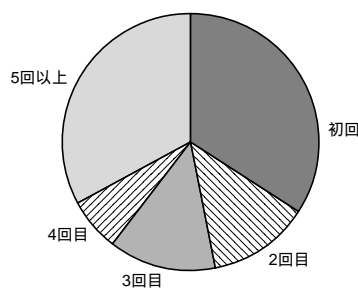
2

満足度（5段階評価）									
受付	情報	ショップ	県民ギャラリー	カフェ	企画	常設	アトリエ	屋上	アートビジョン
3.8	3.6	3.6	3.7	3.6	4.0	3.8	3.8	3.8	3.8



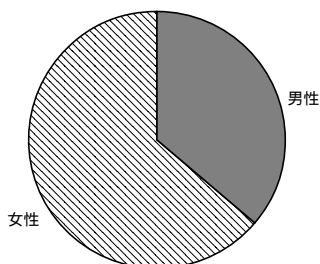
3

来館回数				
初回	2回目	3回目	4回目	5回以上
34.1%	12.8%	13.5%	6.7%	32.9%

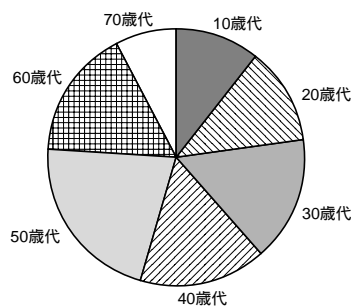


4

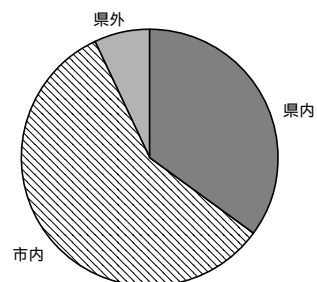
性別	
男性	女性
36.2%	63.8%



年齢構成（歳代）						
10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
10.6%	12.2%	15.7%	16.0%	21.5%	16.3%	7.7%



県内外		
県内	市内	県外
35.0%	58.0%	7.0%



## 11. イベント等

平成17年度

### 1) 講演会

長崎美術館 開館記念シンポジウム

「西洋と長崎～長崎県美術館開館に寄せて～」

日時：4月22日(金) 15:00～17:00

会場：長崎全日空ホテルグラバービル

参加者数：250人

パネリスト：高階秀爾（大原美術館館長）、川勝平太（国際日本文化研究センター教授）、酒井忠康（世田谷美術館館長）、田中優子（法政大学社会学部教授）兼重護（長崎大学名誉教授）〔モデレーター〕：伊東順二（長崎県美術館館長）

ネットワーキングアートの未来

日時：4月24日(日) 14:00～16:00

会場：ホール

参加者数：150人

パネリスト：高城剛（映像作家/ハイパーメディア・クリエイター）、河口洋一郎（東京大学大学院情報学環教授）、隈研吾（建築家）、伊東順二（長崎県美術館館長）

現代のネットワークを介した現実、仮想現実、それを利用したアートの可能性など、ネットワーキングアートの未来について語る。

伊集院静トークショー

講師：伊集院静

日時：6月4日(土) 14:00～15:30

会場：ホール

参加者数：100人

ネットワーキングアートの未来 PART II

日時：7月3日(日) 15:00～17:00

会場：ホール

参加者数：130人

パネリスト：中谷日出（NHK 解説員）、明和電機 土佐信道（総合アートユニット）、伊東順二（長崎県美術館館長）

PART I では、高城剛氏（映像作家/ハイパーメディア・クリエイター）、河口洋一郎氏（東京大学大学院情報学環教授）、隈研吾氏（建築家）、伊東順二（長崎県美術館館長）のメンバーで、現代のネットワークを介した現実、仮想現実、それを利用したアートの可能性など、ネットワーキングアートの未来について語った。Part II となる今回はNHKの「デジタル・スタジアム」のナビゲーターである中谷日出氏とキュレーターである明和電機・土佐信道氏を迎え、ネットワーキングの未来を語る。

### 2) コンサート

会場の記載がない場合はエントランスロビーで開催

イブニングライブ

日時：毎月第2・4日曜日 夕方と夜の2ステージ

出演：長崎大学教育学部・活水女子大学音楽学部 教員、学生、卒業生

入場料：無料着席60席他立見

平成17年度（第1回～第22回） 総入場者数：2,600人

共催：長崎大学教育学部、活水女子大学

芸術の発信場所である美術館として、美術はもとより、芸術性の高い音楽を提供する事業として、平成17年5月から開催。美術と音楽との融合を目指し、展覧会に沿った内容や季節に応じた音楽のライブを開催。また大学との連携事業として、学生の学外における体験型教育の支援事業としても推進するとともに、学生ボランティアの活動の場を提供することで、広く地域との交流を持った事業として展開。

プレイベント 小國雅香ライブ

日時：3月29日(火) 14:00～14:30

オープニングセレモニー 小國雅香ミニライブ

日時：4月23日(土) 11:00 会場：運河劇場

シエスタミュージック～美術館で室内楽～

県民からの「美術館で演奏したい」との要望から出演者の公募を行い、平成17年12月～平成18年2月の第3水曜に開催。

日時：12月21日(水)、1月18日(水)、2月15日(水)

14:00～14:30

ジュニアオーケストラながさきミニコンサート

日時：12月3日(土) 15:00～15:20

日本フィル弦楽四重奏ふれあいコンサート

日時：12月9日(金) 18:00～19:00

小さなパイプオルガンコンサート

日時：12月18日(日) 18:00～19:00

クリスマスコンサート～美術館から Love メッセージ～

日時：12月24日(土) 15:00～16:00

ニューイヤーコンサート～和の心 箏演奏～

日時：1月7日(土) 11:00～11:30

郷土の芸術家後援事業・～于波と楽しむ美術館～チェロコンサートと「魅惑の17-19世紀フランス絵画展」

日時：2月5日(日) 13:00～17:00

ヴァイオリンデュエットの夕べ  
日時：3月30日(木) 18:00~19:30

### 3) アートビジョン・上映関係

平成16年度(第8回)文化庁メディア芸術祭受賞作品上映  
日時：4月23日(土)~6月30日(木)  
①11:00~11:55 ②13:00~13:55  
③18:00~18:55  
会場：アートビジョン

第10回学生CGコンテスト受賞作品上映  
日時：4月23日(土)~6月30日(木)  
①15:00~15:33 ②17:00~17:33  
会場：アートビジョン

文化庁メディア芸術祭・学生CGコンテスト受賞作品上映会  
日時：6月12日(日)・19日(日)・26日(日)  
14:00~14:55、15:10~15:43  
会場：ホール

コンテンポラリー・ダンスカンパニー「ローザス」映像作品  
上映会  
日時：12月26日(火)~28日(木)  
①16:00~16:52 ②18:00~18:52  
会場：アートビジョン  
日時：1月2日(月)~1月4日(水) 14:00~15:00  
会場：ホール

### 4) 主催以外のイベント(協力等) 会場の記載がない場合は エントランスロビーで開催

村治佳織コンサート  
日時：5月23日(月・休館日) 18:30~20:00  
主催：NHK 長崎放送局

アウトリーチコンサート オープニングナイト  
日時：6月25日(土) 19:00~20:00  
主催：長崎市文化振興課

「アメリカ ホワイトニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔」展開連イベント 日野皓正 Jazz Sextet Live Tour 2005in 出島  
日時：7月19日(火) 19:00~21:00  
会場：屋上庭園 主催：セントアンドリュース

「アメリカ ホワイトニー美術館コレクションに見るアメリカの素顔」展開連イベント SLIM 野外ライブ

日時：7月23日(土) 19:00~19:30  
会場：運河劇場 主催：KTN テレビ長崎

南米アンデス地方音楽 フォルクローレコンサート  
日時：11月27日(日) 14:45~15:15  
主催：野母崎町で音楽を聴く会

ASAKO TOKI 2006LIVE  
日時：2006年2月11日(土) 21:15~22:00  
主催：CINEMONDE

### 平成18年度

#### 1) 講演会

開館一周年記念企画「隈研吾が語る長崎県美術館の建築」  
講師：隈研吾(建築家)  
日時：4月14日(金) 14:00~15:30 会場：ホール

#### 2) コンサート

会場の記載がない場合はエントランス  
ロビーで開催

イブニングライブ  
概要：17年度に同じ(18年度から活水女子大学文学部が加わり、両大学との連携事業として実施)  
平成18年度(第23回~第46回) 総入場者数：3,975人  
関連文献：  
吉野信一、建石久美子  
「イブニングライブを通して見えてくるもの 長崎県美術館におけるアートマネジメントの試み」『活水論文集 現代日本文化学科編』活水女子大学、平成19年3月

諫早ジュニアオーケストラミニコンサート  
日時：5月5日(金・祝) 13:00~13:30

企画展「鴨居玲展」関連イベント フルートで巡る国々~長崎県新人発表演奏会受賞者を迎えて~  
日時：5月21日(日) 18:00~19:00

サマーアートミュージアム~チャンネルライブ&花火~  
日時：7月30日(日) 19:00~20:00 会場：運河劇場

### 3) アートビジョン・上映関係等

開館1周年記念企画 フラメンコ  
日時：4月22日(土)・23日(日) ①16:45~ ②19:15~  
会場：運河劇場  
地元長崎で活躍するフラメンコダンサー達が、開館1周年を記念し、情熱的なダンスを披露

開館1周年記念企画 高城剛の Nagasaki Night

日時：5月4日(木・祝) 18:00~

会場：アートビジョン前

開館1周年を記念し、メディア芸術の制作や映像プロデューサーで幅広く活躍している高城剛氏に、記念映像の制作を依頼。発表イベントとして、高城氏自身による、DJとVJをミックスした“DVJパフォーマンス”を開催。

平成17年度(第9回)文化庁メディア芸術祭受賞作品上映

日時：5月5日(金・祝)~6月30日(金)

①14:00~15:15 ②18:00~19:15

会場：アートビジョン

第11回学生CGコンテスト動画部門受賞作品/最終審査ノミネート作品上映

日時：5月5日(金・祝)~6月30日(金)

①11:30~12:55 ②16:00~17:25

会場：アートビジョン

横浜ダンスコレクション R1996 - 2006受賞作品上映

日時：7月15日(土)~9月30日(土) 17:00~

会場：アートビジョン

長崎水辺の映像祭作品上映

日時：7月30日(日)~9月3日(日)

名作TVアニメの初回を上映

日時：8月14日(月)~23日(水)

①10:30~11:00 ②16:30~17:00

会場：アートビジョン

日時：8月12日(土)、13日(日)

①10:30~12:30 ②16:30~18:30

会場：ホール

アニメーション芸術の発展が世界的に注目されるなか、「鉄腕アトム」から現在にいたるまでの名作TVアニメの第一話を上映。

ダンスカンパニー Nomade ~ s 身体の中の映像「顔と歴史」

ワークショップ&上演

日時：9月2日(土) ①14:00~16:00 ②17:30~19:30

3日(日) ③10:30~12:30 上演18:00~

会場：美術館内(講座室・ホール・運河劇場等)

AIGグループ社員限定パスポート会員ギャラリートーク

日時：11月14日(火) 18:40~20:00

伊東館長が「AIGコレクション展」のギャラリートークを行い、内覧後にカフェにて展覧会オリジナルスイーツ「ジベルニー」を試食。

#### 4) 主催以外のイベント(協力等) 会場の記載がない場合はエントランスロビーで開催

若手アーティスト長崎県美術館ロビーコンサート

日時：6月14日(水) 12:40~13:20

主催：長崎県文化団体協議会

大室晃子ピアノコンサート

日時：9月9日(土) 15:30~16:00

主催：長崎大学経済学部「企業メセナ研究会」、当館共催

バタフライ・メモリアルライブ~「第1回マダムバタフライ国際コンクール in 長崎」入賞者のチョウ・ジン・ホァンさんをむかえて~

日時：9月23日(土) 15:00~15:40 主催：「マダムバ

タフライ国際コンクール in 長崎」実行委員会

吉川友理クリスマスコンサート

日時：12月17日(土) 16:00~17:00

主催：吉川友理コンサート実行委員会

Christmas in Museum Live

日時：12月22日(月) 20:15~22:00

主催：オペレーションモカ事務局

吉川よしひろチェロコンサート

日時：3月3日(土) 15:00~15:45

主催：吉川よしひろチェロコンサート

## 12. 貸施設事業

### 平成17年度

#### ホール等

No.	使用日	催事名	会場	使用者
1	5月21日(土)	第10回長崎アンデパンダン展関連イベント シンポジウム	ホール	NPO 法人長崎市美術振興会
2	7月19日(火)	日野皓正ライブ	屋上庭園	Rei Elegance
3	9月15日(木)	長崎県博物館協会総会	ホール	長崎県博物館協会
4	9月18日(日)	第50回記念県展公募展ふれあいワークショップ	ホール、講座室、アトリエ	長崎県美術展覧会公募展実行委員会
5	10月3日(月)	第17回長崎まちづくりの絵コンクール審査会	アトリエ	長崎県土木部都市計画課
6	10月24日(月)	九州地方知事会	ホール、講座室、屋上庭園	九州地方知事会 / 長崎県
7	10月30日(日)	ピンクリボン・フェスタ2005長崎 シンポジウム	ホール	長崎県福祉保健部国保・健康増進課
8	11月3日(木)～5日(土)	第54回長崎市民美術展開会式・表彰式ほか	ホール、エントランスロビー	長崎市文化振興課
9	11月5日(土)	長崎総合科学大学建築学科創設40周年記念行事 記念講演会	ホール	長崎総合科学大学工学部建築課
10	11月19日(土)	「ながさ木の家」づくりセミナー&相談会	ホール	「ながさ木の家」づくり推進連絡協議会
11	12月4日(日)	文化経済学会<日本>九州部会 2005年度大会	ホール、講座室	文化経済学会<日本>九州部会
12	12月9日(金)	(社)日本建築課協会九州支部長崎会 講演会	ホール	(社)日本建築課協会九州支部長崎会
13	12月19日(月)～21日(水)	第51回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展(子ども県展) 審査会	ホール	長崎県教育庁学芸文化課
14	12月25日(日)～28日(水)	ながさキッズ FACTORY	ホール、講座室	特定非営利活動法人 CANVAS
15	1月19日(木)	ガーデニング世界チャンピオン「マーク・ペイン氏来日記念」ガーデニングセミナー	ホール	(株)風花
16	1月21日(土)	第51回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展(子ども県展) 表彰式	ホール	長崎県教育庁学芸文化課
17	2月11日(土)	Salon de Conti Collection/ASAKO TOKI 2006 LIVE	ホール、講座室、エントランスロビー	有限会社 PANGAIA
18	2月26日(日)	カンカシ尚子 ギターリサイタル	ホール	SANTOOR
19	3月4日(土)	長崎大学経済学部山口研究室2005年度研究報告会	ホール	長崎大学経済学部山口研究室
20	3月10日(金)	カンカシ尚子 ギターリサイタル	ホール	SANTOOR
21	3月11日(土)	カンカシ尚子 ギターリサイタル	ホール	SANTOOR

#### 県民ギャラリー等

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
1	4月23日(土)～5月15日(日)	第30回 長崎県書道展	全室	株式会社長崎新聞社	28,416
	前期 4月23日(土)～5月1日(日)				
	中期 5月3日(火)～5月8日(日)				
	後期 5月10日(火)～5月15日(日)				
2	5月17日(火)～5月22日(日)	第10回長崎アンデパンダン展	全室	NPO 法人長崎市美術振興会	6,588
3	5月25日(水)～6月3日(金)	長崎県美術協会展	全室	長崎県美術協会	5,855
	前期 5月25日(水)～5月28日(土)				
	後期 5月31日(火)～6月3日(金)				
4	6月11日(土)～7月3日(日)	「第36回日展」長崎展	全室、企画	株式会社 長崎新聞社	41,699
5	7月6日(水)～7月10日(日)	第32回長崎県水彩画展	全室	長崎県水彩画協会	3,688
6	7月12日(火)～7月17日(日)	2005長崎アートフェスティバル	A、B、ホール	NPO 法人長崎市美術振興会	2,157
7	7月16日(土)～7月31日(日)	写真展「星野道夫の宇宙」	C	長崎「星野道夫」写真展実行委員会事務局	19,957
8	7月19日(火)～7月24日(日)	第32回日本水彩画会長崎支部展	A	日本水彩画会長崎支部	4,158
9	7月19日(火)～7月24日(日)	九州 PGC 長崎ブロック写真展	B	九州 PGC 長崎ブロック	1,200
10	7月27日(水)～7月31日(日)	第26回ながさき8・9平和展	A、B	ながさき8・9平和展企画委員会	16,424
11	8月5日(金)～8月29日(月)	「大ナポレオン展 - 文化の光彩と精神の遺産 - 」	全室	株式会社長崎新聞社	56,263
12	9月14日(水)～9月23日(金)	第50回記念長崎県美術展覧会公募展	全室、企画、アトリエ、運河ギャラリー	長崎県美術展覧会公募展実行委員会	16,952
13	9月27日(火)～10月2日(日)	第71回東光展 & 東光会長崎支部展	全室	社団法人東光会 長崎支部	1,225

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
14	10月4日(火)～10月9日(日)	長崎光画クラブ創立100周年記念写真展	A	長崎光画クラブ	2,594
15	10月4日(火)～10月9日(日)	日韓国交正常化40周年日韓友情年2005記念「長崎日韓交流写真展」	B	長崎日韓交流写真展実行委員会	2,595
16	10月4日(火)～10月9日(日)	我流 野母崎窯村田茂男 白雲窯村田光生・綾子 備前森島一 作陶展	C	村田茂男	2,520
17	10月12日(水)～10月16日(日)	第30回記念(財)独立書人団長崎県支部展 / 第14回九州独立選抜書展	全室	(財)独立書人団長崎県支部	1,252
18	10月18日(火)～10月23日(日)	野田明子 水彩画展	A	野田明子	3,249
19	10月18日(火)～10月23日(日)	三菱重工洋画部作品展	B、C	三菱重工 洋画部	3,253
20	10月26日(水)～10月30日(日)	第38回長崎日本大学高等学校デザイン美術科卒業制作展	全室	長崎日本大学高等学校デザイン美術科	4,618
21	11月3日(水)～11月16日(水) 前期 11月3日(水)～11月8日(火) 後期 11月10日(水)～11月16日(水)	第54回長崎市民美術展	全室	長崎市	9,874
22	11月22日(火)～11月27日(日)	平山順一郎 写真展 「四季彩々」	A	平山順一郎	2,248
23	11月22日(火)～11月27日(日)	第24回全日本歯科美術展	B、C	全日本歯科美術連盟	1,632
24	11月30日(水)～12月4日(日)	第14回県日本画展	A、B	長崎県日本画協会	3,537
25	11月29日(火)～12月4日(日)	第30回長崎市書作家協会代表作家展	C	長崎市書作家協会	1,858
26	12月6日(火)～12月11日(日)	事業60年 野崎嶽南傘寿記念書展	全室	事業60年野崎嶽南傘寿記念書展実行委員会	1,526
27	12月14日(水)～12月18日(日)	平成17年度長崎県高等学校総合文化祭美術展	全室	長崎県高等学校文化連盟美術専門部	2,141
28	12月22日(水)～1月17日(火)	THE ドラえもん展	全室、運河ギャラリー	長崎文化放送	35,991
29	1月20日(金)～1月22日(日)	第51回子ども県展長崎総合展	全室	長崎県造形教育研究会	4,456
30	1月24日(火)～1月29日(日)	第39回長崎市書作家協会展	全室	長崎市書作家協会	1,443
31	1月31日(火)～2月5日(日)	般展(sai-ten)2006	全室	般展実行委員会	2,712
32	2月7日(火)～2月12日(日)	平成17年度 第55回長崎市小中学校連合美術展	全室	長崎市教育研究会、中学校美術部会	13,754
33	2月15日(水)～2月19日(日)	長崎県美術展覧会委嘱展 第24回現代作家美術展	全室	長崎県美術展覧会委嘱展	2,683
34	2月21日(火)～2月26日(日)	純心女子学園創立70周年・被爆60周年記念純心女子学園平和造形展	全室	長崎純心大学、長崎純心大学短期大学部	2,062
35	2月28日(火)～3月5日(日)	藤川秀満ペン・アート展	A	藤川秀満	1,026
36	2月28日(火)～3月5日(日)	ちぎり絵の四季展	B	ちぎり絵サークル	1,366
37	2月28日(火)～3月5日(日)	長崎大学教育学部卒業・修了展(絵画分野)	C	長崎大学教育学部芸術表現講座(絵画) 井川研究室	1,134
38	3月7日(火)～3月12日(日)	NPO 美振 第1回三部合同展 工芸・写真・南画	全室	NPO 法人長崎市美術振興会	1,850
39	3月14日(火)～3月19日(日)	岩永博隆写真展	A	岩永博隆	229
40	3月14日(火)～3月19日(日)	長崎二紀作家展	B、C	社団法人二紀会長崎支部	1,482
41	5月10日(火)～5月15日(日)	ころこ庵(昌盛齋)浜脇天遊展	運河ギャラリー	浜脇天遊	
42	11月1日(火)～11月6日(日)	赤とんぼの街づくり運動「学べる!遊べる!写生大会」作品展	運河ギャラリー	KTN テレビ長崎	
43	11月8日(火)～11月13日(日)	長崎県公的年金コンクール作品展	運河ギャラリー	長崎社会保険事務局	
44	11月15日(火)～11月27日(日)	第30回全国児童・生徒木工工作コンクール入賞作品展	運河ギャラリー	長崎木材青年連合会	
45	3月1日(水)～3月7日(火)	彫刻卒展(～手で見える彫刻展～)	運河ギャラリー	長崎大学教育学部美術科彫刻ゼミ	
46	1月6日(金)～1月12日(木)	平成17年度 JA 共済小・中学生書道コンクール入賞作品展	ホール	全国共済農業協同組合連合会	
47	3月4日(土)～3月5日(日)	ワンちゃんの写真展	運河劇場	福田隆一	

## 平成18年度

### ホール等

No.	使用日	催事名	会場	使用者
1	4月28日(金)～30日(日)	2006長崎帆船まつり 関連イベント	講座室	長崎帆船まつり実行委員会
2	5月21日(日)、27日(土)	カンカシ尚子ギターリサイタル	ホール、講座室	カンカシ尚子



No.	使用日	催事名	会場	使用者
3	5月26日(金)、28日(日)	佐藤すみ子 「創作人形」展関連イベント 講演会	ホール	佐藤すみ子展実行委員会
4	6月14日(水)	平成18年度長崎県文化団体協議会ロビーコンサート	ホール、講座室、エントランスロビー	長崎県文化団体協議会
5	7月22日(土)	能といけばなの饗宴	ホール	NBC 興産株式会社
6	7月31日(月)	日野皓正ライブ2006	屋上庭園	レイ
7	8月2日(水)	ピース・アクション長崎	ホール	地域支援グループ「みんなのちから」
8	8月13日(日)	長崎打ち水大作戦2006	講座室、運河劇場	有限会社 松環舎
9	8月19日(土)～8月20日(日)	九州電力プレゼンツ 夏休み親子さるく	講座室	株式会社 一広
10	10月4日(水)	第25回記念 グループ爽かな書作展 特別講演	ホール	かな書道 グループ爽
11	10月7日(土)	中国映画上映会	ホール	長崎県日中親善協議会
12	10月11日(水)～10月12日(木)	県教育センター研修講座 染色の表現技法(美術科)	アトリエ	長崎県教育センター
13	10月23日(月)	講演会	ホール	長崎総合科学大学
14	11月9日(水)	フランス文化講演会「パリの表情 ひと味ちがったパリ観光」	ホール	長崎日仏協会
15	11月10日(金)	長崎総合科学大学公開講演会	ホール	長崎総合科学大学
16	11月17日(金)～11月18日(土)	JTB 旅行文化講演会	ホール、講座室	株式会社 JTB 九州長崎支店
17	11月18日(土)	講演会 小児医療を考える 故中原利郎先生を偲んで	講座室	長崎保険医協会
18	11月18日(土)～11月19日(日)	第55回長崎市民美術展 表彰式	ホール、講座室	市展実行委員会
19	11月22日(水)	かづきれいこ監修「元気になるセミナー」	ホール	長崎新聞社
20	11月23日(木)、26日(日)	カンカシ尚子ギターリサイタル	ホール	SANTOOR
21	11月25日(土)	長崎総合科学大学公開講演会2006	ホール	長崎総合科学大学 人間環境学部
22	11月30日(木)～12月1日(金)	長崎県地区地上デジタル放送開始記念式典	ホール	NBC 長崎放送株式会社
23	12月2日(土)	長崎総合科学大学公開講演会	ホール	長崎総合科学大学
24	1月7日(日)	NIB 新春社交ダンスパーティー	県民ギャラリー	(株)長崎国際テレビ
25	1月20日(土)	新春音楽会	ホール、講座室	河井耕治法律事務所
26	2月3日(土)	長崎県小中学校児童・生徒作品展(子ども県展) 表彰式	ホール	長崎県造形教育研究会
27	2月23日(金)	小品部門講習会	アトリエ	東光会長崎支部
28	2月25日(日)	日本子守唄フォーラム トークショー	ホール、講座室	日本子守唄フォーラム in 壱岐
29	3月3日(土)	ながさき県民大学 まなびフェスタ	ホール	長崎県教育庁生涯学習課
30	3月17日(土)	シビルウェディング	エントランスロビー	(有)真珠インターナショナル
31	3月18日(日)	第27回長崎県中国語コンクール	ホール	長崎県日中親善協議会
32	3月20日(火)	第60回記念二紀展 講演会	ホール	社団法人 二紀会長崎支部
33	3月21日(水)	ながさき県民大学主催講座	ホール	長崎県教育庁生涯学習課
34	3月25日(日)	講演会「インドの日常生活の風景」	ホール	カンカシ尚子

#### 県民ギャラリー等

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
1	4月4日(火)～4月23日(日) <前期> 4月4日～9日 <中期> 4月11日～16日 <後期> 4月18日～23日	第31回長崎県書道展	全室	株式会社長崎新聞社	5,641
2	4月25日(火)～4月30日(日)	神 晃弘「ローマ橋紀行」写真展～眼鏡橋のルーツを求めて～	A	長崎文化放送	3,607
3	4月25日(火)～4月30日(日)	第三回愉々展	B	長崎日本画会	2,747
4	4月25日(火)～4月30日(日)	ときいろ会油絵展	C	ときいろ会	3,902
5	5月3日(水)～5月7日(日)	太田孝三展「シュレッター氏物語(続編)」	全室	太田孝三展「シュレッター氏物語(続編)」実行委員会	4,331
6	5月9日(火)～5月14日(日)	第11回長崎アンデパンダン展	全室	NPO 法人長崎市美術振興会	2,001
7	5月16日(火)～5月21日(日)	最上静山臨書展	全室	最上典政	1,234
8	5月23日(火)～5月28日(日)	「心のかたち」川原由紀子作品展	A	川原由紀子個展準備委員会	1,878
9	5月23日(火)～5月28日(日)	柴田勝己ガラスアート新作展	B	柴田勝己	971

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
10	5月23日(火)～6月4日	佐藤すみ子「創作人形展」アンデスへの想い。	C	秋田尚子	3,406
11	5月30日(火)～6月4日(日)	中国上海現代絵画展 長崎・上海交流都市10周年記念	A、B	九州・日中間文化交流協会	2,123
12	6月8日(木)～6月17日(土) <前期> 6月8日(木)～6月11日(日) <後期> 6月14日(水)～6月17日(土)	第37回長崎県美術協会展	全室	長崎県美術協会	3,856
13	6月20日(火)～6月25日(日)	ハンセン病療養所長崎県出身入所者の作品展	A	長崎県福祉保健部国保・健康増進課	862
14	6月20日(火)～6月25日(日)	第4回水彩連盟長崎支部展	B	水彩連盟 長崎支部	932
15	6月27日(火)～7月2日(日)	三菱造船南画部創立80周年記念展	A	三菱重工(株) 長崎造船所体育文化会南画部	1,137
16	6月27日(火)～7月2日(日)	25才の色の世界・堀僚太郎ピースアート展	B	Art Friend	1,246
17	7月4日(火)～7月9日(日)	タナカタケン油絵教室作品展	A	タナカタケン油絵教室	1,202
18	7月4日(火)～7月9日(日)	我流野母崎窯 陶器と灯り展	B	村田茂男	1,447
19	7月4日(火)～7月9日(日)	鎮西学院創立125周年記念写真展 「いにしへの長崎」	C	学校法人鎮西学院	1,106
20	7月11日(火)～7月16日(日)	第33回長崎県水彩画展	全室	長崎県水彩画協会	2,390
21	7月18日(火)～7月23日(日)	2006長崎アートフェスティバル	全室	NPO 法人長崎市美術振興会	1,540
22	7月26日(水)～7月30日(日)	第27回ながさき8・9平和展	全室	ながさき8・9平和展企画委員会	1,895
23	8月4日(金)～9月3日(日)	わたしが選んだ ちひろ展	全室	長崎県美術館、株式会社長崎新聞社、ちひろ美術館	41,371
24	9月16日(土)～9月30日(土)	第51回長崎県美術展覧会公募展(県展)	全室	長崎県美術展覧会公募展実行委員会	18,021
25	10月3日(火)～10月8日(日)	「山野を編む」山口秋男 かずらアート展	A	「かずら工房 阿無」山口秋男	1,954
26	10月3日(火)～10月8日(日)	五平太の絆	B	五平太の絆写真展実行委員会	1,581
27	10月3日(火)～10月8日(日)	第25回記念 グループ爽 かな書道展	C	かな書道グループ爽	1,340
28	10月11日(水)～10月15日(日)	第6回「シボリコミュニティ福岡」in 長崎展	A	堀野美紗子	1,302
29	10月11日(水)～10月15日(日)	現代美術家協会第25回長崎支部展	B	現代美術家協会長崎支部	1,192
30	10月18日(水)～10月22日(日)	日本風の展覧会	全室	長崎八夕揚げ振興会	6,900
31	10月25日(水)～10月29日(日)	第39回長崎日本大学高等学校デザイン美術科卒業制作展	全室	長崎日本大学高等学校デザイン美術科	3,457
32	10月31日(火)～11月5日(日)	第33回日本水彩画会長崎支部展	A	日本水彩画会長崎支部	3,584
33	10月31日(火)～11月5日(日)	三菱重工洋画部作品展	B、C	三菱重工 洋画部	3,391
34	11月7日(火)～11月12日(日)	平成18年度長崎県高等学校総合文化祭 南支部合同写真展	A、B	長崎県高等学校文化連盟写真専門部	1,876
35	11月7日(火)～11月12日(日)	第31回長崎市書作家協会代表作家展	C	長崎市書作家協会	1,507
36	11月16日(水)～12月3日(日) <前期> 11月16日～11月23日 <後期> 11月25日～12月3日	第55回長崎市民美術展	全室	長崎市民美術展実行委員会	9,990
37	12月5日(火)～12月10日(日)	第26回九州二科会写真部公募展 / 二科会 写真部九州7県支部員展	全室	有限責任中間法人 二科会写真部 長崎支部	1,081
38	12月12日(火)～12月17日(日)	平成18年度長崎県高等学校総合文化祭 写真展	A	長崎県高等学校文化連盟写真専門部	1,237
39	12月12日(火)～12月17日(日)	第40回記念 JRP 長崎支部写真展	B	日本リアリズム写真集団(JRP) 長崎支部	1,178
40	12月12日(火)～12月17日(日)	第26回長崎県美術協会洋画部会員展	C	長崎県美術協会洋画部	1,265
41	12月19日(火)～12月24日(日)	水彩画展「My wayⅢ」	A	荒木恵子・造田幸枝・松浦和子	1,590
42	12月19日(火)～12月24日(日)	第45回長崎県勤労者美術展	B、C	長崎県商工労働部雇用労政課	867
43	12月26日(火)～12月28日(木)	第1回 Artists Representing Truth and Sensibility	A、B	U - 40	417
44	1月10日(水)～1月14日(日)	第2回長崎県美術展覧会委嘱展	全室	長崎県美術展覧会委嘱展	2,067
45	1月16日(火)～1月21日(日)	第40回長崎市書作家協会展	全室	長崎市書作家協会	1,172
46	1月24日(水)～1月28日(日)	平成18年度長崎県高等学校総合文化祭 美術展	全室	長崎県高等学校文化連盟美術専門部	2,279

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
47	1月30日(火)～2月4日(日)	第52回長崎県小・中学校児童生徒作品展 「子ども県展」	全室	長崎県造形教育研究会	4,359
48	2月6日(火)～2月11日(日)	第56回長崎市小・中学校連合美術展	全室	長崎市教育研究会、中学校美術部 会	12,739
49	2月14日(水)～2月18日(日)	2006年度長崎大学卒業・修了展(絵画領域)	A	長崎大学教育学部井川研究室	460
50	2月14日(水)～2月18日(日)	第7回「上野彦馬賞」九州産業大学フォトコンテスト受賞作品展	B	毎日新聞福岡本部	914
51	2月14日(水)～2月18日(日)	児童・幼児作品展	C	長崎児童美術研究会	771
52	2月20日(火)～2月25日(日)	第3回YY展「米村昭彦とその仲間たち」	全室	岸本悦子(YY展実行委員会)	1,760
53	2月27日(火)～3月4日(日)	殷展(PSY-TEN)2007	全室	殷展実行委員会	1,823
54	3月6日(火)～3月11日(日)	長崎市美術振興会四部合同展 工芸・写真・南画・日本画	全室	NPO法人長崎市美術振興会	1,429
55	3月13日(火)～3月18日(日)	第3回長崎県美術協会写真部会員展	A	長崎県美術協会写真部	1,275
56	3月13日(火)～3月18日(日)	ふしぎな花倶楽部(第8回長崎つばき押花会合同作品展)	B	長崎つばき押花会	1,048
57	3月13日(火)～3月18日(日)	吉田輝彦回顧展	C	吉田輝彦	1,109
58	3月20日(火)～4月1日(日)	第60回二紀展	全室	社団法人二紀会長崎支部	5,018
59	8月1日(火)～8月6日(日)	「しまの日」写真展	運河ギャラリー	長崎県地域振興部地域政策課	
60	10月14日(土)～10月22日(日)	2006まちづくり総合住宅フェア～長崎の すまいづくり・まちづくり展～	運河ギャラリー	長崎県土木部住宅課	
61	10月24日(火)～10月29日(日)	赤とんぼの街づくり運動遊べる!学べる! 長崎写生大会作品展示会	運河ギャラリー	KTNテレビ長崎	
62	10月31日(火)～11月5日(日)	未来に残そう青い海・図画コンクール作品展	運河ギャラリー	長崎海上保安部	
63	11月7日(火)～11月12日(日)	長崎県公的年金コンクール作品展	運河ギャラリー	長崎社会保険事務局	
64	11月14日(火)～11月19日(日)	「ながさきの半島」写真展	運河ギャラリー	長崎県地域振興部地域政策課	
65	11月25日(土)～11月26日(日)	第18回長崎県まちづくりの絵コンクール 展示会	運河ギャラリー	長崎県土木部まちづくり推進局都 市計画課	
66	12月2日(土)～12月10日(日)	全国児童生徒木工工作コンクール	運河ギャラリー	長崎県木材青年連合会	
67	12月20日(水)～12月28日(木)	平成18年度JA共済小・中学生書道コン クール	運河ギャラリー	全国共済農業共同組合連合会長崎 県本部	
68	1月23日(火)～1月28日(日)	禁煙ポスターコンクール	運河ギャラリー	長崎県国保・健康増進課	
69	2月2日(金)～2月4日(日)	長崎「波佐見焼」高級ブランド～エレガ ンス～	運河ギャラリー	波佐見町商工会	
70	2月27日(火)～3月4日(日)	県立学校地域開放講座作品展	運河ギャラリー	長崎県教育委員会	
71	3月6日(火)～3月11日(日)	長崎大学教育学部美術科彫刻卒展	運河ギャラリー	長崎大学教育学部美術科彫刻ゼミ	
72	10月20日(金)～10月22日(日)	人の輪、花の輪...みんなの花展	エントランスロビー	勸小原流長崎支部	
73	4月29日(土)～4月30日(日)	ワンちゃんの写真展	運河劇場	福田隆一	
74	3月23日(金)～3月25日(日)	移動写真展	運河劇場	川村公志	

## 13. ショップ、カフェ、駐車場

### 1) ショップ事業

#### 平成17年度

年間の売上計画を28,080千円と設定し、館独自のコンセプトに沿った品質とデザイン性を持った商品選定及びオリジナル商品開発を行い、販売した。オリジナル商品として、美てぬぐい、波佐見焼食器（カフェと共同開発）、美術館イメージソングCD・DVD等を揃え、国内唯一取扱のプラド美術館ミュージアムグッズなども販売した。

<人気商品>

- ・美てぬぐい
- ・各種ポストカード
- ・プラド美術館グッズ

利用者数	来館者利用割合	年間売上額
25,176人	4.1%	36,246千円

#### 平成18年度

年間の売上計画を28,000千円と設定し、前年同様にオリジナル商品及びプラド美術館グッズ販売に力をいれた。また、企画展毎にグッズを揃え、どの客層にも対応できる幅広い商品選定を行った。店舗レイアウトの工夫、2階特設コーナーの増設など積極的販売を行い、来館者利用割合及び売上額共に前年度を上回った。

<人気商品>

- ・オリジナルTシャツ
- ・各種ポストカード
- ・企画展関連商品 ジャム等

利用者数	来館者利用割合	年間売上額
20,476人	5.1%	41,006千円

### 2) カフェ事業

#### 平成17年度

年間の売上計画を10,975千円と設定し、スイーツ・ドリンクを主体としたメニューによるサービスを展開し、企画展ごとにオリジナル商品開発を行った。また、企画展・ケーキセット券を開発し販売を始めた。

<人気商品>

- ・3点セット（サンドウィッチ・ケーキ・コーヒー）
- ・企画展オリジナルスイーツ
- ・企画展・ケーキセット（企画展観覧券・ケーキ・コーヒー）

利用者数	来館者利用割合	年間売上額
51,944人	8.5%	28,963千円

#### 平成18年度

年間の売上計画を30,794千円と設定し、前年同様にスイーツ・ドリンクを主体としたメニューによるサービスを展開し、企画展毎のオリジナル商品開発を行った。

<人気商品>

- ・3点セット（サンドウィッチ・ケーキ・コーヒー）
- ・ケーキセット（オリジナルケーキ・コーヒー）
- ・アップルパイセット（アップルパイ・コーヒー）

利用者数	来館者利用割合	年間売上額
37,259人	9.8%	21,817千円

### 3) 駐車場事業

#### 平成17年度

美術館利用の促進、マイカー利用者の来館を促すことを目的に駐車場管理運営を行った。利用台数はオープン年度効果及び周辺イベント開催による利用者増により計画値をはるかに上回った。

	年間利用台数	構成比	年間売上額	構成比
美術館利用者	31,219台	43.0%	6,398千円	27.6%
一般利用者	41,442台	57.0%	16,799千円	72.4%
合計	72,661台	100.0%	23,197千円	100.0%

#### 平成18年度

全体的な利用台数は減少したものの、周辺イベント等の利用者が増え、滞留時間は増加した。

	年間利用台数	構成比	年間売上額	構成比
美術館利用者	18,891台	32.6%	4,406千円	19.9%
一般利用者	39,120台	67.4%	17,748千円	80.1%
合計	58,011台	100.0%	22,154千円	100.0%

平成17・18年度

長崎県美術館年報 No.1

2008年3月発行

編集・発行 財団法人 長崎ミュージアム振興財団

〒850 0862長崎市出島町2番1号

TEL 095 833 2110 / FAX 095 833 2115

印刷 株式会社昭和堂

© NAGASAKI MUSEUM FOUNDATION, 2008

長崎県美術館



Nagasaki Prefectural Art Museum